

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

平成 22 年(2010 年)

愛媛県感染症情報センター

(愛媛県立衛生環境研究所)

はじめに

平成 22 年（2010 年）の愛媛県感染症発生動向調査事業をとりまとめましたので、報告いたします。

平成 13 年に当所に感染症情報センターが設置されてから 10 年の節目の年を迎えました。振り返ってみますと、その間、平成 21 年には従来から危惧されていた新型インフルエンザの大流行がありましたが、関係機関のご協力により、本年 3 月をもって通常の季節性インフルエンザと同様に扱われることとなりました。また、その他にも食肉を介した腸管出血性大腸菌感染症の多発や、ノロウイルスの高齢者施設を中心とした大流行など、人の生命や健康に直接被害を及ぼす感染症問題は、依然としてわが国における最も大きい健康危機の一つです。

本県では、愛媛県結核予防計画に基づき結核対策を進めて参りましたが、本県の罹患率は 19.3 にまで上昇し、全国値（18.2）を上回る状況となっています。また、麻しんにつきましては、本県では平成 21 年 6 人、平成 22 年 3 人と排除に近づいているように見えますが、全国的には平成 23 年春に関東を中心とした広域的な流行が観察されるなど、まだまだ予断を許さない状況となっております。今後とも、結核対策の推進や麻しん排除に向けての取り組みについて、一層のご協力をお願い致します。

全国の地方衛生研究所では、地域保健推進事業を活用し、検査機能の強化と、感染症情報を含めた疫学情報の連携ネットワーク体制の構築を進めております。今後、更に質の高い情報提供を行い、県民の公衆衛生の向上に寄与する所存です。

最後になりましたが、本報告書の作成にあたり、ご協力いただきました定点医療機関をはじめ、愛媛県感染症対策推進協議会解析評価委員の皆様及び関係各位に深謝いたしますとともに、今後ともご支援、ご教示を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 23 年 12 月

愛媛県立衛生環境研究所

所長 土井光徳

目 次

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
指定届出機関一覧	4
2010年(平成22年)感染症発生動向調査結果 - 患者情報 -	
報告週対応表	
1 全数把握対象 ー 五類感染症及び新型インフルエンザ等感染症	
(1) 一類感染症	7
(2) 二類感染症	7
(3) 三類感染症	7
(4) 四類感染症	9
(5) 五類感染症	14
(6) 新型インフルエンザ等感染症	19
表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	20
表2-1-2 2010年全数把握対象疾患発生状況(月別)	21
表2-1-3 2010年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	22
表2-1-4 2010年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	23
2 定点把握対象 五類感染症	
(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況	24
表2-2-1 週報対象疾患 - 週別患者報告数	26
表2-2-2 週報対象疾患 - 週別定点当たり患者報告数	28
表2-2-3 週報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	30
表2-2-4 月報対象疾患 - 月別患者報告数	31
表2-2-5 月報対象疾患 - 月別定点当たり報告数	32
表2-2-6 月報対象疾患 - 年齢区分別患者報告数	33
(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)	35
(3) 小児科定点対象疾患(週報)	40
(4) 眼科定点対象疾患(週報)	64
(5) 基幹定点対象疾患(週報)	68
(6) STD定点対象疾患(月報)	74
(7) 基幹定点対象疾患(月報)	80
2010年(平成22年)感染症発生動向調査結果 - 病原体検査結果 -	
1 細菌検査状況	
(1) 全数把握対象感染症	83
(2) 定点把握対象感染症	85
2 ウイルス検査状況	
(1) 病原体定点種類別検体数	91
(2) 気道感染症等由来検体からの検出	93
(3) 感染性胃腸炎からの検出	100

2010年(平成22年)結核登録者情報

1 概況	103
2 新登録患者の状況	103
(1) 患者数及び罹患率の動向	103
(2) 性・年齢階級別	104
(3) 保健所別	105
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向	106
(5) 発見の遅れ	107
3 年末現在結核登録者の状況	108
表4-1 2010年新登録患者数 - 保健所別	109
表4-2 2010年新登録患者数 - 登録時総合患者分類コード、性、年齢階級別	109
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	110
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	110
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移 - 保健所別	110
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移 - 年齢階級別	110
表4-7 2010年新登録患者数 - 結核病類、性、年齢階級別	111
表4-8 2010年新登録肺結核患者数 - 職業、菌情報、保健所別	112
表4-9 2010年新登録患者数 - 発見方法別	113
表4-10 2010年新登録有症状肺結核患者数 - 発見の遅れの期間別	113
表4-11 2010年新登録患者数 - 化療内容、保健所別	114
表4-12 2010年年末現在登録者数 - 保健所別	116
表4-13 2010年年末現在登録者数 - 性、年齢階級別	116

参考資料

1 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	117
2 愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱	128
3 愛媛県感染症発生動向調査病原体検査要領	130
4 感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律 第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(届出基準等通知)	138

I 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

I 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、感染症の患者発生に関する情報（患者情報）及び疑似症の患者発生に関する情報（疑似症情報）と、感染症の病原体に関する情報（病原体情報）を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とし、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」（平成13年1月施行）に基づき、実施している。

対象疾患は一類から五類感染症及び新型インフルエンザ等感染症、疑似症の103疾患である。このうち全医療機関を対象とする全数把握感染症は、一類から四類感染症58疾患と五類感染症16疾患及び新型インフルエンザ等感染症2疾患の合計76疾患で、指定届出機関（定点）が報告する定点把握感染症は、週単位あるいは月単位で報告する五類感染症25疾患及び患者発生時に直ちに報告する疑似症2疾患の合計27疾患である。

1 全数把握の対象(76疾患)

(1) 一類感染症(7疾患)

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

(2) 二類感染症(5疾患)

急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、鳥インフルエンザ（H5N1）

(3) 三類感染症(5疾患)

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

(4) 四類感染症(41疾患)

E型肝炎、ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

(5) 五類感染症（16疾患）

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型及びA型肝炎を除く)、急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、髄膜炎菌性髄膜炎、先天性風しん症候群、梅毒、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん

(6) 新型インフルエンザ等感染症（2疾患）

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ

2 定点把握の対象(27疾患)

(1) 五類感染症（25疾患）

① インフルエンザ定点の対象(1疾患)

インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等を除く)

② 小児科定点の対象(11疾患)

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

③ 眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎, 流行性角結膜炎

④ STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症, 性器ヘルペスウイルス感染症, 尖圭コンジローマ, 淋菌感染症

⑤ 基幹定点の対象(7 疾患)

クラミジア肺炎(オウム病を除く), 細菌性髄膜炎, 無菌性髄膜炎, マイコプラズマ肺炎, ペニシリン耐性肺炎球菌感染症, メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症, 薬剤耐性緑膿菌感染症

(2) 疑似症 (2 疾患)

摂氏 38℃以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。), 発熱及び発しん又は水疱(ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)

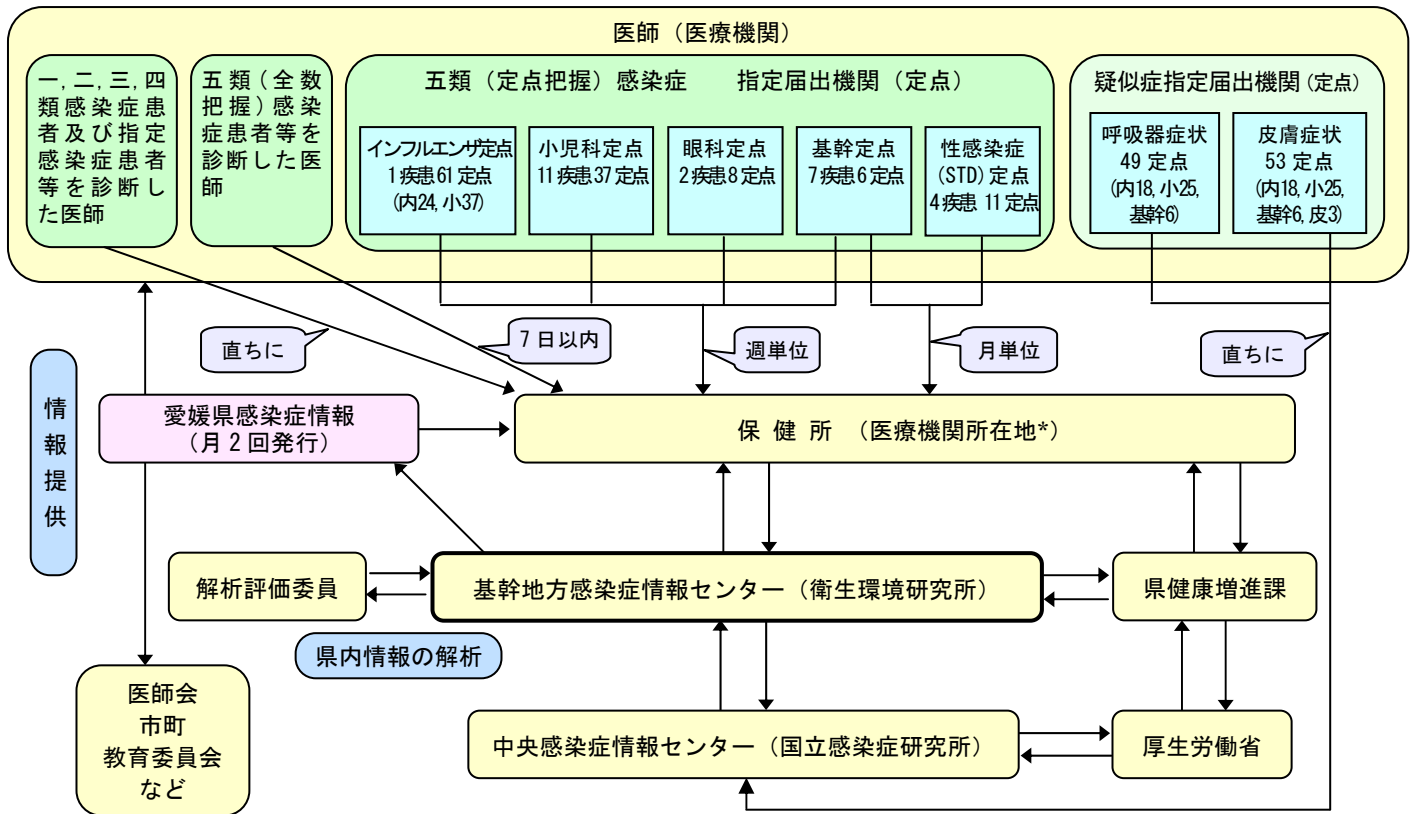
定点には患者定点と疑似症定点、病原体定点がある。患者定点はインフルエンザ定点(内科と小児科)、小児科定点、眼科定点、性感染症(STD)定点(皮膚科、泌尿器科、婦人科)、基幹定点(内科と小児科を持つ300床以上の病院)の5種類であり、疑似症定点は第一号疑似症定点(内科と小児科)と第二号疑似症定点(内科、小児科、皮膚科)の2種類である。それぞれ、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、患者定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

保健所	患者定点					疑似症定点		病原体 定 点
	インフル エンザ	小児科	眼科	性感染症 (STD)	基幹	第一号	第二号	
四国中央	5	3	—	1	1	6	6	2
西 条	10	6	1	2	1	11	12	3
今 治	8	5	1	1	1	9	10	3
松 山 市	17	11	3	4	—	—	—	4
松 山	7	4	1	1	1	8	8	3
八 幡 浜	7	4	1	1	1	8	9	3
宇 和 島	7	4	1	1	1	7	8	2
合 計	61	37	8	11	6	49	53	20

※ 小児科定点はインフルエンザ定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は保健所を通じて愛媛県基幹感染症情報センター(衛生環境研究所)へ集約され、中央感染症情報センター(国立感染症研究所)へ報告するとともに関係機関へ週報単位で還元している。疑似症情報については中央感染症情報センターに集約された情報を随時解析し関係機関へ還元している。また月2回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



* 但し、結核については患者等住所地

図 平成 22 年（2010 年）愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

指定届出機関一覧(平成22年)

(平成22年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点	備考
松山市	インフルエンザ	今村循環器科内科	松山市古川西2丁目3-23		
		矢野内科	松山市東長戸1丁目10-18		
		冲永内科医院	松山市北斎院町85-1	○	
		重松内科胃腸器科医院	松山市朝生田町6-3-38		
		久野内科	松山市此花町8-24		
		永山内科	松山市北梅本町666-2		
	小児科	石丸小児科医院	松山市三番町6-5-1	○	
		いとう小児科	松山市土居町805-1		
		加賀田小児科	松山市古川北1-21-28		
		平井こどもクリニック	松山市和気町1-714-3		
		河野小児科医院	松山市久米窪田町781-3		
		児玉小児科医院	松山市桑原4-13-24	○	
		徳丸小児科医院	松山市古川北3-4-15		
		山田小児科医院	松山市余戸中2-15-30		
		まつうら小児科	松山市愛光町1-8		
		くす小児科	松山市西長戸町274-2		
		檜垣小児科内科医院	松山市北条辻415-3		
		眼科	高岡眼科小児科医院	松山市竹原町1-3-8	
	吉田眼科		松山市道後町2-1-12	○	
	一色眼科		松山市小坂5-7-7		
STD	松山赤十字病院(泌尿器科)	松山市文京町1			
	ほこいし泌尿器科(泌尿器科)	松山市柳井町1-14-8			
	NTT西日本松山病院(産婦人科)	松山市喜与町1-7-1			
	米本産婦人科医院	松山市松末2丁目17-23			
四国中央	インフルエンザ	矢部内科	四国中央市三島宮川4-6-71		
		川関高橋医院	四国中央市金生町下分257		
	小児科	川上こどもクリニック	四国中央市金生町山田井895-2		
		大坪小児科	四国中央市三島中央5-1-24	○	22年3月まで
		ふじえだファミリークリニック	四国中央市中曾根町5074		22年4月から
	鈴木医院	四国中央市土居町小林1200番地	○	病原体は 22年4月から	
	STD	大西泌尿器科クリニック	四国中央市中曾根366番地1		
基幹	四国中央病院	四国中央市川之江町2233	○		
西条	インフルエンザ	発知医院	新居浜市東雲町2-6-20		
		中萩診療所	新居浜市萩生1061		
		医療法人土岐医院	西条市神拝甲538-6	○	
		福田医院	西条市丹原町願連寺278		
	小児科	山本小児科クリニック	新居浜市徳常町9-19		
		しおだこどもクリニック	新居浜市中村松木2-8-18		
		松浦小児科医院	新居浜市上泉町1-28		
		高橋こどもクリニック	西条市朔日市313-5	○	
		星加小児科内科ファミリークリニック	西条市大町612-1		
		井上医院	西条市壬生川47		
	眼科	鈴木眼科	新居浜市庄内町1-8-30		
	STD	なめだ皮膚科医院	新居浜市一宮町2-3-48		
		西条市立周桑病院	西条市壬生川131		
	基幹	住友別子病院	新居浜市王子町3-1	○	

(平成22年末現在)

保健所	定点種別	医療機関名	所在地	病原体定点	備考
今治	インフルエンザ	瀬戸内海病院	今治市北宝来町2-4-9		
		消化器科久保病院	今治市内堀1-1-19		
		重見内科医院	今治市国分3-13-45		
	小児科	みぶ小児科	今治市北宝来町3-2-21	○	
		まつい小児科	今治市八町東2-4-41		
		あおい小児科	今治市東村5丁目9-37		
		社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院	今治市喜多村7丁目1-6		
	喜多嶋診療所	今治市伯方町木浦甲3449			
	眼科	高木眼科病院	今治市北宝来町2-3-1	○	
STD	今井皮膚泌尿器科医院	今治市共栄町2-1-24			
基幹	県立今治病院	今治市石井町4-5-5	○		
松山	インフルエンザ	きむら内科クリニック	伊予市灘町151		
		久万高原町立病院	上浮穴郡久万高原町久万65		
		辻井循環器科内科	東温市田窪2030	○	
	小児科	みかわクリニック	上浮穴郡久万高原町上黒岩2920		
		宇山小児科	伊予市米湊815-6		
		むかいだ小児科	伊予郡松前町大字恵久美792-1		
		いのうえ小児科	東温市北野田485-1	○	
	眼科	いずみだ眼科	東温市田窪2228-1		
	STD	重信クリニック	東温市志津川246-6		
基幹	愛媛大学医学部附属病院	東温市志津川	○		
八幡浜	インフルエンザ	市立大洲病院	大洲市西大洲字ヤスバ甲570	○	
		三瓶病院	西予市三瓶町朝立2番耕地1番地7		
		西予市立野村病院	西予市野村町野村9-53		
	小児科	ごとう小児科	大洲市東大洲74番地2		
		ごうお小児科医院	大洲市西大洲甲1293-8		
		守口小児科医院	八幡浜市産業通280番地1	○	
		山下小児科	西予市宇和町伊賀上1656-57		
	眼科	東大洲城戸眼科	大洲市東大洲149-2		
	STD	しまだ医院	八幡浜市江戸岡1丁目8番26号		
基幹	市立八幡浜総合病院	八幡浜市大字大平1-638	○		
宇和島	インフルエンザ	田中循環器科内科	宇和島市堀端町29		
		宇和島市立吉田病院	宇和島市吉田町北小路甲217		
		粉川ファミリークリニック	南宇和郡愛南町城辺甲86		
	小児科	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1番1号		
		こばやし小児科	宇和島市長堀3-5-12		
		桑折小児科	宇和島市中央町1丁目10-5		
		県立南宇和病院	南宇和郡愛南町城辺甲2433-1	○	
	眼科	阿部眼科	宇和島市堀端町1-4		
	STD	秋山医院	宇和島市堀端町1-16		
基幹	市立宇和島病院	宇和島市御殿町1番1号	○		

Ⅱ 2010年(平成22年)感染症発生動向調査結果

一患者情報一

2010年(平成22年)感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
53					1	2	3
1	4	5	6	7	8	9	10
2	11	12	13	14	15	16	17
3	18	19	20	21	22	23	24
4	25	26	27	28	29	30	31

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
26				1	2	3	4
27	5	6	7	8	9	10	11
28	12	13	14	15	16	17	18
29	19	20	21	22	23	24	25
30	26	27	28	29	30	31	

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5	1	2	3	4	5	6	7
6	8	9	10	11	12	13	14
7	15	16	17	18	19	20	21
8	22	23	24	25	26	27	28

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
30							1
31	2	3	4	5	6	7	8
32	9	10	11	12	13	14	15
33	16	17	18	19	20	21	22
34	23	24	25	26	27	28	29
35	30	31					

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
9	1	2	3	4	5	6	7
10	8	9	10	11	12	13	14
11	15	16	17	18	19	20	21
12	22	23	24	25	26	27	28
13	29	30	31				

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
35			1	2	3	4	5
36	6	7	8	9	10	11	12
37	13	14	15	16	17	18	19
38	20	21	22	23	24	25	26
39	27	28	29	30			

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
13				1	2	3	4
14	5	6	7	8	9	10	11
15	12	13	14	15	16	17	18
16	19	20	21	22	23	24	25
17	26	27	28	29	30		

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
39					1	2	3
40	4	5	6	7	8	9	10
41	11	12	13	14	15	16	17
42	18	19	20	21	22	23	24
43	25	26	27	28	29	30	31

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
17						1	2
18	3	4	5	6	7	8	9
19	10	11	12	13	14	15	16
20	17	18	19	20	21	22	23
21	24	25	26	27	28	29	30
22	31						

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
44	1	2	3	4	5	6	7
45	8	9	10	11	12	13	14
46	15	16	17	18	19	20	21
47	22	23	24	25	26	27	28
48	29	30					

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
22		1	2	3	4	5	6
23	7	8	9	10	11	12	13
24	14	15	16	17	18	19	20
25	21	22	23	24	25	26	27
26	28	29	30				

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
48			1	2	3	4	5
49	6	7	8	9	10	11	12
50	13	14	15	16	17	18	19
51	20	21	22	23	24	25	26
52	27	28	29	30	31		

「愛媛県感染症情報」発行日

Ⅱ 2010年（平成22年）感染症発生動向調査結果 一患者情報一

1 全数把握対象 一～五類感染症及び新型インフルエンザ等感染症

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として届出票に記載されていたものを示す。

(1) 一類感染症

一類感染症 7 疾患（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）の届出はなかった。

(2) 二類感染症

結核

結核は 298 人の届出があり、前年（280 人）から増加した。病型は、患者 279 人、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）19 人であった。性別は、男性 160 人、女性 138 人で、年齢は、10 歳未満 7 人、10 歳代 2 人、20 歳代 17 人、30 歳代 17 人、40 歳代 25 人、50 歳代 27 人、60 歳代 39 人、70 歳代 70 人、80 歳代以上 94 人であった。感染経路は、飛沫・飛沫核感染 201 人、その他（不明を含む）97 人であった。感染地域は、国内 291 人（うち、県内 279 人、県外 2 人、都道府県不明 10 人）、国外 6 人（うち、中華人民共和国 4 人、フィリピン 1 人、オランダ 1 人）、国内及び国外 1 人であった。

なお、結核の動向の詳細は、結核登録者情報システムでの集計に基づき、別章（Ⅳ 2010 年（平成 22 年）結核登録者情報）に掲載した。

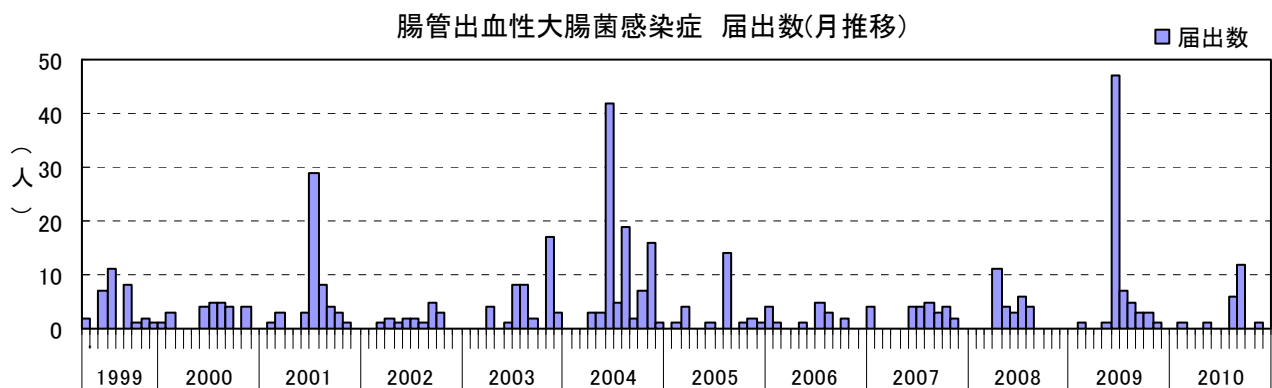
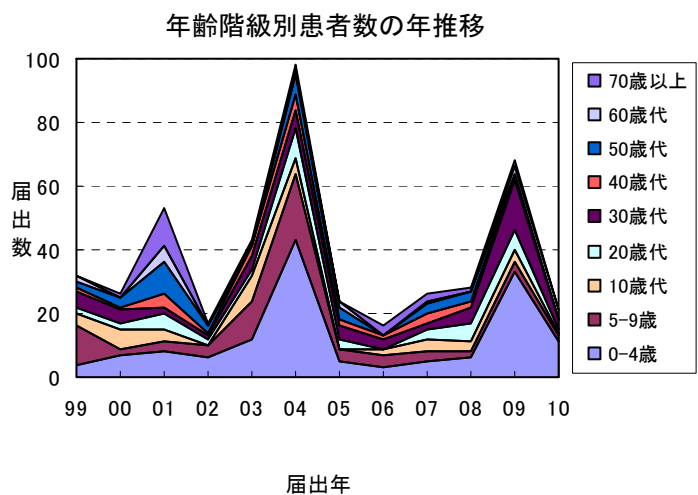
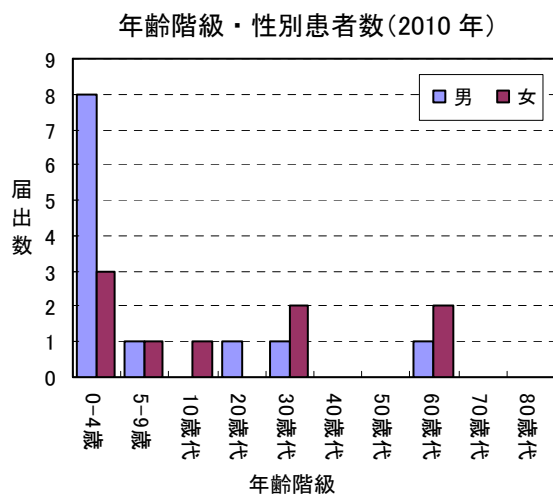
その他 4 疾患（急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）、鳥インフルエンザ（H5N1））の届出はなかった。

(3) 三類感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は 9 事例 21 人の届出があり、病型は患者 10 人、無症状病原体保有者 11 人であった。性別は男性 12 人、女性 9 人で、年齢は 10 歳未満 13 人（幼児 12 人、小学生 1 人）、10 歳代 1 人、20 歳代 1 人、30 歳代 3 人、60 歳代 3 人であり、10 歳未満が全体の 61.9%を占めた。血清型および Vero 毒素は、O157 VT1・VT2 19 人、O103 VT1 1 人、O140 VT1 1 人であった。感染地域は全て県内で、感染経路は経口感染 6 人、接触感染 1 人、その他（不明を含む）14 人であった。集団感染事例としては、9 月に松山市保健所管内の保育施設において、O157 VT1・VT2 を原因とする事例（事例 8、関連届出 12 人）が発生した。なお、2010 年に届出があった 21 人に、溶血性尿毒症症候群（HUS）発症等、重症例の報告はなかった。

事例番号	届出月日	届出週	発生地 (患者住所地)	年齢別	性別	症状	血清型	ベロ毒素
1	2月 15日	7	松野町	60歳代	男	有	O103	VT1
2	5月 21日	20	松山市	20歳代	男	無	O157	VT1・VT2
3	8月 17日	33	松山市	10歳未満(小学生)	男	有	O157	VT1・VT2
	10歳未満(幼児)			男	有			
4	8月 24日	34	松山市	60歳代	女	有	O157	VT1・VT2
5	8月 26日	34	四国中央市	60歳代	女	有	O157	VT1・VT2
6	8月 28日	34	松山市	30歳代	女	有	O157	VT1・VT2
7	8月 29日	34	松山市	10歳代	女	有	O157	VT1・VT2
8	9月3日～ 9月24日	35～ 38	松山市内 保育施設 (集団発生)	10歳未満 11例 (乳幼児)	男 7例 女 4例	有 2例 無 9例	O157	VT1・VT2
				30歳代 1例	女	無		
9	11月 20日	46	松山市	30歳代	男	有	O140	VT1



その他 4 疾患 (細菌性赤痢、コレラ、腸チフス、パラチフス) の届出はなかった。

(4) 四類感染症

E 型肝炎

E 型肝炎は 50 歳代女性 1 人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路はイノシシ肉の生食による経口感染が推定された。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
2月 17日	7	松山市	女	50歳代	発熱、食欲不振、肝機能異常	県内	経口感染 (猪肉の生食)

A 型肝炎

A 型肝炎は 4 人の届出があった。性別は男性 1 人、女性 3 人で、年齢は 20 歳代 2 人、30 歳代 1 人、50 歳代 1 人であった。感染地域は全て県内で、感染経路は経口感染 3 人、不明 1 人であった。

本年は 3 月以降全国各地で A 型肝炎が多発したため、3 月 26 日（第 10 週）に国立感染症研究所感染症情報センターからアラート情報が発出され、第 27 週まで継続した。当初、広域集団発生の可能性が懸念され、全国的な疫学調査が実施されたが、原因食材等の特定には至らなかった。県内の事例も当該期間中に発生しており、4 人中 2 人（事例 1）は同一家族でカキの喫食歴が確認されたが、他の 2 人（事例 2、3）については、居住地及び初診日が近いものの、関連性は認められなかった。

事例番号	届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1	4月 9日	14	西条	女	20歳代	全身倦怠感、発熱、肝機能異常	県内	経口感染 (カキの喫食有)
				男	20歳代	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常		
2	6月 22日	25	松山	女	30歳代	全身倦怠感、発熱、食欲不振、肝機能異常	県内	経口感染
3	6月 30日	26	松山	女	50歳代	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常、嘔気	県内	不明

つつが虫病

つつが虫病は3人の届出があり、全て男性で、年齢は60歳代2人、70歳代1人であった。感染地域は全て県内（今治市2人、松山市1人）で、全例でツツガムシによる刺し口が確認された。

県内では、感染症法施行（1999年4月）以降7人の届出があり、2000年1人、2006年2人と少数例に留まっていたが、2009年12月、2010年2月、3月、4月に1人ずつ連続して届出があった。発生地は松山市保健所管内と今治保健所管内に限局されており、7人中4人（57%）が松山市保健所管内、3人（43%）が今治保健所管内であった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
2月 26日	8	今治	男	60歳代	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹	今治市	動物・蚊・昆虫等からの感染
3月 15日	11	今治	男	70歳代	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹	今治市	動物・蚊・昆虫等からの感染
4月 26日	17	松山市	男	60歳代	発熱、刺し口、発疹	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染

日本紅斑熱

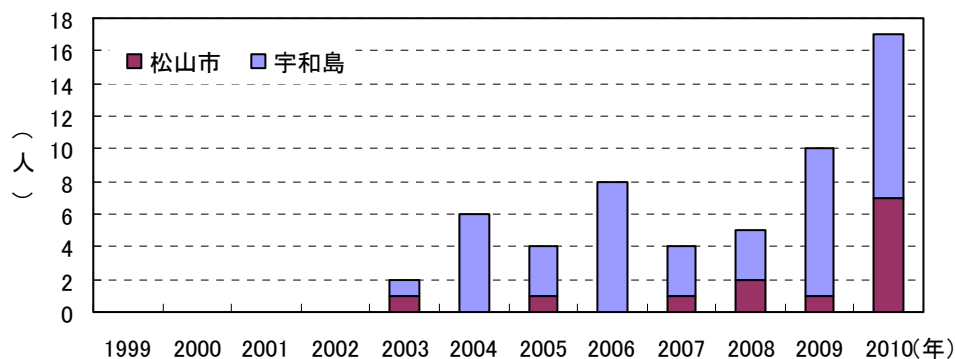
日本紅斑熱は17人の届出があり、性別は男性10人、女性7人で、年齢は10歳未満1人、50歳代2人、60歳代11人、70歳代2人、80歳代1人であった。届出保健所は松山市保健所7人、宇和島保健所10人であった。感染地域は全て県内（松山市7人、宇和島市10人）であり、17人中14人にダニ（マダニ）による刺し口が確認された。

本疾患は2003年8月に県内で初めて患者が中予で届出されて以降、2004年から2008年の間は毎年4～8人の届出数で推移していたが、2009年には10人、2010年はこれまでに最も多い17人の届出があり、顕著な増加傾向が認められる。従来は届出を行う医療機関が一部の医療機関に限られていたが、近年は他の医療機関からも届出が見られるようになり、本感染症への理解が進んだことも増加の要因の一つと推察される。

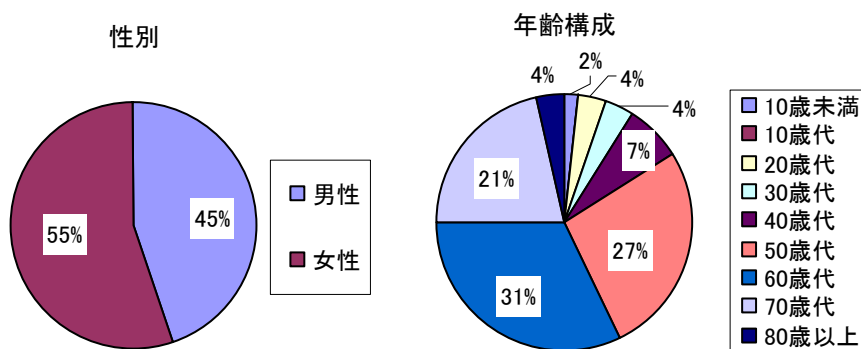
感染症法施行（1999年4月）以降に届出された患者56人のうち、性別は男性25人（44.6%）、女性31人（55.4%）であり、年齢は50歳以上の壮高年者が47人（83.9%）を占めている。また、患者の届出は宇和島保健所管内と松山市保健所管内に限局されており、特に宇和島保健所管内からの届出は43人（76.9%）と多い。松山市保健所管内からの届出は、これまでは年間1、2人であったが、本年は7人と急増しており、今後の動向に注意が必要である。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域	感染経路
5月 18日	20	松山市	男	60歳代	4月 18日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 10日	23	松山市	男	60歳代	4月 23日	発熱、発疹、DIC、肝機能異常、精神症状	松山市	不明
6月 10日	23	松山市	女	60歳代	5月 24日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
7月 29日	30	松山市	男	70歳代	7月 5日	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
8月 14日	32	宇和島	女	60歳代	6月 15日	刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
8月 14日	32	宇和島	女	50歳代	7月 7日	発熱、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
8月 20日	33	松山市	女	60歳代	7月 27日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 3日	35	松山市	男	60歳代	8月 16日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
9月 15日	37	宇和島	男	60歳代	7月 26日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
10月 13日	41	松山市	男	60歳代	9月 28日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 14日	41	宇和島	男	60歳代	9月 22日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 4日	44	宇和島	男	80歳代	10月 6日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 12日	45	宇和島	女	50歳代	9月 21日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
			男	10歳未満	9月 24日	発熱、発疹、肝機能異常		
12月 9日	49	宇和島	女	70歳代	10月 3日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
12月 9日	49	宇和島	女	60歳代	10月 4日	発熱、頭痛、刺し口、発疹	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)
12月 22日	51	宇和島	男	60歳代	10月 31日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島市	動物・蚊・昆虫等からの感染(マダニ)

日本紅斑熱 保健所別届出数の年推移



感染症法施行(1999年4月)以降に届出された日本紅斑熱患者(56人)の内訳

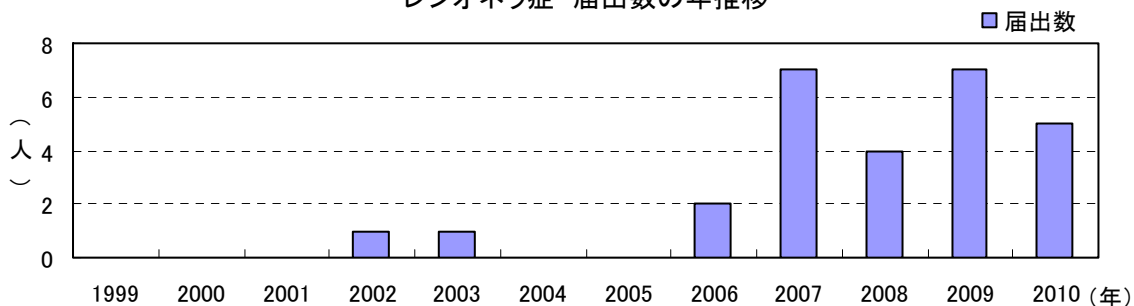


レジオネラ症

レジオネラ症は5人の届出があり、病型は全て肺炎型であった。性別は全て男性で、年齢は10歳未満(乳児)2人、60歳代1人、70歳代2人であった。感染地域は全て県内で、感染経路は水系感染が1人、不明が4人であった。水系感染が推定された患者は、公衆浴場の利用歴があったが、当該施設とレジオネラ感染との関連性は認められなかった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
5月 25日	21	松山	男	70歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、意識障害、肺炎、多臓器不全	県内	水系感染
7月 2日	26	松山市	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	県内	不明
7月 20日	29	松山	男	10歳未満	肺炎型	詳細不明	県内	不明
			男	10歳未満	肺炎型			
12月 20日	51	今治	男	70歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	県内	不明

レジオネラ症 届出数の年推移



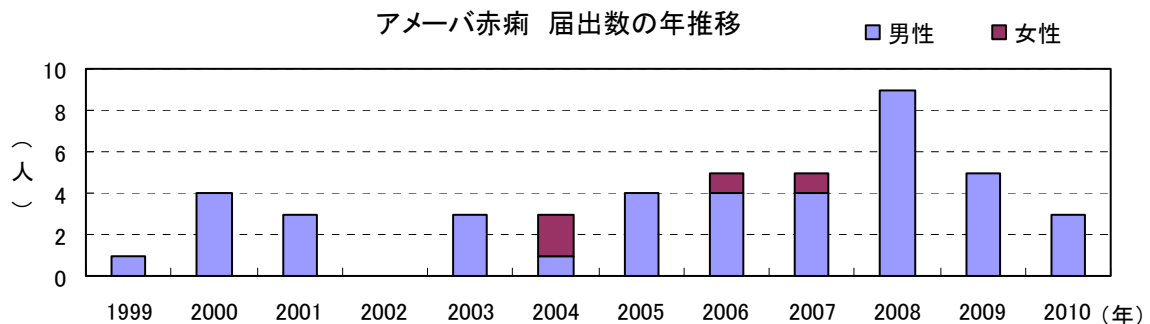
その他 36 疾患（ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q 熱、狂犬病、コクシジオイデス病、サル痘、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1 は除く)、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発疹チフス、ポツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱) の届出はなかった。

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は 3 人の届出があり、病型は腸管アメーバ症 2 人、腸管及び腸管外アメーバ症 1 人であった。性別は全て男性で、年齢は 30 歳代 1 人、50 歳代 1 人、60 歳代 1 人であった。感染地域は全て国内（うち県内 2 人）で、感染経路は全て不明であった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
5月 21日	20	今治	男	30歳代	腸管アメーバ症	下痢、粘血便	国内(県内)	不明
8月 9日	32	松山市	男	50歳代	腸管アメーバ症	下痢、粘血便、発熱	国内(県内)	不明
11月 29日	48	松山	男	60歳代	腸管及び腸管外アメーバ症	肝膿瘍、腹膜炎	国内	不明



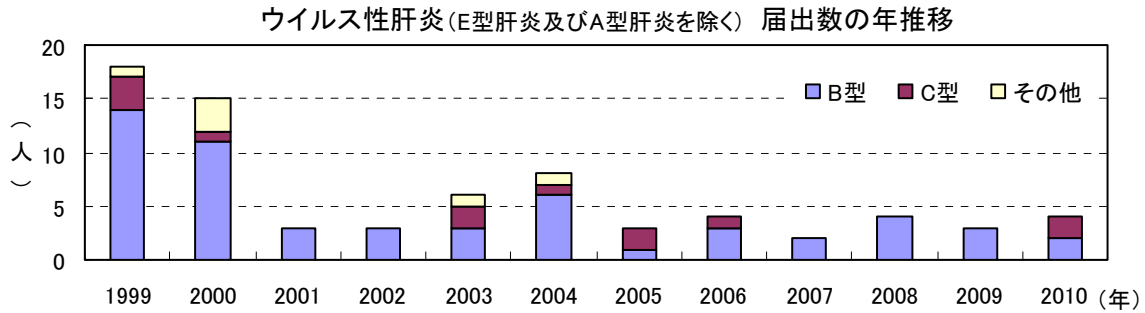
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

ウイルス性肝炎は 4 人の届出があり、病型は B 型 2 人、C 型 2 人であった。

B 型：30 歳代男性と 40 歳代男性の届出があった。感染地域は全て県内で、感染経路は性的接触であった。

C 型：20 歳代男性と 30 歳代女性の届出があった。感染地域は全て県内で、感染経路は針等の鋭利な物の刺入（入墨）1 人と不明 1 人であった。

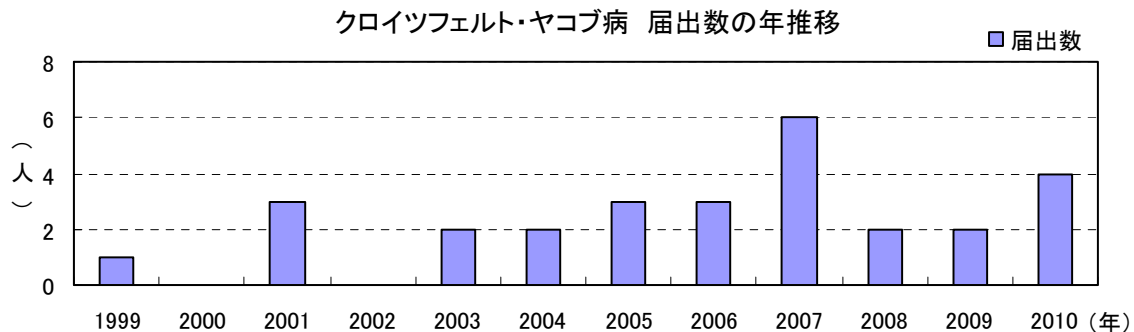
届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
6月 29日	26	今治	男	20歳代	C型	全身倦怠感、嘔吐、肝機能異常、黄疸	県内	針等の鋭利なものの刺入(入墨)
7月 20日	29	松山市	女	30歳代	C型	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、黄疸	県内	不明
8月 6日	31	松山市	男	40歳代	B型	全身倦怠感、褐色尿、黄疸	県内	異性間性的接触
11月 11日	45	西条	男	30歳代	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸	県内	異性間性的接触



クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病は4人の届出があり、病型は孤発性が3人、家族性が1人で、診断の確実度は全てほぼ確実例であった。性別は男性1人、女性3人で、年齢は70歳代3人、80歳代1人であった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型(診断の確実度)	症状
2月 5日	5	松山市	女	70歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、錐体路症状、視覚異常、記憶障害、精神・知能障害
10月 14日	41	松山	男	80歳代	家族性 (ほぼ確実)	進行性認知症、錐体路症状、錐体外路症状、記憶障害、精神・知能障害、筋強剛
11月 25日	47	松山市	女	70歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体外路症状、小脳症状、記憶障害、精神・知能障害、筋強剛
12月 16日	50	八幡浜	女	70歳代	孤発性 (ほぼ確実)	進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態



劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、60歳代男性1人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は不明であり、検出された病原体の血清群はA群であった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病原体	症状	感染地域	感染経路
11月 10日	45	松山市	男	60歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全、DIC、軟部組織炎	県内	不明

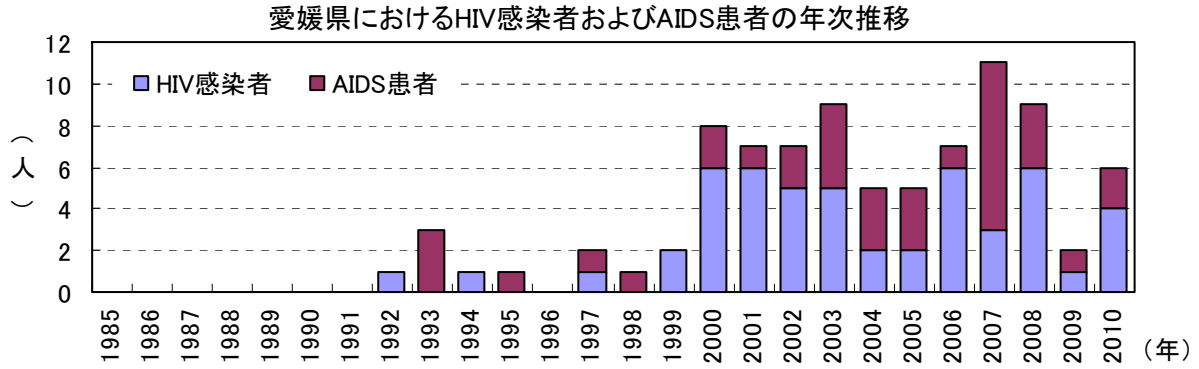
後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は6人の届出があり、病型は無症状病原体保有者4人、AIDS2人であった。性別は全て男性で、年齢は20歳代1人（無症状病原体保有者）、30歳代3人（無症状病原体保有者）、40歳代1人（AIDS）、50歳代1人（AIDS）であった。感染地域は国内4人、国外1人、不明1人で、感染経路は性的接触5人（異性間2人、同性間3人）、不明1人であった。

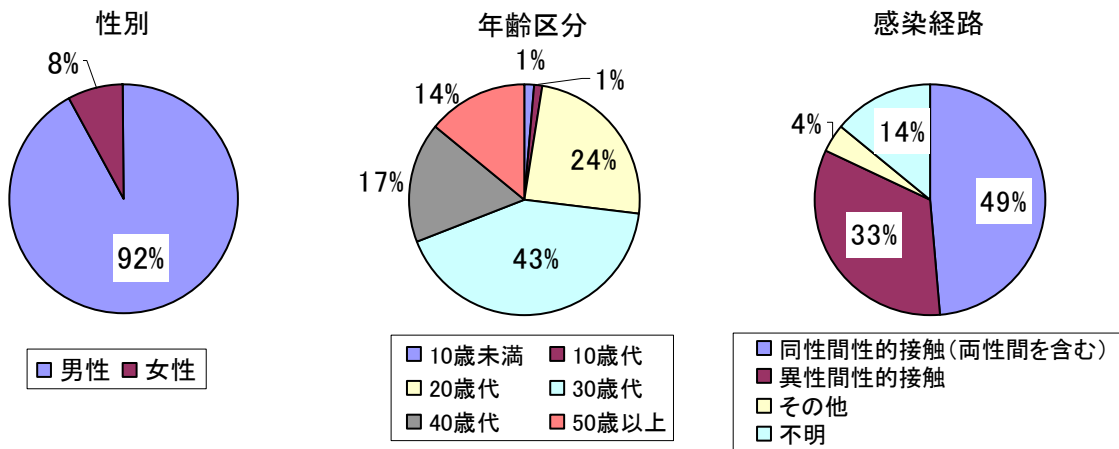
県内のHIV感染者（無症状病原体保有者）及びAIDS患者数の年次推移をみると、1992年に初めて届出されてから1999年までは毎年1～2人程度で推移していたが、2000年以降は年間5～11人と多い状態が続いている。2009年の届出数は2人に減少したが、本年は再び6人に増加した。

1999年4月以降、感染症法に基づいて届出された78人のうち、性別は男性が72人と全体の92.3%を占めている。また、男性72人のうち、20歳代が18人（25.0%）、30歳代が31人（43.1%）、40歳代が12人（16.7%）と多く、感染経路は性的接触が63人（異性間25人、同性間（両性間を含む）38人）と87.5%を占め、うち国内感染例が58人（92.1%）と多い。これらことから、県内におけるHIV感染は、20歳代から40歳代の男性を中心に、国内での性的接触によるものが多いと推察される。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
2月 4日	5	松山市	男	30歳代	無症状病原体保有者	国内	同性間性的接触
4月 2日	13	西条	男	30歳代	無症状病原体保有者	国内	異性間性的接触
8月 11日	32	松山	男	30歳代	無症状病原体保有者	国内	同性間性的接触
8月 19日	33	松山	男	40歳代	AIDS	国外	不明
8月 30日	35	松山	男	20歳代	無症状病原体保有者	国内	同性間性的接触
9月 17日	37	松山市	男	50歳代	AIDS	不明	異性間性的接触



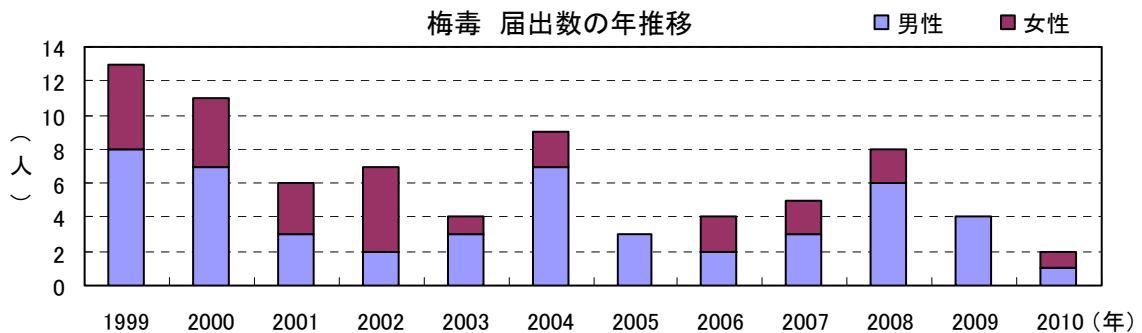
1999年4月以降 感染症法に基づいて届出された患者(78人)の内訳



梅毒

梅毒は 2 人の届出があり、病型は早期顕症梅毒（Ⅱ期）と晩期顕症梅毒であった。性別と年齢は、30 歳代男性と 30 歳代女性で、いずれも感染地域は国内、感染経路は性的接触であった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
8月 11日	32	松山	男	30歳代	早期顕症Ⅱ期	国内	性的接触 (同性間)
12月 24日	51	四国中央	女	30歳代	晩期顕症	国内	性的接触

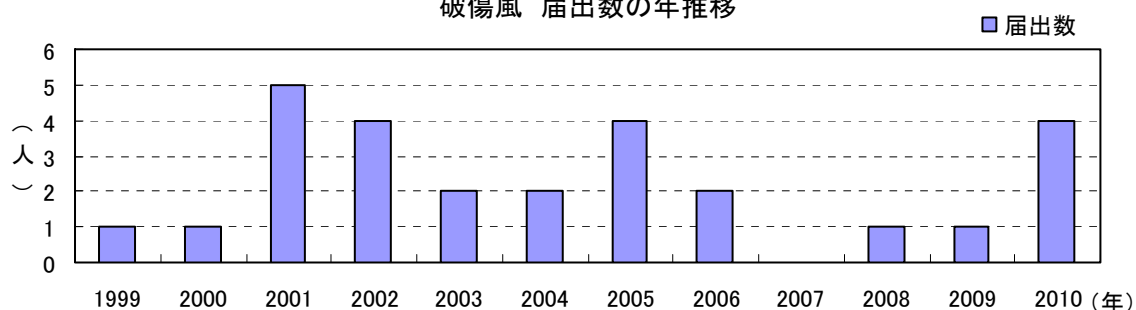


破傷風

破傷風は4人の届出があり、性別は男性3人、女性1人で、年齢は50歳代2人、70歳代2人であった。全て感染地域は県内、感染経路は創傷部位からの感染であった。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
8月 9日	32	松山市	女	70歳代	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害	県内	創傷感染
9月 9日	36	松山市	男	50歳代	開口障害、嚥下障害	県内	創傷感染
11月 2日	44	八幡浜	男	50歳代	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、強直性痙攣	県内	創傷感染
12月 13日	50	西条	男	70歳代	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害	県内	創傷感染

破傷風 届出数の年推移



麻しん

麻しんは3人の届出があり、病型は全て臨床診断例であった。性別は全て男性で、年齢は10歳代2人(小学生1人、中学生1人)、40歳代1人であった。感染地域は全て県内で、感染経路は不明であった。3人とも西条保健所管内からの届出であったが、いずれも散発的な発生であり、2次感染は確認されなかった。10歳代の患者は、予防接種歴があったが、40歳代の患者の接種歴は不明であった。県内では、本疾患が全数把握対象となった2008年に43人の届出があったが、2009年6人、2010年3人と大幅に減少している。

届出日	届出週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路	ワクチン接種歴
3月 9日	2	西条	男	10歳代(中学生)	麻しん(臨床診断例)	県内	不明	有(1回)
7月 12日	29	西条	男	10歳代(小学生)	麻しん(臨床診断例)	県内	不明	有(2回)
10月 19日	36	西条	男	40歳代	麻しん(臨床診断例)	県内	不明	不明

その他8疾患(急性脳炎、クリプトスポリジウム症、ジアルジア症、髄膜炎菌性髄膜炎、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん)の届出はなかった。

(6) 新型インフルエンザ等感染症

新型インフルエンザ(A/H1N1)

2009年8月25日付で感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令が施行され、新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る法第12条第1項の規定に基づく医師からの届出が不要となった。これにより、患者の動向はインフルエンザ定点からの患者報告により把握することとなったため、全数把握としての集計は実施していない。

その他の新型インフルエンザおよび再興型インフルエンザの届出はなかった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患届出状況(年推移)

感染症 類型	疾病名	年	愛媛県					全国									
			2010	2009	2008	2007	2006	2005	2010	2009	2008	2007	2006	2005			
一類	エボラ出血熱																
	クリミア・コンゴ出血熱																
	痘そう																
	南米出血熱*1													-	-		
	ペスト																
二類	マールブルグ病																
	ラッサ熱																
	急性灰白髄炎								2		2						
	結核*1	298	280	243	267	-	-	26,704	26,996	28,459	21,946	-	-				
三類	ジフテリア																
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限定)																
	鳥インフルエンザ(H5N1)															-	
	コレラ						1	10	16	45	13	45	56				
	細菌性赤痢		2	2	3	6		235	181	320	452	490	553				
四類	腸管出血性大腸菌感染症	21	68	28	26	16	24	4,131	3,889	4,321	4,617	3,922	3,589				
	腸チフス					2		32	29	57	47	72	50				
	バラチフス							21	27	27	22	26	20				
	E型肝炎	1						66	56	44	56	71	42				
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)															1	
	A型肝炎	4	1		1	4		346	115	169	157	320	170				
	エキノコックス症							17	27	23	25	20	20				
	黄熱																
	オウム病				1		1	11	21	9	29	22	34				
	オムスク出血熱*1																
	回帰熱							1									
	キャサヌル森林病*1																
	Q熱							2	2	3	7	2	8				
	狂犬病															2	
	コクシジオイデス症							1	2	2	3	2	5				
	サル痘																
	腎症候性出血熱																
	西部ウマ脳炎*1																
	ダニ媒介脳炎*1																
	炭疽																
	つつが虫病	3	1				2	406	465	442	382	417	345				
デング熱							245	93	104	89	58	74					
東部ウマ脳炎*1																	
鳥インフルエンザ(H5N1を除く)																	
ニバウイルス感染症																	
日本紅斑熱	17	10	5	4	8	4	133	132	135	98	49	62					
日本脳炎							4	3	3	10	7	7					
ハンタウイルス肺症候群																	
Bウイルス病																	
鼻疽*1																	
ブルセラ症							2	2	4	1	5	2					
ベネズエラウマ脳炎*1																	
ヘンドラウイルス感染症*1																	
発疹チフス																	
ボツリヌス症							1		2	3	2	3					
マラリア						2	76	56	56	52	62	67					
野兔病									5								
ライム病							13	9	5	11	13	8					
リッサウイルス感染症																	
リフトバレー熱*1																	
類鼻疽*1							4										
レジオネラ症	5	7	4	7	2		751	717	892	668	518	281					
レプトスピラ症							20	16	43	35	24	17					
ロッキー山紅斑熱*1																	
五類	アメーバ赤痢	3	5	9	5	5	4	845	786	871	801	752	698				
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	4	3	4	2	4	3	222	223	238	237	282	276				
	急性脳炎		8	2	1	1		241	526	192	228	167	188				
	クリプトスポリジウム症						1	16	17	10	6	18	12				
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	2	2	6	3	3	171	142	151	157	178	152				
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	1	1			127	103	104	95	106	60				
	後天性免疫不全症候群	6	2	9	11	7	5	1,549	1,446	1,565	1,493	1,348	1,203				
	ジアルジア症							80	70	73	53	86	86				
	髄膜炎菌性髄膜炎							7	10	10	17	14	10				
	先天性風しん症候群									2			2				
	梅毒	2	4	8	5	4	3	621	691	827	719	637	543				
	破傷風	4	1	1		2	4	106	113	123	89	117	115				
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							121	116	80	84	83	69				
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症							89	147	293							
	風しん*2			1				455	732	11,012							
	麻しん*2	3	6	43													
新型イン フルエンザ等	新型インフルエンザ(A/H1N1)	-	330	-	-	-	-	-	12,654	-	-	-	-	-	-		
	新型インフルエンザ*3																
	再興型インフルエンザ*3																
計		376	731	362	340	67	54	37,884	50,632	50,721	32,702	9,937	8,829				

注1:(*)1の疾患は2007年4月1日から、(*)2の疾患は2008年1月1日から、(*)3の疾患は2008年5月12日からの数値である。

注2:全国の2010年の報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

注3:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注4:急性脳炎は ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

注5:二類感染症 鳥インフルエンザ(H5N1)の報告数は、2006年6月12日から2008年5月11日までは指定感染症 インフルエンザ(H5N1)として報告された数値である。

注6:四類感染症 鳥インフルエンザ(H5N1を除く)の報告数は、2008年5月12日以前は鳥インフルエンザとして報告された数値である。

注7:新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2009年4月28日に指定、4月28日から7月23日までは全数報告、7月24日から8月24日は集団発生に関連した報告数(疑似症を含む)である。集計期間は、愛媛県が4月28日から8月24日、全国が7月24日から8月24日となっている。

なお、2009年8月25日以降は患者の届出方法が全数から定点に変更になったため、愛媛県、全国ともに未集計である。

表 2-1-2 2010年全数把握対象疾患届出状況(月別)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

感染症類型	疾病名	月													
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ベスト														
二類	マールブルグ病														
	ラッサ熱														
	急性灰白髄炎														
	結核	298	24	28	25	28	15	40	19	32	27	22	12	26	
	ジフテリア														
三類	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)														
	鳥インフルエンザ(H5N1)														
	コレラ														
	細菌性赤痢														
	腸管出血性大腸菌感染症	21		1			1		6	12			1		
四類	腸チフス														
	パラチフス														
	E型肝炎	1		1											
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
	A型肝炎	4				2		2							
	エキノコックス症														
	黄熱														
	オウム病														
	オムスク出血熱														
	回帰熱														
	キャサスル森林病														
	Q熱														
	狂犬病														
	コクシジオイデス症														
	サル痘														
	腎症候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎														
	炭疽														
	つつが虫病	3		1	1	1									
	デング熱														
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1は除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	17						1	2	1	3	2	2	3	3
	日本脳炎														
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														
	鼻疽														
	ブルセラ症														
	ベネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
	発疹チフス														
	ボツリヌス症														
	マラリア														
	野兔病														
	ライム病														
	リッサウイルス感染症														
	リフトバレー熱														
	類鼻疽														
	レジオネラ症	5						1		3					1
	レプトスピラ症														
	ロッキー山紅斑熱														
	五類	アメーバ赤痢	3						1		1			1	
		ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	4							1	1	1			1
急性脳炎															
クリプトスポリジウム症															
クロイツフェルト・ヤコブ病		4		1								1	1	1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1												1	
後天性免疫不全症候群		6		1			1			3	1				
ジアルジア症															
髄膜炎菌性髄膜炎															
先天性風しん症候群															
梅毒		2								1					1
破傷風		4								1	1		1	1	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症															
バンコマイシン耐性腸球菌感染症															
風しん															
麻疹	3			1					1			1			
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ(A/H1N1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	新型インフルエンザ														
	再興型インフルエンザ														
計		376	24	33	27	32	19	45	25	48	43	26	21	33	

(届出年月日による集計)

注1:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注2:急性脳炎はウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

注3:新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2009年4月28日に指定。2009年8月25日以降は患者の届出が不要となったため、未集計である。

表 2-1-3 2010年全数把握対象疾患届出状況(保健所別)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

感染症類型	疾病名	保健所							
		計	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島
一類	エボラ出血熱								
	クリミア・コンゴ出血熱								
	痘そう								
	南米出血熱								
	ペスト								
二類	マールブルグ病								
	ラッサ熱								
	急性灰白髄炎								
	結核	298	11	48	33	107	24	42	33
	ジフテリア								
三類	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)								
	鳥インフルエンザ(H5N1)								
	コレラ								
	細菌性赤痢								
	腸管出血性大腸菌感染症	21		1		19			1
四類	腸チフス								
	パラチフス								
	E型肝炎	1				1			
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)								
	A型肝炎	4		2			2		
	エキノкокクス症								
	黄熱								
	オウム病								
	オムスク出血熱								
	回帰熱								
	キャサヌル森林病								
	Q熱								
	狂犬病								
	コクシジオイデス症								
	サル痘								
	腎症候性出血熱								
	西部ウマ脳炎								
	ダニ媒介脳炎								
	炭疽								
	つつが虫病	3			2	1			
	デング熱								
	東部ウマ脳炎								
	鳥インフルエンザ(H5N1は除く)								
	ニパウイルス感染症								
	日本紅斑熱	17					7		10
	日本脳炎								
	ハンタウイルス肺症候群								
	Bウイルス病								
	鼻疽								
	ブルセラ症								
	ベネズエラウマ脳炎								
	ヘンドラウイルス感染症								
	発疹チフス								
	ボツリヌス症								
	マラリア								
野兔病									
ライム病									
リッサウイルス感染症									
リフトバレー熱									
類鼻疽									
レジオネラ症	5			1	1	3			
レプトスピラ症									
ロッキー山紅斑熱									
五類	アメーバ赤痢	3			1	1	1		
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	4		1	1	2			
	急性脳炎								
	クリプトスポリジウム症								
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4				2	1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1			
	後天性免疫不全症候群	6		1		2	3		
	ジアルジア症								
	髄膜炎菌性髄膜炎								
	先天性風しん症候群								
	梅毒	2	1				1		
	破傷風	4		1		2		1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症								
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								
	風しん								
麻しん	3		3						
新型インフルエンザ等									
新型インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—		
再興型インフルエンザ									
計	376	12	57	38	146	35	44	44	

(届出受理保健所による集計)

注1:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注2:急性脳炎はウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

注3:新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2009年4月28日に指定。2009年8月25日以降は患者の届出が不要となったため、未集計である。

表 2-1-4 2010年全数把握対象疾患届出状況(年齢別)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

感染症類型	疾病名	年齢区分																	
		計	0歳	1歳	5歳	10歳	15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳以上	
一類	エボラ出血熱																		
	クリミア・コンゴ出血熱																		
	痘そう																		
	南米出血熱																		
	ペスト																		
	マールブルグ病																		
二類	ラッサ熱																		
	急性灰白髄炎																		
	結核	298	1	3	3		2	6	11	9	8	16	9	9	18	17	22	164	
	ジフテリア																		
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																		
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)																		
	コレラ																		
	細菌性赤痢																		
	腸管出血性大腸菌感染症	21		11	2		1		1	2	1							3	
四類	腸チフス																		
	パラチフス																		
	E型肝炎	1																	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																		
	A型肝炎	4						2		1				1					
	エキノкокクス症																		
	黄熱																		
	オウム病																		
	オムスク出血熱																		
	回帰熱																		
	キャサヌル森林病																		
	Q熱																		
	狂犬病																		
	コクシジオイデス症																		
	サル痘																		
	腎症候性出血熱																		
	西部ウマ脳炎																		
	ダニ媒介脳炎																		
	炭疽																		
	つつが虫病	3																2	1
	デング熱																		
	東部ウマ脳炎																		
	鳥インフルエンザ(H5N1は除く)																		
	ニパウイルス感染症																		
	日本紅斑熱	17			1											2	8	3	3
	日本脳炎																		
	ハンタウイルス肺症候群																		
	Bウイルス病																		
	鼻疽																		
	ブルセラ症																		
	ベネズエラウマ脳炎																		
	ヘンドラウイルス感染症																		
	発疹チフス																		
	ポツリヌス症																		
	マラリア																		
	野兔病																		
	ライム病																		
リッサウイルス感染症																			
リフトバレー熱																			
類鼻疽																			
レジオネラ症	5	2															1	2	
レプトスピラ症																			
ロッキー山紅斑熱																			
五類	アメーバ赤痢	3										1				1	1		
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	4								1	1	1	1						
	急性脳炎																		
	クリプトスポリジウム症																		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4																4	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1															1		
	後天性免疫不全症候群	6								1	2	1		1	1				
	ビアルジア症																		
	髄膜炎菌性髄膜炎																		
	先天性風しん症候群																		
	梅毒	2									1	1							
	破傷風	4															2		2
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症																		
風しん																			
麻しん	3				1	1						1							
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ(A/H1N1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	新型インフルエンザ																		
	再興型インフルエンザ																		
	計	376	3	14	6	1	4	8	14	16	13	18	10	11	24	29	29	176	

(届出時の年齢による集計)

注1:2007年4月1日からの法改正に伴い、疾患の追加及び並び順を変更している。

注3:急性脳炎はウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

注3:新型インフルエンザ(A/H1N1)は、2009年4月28日に指定。2009年8月25日以降は患者の届出が不要となったため、未集計である。

2 定点把握対象 五類感染症

(1) 定点把握対象疾患 発生動向の概況

2010年(平成22年)における定点把握感染症の流行状況を、愛媛県内の流行規模で分類した。週報対象疾患は以下のとおりであった。なお、(イ)はインフルエンザ定点、(小)は小児科定点、(眼)は眼科定点、(基)は基幹定点からの報告疾患であることを示す。

① 例年と異なる動向を示し、大きな流行となった疾患

インフルエンザ(イ)：2009/2010シーズン(2009年第36週～2010年第35週)の患者報告数は24,884人(定点当たり407.93人/シーズン)で、過去10シーズン(定点当たり平均217.64人/シーズン)では最大の流行規模であった。前シーズン終盤の2009年第31週(7月下旬)に発生したAH1pdm09がシーズン序盤の第43週(10月下旬)から急激に増加し、5週後の第48週(11月下旬)に流行のピークに達した。その後、2010年第7週(2月中旬)には定点当たり1.0人週を下回り、流行は沈静化した。シーズンを通じた地区別の定点当たり報告数に大きな地域差は認められず、県内全域での流行であった。

② 例年と比較し、大きな流行となった疾患

RSウイルス感染症(小)：2009/2010シーズンの患者報告数は1,239人(定点当たり33.49人/シーズン)で、前シーズンから1.6倍に増加し、定点観測開始(2003年11月)以降、最大の流行規模であった。本シーズンは、過去5年と比較して最も遅い第6週(2月中旬)に流行のピークを迎え、4月上旬まで流行が続いた。地域別では今治地区が最も多く、年齢別では3歳以下の乳幼児が全体の86.3%を占めた。

手足口病(小)：2010年の患者報告数は3,974人(定点当たり107.41人/年)で、前年に比べて2.4倍に増加し、過去10年では最大の発生規模となった。例年よりも早い3月から県内各地で増加し、特に八幡浜地区、宇和島地区では他の地区に比べ突出して大きな流行ピークを形成した。県全体では第20週(5月中旬)に流行ピークを迎え、8月中旬まで続いた。病原体は、エンテロウイルス71型が検出された。

マイコプラズマ肺炎(基)：2010年の患者報告数は295人(定点当たり49.17人/年)で、前年からさらに増加し、過去10年で最大の発生規模となった。9月以降、四国中央地区、八幡浜地区、宇和島地区で増加し、11月から12月上旬にかけて流行のピークに達した。県全体では、第45週、第48週に定点当たり3.00人週と過去10年で最大のピークを形成した。地域別では四国中央地区、八幡浜地区が突出して多く、全体の85.4%を占めた。年齢別では、乳児から高齢者まで幅広い年齢層にわたって報告があり、0～4歳が全体の49.2%を占めた。

③ 例年と同程度の流行となった疾患

感染性胃腸炎(小)：2009/2010シーズンの患者報告数は15,722人(定点当たり424.92人/シーズン)で、前シーズンと大きな変動はなく、過去10シーズン(定点当たり平均441.03人/シーズン)では平均的な流行規模であった。地域別では松山市が突出して多く、年齢別では乳幼児から成人まで全年齢層にわたって報告があったが1～6歳が全体の67.3%を占めた。病原体は12月の第1のピークではノロウイルス、3～4月の第2のピークではロタウイルス、夏季は下痢原性大腸菌の検出割合が高かった。

水痘(小)：2010年の患者報告数は3,770人(定点当たり101.89人/年)で、過去10年で最も少なかった前年に比べ1.4倍に増加したが、過去10年(定点当たり平均97.95人/年)では平均的な発生規模であった。地域別では松山市が最も多く、年齢別では1～6歳が全体の87.1%を占めた。

百日咳(小)：2010年の患者報告数は17人(定点当たり0.46人/年)で、前年に比べて減少したが、過去2年続けて発生した地域流行は認められず、2007年以前の平均的な発生規模に戻った。年齢別では、6歳以下の乳幼児が全体の47.1%を、20歳以上の成人が全体の29.4%を占めた。

④ 例年と比較し、小さな流行となった疾患

咽頭結膜熱（小）：2010年の患者報告数は295人（定点当たり7.97人/年）で、前年に比べ減少し、過去10年では2007年に次ぐ小規模な発生であった。地域別では松山市、今治地区がやや多く、年齢別では1～6歳が全体の83.7%を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（小）：2009年の患者報告数は1,836人（定点当たり49.62人/年）で、前年に比べ減少し、過去10年では最も小規模な発生であった。本年は、初夏の多発傾向が認められず、例年と比較し低位で推移した。地域別では松山地区が突出して多く、年齢別では1～6歳が全体の61.2%を占めた。

伝染性紅斑（小）：2010年の患者報告数は276人（定点当たり7.46人/年）で、前年から微増したが、過去10年（定点当たり平均13.30人/年）と比較してやや小規模な発生であり、2008年から2010年は非流行期と考えられた。地域別では西条地区で最も多く、年齢別では3～6歳が全体の59.8%を占めた。

突発性発しん（小）：2010年の患者報告数は1,579人（定点当たり42.68人/年）で、前年に比べ減少した。年間患者報告数は2005年をピークに減少傾向が続いており、本年は過去10年で最小の発生規模となった。夏季に報告数がやや増加したが、年間を通じ大きな変動はなかった。地域別では松山地区が最も多く、年齢別では1歳以下が全体の96.5%を占めた。

ヘルパンギーナ（小）：2010年の患者報告数は1,645人（定点当たり44.46人/年）で、前年からやや増加したが、過去10年では2002年、2009年に次ぐ小規模な発生であった。4月に入り今治地区で患者数が増加し始め、次第に県内全域で増加傾向を示し、県全体では7月中旬に流行のピークを迎えた。地域別では今治地区で突出して多く、年齢別では1～4歳が全体の77.1%を占めた。

流行性耳下腺炎（小）：2010年の患者報告数は1,155人（定点当たり31.22人/年）で、前年に比べ減少し、過去10年（定点当たり平均51.76人/年）と比較し、小規模な発生であった。4月から今治地区、6月から四国中央地区、10月下旬から八幡浜地区でそれぞれ小流行が発生し、県全体では年間を通じ漸増傾向を示した。年齢別では、1～6歳が全体の72.8%を占めた。

流行性角結膜炎（眼）：2010年の患者報告数は524人（定点当たり65.50人/年）で、前年と大きな変動はなく、過去10年で最も小規模な発生であった。例年8～9月に増加傾向を示すが、本年は年間を通じ低位で推移し、明瞭な増加傾向は認められなかった。地域別では今治地区が最も多く、年齢別では20歳代以上が全体の73.1%を占めた。

⑤ 報告が少なかった疾患

急性出血性結膜炎（眼）：2010年の患者報告数は10人（定点当たり1.25人/年）で、前年から微増した。本疾患は、2004年9～10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。

細菌性髄膜炎（基）：2010年の患者報告数は6人（定点当たり1.00人/年）で、前年に比べ微増した。病原体は、腸球菌、表皮ブドウ球菌、インフルエンザ菌が各1人、不明（または報告時検査中）が3人であった。

無菌性髄膜炎（基）：2010年の患者報告数は10人（定点当たり1.67人/年）で、前年に比べ増加した。病原体は、ムンプスウイルス1人、不明（または報告時検査中）9人であった。

クラミジア肺炎（基）：患者報告はなかった。2004年以降、6年連続して患者報告のない状況が続いている。

STD 定点対象疾患（月報）では、**性器クラミジア感染症**（171人）、**淋菌感染症**（105人）は2009年に比べて増加し、**性器ヘルペスウイルス感染症**（52人）は2009年とほぼ同じ、**尖圭コンジローマ**（35人）は2009年に比べ微減した。

基幹定点対象疾患（月報）では、**メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症**（137人）は2009年に比べ減少し、**ペニシリン耐性肺炎球菌感染症**（1人）、**薬剤耐性緑膿菌感染症**（4人）は少数例の報告に留まった。

表2-2-1 週報対象疾患一週別患者報告数

週	期間	インフルエンザ 定点	小児科定点							
		インフルエンザ	R S ウイルス 感染症	咽 頭 結 膜 熱	咽 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん
1	1/4 ~ 1/10	1,025	49	1	26	459	88	7	2	33
2	1/11 ~ 1/17	791	53		24	686	39	5	3	29
3	1/18 ~ 1/24	696	63	3	37	924	64	6	4	31
4	1/25 ~ 1/31	333	119	2	35	976	50	3	10	37
5	2/1 ~ 2/7	193	128	2	70	875	56	5	9	39
6	2/8 ~ 2/14	93	140	4	37	775	60	13	3	39
7	2/15 ~ 2/21	31	129	8	46	650	69	8	4	25
8	2/22 ~ 2/28	9	119	7	44	668	94	34	11	33
9	3/1 ~ 3/7	2	96	7	50	519	80	29	4	33
10	3/8 ~ 3/14	2	62	4	36	520	73	65	5	24
11	3/15 ~ 3/21	2	43	5	39	406	84	66	15	35
12	3/22 ~ 3/28		20	1	34	312	88	66	8	19
13	3/29 ~ 4/4	2	13	7	31	320	98	119	11	20
14	4/5 ~ 4/11		5	7	22	311	110	87	5	28
15	4/12 ~ 4/18	5	7	5	36	348	92	148	8	26
16	4/19 ~ 4/25	5	2	4	37	455	112	267	11	23
17	4/26 ~ 5/2	9	6	4	28	467	103	293	11	26
18	5/3 ~ 5/9		4	2	18	349	100	139	6	20
19	5/10 ~ 5/16	1	5	1	39	443	109	180	5	37
20	5/17 ~ 5/23		4	8	43	356	109	378	11	32
21	5/24 ~ 5/30		3	6	36	330	134	358	9	25
22	5/31 ~ 6/6		6	11	30	289	106	306	8	21
23	6/7 ~ 6/13		4	7	35	331	128	183	12	19
24	6/14 ~ 6/20		1	8	32	241	107	145	11	27
25	6/21 ~ 6/27			10	18	214	119	194	13	33
26	6/28 ~ 7/4		4	18	20	177	72	183	3	30
27	7/5 ~ 7/11			17	28	178	86	175	10	28
28	7/12 ~ 7/18		1	10	21	182	57	134	4	36
29	7/19 ~ 7/25	1		10	11	121	77	107	5	39
30	7/26 ~ 8/1	1		10	11	119	49	75	2	45
31	8/2 ~ 8/8		3	6	14	129	73	58	1	41
32	8/9 ~ 8/15		5	12	20	114	51	30	9	35
33	8/16 ~ 8/22	2	3	9	20	134	71	19	6	42
34	8/23 ~ 8/29		4	9	18	136	43	14	3	41
35	8/30 ~ 9/5	3	2	12	26	141	41	13	2	42
36	9/6 ~ 9/12	1	2	14	23	118	48	14		31
37	9/13 ~ 9/19		3	5	31	137	24	13	4	28
38	9/20 ~ 9/26		3		18	113	22	4	2	39
39	9/27 ~ 10/3		11	1	30	150	23	5	3	36
40	10/4 ~ 10/10		10	3	31	143	12	2	1	36
41	10/11 ~ 10/17		3		19	140	35	1	2	29
42	10/18 ~ 10/24	5	17	3	44	137	22	1	1	21
43	10/25 ~ 10/31	2	8	2	49	172	35	2		21
44	11/1 ~ 11/7	16	19	3	47	218	26	5		45
45	11/8 ~ 11/14	8	17	3	70	309	56	2		20
46	11/15 ~ 11/21	4	12	2	51	479	42	1		20
47	11/22 ~ 11/28	11	15	2	53	557	57	1	1	32
48	11/29 ~ 12/5	23	21	3	66	703	82	1	3	19
49	12/5 ~ 12/12	18	42	5	62	939	93		4	21
50	12/13 ~ 12/19	25	54	6	92	1,090	107	2	4	34
51	12/20 ~ 12/26	26	46	3	56	888	100	5	6	34
52	12/27 ~ 1/2	23	40	3	22	447	94	3	1	20
合計		3,368	1,426	295	1,836	20,395	3,770	3,974	276	1,579
男性		1,685	766	174	975	11,022	1,961	2,124	149	821
女性		1,683	660	121	861	9,373	1,809	1,850	127	758

(人)

百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	眼科定点		基幹定点				定点数						
			急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹			
	1	5		8				4				61	37	8	6
		6	1	3				2				61	37	8	6
		9		10				1				61	37	8	6
		5		10				7				61	37	8	6
		6		8				7				61	37	8	6
1		3		10				1				61	37	8	6
1		4		3				1				61	37	8	6
		9		6				7				61	37	8	6
	1	2	1	8			1	3				61	37	8	6
1		5	2	12				3				61	37	8	6
	2	1		19	1			4				61	37	8	6
	2	3		5			1	1				61	37	8	6
	1	18		4				5				61	37	8	6
	4	14		9				3				61	37	8	6
	10	14		7				2				61	37	8	6
2	11	12		12				9				61	37	8	6
	18	7		10	1			2				61	37	8	6
	7	20		9				4				61	37	8	6
	28	29		12	1			4				61	37	8	6
1	24	17		11				8				61	37	8	6
1	37	31		5				4				61	37	8	6
1	50	22		15			1	6				61	37	8	6
	51	28		12				4				61	37	8	6
1	64	32		12				4				61	37	8	6
1	112	31		15			2	8				61	37	8	6
	152	23		10				8				61	37	8	6
	211	28		14				2				61	37	8	6
	184	27		9			1	2				61	37	8	6
1	178	27		11			1	2				61	37	8	6
	111	22		11				4				61	37	8	6
	82	26		13				4				61	37	8	6
	64	20	1	12				4				61	37	8	6
	55	11		4				1				61	37	8	6
	33	24		7				2				61	37	8	6
	29	18		8				2				61	37	8	6
	30	32		12			1					61	37	8	6
	22	32	1	10				6				61	37	8	6
1	5	40	2	4	1			4				61	37	8	6
	7	26		8				6				61	37	8	6
	15	18		6				6				61	37	8	6
1	8	31		11				11				61	37	8	6
	7	37		14				8				61	37	8	6
1	4	46		9			1	5				61	37	8	6
	9	29		12	2			7				61	37	8	6
	4	30		9				18				61	37	8	6
	1	28		13				13				61	37	8	6
1	2	37		14				16				61	37	8	6
		32	1	13				18				61	37	8	6
1	5	40		18				14				61	37	8	6
	3	38		15			1	12				61	37	8	6
1		54	1	16				14				61	37	8	6
	1	46		6				2				61	37	8	6
17	1,645	1,155	10	524	6	10		295							
5	855	613	7	255	2	7		141							
12	790	542	3	269	4	3		154							

表2-2-2 週報対象疾患一週別定点当たり患者報告数

週	期 間	インフルエンザ 定点	小児科定点							
		イン フル エン ザ	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 菌 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
1	1/4 ~ 1/10	16.80	1.32	0.03	0.70	12.41	2.38	0.19	0.05	0.89
2	1/11 ~ 1/17	12.97	1.43		0.65	18.54	1.05	0.14	0.08	0.78
3	1/18 ~ 1/24	11.41	1.70	0.08	1.00	24.97	1.73	0.16	0.11	0.84
4	1/25 ~ 1/31	5.46	3.22	0.05	0.95	26.38	1.35	0.08	0.27	1.00
5	2/1 ~ 2/7	3.16	3.46	0.05	1.89	23.65	1.51	0.14	0.24	1.05
6	2/8 ~ 2/14	1.52	3.78	0.11	1.00	20.95	1.62	0.35	0.08	1.05
7	2/15 ~ 2/21	0.51	3.49	0.22	1.24	17.57	1.86	0.22	0.11	0.68
8	2/22 ~ 2/28	0.15	3.22	0.19	1.19	18.05	2.54	0.92	0.30	0.89
9	3/1 ~ 3/7	0.03	2.59	0.19	1.35	14.03	2.16	0.78	0.11	0.89
10	3/8 ~ 3/14	0.03	1.68	0.11	0.97	14.05	1.97	1.76	0.14	0.65
11	3/15 ~ 3/21	0.03	1.16	0.14	1.05	10.97	2.27	1.78	0.41	0.95
12	3/22 ~ 3/28		0.54	0.03	0.92	8.43	2.38	1.78	0.22	0.51
13	3/29 ~ 4/4	0.03	0.35	0.19	0.84	8.65	2.65	3.22	0.30	0.54
14	4/5 ~ 4/11		0.14	0.19	0.59	8.41	2.97	2.35	0.14	0.76
15	4/12 ~ 4/18	0.08	0.19	0.14	0.97	9.41	2.49	4.00	0.22	0.70
16	4/19 ~ 4/25	0.08	0.05	0.11	1.00	12.30	3.03	7.22	0.30	0.62
17	4/26 ~ 5/2	0.15	0.16	0.11	0.76	12.62	2.78	7.92	0.30	0.70
18	5/3 ~ 5/9		0.11	0.05	0.49	9.43	2.70	3.76	0.16	0.54
19	5/10 ~ 5/16	0.02	0.14	0.03	1.05	11.97	2.95	4.86	0.14	1.00
20	5/17 ~ 5/23		0.11	0.22	1.16	9.62	2.95	10.22	0.30	0.86
21	5/24 ~ 5/30		0.08	0.16	0.97	8.92	3.62	9.68	0.24	0.68
22	5/31 ~ 6/6		0.16	0.30	0.81	7.81	2.86	8.27	0.22	0.57
23	6/7 ~ 6/13		0.11	0.19	0.95	8.95	3.46	4.95	0.32	0.51
24	6/14 ~ 6/20		0.03	0.22	0.86	6.51	2.89	3.92	0.30	0.73
25	6/21 ~ 6/27			0.27	0.49	5.78	3.22	5.24	0.35	0.89
26	6/28 ~ 7/4		0.11	0.49	0.54	4.78	1.95	4.95	0.08	0.81
27	7/5 ~ 7/11			0.46	0.76	4.81	2.32	4.73	0.27	0.76
28	7/12 ~ 7/18		0.03	0.27	0.57	4.92	1.54	3.62	0.11	0.97
29	7/19 ~ 7/25	0.02		0.27	0.30	3.27	2.08	2.89	0.14	1.05
30	7/26 ~ 8/1	0.02		0.27	0.30	3.22	1.32	2.03	0.05	1.22
31	8/2 ~ 8/8		0.08	0.16	0.38	3.49	1.97	1.57	0.03	1.11
32	8/9 ~ 8/15		0.14	0.32	0.54	3.08	1.38	0.81	0.24	0.95
33	8/16 ~ 8/22	0.03	0.08	0.24	0.54	3.62	1.92	0.51	0.16	1.14
34	8/23 ~ 8/29		0.11	0.24	0.49	3.68	1.16	0.38	0.08	1.11
35	8/30 ~ 9/5	0.05	0.05	0.32	0.70	3.81	1.11	0.35	0.05	1.14
36	9/6 ~ 9/12	0.02	0.05	0.38	0.62	3.19	1.30	0.38		0.84
37	9/13 ~ 9/19		0.08	0.14	0.84	3.70	0.65	0.35	0.11	0.76
38	9/20 ~ 9/26		0.08		0.49	3.05	0.59	0.11	0.05	1.05
39	9/27 ~ 10/3		0.30	0.03	0.81	4.05	0.62	0.14	0.08	0.97
40	10/4 ~ 10/10		0.27	0.08	0.84	3.86	0.32	0.05	0.03	0.97
41	10/11 ~ 10/17		0.08		0.51	3.78	0.95	0.03	0.05	0.78
42	10/18 ~ 10/24	0.08	0.46	0.08	1.19	3.70	0.59	0.03	0.03	0.57
43	10/25 ~ 10/31	0.03	0.22	0.05	1.32	4.65	0.95	0.05		0.57
44	11/1 ~ 11/7	0.26	0.51	0.08	1.27	5.89	0.70	0.14		1.22
45	11/8 ~ 11/14	0.13	0.46	0.08	1.89	8.35	1.51	0.05		0.54
46	11/15 ~ 11/21	0.07	0.32	0.05	1.38	12.95	1.14	0.03		0.54
47	11/22 ~ 11/28	0.18	0.41	0.05	1.43	15.05	1.54	0.03	0.03	0.86
48	11/29 ~ 12/5	0.38	0.57	0.08	1.78	19.00	2.22	0.03	0.08	0.51
49	12/5 ~ 12/12	0.30	1.14	0.14	1.68	25.38	2.51		0.11	0.57
50	12/13 ~ 12/19	0.41	1.46	0.16	2.49	29.46	2.89	0.05	0.11	0.92
51	12/20 ~ 12/26	0.43	1.24	0.08	1.51	24.00	2.70	0.14	0.16	0.92
52	12/27 ~ 1/2	0.38	1.08	0.08	0.59	12.08	2.54	0.08	0.03	0.54
合計		55.21	38.54	7.97	49.62	551.22	101.89	107.41	7.46	42.68
男性		27.62	20.70	4.70	26.35	297.89	53.00	57.41	4.03	22.19
女性		27.59	17.84	3.27	23.27	253.32	48.89	50.00	3.43	20.49

(人/定点当たり)

			眼科定点		基幹定点				定点数			
百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
	0.03	0.14		1.00			0.67		61	37	8	6
		0.16	0.13	0.38			0.33		61	37	8	6
		0.24		1.25			0.17		61	37	8	6
		0.14		1.25			1.17		61	37	8	6
		0.16		1.00			1.17		61	37	8	6
0.03		0.08		1.25			0.17		61	37	8	6
0.03		0.11		0.38			0.17		61	37	8	6
		0.24		0.75			1.17		61	37	8	6
	0.03	0.05	0.13	1.00		0.17	0.50		61	37	8	6
0.03		0.14	0.25	1.50			0.50		61	37	8	6
	0.05	0.03		2.38	0.17		0.67		61	37	8	6
	0.05	0.08		0.63		0.17	0.17		61	37	8	6
	0.03	0.49		0.50			0.83		61	37	8	6
	0.11	0.38		1.13			0.50		61	37	8	6
	0.27	0.38		0.88			0.33		61	37	8	6
0.05	0.30	0.32		1.50			1.50		61	37	8	6
	0.49	0.19		1.25	0.17		0.33		61	37	8	6
	0.19	0.54		1.13			0.67		61	37	8	6
	0.76	0.78		1.50	0.17		0.67		61	37	8	6
0.03	0.65	0.46		1.38			1.33		61	37	8	6
0.03	1.00	0.84		0.63			0.67		61	37	8	6
0.03	1.35	0.59		1.88		0.17	1.00		61	37	8	6
	1.38	0.76		1.50			0.67		61	37	8	6
0.03	1.73	0.86		1.50			0.67		61	37	8	6
0.03	3.03	0.84		1.88		0.33	1.33		61	37	8	6
	4.11	0.62		1.25			1.33		61	37	8	6
	5.70	0.76		1.75			0.33		61	37	8	6
	4.97	0.73		1.13		0.17	0.33		61	37	8	6
0.03	4.81	0.73		1.38		0.17	0.33		61	37	8	6
	3.00	0.59		1.38			0.67		61	37	8	6
	2.22	0.70		1.63			0.67		61	37	8	6
	1.73	0.54	0.13	1.50			0.67		61	37	8	6
	1.49	0.30		0.50			0.17		61	37	8	6
	0.89	0.65		0.88			0.33		61	37	8	6
	0.78	0.49		1.00			0.33		61	37	8	6
	0.81	0.86		1.50		0.17			61	37	8	6
	0.59	0.86	0.13	1.25			1.00		61	37	8	6
0.03	0.14	1.08	0.25	0.50	0.17		0.67		61	37	8	6
	0.19	0.70		1.00			1.00		61	37	8	6
	0.41	0.49		0.75			1.00		61	37	8	6
0.03	0.22	0.84		1.38			1.83		61	37	8	6
	0.19	1.00		1.75			1.33		61	37	8	6
0.03	0.11	1.24		1.13		0.17	0.83		61	37	8	6
	0.24	0.78		1.50	0.33		1.17		61	37	8	6
	0.11	0.81		1.13			3.00		61	37	8	6
	0.03	0.76		1.63			2.17		61	37	8	6
0.03	0.05	1.00		1.75			2.67		61	37	8	6
		0.86	0.13	1.63			3.00		61	37	8	6
0.03	0.14	1.08		2.25			2.33		61	37	8	6
	0.08	1.03		1.88		0.17	2.00		61	37	8	6
0.03		1.46	0.13	2.00			2.33		61	37	8	6
	0.03	1.24		0.75			0.33		61	37	8	6
0.46	44.46	31.22	1.25	65.50	1.00	1.67	49.17					
0.14	23.11	16.57	0.88	31.88	0.33	1.17	23.50					
0.32	21.35	14.65	0.38	33.63	0.67	0.50	25.67					

表2-2-3 週報対象疾患一年齢区分別患者報告数

年齢区分	小児科定点													眼科定点				基幹定点			
	インフルエンザ 定点	R S ウイルス感染症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	へ ル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			
年齢区分																					
6ヶ月未満	24	179	4		195	78	18		41		12					2	2	11			
12ヶ月未満	76	239	20	9	1,235	214	137	7	803	3	125	5			3	4	134				
1歳	169	406	63	22	3,300	748	722	9	680		442	54				3	79				
2歳	182	258	46	69	2,632	791	786	15	47	2	356	132				1	33				
3歳	226	161	56	197	2,435	715	723	37	4	1	273	165					3				
4歳	258	104	41	270	2,208	527	576	35	1	1	197	199					2				
5歳	242	52	22	322	1,951	334	481	46	1	1	119	154					5				
6歳	229	13	19	244	1,542	169	235	47	1		51	137					6				
7歳	195	5	4	200	1,037	75	134	29	1		26	98					5				
8歳	194	3	3	152	800	47	62	14			20	75					2				
9歳	182	1	7	114	671	26	42	18		1	8	49					6				
10～14歳	467	3	10	207	1,570	39	47	17		3	12	75				1	4				
15～19歳	141			8	164	2	1					3									
20～29歳 ¹⁾	274	2		22	655	5	10	2		5	4	9	3				2				
30～39歳	212												1								
40～49歳	114												3								
50～59歳	105												2								
60～69歳	44																				
70～79歳 ²⁾	29												1								
80歳以上	5																3				
合計	3,368	1,426	295	1,836	20,395	3,770	3,974	276	1,579	17	1,645	1,155	10		6	10	295				

1)小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20～29歳"に計上。

2)眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70～79歳"に計上。

表2-2-4 月報対象疾患一月別患者報告数

(人)

月	STD定点						基幹定点						定点数					
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	S	T D				
1	14	12	2	6	5	1	3	3		8	8		4	3	1	1	11	6
2	9	6	3	2	2		3	3		8	8		12	8	4		11	6
3	12	6	6	4	3	1	2	2		11	9	2	15	9	6		11	6
4	10	6	4	6	5	1				3	3		9	4	5		11	6
5	15	12	3	5	3	2	5	4	1	5	4	1	13	9	4		11	6
6	13	11	2	6	3	3	5	1	4	8	7	1	15	11	4		11	6
7	19	15	4	5	5		3	3		12	12		9	3	6		11	6
8	19	16	3	4	4		3	1	2	14	14		8	6	2		11	6
9	16	15	1	3	2	1	3	2	1	10	10		11	5	6		11	6
10	15	9	6				3		3	9	8	1	15	13	2		11	6
11	18	9	9	7	6	1	2	1	1	11	7	4	16	8	8		11	6
12	11	7	4	4	4		3	1	2	6	6		10	5	5		11	6
合計	171	124	47	52	42	10	35	21	14	105	96	9	137	84	53	1	4	4

表2-2-5 月報対象疾患一月別定点当たり患者報告数

月	STD定点						基幹定点						定点数					
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		S	T D		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男			女	
1	1.27	1.09	0.18	0.55	0.45	0.09	0.27	0.27	0.73	0.73		0.67	0.50	0.17	0.17	11	6	
2	0.82	0.55	0.27	0.18	0.18		0.27	0.27	0.73	0.73		2.00	1.33	0.67		11	6	
3	1.09	0.55	0.55	0.36	0.27	0.09	0.18	0.18	1.00	0.82	0.18	2.50	1.50	1.00		11	6	
4	0.91	0.55	0.36	0.55	0.45	0.09			0.27	0.27		1.50	0.67	0.83		11	6	
5	1.36	1.09	0.27	0.45	0.27	0.18	0.45	0.36	0.45	0.36	0.09	2.17	1.50	0.67		11	6	
6	1.18	1.00	0.18	0.55	0.27	0.27	0.45	0.09	0.73	0.64	0.09	2.50	1.83	0.67		11	6	
7	1.73	1.36	0.36	0.45	0.45		0.27	0.27	1.09	1.09		1.50	0.50	1.00		11	6	
8	1.73	1.45	0.27	0.36	0.36		0.27	0.09	1.27	1.27		1.33	1.00	0.33	0.17	0.17	11	6
9	1.45	1.36	0.09	0.27	0.18	0.09	0.27	0.18	0.91	0.91		1.83	0.83	1.00	0.17	0.17	11	6
10	1.36	0.82	0.55				0.27		0.82	0.73	0.09	2.50	2.17	0.33	0.33	0.33	11	6
11	1.64	0.82	0.82	0.64	0.55	0.09	0.18	0.09	1.00	0.64	0.36	2.67	1.33	1.33		11	6	
12	1.00	0.64	0.36	0.36	0.36		0.27	0.09	0.55	0.55		1.67	0.83	0.83		11	6	
合計	15.55	11.27	4.27	4.73	3.82	0.91	3.18	1.91	9.55	8.73	0.82	22.83	14.00	8.83	0.67	0.67	111	66

表2-2-6 月報対象疾患一年齢区分別患者報告数

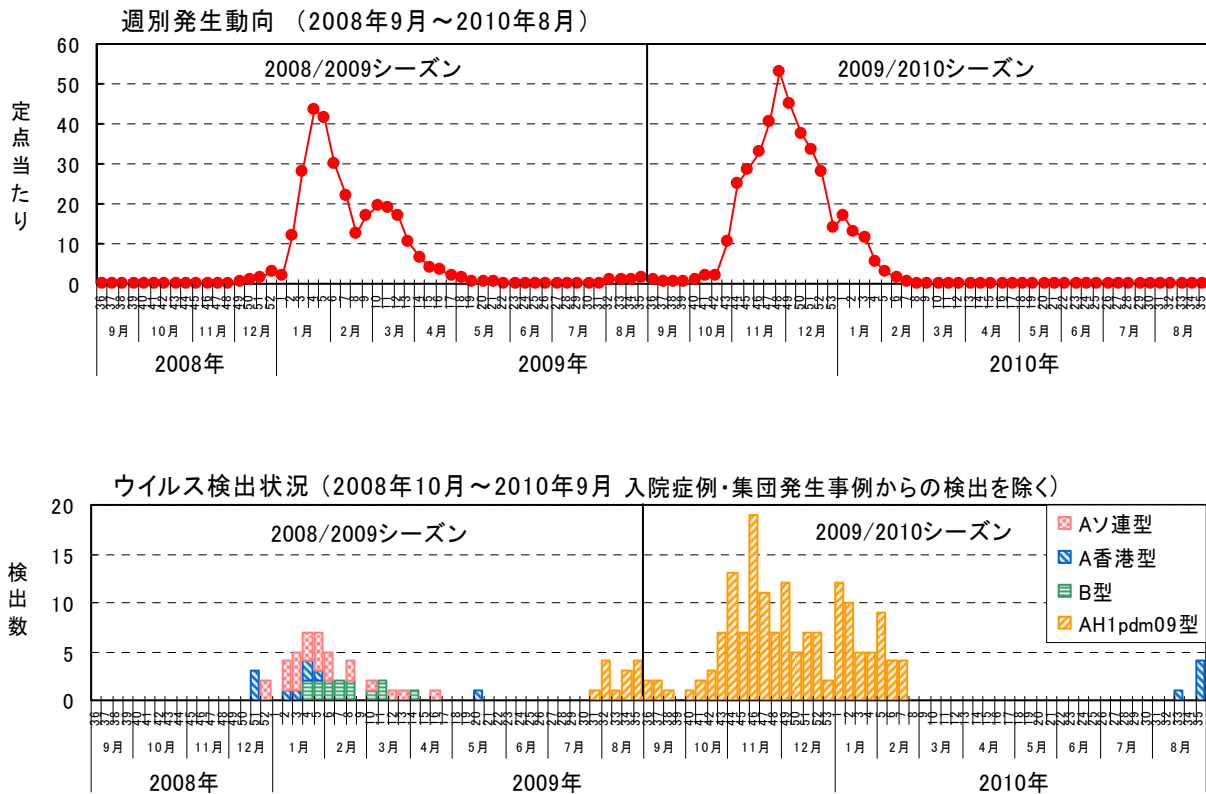
年齢区分	STD定点						基幹定点								
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
0歳															
1～4歳															
5～9歳															
10～14歳															
15～19歳	21	14	7	2	1	1	3	5	4	1	1				
20～24歳	26	16	10	7	5	2	10	23	20	3	1				
25～29歳	39	26	13	8	8	1	8	18	18		2				
30～34歳	34	25	9	9	7	2	4	18	16	2	4				
35～39歳	19	16	3	5	5		7	13	11	2	2			1	1
40～44歳	10	7	3	5	5		1	11	10	1	2				
45～49歳	11	9	2	3	3		2	7	7		2				
50～54歳	5	5		2	1	1		5	5		6				
55～59歳	2	2		1	1			4	4		10				
60～64歳	2	2		4	3	1					10		1		
65～69歳	2	2		3	1	2		1	1		6				
70歳以上				3	2	1					82				
合計	171	124	47	52	42	10	35	105	96	9	137	84	53	1	4

(人)

(2) インフルエンザ定点対象疾患(週報)

インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)

2009/2010 シーズン(2009年第36週～2010年第35週)は、インフルエンザ(H1N1)2009(以下、AH1pdm09)の発生に伴い、例年とは大きく異なる動向を示した。

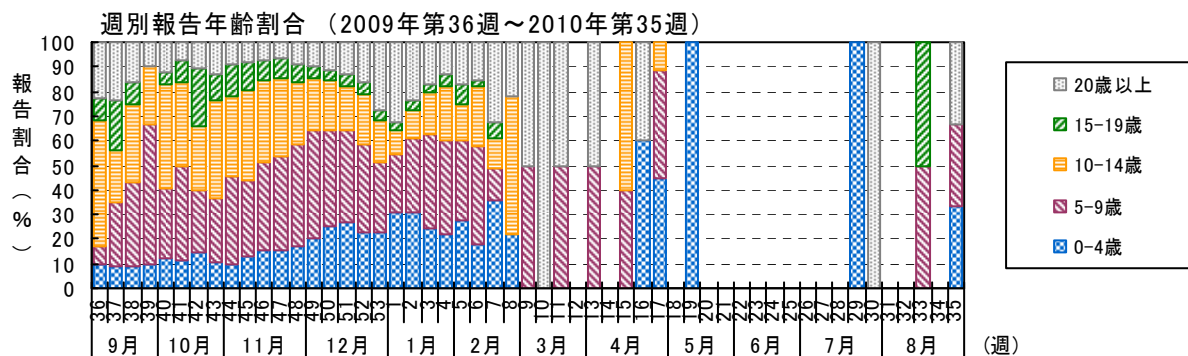
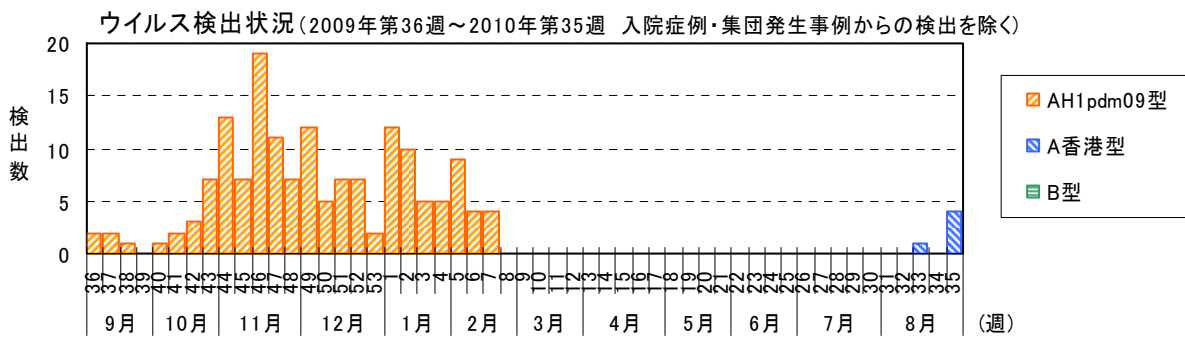
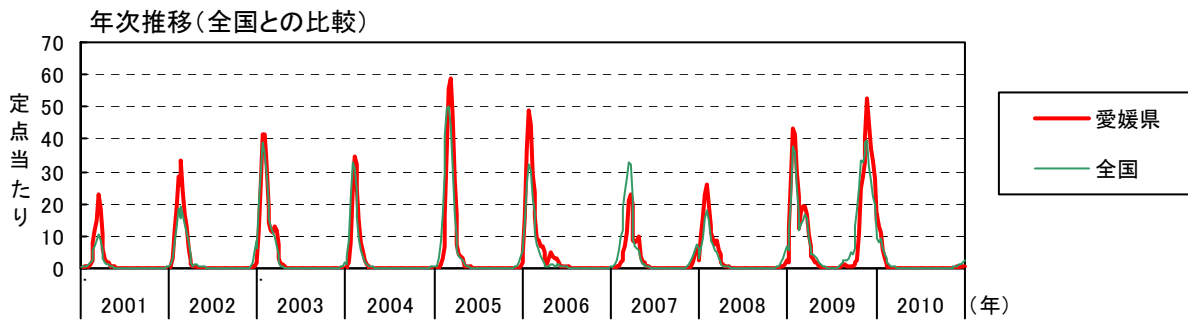
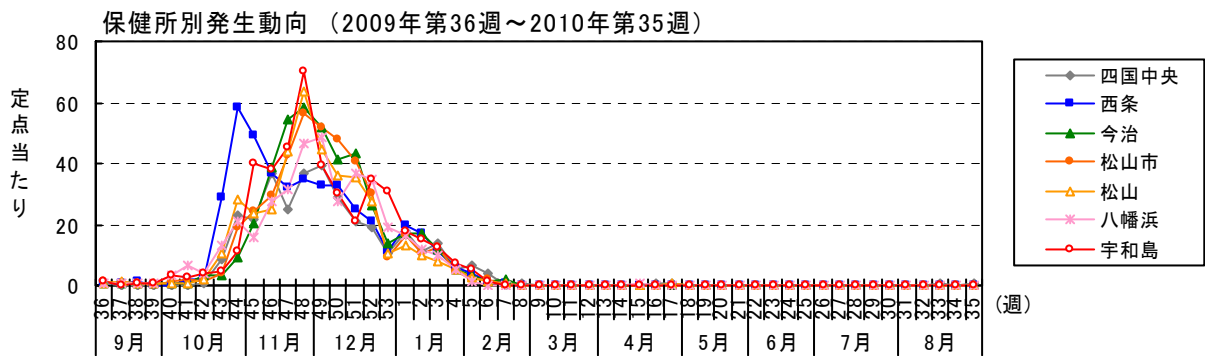
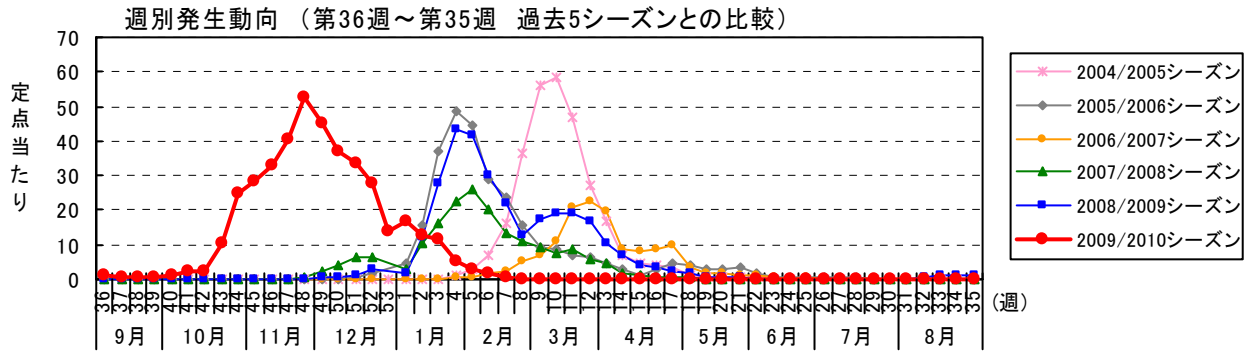


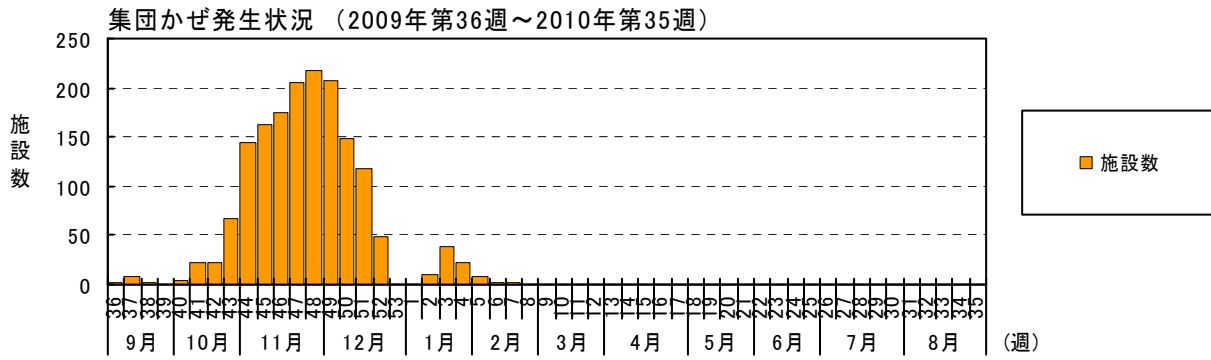
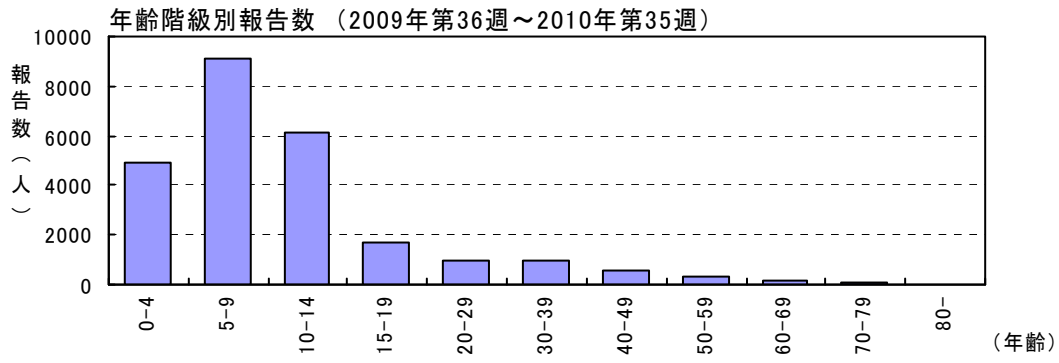
2009/2010 シーズンの患者報告数は24,884人(定点当たり407.93人/シーズン)で、過去10シーズン(定点当たり平均217.64人/シーズン)では最大の流行規模であった。前シーズン終盤の2009年第31週(7月下旬)から南予で散発的な発生が継続し、第34週(8月下旬)には流行開始の目安となる定点当たり1.0人/週を超えた。本シーズン序盤の第43週(10月下旬)に西条地区で急激に増加、第44週以降は他地区でも急増し、第48週(11月下旬)には県全体で定点当たり52.87人/週と流行のピークに達した。特に、宇和島地区では第48週に定点当たり70.00人/週となり、他地区に比べ大きな流行ピークを形成した。その後緩やかに減少し、2010年第7週(2月中旬)には定点当たり1.0人/週を下回りインフルエンザの流行は沈静化した。その後、7月下旬に西条地区で、8月下旬以降は四国中央地区でごく少数例の報告があったが、新たな流行の兆しは認められなかった。地域別の定点当たり報告数は、宇和島地区の436.71人/シーズンが最も多く、次いで西条地区428.60人/シーズン、今治地区426.14人/シーズン、松山市412.06人/シーズン、松山地区396.14人/シーズン、八幡浜地区384.43人/シーズン、四国中央地区332.60人/シーズンの順であり、全地区で過去10シーズンの定点当たり報告数を上回った。年齢別では、乳児から高齢者まで全年齢層にわたって報告があり、特に5～9歳が9,103人(36.6%)と最も多く、次いで10～14歳6,133人(24.6%)、0～4歳4,895人(19.7%)となり、14歳以下の小児が全体の80.9%を占めた。

検出されたウイルスは、流行期間中はAH1pdm09型のみで、従来の季節性インフルエンザウイルスは検出されなかった。シーズン終盤の散発例からはA香港型(AH3)が検出された。

学校等における集団かぜの発生報告数は690施設のべ3,040件で、例年(過去5シーズン平均65.0施設)に比べ大幅に増加した。これは新型インフルエンザ対策の徹底により、学級閉鎖等の基準が例年より強化されたためと考えられる。学校(施設)の種別は、保育施設188件、小学校282件、中学校128件、高等学校65件、その他の学校27件で、措置の内訳は、休校・休園161件、学年閉鎖248件、

学級閉鎖 2,631 件であった。





(参考)インフルエンザ【2010年第1週～2010年第52週】

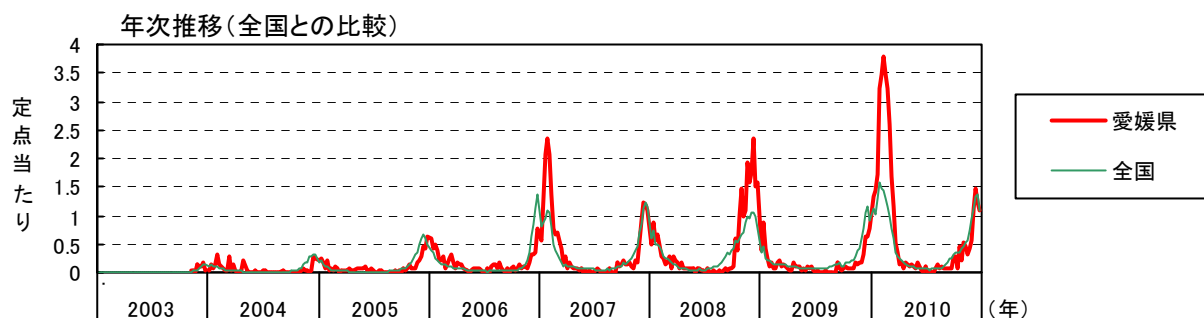
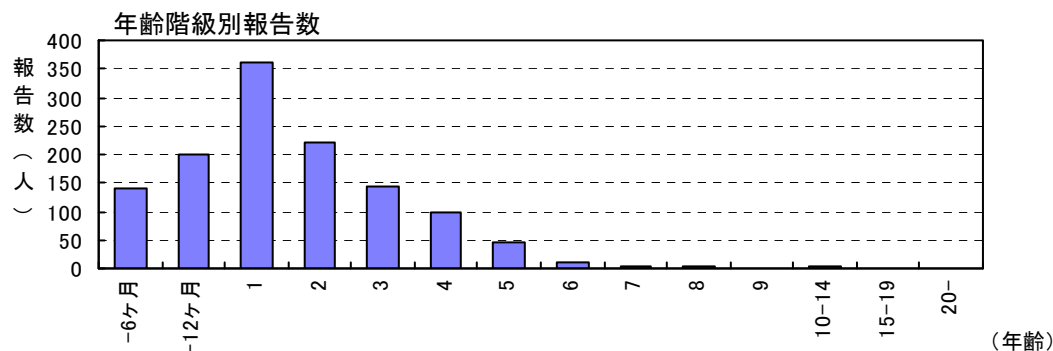
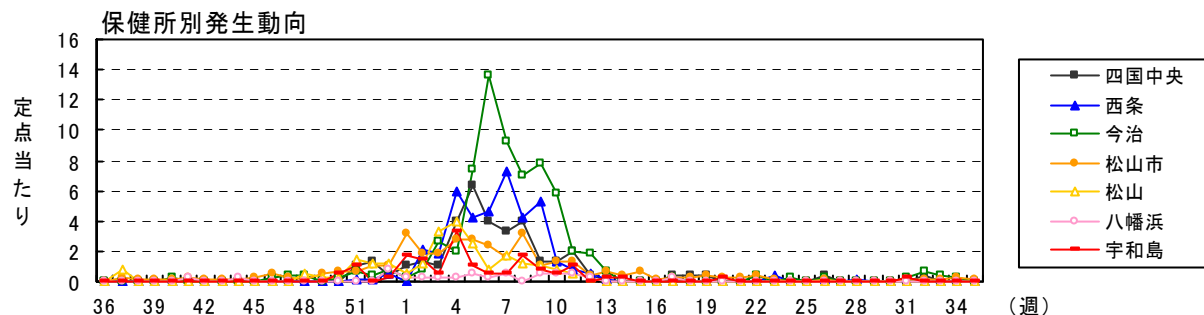
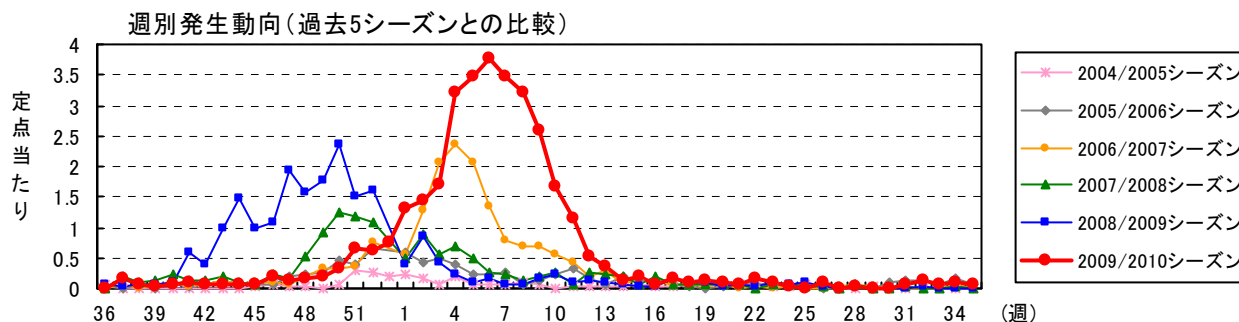
月週	患者報告数												定点当たり報告数														
	2010年 保健所別						愛媛県						全国														
	四国中央	西条	今治	松山市	宇和島	八幡浜	宇和島	八幡浜	松山	松山市	今治	西条	四国中央	西条	今治	松山市	松山	宇和島	八幡浜	2010	2009	2008	2010	2009	2008		
1	87	195	135	279	90	115	124	1,025	110	162	44,017	24,724	14,615	17.40	19.50	16.88	16.41	12.86	16.43	17.71	16.80	1.80	2.66	9.21	5.44	3.17	
2	55	169	136	175	67	84	105	791	742	621	39,086	57,224	30,632	11.00	16.90	17.00	10.29	9.57	12.00	15.00	12.97	12.16	10.18	8.13	12.00	6.43	
3	69	114	93	209	55	71	85	696	1,701	997	43,510	100,031	44,787	13.80	11.40	11.63	12.29	7.86	10.14	12.14	11.41	27.89	16.34	9.03	20.88	9.36	
4	26	58	40	83	39	36	51	333	2,643	1,393	31,071	179,411	73,486	5.20	5.80	5.00	4.88	5.57	5.14	7.29	5.46	43.33	22.84	6.46	37.48	15.33	
5	33	41	24	33	17	9	36	193	2,530	1,583	20,511	171,160	84,691	6.60	4.10	3.00	1.94	2.43	1.29	5.14	3.16	41.48	25.95	4.27	35.70	17.70	
6	21	11	12	29	9	2	9	93	1,826	1,227	13,497	118,402	71,396	4.20	1.10	1.50	0.71	1.29	0.29	1.29	1.52	29.93	20.11	2.81	24.71	15.02	
7	6	4	16	5	3	1	1	31	1,356	812	8,446	80,349	45,391	0.20	0.40	2.00	0.29	0.43	0.14	0.14	0.51	22.23	13.31	1.76	16.76	9.51	
8	4			3	1	1		9	766	667	6,534	57,809	41,857	0.80			0.18	0.14	0.14		0.15	12.56	10.93	1.36	12.05	8.78	
9				1	1			2	1,042	569	3,695	64,712	34,323				0.06	0.14			0.03	17.08	9.33	0.77	13.50	7.19	
10				2	2			2	1,179	447	2,453	71,310	27,623				0.12				0.03	19.33	7.33	0.51	14.87	5.80	
11				2	2			2	1,165	539	1,937	79,124	23,026				0.12				0.03	19.10	8.84	0.41	16.50	4.83	
12									1,022	352	1,062	74,731	14,311									16.75	5.77	0.22	15.63	3.01	
13	1			1				2	642	266	816	44,773	7,937	0.20			0.06				0.03	10.52	4.36	0.17	9.37	1.68	
14									411	117	591	29,163	4,463									6.74	1.92	0.12	6.10	0.94	
15				1	1	3		5	237	65	692	19,324	3,772	0.40			0.06	0.14	0.43		0.08	3.89	1.07	0.14	4.05	0.80	
16	2			1	1	1		5	200	31	967	19,533	3,350	0.40			0.06	0.14	0.14		0.08	3.28	0.51	0.20	4.10	0.71	
17	4			1	4			9	131	38	799	16,691	2,989	0.80			0.06	0.57			0.15	2.15	0.62	0.17	3.51	0.63	
18								105	22		362	15,063	1,881									1.72	0.36	0.08	3.21	0.40	
19				1				39	12		378	8,009	875				0.06				0.02	0.64	0.20	0.08	1.69	0.19	
20								24	15		628	5,122	964									0.39	0.25	0.13	1.08	0.20	
21								33	14		472	5,947	963									0.54	0.23	0.10	1.26	0.20	
22								11	2		534	3,368	658									0.18	0.03	0.11	0.71	0.14	
23								5	2		331	1,924	557									0.08	0.03	0.07	0.41	0.12	
24								1	1		290	1,378	457									0.02	0.02	0.06	0.29	0.10	
25								5	1		196	1,117	316									0.08	0.02	0.04	0.23	0.07	
26								4			174	928	260									0.07		0.04	0.20	0.06	
27								1	1		188	752	212									0.02		0.04	0.16	0.05	
28								180			180	978	201										0.04	0.21	0.04		
29								1			136	1,044	144		0.10						0.02		0.03	0.22	0.03		
30								1	1		112	1,321	84		0.10						0.02		0.02	0.28	0.02		
31								15			145	2,672	62									0.25	0.03	0.03	0.56	0.01	
32								50			166	4,670	88									0.82	0.04	0.04	0.99	0.02	
33	2				3			57			117	7,860	52	0.40							0.03	0.93	0.02	1.70	0.01		
34								66			108	11,707	34									1.08	0.02	0.02	2.48	0.01	
35								3	81		129	12,045	36	0.60							0.05	1.33	0.03	2.53	0.01		
36	1							1	53	2	202	12,567	34	0.20							0.02	0.87	0.04	2.62	0.01		
37								34		2	249	15,484	45									0.56	0.03	0.05	3.22	0.01	
38								44			202	23,762	47									0.72	0.04	0.04	5.01	0.01	
39								21			283	20,705	64									0.34	0.07	0.06	4.31	0.01	
40								76			538	31,005	59									1.25	0.11	0.11	6.44	0.01	
41								124		1	445	62,952	116									2.03	0.02	0.09	13.13	0.02	
42								133		1	562	85,502	192		0.20		0.18				0.08	2.18	0.02	0.12	17.74	0.04	
43								628			729	119,395	303		0.20						0.03	10.30	0.15	24.77	0.06		
44	2							16	1,521	1	948	160,579	528	0.40	1.40					0.26	24.93	0.02	0.20	33.38	0.11		
45	3						1	8	1,733	4	1,225	158,005	825	0.60			0.24			0.14	0.13	28.41	0.07	0.26	32.79	0.17	
46	4							4	2,002		1,705	169,611	1,534		0.30		0.06				0.07	32.82	0.36	35.20	0.32		
47	6							11	2,458	4	2,128	186,832	2,662	1.20	0.40			0.14		0.18	40.30	0.07	0.44	38.87	0.56		
48	5	16			2			23	3,225	8	3,339	191,154	3,944	1.00	1.60		0.12			0.38	52.87	0.13	0.70	39.66	0.83		
49	9	9						18	2,749	21	4,484	153,355	7,765	1.80	0.90					0.30	45.07	0.34	0.93	31.84	1.63		
50	24				1			25	2,273	48	6,786	132,064	13,361	4.80			0.06			0.41	37.26	0.79	1.41	27.39	2.80		
51	22	2			1			26	2,044	86	9,878	108,115	22,385	4.40	0.20	0.13				0.14	4.43	33.51	1.41	2.06	22.43	4.69	
52	14	3			2			23	1,702	108	10,896	94,392	31,090	2.80	0.30	0.13	0.12		0.14	0.29	0.38	27.90	2.75	2.30	19.62	6.53	
53									858			48,227										14.07			10.20		
合計	394	649	458	839	289	324	415	3,968	39,879	10,298	268,929	3,068,082	621,447	78.80	64.90	57.25	49.35	41.29	46.29	59.29	55.21	653.75	163.82	56.06	639.48	130.42	

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

(3) 小児科定点対象疾患(週報)

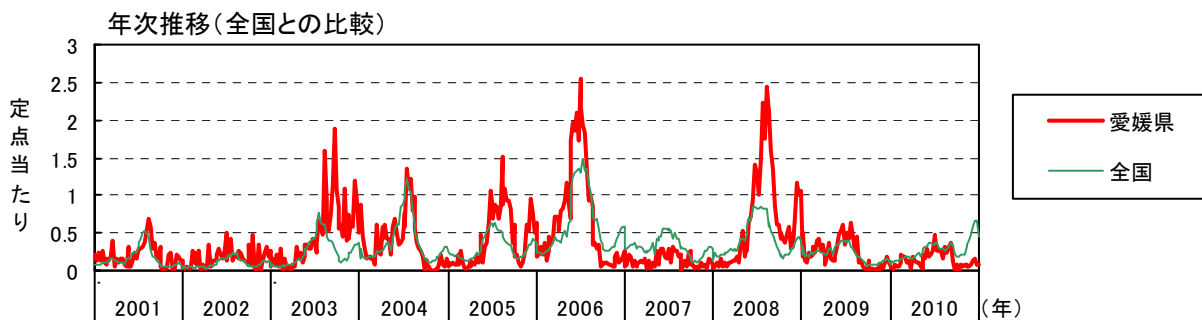
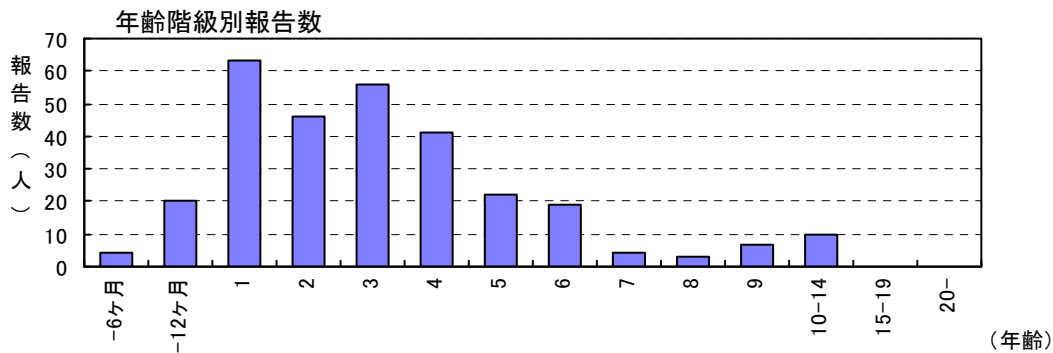
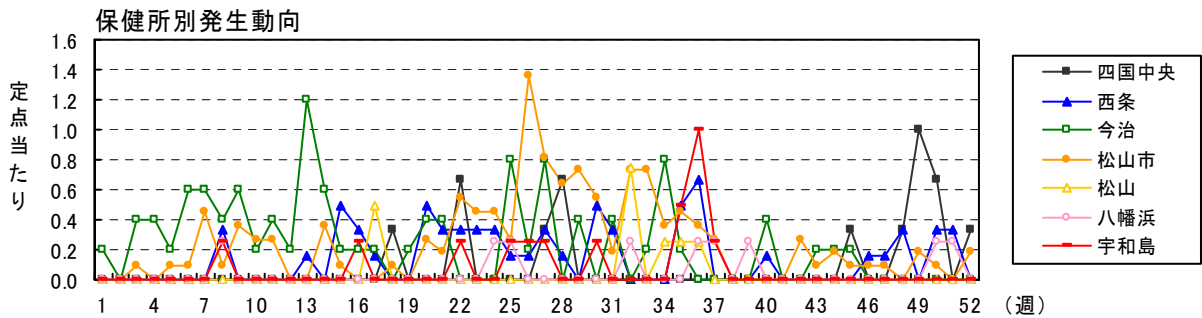
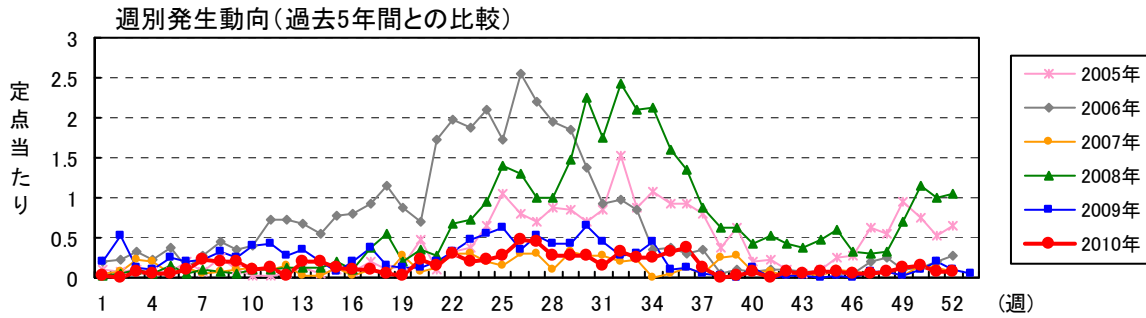
RSウイルス感染症

2009/2010 シーズン(2009年第36週~2010年第35週)の患者報告数は1,239人(定点当たり33.49人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数763人 定点当たり20.62人/シーズン)に比べて1.6倍に増加し、2003年11月の定点観測開始以降、最大の発生規模となった。本疾患は、例年インフルエンザの流行前の12月から1月にピークを迎える傾向があるが、本シーズンはインフルエンザが例年より早い11月下旬にピークを迎えた影響か、過去5年と比較して最も遅い流行となった。本シーズンは松山市では11月下旬から、その他の地区では12月下旬から増加傾向が認められた。第6週(2月中旬)に、今治地区で定点当たり13.60人/週と他地区に比べ突出して高い流行ピークに達し、県全体でも定点当たり3.78人/週と流行のピークを迎えた。その後、減少に転じたが、松山市では6月まで散発的な発生が続いた。地域別の定点当たり報告数は、今治地区の66.40人/シーズンが最も多く、次いで西条地区40.00人/シーズン、松山市35.00人/シーズン、四国中央地区34.33人/シーズン、松山地区23.50人/シーズン、宇和島地区15.75人/シーズン、八幡浜地区5.50人/シーズンの順であり、東中予の患者報告数が多かった。年齢別の患者報告数は、1歳が362人(29.2%)と最も多く、3歳以下の乳幼児が1,069人と全体の86.3%を占めた。



咽頭結膜熱

2010年の患者報告数は295人(定点当たり7.97人/年)で、前年(患者報告数448人 定点当たり12.11人/年)に比べ減少し、過去10年では2007年(患者報告数256人 定点当たり6.92人/年)に次ぐ小規模な発生であった。年初から県内各地で散発が続き、5月中旬以降、松山市で緩やかに増加した。その後、県内全域で散発したが流行には至らず、県全体では第26週(7月上旬)に定点当たり0.49人/週と発生のピークとなった。地域別の定点当たり報告数は、松山市12.91人/年、今治地区12.40人/年がやや多いものの、西条地区7.67人/年、四国中央地区4.67人/年、宇和島地区3.50人/年、八幡浜地区2.25人/年、松山地区2.00人/年で散発的な発生に留まった。年齢別の患者報告数は、1歳が63人(21.4%)と最も多く、1～6歳までの幼児が247人で全体の83.7%を占めた。



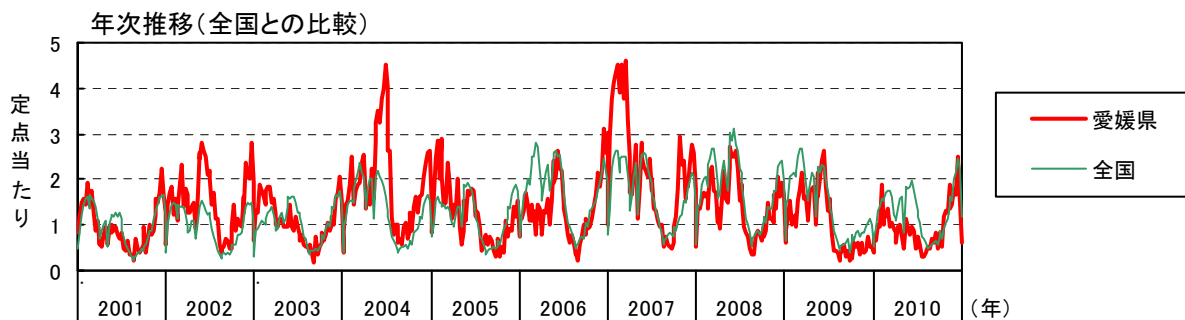
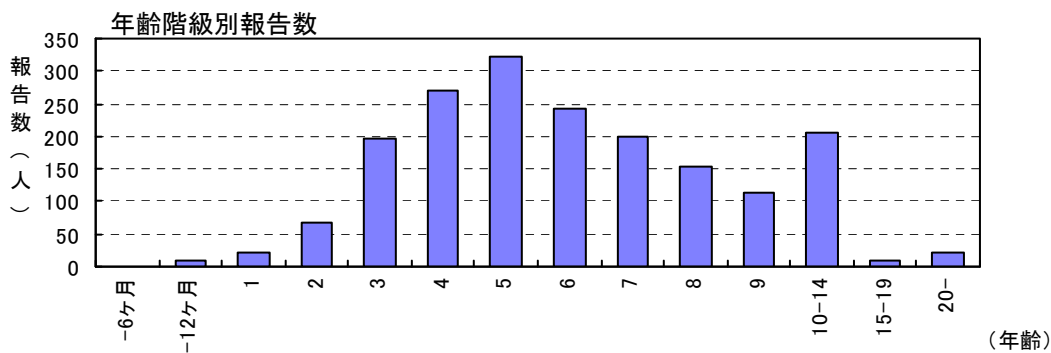
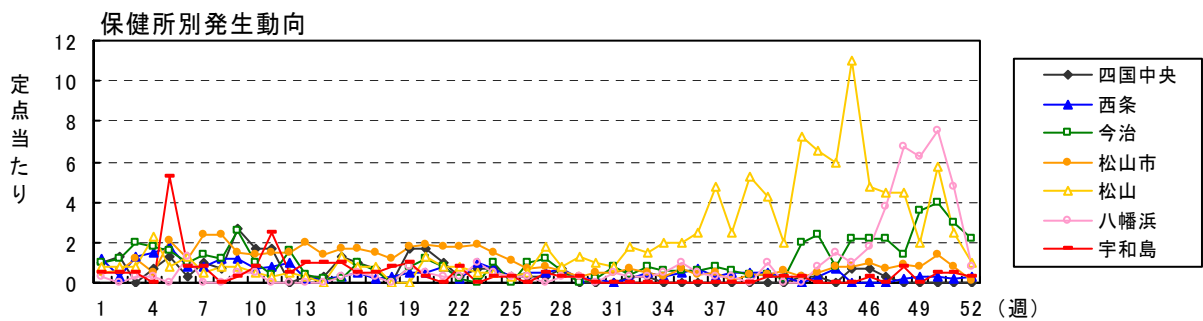
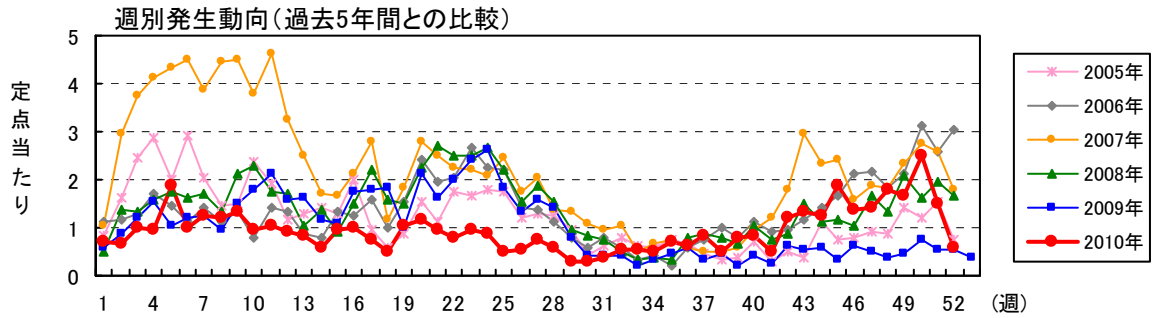
咽頭結膜熱

月	週	患者報告数										定点当たり報告数															
		2010年 保健所別					愛媛県					全国															
		四国中央	西条	今治	松山市	松山	宇和島	八幡浜	松山	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008								
1	1			1						1	7	1	390	630	390			0.03	0.19	0.03	0.13	0.22	0.13				
2	2			2						3	5	4	300	971	713			0.08	0.51	0.05	0.10	0.32	0.24				
3	3			2						4	4	2	410	536	555			0.05	0.14	0.11	0.13	0.18	0.18				
4	4			2						2	4	2	429	634	604			0.05	0.11	0.05	0.14	0.21	0.20				
5	5			1						2	9	6	431	525	654			0.05	0.24	0.16	0.14	0.17	0.22				
6	6			3						4	7	2	444	689	646			0.11	0.19	0.05	0.15	0.23	0.21				
7	7			3						8	8	4	511	659	615			0.22	0.22	0.11	0.17	0.22	0.20				
8	8			2						7	12	3	513	720	734			0.19	0.32	0.08	0.17	0.24	0.24				
9	9			3						4	9	2	542	707	717			0.19	0.24	0.05	0.18	0.23	0.24				
10	10			1						4	15	4	552	791	775			0.11	0.41	0.11	0.18	0.26	0.26				
11	11			2						5	16	4	531	798	919			0.14	0.43	0.11	0.18	0.26	0.30				
12	12			1						1	10	5	458	718	823			0.03	0.27	0.14	0.15	0.24	0.27				
13	13			1						7	13	5	503	753	844			0.19	0.35	0.14	0.17	0.25	0.28				
14	14			3						7	7	5	516	647	821			0.19	0.19	0.14	0.17	0.21	0.27				
15	15			3						5	3	7	536	658	814			0.14	0.08	0.19	0.18	0.22	0.27				
16	16			2						4	7	4	617	677	1,010		0.25	0.11	0.38	0.24	0.29	0.42					
17	17			1						4	14	14	722	875	1,276			0.05	0.16	0.54	0.19	0.29	0.43				
18	18			1						2	6	20	588	853	1,267			0.03	0.14	0.19	0.25	0.21	0.39				
19	19			2						1	5	7	771	631	1,177			0.22	0.14	0.35	0.28	0.32	0.47				
20	20			3						8	5	13	859	970	1,429			0.16	0.19	0.27	0.31	0.32	0.58				
21	21			2						2	7	10	947	977	1,750			0.30	0.32	0.68	0.33	0.33	0.68				
22	22			2						6	12	25	989	1,014	2,067			0.37	0.49	0.73	0.37	0.36	0.67				
23	23			2						7	18	27	1,130	1,079	2,028			0.22	0.54	0.95	0.37	0.39	0.84				
24	24			2						5	20	35	1,128	1,183	2,537			0.27	0.62	1.41	0.34	0.40	0.84				
25	25			1						4	23	52	1,036	1,219	2,553			0.46	0.51	1.00	0.36	0.36	0.81				
26	26			1						15	13	48	1,043	1,183	2,453			0.46	0.51	1.00	0.36	0.36	0.81				
27	27			4						9	19	37	1,098	1,099	2,507			0.27	0.43	1.00	0.36	0.40	0.82				
28	28			1						7	16	37	1,096	1,217	2,502			0.27	0.43	1.00	0.36	0.40	0.82				
29	29			2						8	16	55	874	1,205	2,590			0.27	0.43	1.49	0.29	0.40	0.86				
30	30			3						6	24	83	885	963	2,472			0.25	0.65	2.24	0.29	0.32	0.82				
31	31			2						2	17	65	867	916	2,501			0.16	0.46	1.76	0.29	0.30	0.83				
32	32			8						12	10	90	796	739	2,495			0.32	0.27	2.43	0.27	0.25	0.83				
33	33			1						8	11	78	814	537	1,685			0.24	0.30	2.11	0.27	0.18	0.58				
34	34			4						4	17	79	879	572	1,915			0.24	0.46	2.14	0.29	0.19	0.64				
35	35			3						5	4	59	986	525	1,617			0.32	0.11	1.59	0.33	0.17	0.53				
36	36			4						4	5	50	1,149	477	1,470			0.38	0.14	1.35	0.38	0.16	0.49				
37	37			3						5	2	32	1,030	412	1,198			0.14	0.05	0.86	0.34	0.14	0.40				
38	38			1						23	1	23	647	318	932			0.03	0.62	0.21	0.11	0.11	0.31				
39	39			1						1	23	23	531	176	778			0.03	0.03	0.62	0.18	0.06	0.26				
40	40			1						3	5	16	589	245	586			0.08	0.14	0.43	0.20	0.08	0.19				
41	41			1						3	1	22	531	225	630			0.08	0.03	0.59	0.31	0.08	0.21				
42	42			1						3	1	16	610	219	517			0.08	0.03	0.43	0.20	0.07	0.17				
43	43			1						2	1	14	607	253	639			0.05	0.03	0.38	0.20	0.08	0.21				
44	44			1						3	3	18	675	228	609			0.08	0.08	0.49	0.22	0.08	0.20				
45	45			1						3	1	22	941	236	621			0.08	0.03	0.59	0.31	0.08	0.21				
46	46			1						2	2	12	1,070	274	784			0.05	0.32	0.35	0.35	0.09	0.26				
47	47			1						2	3	11	1,210	326	842			0.05	0.08	0.30	0.40	0.11	0.28				
48	48			2						3	3	12	1,472	313	890			0.08	0.08	0.32	0.49	0.10	0.29				
49	49			3						5	1	26	1,789	398	1,106			0.14	0.03	0.70	0.59	0.13	0.36				
50	50			2						6	4	43	2,044	403	1,302		0.25	0.16	1.16	0.67	0.13	0.43					
51	51			2						3	7	37	1,990	476	1,377		0.25	0.08	1.00	0.66	0.16	0.45					
52	52			1						3	4	39	1,374	418	1,207			0.08	0.11	1.05	0.46	0.14	0.40				
53	53									2	2	2	262	262	262			0.05	0.05	0.05	0.06	0.09	0.09				
合計		14	46	62	142	8	9	14	295	448	1,307	43,450	34,529	65,943	4.67	7.67	12.40	12.91	2.00	2.25	3.50	7.97	12.11	35.32	14.35	11.43	21.84

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2010年の患者報告数は1,836人(定点当たり49.62人/年)で、前年(患者報告数2,016人 定点当たり54.49人/年)に比べ減少し、過去10年では最も小規模な発生であった。本疾患は、例年初夏と晩秋冬季に多発する傾向を示すが、本年は初夏の多発傾向は認められなかった。9月以降、今治地区、松山地区、八幡浜地区で増加し始め、県全体では第50週(12月中旬)に定点当たり2.49人/週と発生のピークに達した。地域別の定点当たり報告数は、松山地区が107.00人/年と突出して多く、次いで今治地区58.40人/年、松山市53.64人/年、八幡浜地区47.50人/年、西条地区27.00人/年、四国中央地区26.67人/年、宇和島地区23.50人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、5歳が322人(17.5%)と最も多く、1~6歳の幼児が1,124人で全体の61.2%を占めた。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

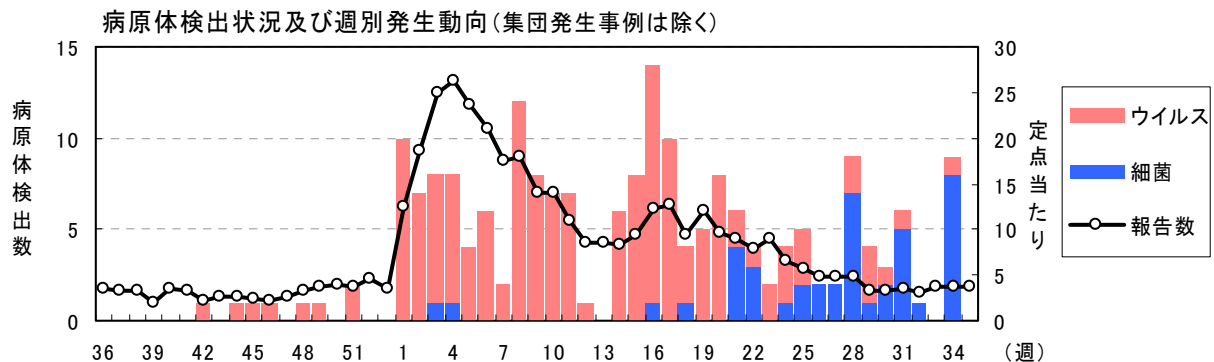
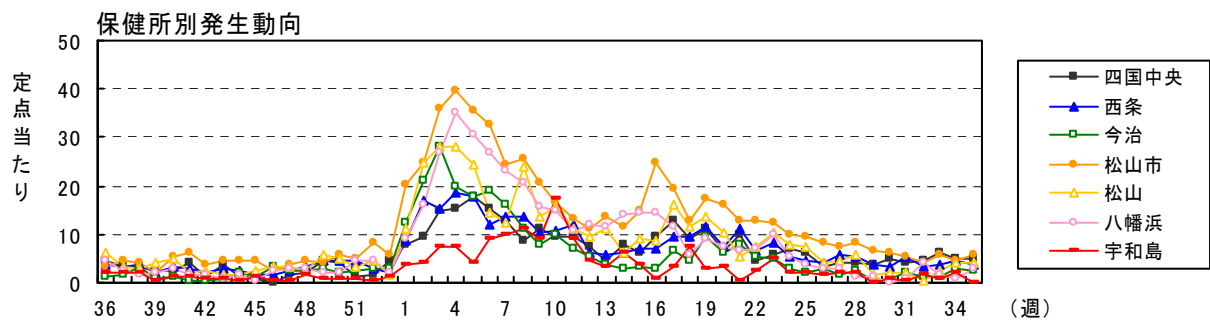
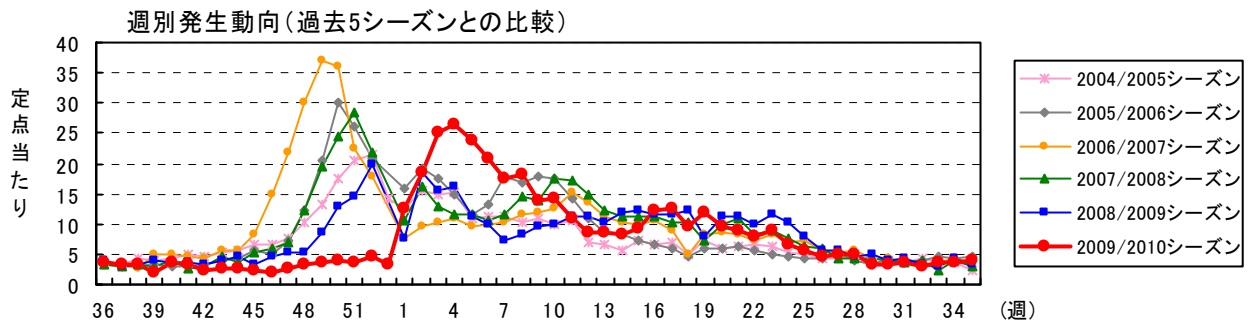
月週	患者報告数													定点当たり報告数											
	2010年 保健所別											愛媛県		2010年 保健所別					愛媛県						
	四 国 中 央	西 条	今 治	松 山 市	松 山	八 幡 浜	宇 和 島	2010	2009	2008	全 国	2010	2009	2008	宇 和 島	2010	2009	2008	全 国						
1	3	7	5	5	3	1	2	26	22	19	1,836	1,604	1,000	1.17	1.00	0.45	0.75	0.25	0.50	0.70	0.59	0.51	0.74	0.64	0.55
2	4	2	6	7	3	2	24	32	32	51	4,334	4,166	1,333	0.33	1.20	0.64	0.75	0.25	0.50	0.65	0.86	1.38	0.93	1.44	1.38
3	3	8	10	13	3	1	37	44	50	44	4,737	5,375	0.67	1.33	2.00	1.18	0.75	0.25	0.50	1.00	1.19	1.35	1.31	1.56	1.44
4	2	9	9	5	9	1	35	57	59	47	6,238	5,753	0.67	1.50	1.80	0.45	2.25	0.25	0.50	0.95	1.54	1.59	1.42	2.06	1.90
5	4	11	8	23	3	21	70	38	64	64	6,390	6,148	1.33	1.83	1.60	2.09	0.75	5.25	1.89	1.09	1.73	1.56	1.56	2.11	2.03
6	7	1	5	13	5	3	37	44	60	60	6,478	6,225	0.33	0.83	1.00	1.18	1.25	0.75	1.00	1.19	1.62	1.53	1.60	2.14	2.07
7	1	5	7	26	2	3	46	46	63	63	4,849	5,525	1.00	0.83	1.40	2.36	0.50	0.75	1.24	1.24	1.24	1.24	1.70	1.60	1.83
8	2	7	6	26	3	44	35	50	50	50	6,524	7,082	0.67	1.17	1.20	2.36	0.75	0.75	1.19	0.95	1.35	1.70	1.70	2.15	2.34
9	8	7	13	16	2	2	56	67	79	79	5,341	7,495	2.67	1.17	2.60	1.45	0.50	0.50	0.35	1.51	2.14	1.77	1.77	2.50	2.48
10	5	4	5	15	2	2	36	67	85	85	8,079	8,042	1.67	0.67	1.00	1.36	0.50	0.50	0.97	1.81	2.30	1.77	2.66	2.66	
11	5	5	2	16	1	10	39	79	65	65	4,894	8,116	1.67	0.83	0.40	1.45	0.25	2.50	1.05	2.14	1.76	1.62	2.66	2.68	
12	6	6	8	16	2	34	59	63	63	63	3,691	7,044	1.00	1.00	1.60	1.45	0.50	0.50	0.92	1.59	1.70	1.22	2.32	2.33	
13	1	1	2	22	1	4	31	60	39	39	3,426	5,827	0.33	0.17	0.40	2.00	0.25	1.00	0.84	1.62	1.05	1.13	1.93	1.87	
14	1	1	1	15	4	4	22	43	51	51	3,326	4,691	0.33	0.17	0.20	1.36	0.50	1.00	0.59	1.16	1.38	1.10	1.55	1.57	
15	4	2	1	19	5	1	36	40	34	34	4,874	5,195	1.33	0.33	0.20	1.73	1.25	1.00	0.97	1.08	0.92	1.36	1.61	1.72	
16	3	3	5	19	3	2	37	65	56	56	4,787	6,474	1.00	0.50	1.00	1.73	0.75	0.50	1.00	1.76	1.51	1.58	1.91	2.14	
17	2	1	3	16	3	1	28	67	81	81	4,894	6,509	0.67	0.17	0.60	1.45	0.75	0.25	0.76	1.81	2.19	1.63	2.15	2.42	
18	2	2	4	13	3	3	18	68	58	58	2,492	6,164	0.33	0.33	0.33	1.18	0.82	0.75	0.49	1.84	1.57	0.82	2.06	2.07	
19	5	3	4	20	2	4	39	37	55	55	5,030	5,278	1.67	0.50	0.80	1.82	0.75	1.00	1.05	1.00	1.49	1.66	1.18	1.75	
20	5	3	6	21	5	2	43	79	84	84	5,536	6,140	1.67	0.50	1.20	1.91	1.25	0.50	0.25	2.14	2.27	1.82	2.03	2.84	
21	3	5	4	20	3	1	36	60	100	100	5,457	9,134	1.00	0.83	0.80	1.82	0.75	0.25	0.97	1.62	2.70	1.80	2.30	3.02	
22	1	1	1	20	3	1	30	74	93	93	6,527	8,579	0.33	0.17	0.20	1.82	0.75	0.25	0.81	2.00	2.51	1.86	2.15	2.83	
23	2	6	1	21	2	4	35	89	93	93	6,003	7,099	0.67	1.00	1.91	0.50	0.50	0.95	2.41	2.51	2.51	1.97	2.34	3.13	
24	2	2	4	16	2	1	32	97	98	98	5,321	8,570	0.67	0.67	1.00	1.45	0.50	0.25	0.86	2.62	2.65	1.75	2.27	2.76	
25	1	2	1	12	1	1	18	68	82	82	4,679	7,939	0.33	0.33	0.33	1.09	0.25	0.25	0.49	1.84	2.22	1.54	1.99	2.62	
26	1	3	5	8	2	1	20	49	57	57	4,044	5,269	0.33	0.50	1.00	0.73	0.50	0.25	0.54	1.32	1.54	1.33	1.74	2.23	
27	1	3	6	9	7	2	28	59	69	69	3,613	4,479	0.33	0.50	1.20	0.82	1.75	0.50	0.76	1.59	1.86	1.19	1.48	2.16	
28	2	4	3	7	3	1	21	53	57	57	3,217	4,147	0.67	0.67	0.60	0.64	0.75	0.25	0.57	1.43	1.54	1.06	1.37	1.85	
29	2	1	1	3	5	1	11	29	36	36	2,282	3,642	0.17	0.17	0.25	0.27	1.25	0.25	0.30	0.78	0.97	0.75	1.21	1.52	
30	3	1	1	5	4	1	11	16	31	31	2,093	2,627	0.33	0.17	0.20	1.09	0.25	0.25	0.30	0.43	0.84	0.69	0.87	1.12	
31	3	1	4	5	3	2	14	16	27	27	1,846	2,217	0.33	0.17	0.80	0.45	1.00	0.38	0.43	0.38	0.43	0.73	0.61	0.73	1.03
32	1	1	2	8	7	1	20	15	18	18	1,373	1,843	0.33	0.17	0.40	0.73	1.75	0.25	0.54	0.41	0.49	0.46	0.61	0.85	
33	1	3	4	5	6	1	20	8	13	13	1,449	1,288	0.33	0.50	0.80	0.45	1.50	0.25	0.54	0.22	0.35	0.49	0.44	0.53	
34	3	4	3	5	3	2	18	13	14	14	1,578	2,106	0.33	0.33	0.60	0.27	2.00	0.50	0.49	0.35	0.38	0.52	0.52	0.70	
35	3	3	3	8	8	4	26	17	13	13	1,767	1,687	0.33	0.50	0.60	0.73	2.00	1.00	0.70	0.46	0.35	0.58	0.58	0.76	
36	4	4	3	4	10	2	23	23	21	21	1,823	1,740	0.67	0.67	0.60	0.36	2.50	0.50	0.62	0.57	0.78	0.60	0.60	0.84	
37	2	2	4	5	19	1	31	12	32	32	1,956	1,849	0.33	0.33	0.80	0.45	4.75	0.25	0.84	0.32	0.86	0.65	0.65	0.89	
38	3	3	3	1	10	1	18	17	30	30	1,665	2,078	0.67	0.50	0.60	0.09	2.50	0.25	0.49	0.46	0.81	0.55	0.69	0.81	
39	3	3	2	4	21	4	30	8	25	25	2,299	1,144	0.33	0.50	0.40	0.36	5.25	1.00	0.81	0.22	0.68	0.76	0.38	0.89	
40	4	3	2	4	17	4	31	16	38	38	2,619	1,983	0.33	0.50	0.40	0.36	4.25	1.00	0.84	0.43	1.03	0.87	0.65	1.11	
41	1	1	1	7	8	1	19	10	28	28	2,167	3,524	0.33	0.33	0.20	0.64	2.00	0.25	0.51	0.27	0.76	0.71	0.78	1.17	
42	1	2	10	3	29	1	44	23	33	33	2,817	1,900	0.33	0.33	2.00	0.27	7.25	0.25	1.19	0.62	0.89	0.93	0.65	1.06	
43	1	2	12	5	26	3	49	20	42	42	3,201	4,260	0.33	0.33	2.40	0.45	6.50	0.75	1.32	0.54	1.49	1.06	1.41	1.96	
44	4	4	4	9	24	6	47	22	42	42	3,498	4,141	0.67	0.67	0.80	0.82	6.00	1.50	1.27	0.59	1.14	1.15	0.86	1.38	
45	2	11	11	9	44	4	70	13	43	43	4,393	2,226	0.67	0.67	2.20	0.82	11.00	1.00	1.89	0.35	1.16	1.45	0.73	1.36	
46	2	11	11	11	19	7	51	23	39	39	4,913	2,595	0.67	0.67	2.20	1.00	4.75	1.75	1.38	0.62	1.05	1.63	0.85	1.69	
47	1	1	11	8	18	15	53	18	62	62	4,716	2,584	0.33	0.33	2.20	0.73	4.50	3.75	1.43	0.49	1.68	1.55	0.85	1.77	
48	1	7	7	10	18	27	66	14	50	50	6,095	5,277	0.33	0.17	1.40	0.91	4.50	6.75	1.78	0.38	1.35	2.01	0.82	1.75	
49	2	2	18	9	8	25	62	17	77	77	6,505	2,964	0.33	0.33	3.60	0.82	2.00	6.25	1.68	0.46	2.08	2.14	0.97	2.30	
50	1	2	20	15	23	30	92	27	60	60	7,521	3,224	0.33	0.33	4.00	1.36	5.75	7.50	2.49	0.73	1.62	2.47	1.06	2.35	
51	1	1	15	9	10	19	56	20	72	72	6,839	3,417	0.17	0.17	3.00	0.82	2.50	4.75	1.51	0.54	1.95	2.25	1.12	2.42	
52	2	2	11	1	4	3	22	20	61	61	3,525	3,106	0.33	0.33	2.20	0.09	1.00	0.75	0.59	0.54	1.65	1.18	1.02	1.96	
53											1,530	2,78,990								0.38	74.14	66.83	73.27	92.31	
合計	80	162	292	590	428	190	94	1,836	2,016	2,743	202,579	278,990	26.67	27.00	58.40	53.64	107.00	47.50	23.50	49.62	54.49	74.14	66.83	73.27	92.31

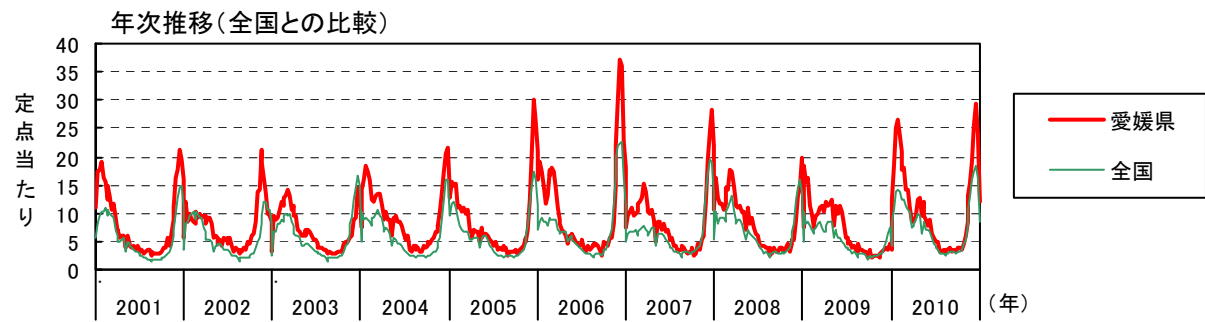
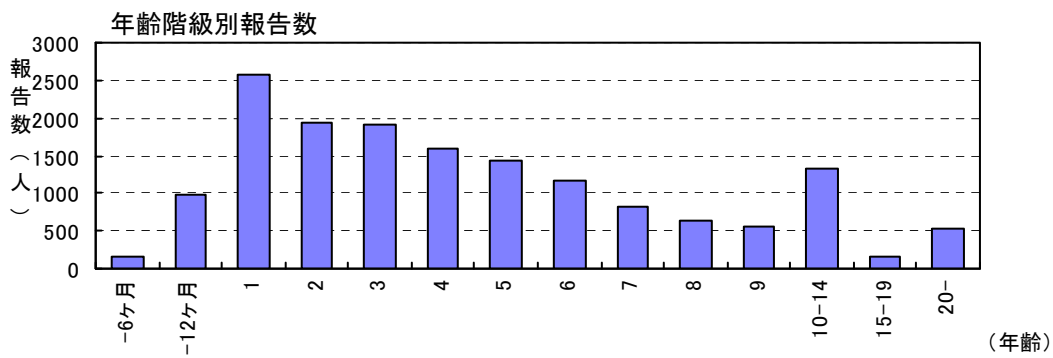
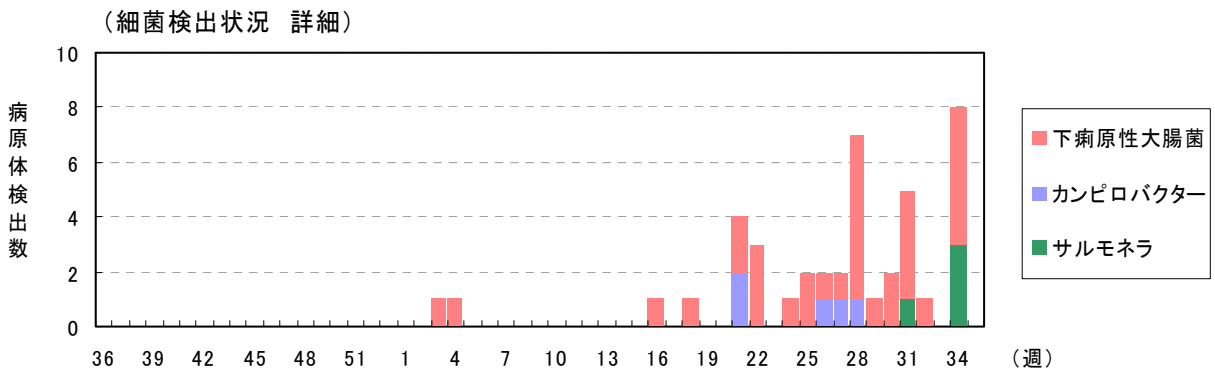
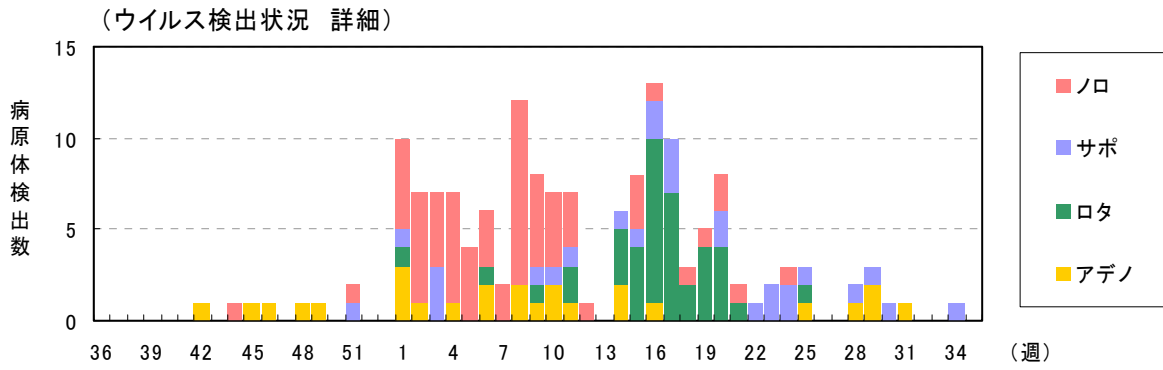
注) 2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

感染性胃腸炎

2009/2010 シーズン(2009 年第 36 週～2010 年第 35 週)の患者報告数は 15,722 人(定点当たり 424.92 人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数 15,813 人 定点当たり 427.38 人/シーズン)と大きな変動はなく、過去 10 シーズン(定点当たり平均 441.03 人/シーズン)では平均的な流行規模であった。本疾患は例年、年末の急峻なピークと 3～4 月の穏やかなピークの 2 峰性の動向を示す。本シーズンは、例年よりも遅い 1 月から県内全域で急増し、第 4 週(1 月下旬)に、県全体で 26.38 人/週と第 1 のピークを迎えた。特に松山市(第 4 週 定点当たり 39.73 人/週)、八幡浜地区(第 4 週 定点当たり 35.00 人/週)では大きな流行ピークを形成した。その後、一度減少し、3 月下旬から再び増加し始め、第 17 週(4 月下旬)に定点当たり 12.62 人/週と第 2 のピークを迎えた。地域別の定点当たり報告数は、松山市 636.09 人/シーズンが突出して多く、次いで松山地区 433.75 人/シーズン、八幡浜地区 426.25 人/シーズン、西条地区 354.00 人/シーズン、四国中央地区 335.33 人/シーズン、今治地区 294.20 人/シーズンであり、宇和島地区は 171.00 人/シーズンと他地区と比較し小規模な流行であった。乳幼児から成人まで全年齢層にわたって報告があったが、1 歳が 2,562 人(16.3%)と最も多く、1～6 歳の幼児が 10,588 人と全体の 67.3%を占めた。

病原体は、ウイルスの検出が大部分を占め、夏季には細菌の検出割合が増加した。1 月の第 1 のピークではノロウイルス、3～4 月の第 2 のピークではロタウイルス、夏季は下痢原性大腸菌の検出割合が高かった。



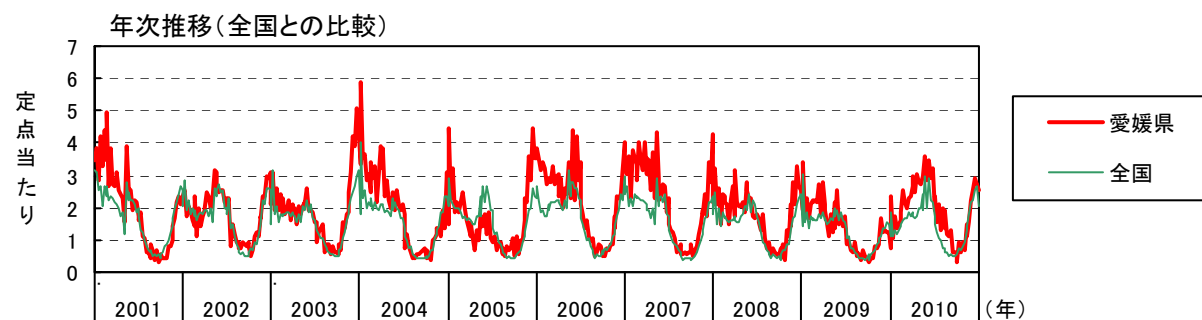
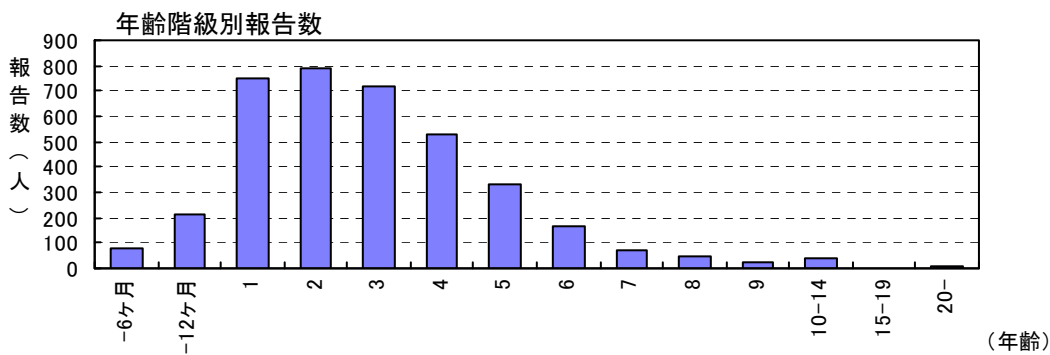
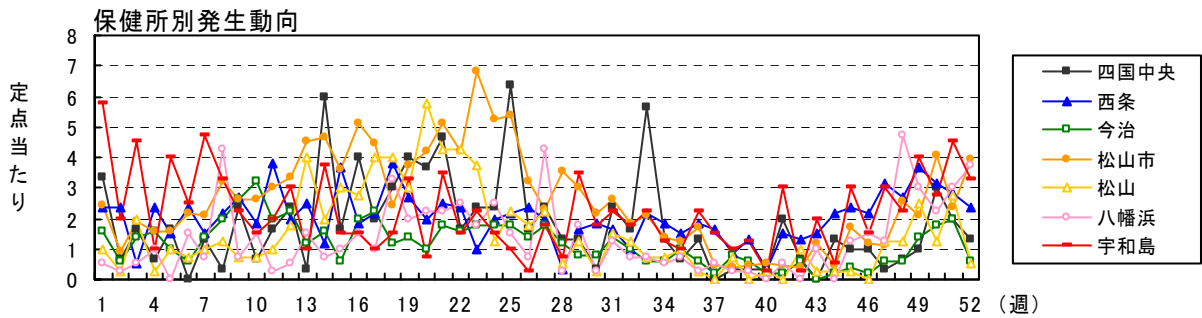
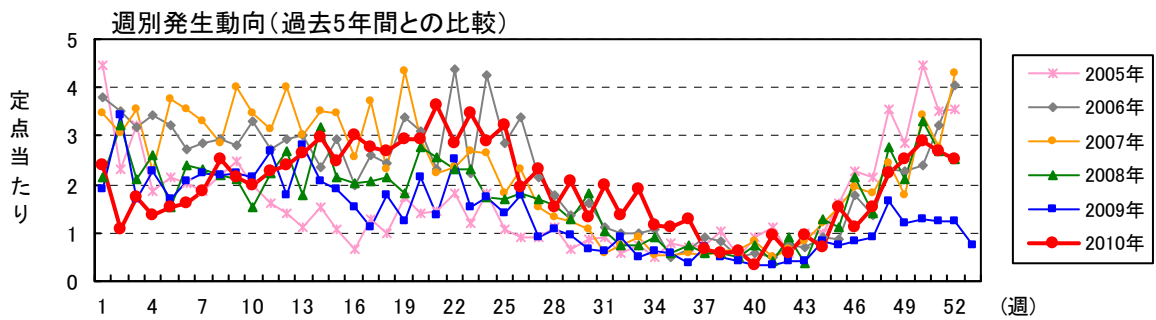


感染性胃腸炎【2009/2010シーズン(2009年第36週～2010年第35週)】

月週	患者報告数																				定点当たり報告数															
	愛媛県										全国										愛媛県					全国										
	2009/2010シーズン保健所別					2008/2009					2007/2008					2009/2010シーズン保健所別					2008/2009					2007/2008										
	四国中央	西条	今治	山市	松山市	八幡浜	宇和島	2009/2010	2008/2009	2007/2008	四国中央	西条	今治	山市	松山市	八幡浜	宇和島	2009/2010	2008/2009	2007/2008	四国中央	西条	今治	山市	松山市	八幡浜	宇和島	2009/2010	2008/2009	2007/2008	四国中央	西条	今治	山市	松山市	八幡浜
36	14	23	6	38	24	18	8	131	144	119	8,658	9,300	9,502	3,45	6.00	4.50	2.00	3.54	3.89	3.22	4.67	3.83	1.20	3.45	6.00	4.50	2.00	3.54	3.89	3.22	2.85	3.07	3.15			
37	10	22	9	51	13	10	8	121	113	110	8,090	9,099	10,104	4.64	3.25	2.50	2.00	3.27	3.05	2.97	3.33	3.33	1.80	4.64	3.25	2.50	2.00	3.27	3.05	2.97	2.66	3.02	3.36			
9	38	10	20	46	11	7	9	121	117	117	7,619	8,263	8,890	4.18	2.75	1.75	2.25	3.27	3.27	3.16	3.33	3.67	3.20	4.18	2.75	1.75	2.25	3.27	3.27	2.54	2.74	2.97				
39	8	13	4	24	16	8	2	75	146	116	5,355	8,175	8,667	2.18	4.00	2.00	0.50	2.03	3.95	3.14	2.67	2.17	0.80	2.18	4.00	2.00	0.50	2.03	3.95	3.14	1.77	2.71	2.87			
40	8	20	7	60	20	12	5	132	140	146	7,207	9,965	9,545	5.45	5.00	3.00	1.25	3.57	3.78	3.95	2.67	3.33	1.40	5.45	5.00	3.00	1.25	3.57	3.78	2.96	2.96	3.18				
41	13	17	2	67	9	7	5	120	133	93	7,166	9,376	9,256	6.09	2.25	1.75	1.25	3.24	3.59	2.51	4.33	2.83	0.40	6.09	2.25	1.75	1.25	3.24	3.59	2.36	3.12	3.07				
10	42	4	12	43	10	6	3	80	124	110	6,281	8,606	10,476	3.91	2.50	1.50	0.75	2.16	3.35	2.97	1.33	2.00	0.40	3.91	2.50	1.50	0.75	2.16	3.35	2.06	2.85	3.48				
43	11	18	4	49	7	4	4	97	150	175	7,209	9,881	11,641	4.45	1.75	1.00	1.00	2.62	4.05	4.73	3.67	3.00	0.80	4.45	1.75	1.00	1.00	2.62	4.05	2.37	3.28	3.85				
44	4	16	11	50	6	7	1	95	166	137	7,377	10,890	12,699	4.55	1.50	1.75	0.25	2.44	3.42	4.22	1.33	2.67	2.20	4.55	1.50	1.75	0.25	2.44	3.42	2.37	3.28	3.85				
45	3	9	6	52	10	2	5	87	123	191	7,136	11,573	17,199	4.73	2.50	2.25	0.50	2.35	3.32	5.16	1.00	1.50	1.20	4.73	2.50	2.25	0.50	2.35	3.32	3.62	3.82	5.69				
46	9	16	2	77	13	10	2	77	170	223	8,143	16,208	22,143	2.45	3.25	2.50	0.50	2.08	4.59	6.03	1.67	1.50	3.20	2.45	3.25	2.50	0.50	2.08	4.59	5.37	7.32	7.32				
11	47	5	16	13	40	13	12	2	101	253	8,646	20,365	27,257	3.64	3.25	3.00	0.50	2.73	5.16	6.84	1.67	2.67	2.60	3.64	3.25	3.00	0.50	2.73	5.16	2.86	6.75	9.01				
48	6	20	13	52	10	11	6	118	199	451	8,812	24,155	41,301	4.73	2.50	2.75	1.50	3.19	5.38	12.19	2.00	3.33	2.60	4.73	2.50	2.75	1.50	3.19	5.38	2.89	7.99	13.66				
49	14	28	14	46	23	9	3	137	318	722	11,883	36,007	51,157	5.82	5.75	2.25	0.75	3.70	8.59	19.51	4.67	4.67	2.80	5.82	5.75	2.25	0.75	3.70	8.59	3.91	11.87	16.90				
50	13	28	11	64	20	8	3	147	481	902	14,568	44,216	58,556	5.82	5.00	2.00	0.75	3.97	13.00	24.38	4.33	4.67	2.20	5.82	5.00	2.00	0.75	3.97	13.00	4.79	14.59	19.33				
51	5	27	13	56	13	18	4	135	533	1,046	19,013	48,115	57,275	5.09	3.25	4.50	1.00	3.65	14.41	28.27	1.33	4.80	2.60	5.09	3.25	4.50	1.00	3.65	14.41	6.25	15.89	19.01				
52	5	17	15	93	18	18	1	167	734	812	22,452	41,852	40,521	8.45	4.50	4.50	0.25	4.51	19.84	21.95	1.67	2.53	3.00	8.45	4.50	4.50	0.25	4.51	19.84	7.39	13.90	13.57				
53	14	12	15	64	7	9	5	126			13,204			5.82	1.75	2.25	1.25	3.41			4.67	2.00	3.00	5.82	1.75	2.25	1.25	3.41	4.42							
1	24	52	62	225	44	37	15	459	281	387	25,981	14,211	14,211	20.45	11.00	9.25	3.75	12.41	7.59	10.46	8.00	8.67	12.40	20.45	11.00	9.25	3.75	12.41	7.59	8.63	4.98	5.35				
2	29	101	105	271	100	64	16	686	686	605	31,947	30,845	31,444	21.00	24.64	16.00	4.00	18.54	18.54	16.35	9.67	16.83	21.00	24.64	24.64	16.00	4.00	18.54	18.54	10.53	10.23	10.44				
3	45	91	141	397	113	107	30	924	572	474	42,145	24,945	25,208	15.17	36.09	26.75	7.50	24.97	15.46	12.81	15.00	15.17	28.20	36.09	26.75	7.50	24.97	15.46	12.81	8.24	8.31	8.31				
4	46	111	100	437	112	140	30	976	602	430	43,469	26,005	27,956	18.50	39.73	28.00	7.50	26.38	16.27	11.62	15.33	18.50	20.00	39.73	28.00	7.50	26.38	16.27	11.62	14.32	8.59	9.21				
5	53	106	88	391	98	123	16	875	417	431	42,253	23,342	28,005	17.60	35.55	30.75	4.00	23.65	11.27	11.65	15.33	17.67	17.60	35.55	30.75	4.00	23.65	11.27	11.65	7.70	9.25	9.25				
6	46	72	96	359	58	108	36	775	363	395	37,962	21,413	27,846	15.33	24.50	27.00	9.00	20.95	9.81	10.68	12.67	12.00	19.20	32.64	14.50	27.00	9.00	20.95	9.81	10.68	7.06	9.25				
7	38	83	80	268	49	92	40	650	271	426	37,820	19,652	25,743	16.00	24.36	23.00	10.00	17.57	7.32	11.51	12.67	13.83	16.00	24.36	23.00	10.00	17.57	7.32	11.51	12.45	6.49	8.51				
8	26	55	55	282	96	83	44	668	305	534	37,545	20,786	28,443	11.00	25.64	20.75	11.00	18.05	8.24	14.43	8.67	13.67	11.00	25.64	20.75	11.00	18.05	8.24	14.43	12.37	7.55	10.17				
9	34	62	39	229	55	63	37	519	351	519	34,888	22,893	33,740	7.80	20.82	13.75	9.25	14.03	9.49	14.03	11.33	10.33	7.80	20.82	13.75	9.25	14.03	9.49	14.03	11.48	7.05	11.15				
10	29	65	50	183	63	60	70	520	365	651	32,664	24,195	36,978	10.00	16.64	15.75	17.50	14.05	9.86	17.59	9.67	10.83	10.00	16.64	15.75	17.50	14.05	9.86	17.59	10.76	7.97	12.21				
11	22	29	73	36	145	44	43	36	406	412	30,475	25,493	39,142	7.20	13.18	11.00	10.75	9.00	11.14	17.19	7.33	6.00	7.20	13.18	11.00	10.75	9.00	11.14	17.19	10.10	8.41	12.93				
12	22	36	27	122	38	48	19	312	414	554	22,976	22,763	32,826	5.40	11.09	9.50	4.75	8.43	11.39	14.97	7.33	6.00	5.40	11.09	9.50	4.75	8.43	11.39	14.97	7.58	7.51	10.75				
13	14	34	19	150	44	46	13	320	381	447	23,371	20,543	27,073	3.80	13.64	11.00	3.25	8.65	10.30	12.08	4.67	5.67	3.80	13.64	11.00	3.25	8.65	10.30	12.08	7.72	6.79	8.99				
14	23	38	15	129	25	56	25	311	444	416	24,608	20,775	24,086	3.00	11.73	6.25	14.00	6.25	8.41	12.00	6.67	6.33	3.00	11.73	6.25	14.00	6.25	8.41	12.00	8.11	6.85	7.98				
15	18	42	17	162	36	58	15	348	450	411	27,409	23,372	26,298	3.40	14.73	9.00	3.75	9.41	12.16	11.11	6.00	7.00	3.40	14.73	9.00	3.75	9.41	12.16	11.11	9.03	7.71	8.72				
16	29	42	14	274	34	58	4	455	423	421	30,095	25,577	27,130	2.80	24.91	8.50	1.00	12.30	11.43	11.38	9.67	7.00	2.80	24.91	8.50	1.00	12.30	11.43	11.38	9.92	8.47	8.96				
17	39	57	34	213	64	47	13	467	427	374	28,724	26,001	24,484	6.80	19.36	16.00	3.25	12.62	11.54	10.11	13.00	9.50	6.80	19.36	16.00	3.25	12.62	11.54	10.11	9.58	8.60	8.11				
18	27	57	23	143	46	23	30	349	456	383	18,793	25,174	19,926	4.60	13.00	5.75	7.50	9.43	12.32	10.35	9.00	9.50	4.60	13.00	5.75	7.50	9.43	12.32	10.35	6.20	8.44	6.69				
19	33	69	48	191	54	37	11	443	294	265	24,879	16,861	16,059	6.00	17.36	13.50	2.75	11.97	7.95	7.16	7.67	6.33	6.00	17.36	13.50	2.75	11.97	7.95	7.16	8.19	5.57	5.32				
20	20	20	44	30	178	41	29	14	356	415	25,824	21,167	20,585	3.00	16.18	10.25	3.50	9.62	11.22	9.95	6.67	7.33	6.00	16.18	10.25	3.50	9.62	11.22	9.95	8.50	6.98	6.79				
21	30	68	40	143	21	26	2	330	420	404	21,985	20,554	21,233	8.00	13.00	5.25	0.50	8.92	11.35	10.92	10.00	11.33	8.00	13.00	5.25	0.50	8.92	11.35	10.92	7.24	6.80	7.01				
22	14	40	27	140	30	28	10	289	362																											

水痘

2010年の患者報告数は3,770人(定点当たり101.89人/年)で、過去10年で最も少なかった前年(患者報告数2,677人 定点当たり72.35人/年)に比べ増加したが、過去10年(定点当たり平均97.95人/年)では平均的な発生規模であった。本疾患は例年5~6月に小さなピークを形成した後、9月に最低となり、12~1月に再びピークを形成する動向を示す。本年は1月から宇和島地区で多発傾向にあり、その他の地区でも徐々に増加し始め、県全体では第21週(5月下旬)に定点当たり3.62人/週とピークに達し、その後減少した。第40週(10月上旬)に最も低位となった後、県内全域で増加に転じ、第50週(12月中旬)に定点当たり2.89人/週と第2のピークに達した。地域別の定点当たり報告数は、松山市の135.27人/年が最も多く、次いで宇和島地区113.25人/年、西条地区106.33人/年、四国中央地区94.00人/年、松山地区79.75人/年、八幡浜地区70.25人/年、今治地区61.80人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、2歳が791人(21.0%)と最も多く、1~6歳の幼児が3,284人と全体の87.1%を占めた。

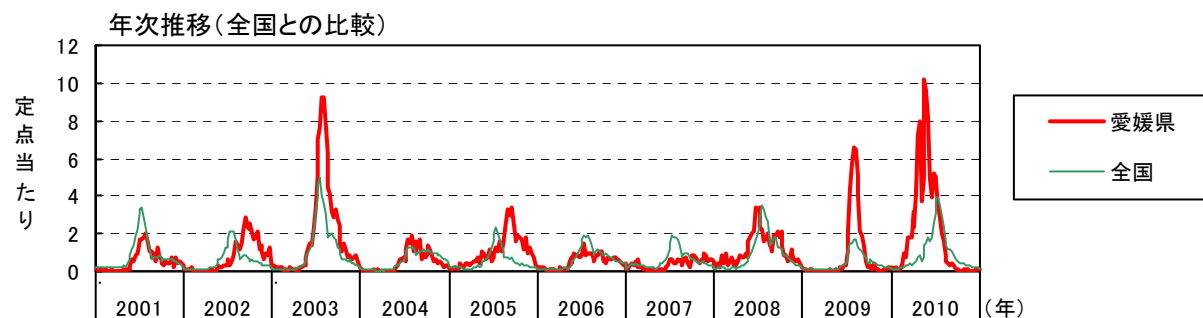
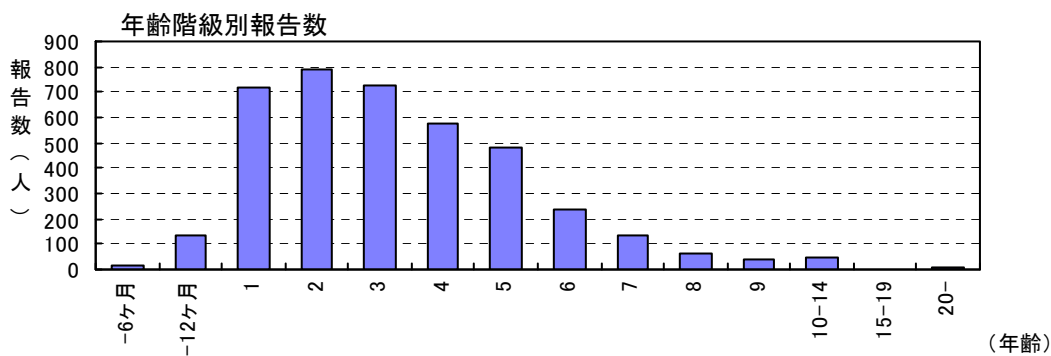
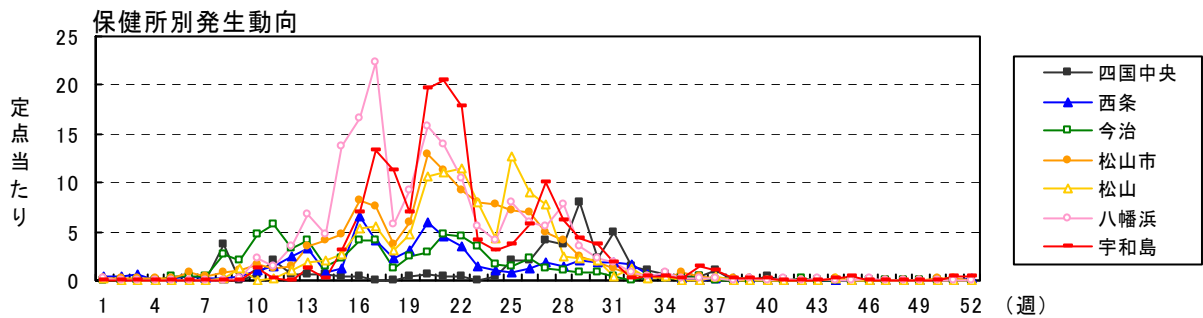
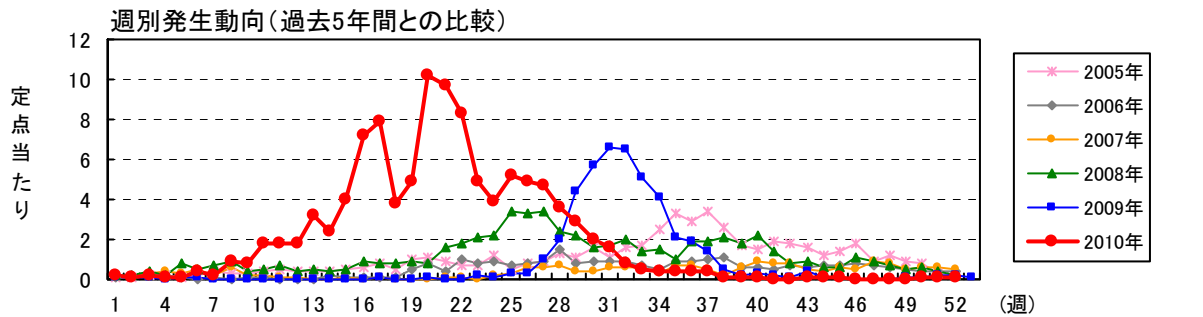


水痘

月週	患者報告数														定点当たり報告数										
	2010年 保健所別							愛媛県							全国										
	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008		
1	10	14	8	27	4	2	23	88	71	80	5,274	3,333	2,333	1,600	2,455	1,000	0.50	5.75	2.38	1.84	1.92	2.16	1.84	1.45	1.82
2	2	14	3	10	1	1	8	39	127	120	7,453	0.67	2.33	0.60	0.91	0.25	0.25	2.00	1.05	3.43	3.24	1.12	3.02	2.47	1.50
3	5	3	7	21	8	2	18	64	63	78	4,540	1.67	0.50	1.40	1.91	2.00	0.50	4.50	1.73	1.70	2.11	1.28	1.55	1.50	1.96
4	2	14	8	17	1	4	50	84	84	97	5,939	0.67	2.33	1.60	1.55	1.00	1.00	1.00	1.35	2.27	2.62	1.16	1.88	1.40	1.82
5	5	9	5	17	4	4	16	63	63	56	4,229	1.67	1.50	1.00	1.55	1.00	1.00	4.00	1.51	1.70	1.51	1.30	1.38	1.40	1.84
6	7	14	3	24	3	6	60	77	89	4,340	5,529	1.33	2.33	0.60	2.18	0.75	1.50	2.50	1.62	2.08	2.41	1.43	1.75	1.84	1.65
7	4	9	7	23	4	3	19	69	82	86	4,827	0.33	1.50	1.40	2.09	1.00	0.75	4.75	1.86	2.22	2.32	1.88	1.59	1.65	
8	1	13	10	35	5	17	13	94	81	81	5,190	0.33	2.17	2.00	3.18	1.25	4.25	3.25	2.54	2.19	2.19	1.60	1.68	1.71	1.62
9	7	16	13	29	3	3	80	83	78	78	4,889	2.33	2.67	2.60	2.64	0.75	1.50	2.25	2.16	2.24	2.11	1.67	1.61	1.62	
10	2	11	16	29	3	6	73	80	66	66	4,775	0.67	1.83	3.20	2.64	0.75	1.50	1.50	1.97	2.16	2.16	1.51	1.69	1.64	1.58
11	5	23	10	33	4	1	84	100	83	83	4,940	1.67	3.83	2.00	3.00	1.00	0.25	2.00	2.27	2.70	2.24	1.88	1.79	1.63	1.63
12	7	12	11	37	7	2	12	88	66	99	4,901	2.33	2.00	2.20	3.36	1.75	0.50	3.00	2.38	1.78	2.68	1.71	1.65	1.62	1.62
13	1	15	6	50	16	6	4	98	104	65	5,196	0.33	2.50	1.20	4.55	4.00	1.50	1.00	2.65	2.81	1.76	1.88	1.86	1.72	1.72
14	18	7	8	51	8	3	15	110	118	118	4,942	6.00	1.17	1.60	4.64	2.00	0.75	3.75	2.97	2.08	3.19	1.76	1.63	1.64	1.64
15	5	22	3	40	12	4	6	92	71	80	4,687	1.67	3.67	0.60	3.64	3.00	1.00	1.50	2.49	1.92	2.16	1.65	1.66	1.55	1.55
16	16	12	11	56	11	6	112	57	57	75	4,739	4.00	1.83	2.00	5.09	2.75	1.50	1.50	3.03	1.54	2.03	1.74	1.46	1.46	1.56
17	6	13	11	49	16	4	103	42	42	76	5,181	2.00	2.17	2.20	4.45	4.00	1.00	1.00	2.78	1.14	2.05	1.97	1.56	1.72	1.72
18	9	23	6	27	16	13	6	100	66	80	5,336	3.00	3.83	1.20	2.45	4.00	3.25	1.50	2.70	1.78	2.16	1.95	1.64	1.79	1.79
19	12	16	7	41	12	8	13	109	46	68	6,106	4.00	2.67	1.40	3.73	3.00	2.00	3.25	2.95	1.24	1.84	2.42	1.64	2.02	2.02
20	11	12	5	46	23	9	3	109	80	102	6,267	3.67	2.00	1.00	4.18	5.75	2.25	0.75	2.95	2.16	2.76	1.89	1.97	2.07	2.07
21	14	15	9	56	17	9	14	134	50	95	5,726	4.67	2.50	1.80	5.09	4.25	2.25	3.50	3.62	1.35	2.57	2.99	1.76	1.89	1.89
22	5	14	8	46	17	10	6	106	93	85	7,340	1.67	2.33	1.60	4.18	4.25	2.50	1.50	2.86	2.51	2.30	1.98	1.90	2.42	2.42
23	7	6	9	75	15	7	9	128	56	85	4,902	2.33	1.00	1.80	6.82	3.75	1.75	2.25	3.46	1.51	2.30	2.91	1.62	1.88	1.88
24	7	12	9	58	5	10	6	107	64	64	6,809	2.33	2.00	1.80	5.27	1.25	2.50	1.50	2.89	1.73	1.73	2.22	1.84	2.25	2.25
25	19	13	9	59	9	6	4	119	52	63	6,354	6.33	2.17	1.80	5.36	2.25	1.50	1.00	3.22	1.41	1.70	2.18	1.60	2.10	2.10
26	5	14	7	35	7	3	1	72	65	67	4,663	1.67	2.33	1.40	3.18	1.75	0.75	0.25	1.95	1.76	1.81	1.72	1.54	1.74	1.74
27	7	12	9	25	9	17	7	86	33	62	4,703	2.33	2.00	1.40	2.27	2.25	4.25	1.75	2.32	0.89	1.68	1.49	1.30	1.55	1.55
28	4	2	6	39	2	1	3	57	40	58	4,682	1.33	0.33	1.20	3.55	0.50	0.25	0.75	1.54	1.08	1.57	1.25	1.07	1.54	1.54
29	20	11	4	40	3	5	7	77	35	47	3,714	1.33	1.67	0.80	3.00	1.25	1.75	3.50	2.08	0.95	1.27	1.04	1.09	1.23	1.23
30	1	11	4	24	1	1	7	49	25	67	2,894	0.33	1.83	0.80	2.64	1.25	0.25	1.75	1.32	0.68	1.81	1.00	0.77	0.96	0.96
31	7	10	7	29	6	5	9	73	23	38	2,653	2.33	1.67	1.40	2.64	1.50	1.25	2.25	1.97	0.62	1.03	0.77	0.77	0.88	0.88
32	5	6	5	20	5	3	7	51	34	28	1,883	1.67	1.00	1.00	1.82	1.25	0.75	1.75	1.38	0.92	0.76	0.72	0.63	0.66	0.66
33	17	13	3	23	3	3	9	71	19	27	1,760	5.67	2.17	0.60	2.09	0.75	0.75	2.25	1.92	0.51	0.73	0.63	0.53	0.60	0.60
34	4	11	3	15	3	2	5	43	23	34	1,682	1.33	1.83	0.60	1.36	0.75	0.50	1.25	1.16	0.62	0.92	0.59	0.56	0.58	0.58
35	2	9	5	14	4	3	4	41	21	21	1,277	0.67	1.50	1.00	1.27	1.00	0.75	1.00	1.11	0.57	0.57	0.50	0.42	0.46	0.46
36	4	11	3	19	1	1	9	48	13	27	1,676	1.33	1.83	0.60	1.73	0.25	0.25	2.25	1.30	0.35	0.73	0.55	0.42	0.56	0.56
37	10	10	1	5	2	2	6	24	26	22	1,481	0.33	1.67	0.20	4.45	0.50	0.50	1.50	0.65	0.70	0.59	0.49	0.46	0.47	0.47
38	1	5	4	4	3	1	4	22	18	21	1,252	0.33	0.83	0.80	0.36	0.75	0.25	1.00	0.59	0.49	0.57	0.51	0.40	0.42	0.42
39	1	8	3	5	5	1	5	23	15	19	1,329	0.33	1.33	0.60	0.60	0.25	0.25	1.25	0.62	0.41	0.51	0.54	0.44	0.49	0.49
40	1	2	1	6	1	1	12	12	12	27	1,734	0.33	0.33	0.20	0.55	0.25	0.25	0.25	0.32	0.32	0.73	0.58	0.54	0.39	0.39
41	6	9	1	5	2	2	12	35	12	15	1,204	2.00	1.50	0.20	0.45	1.00	0.50	3.00	0.95	0.32	0.41	0.77	0.40	0.56	0.56
42	2	8	3	4	4	4	1	22	16	33	2,081	0.67	1.33	0.60	0.36	1.00	1.00	0.25	0.59	0.43	0.89	0.70	0.54	0.69	0.69
43	9	13	9	13	1	4	8	35	16	13	1,946	1.33	1.50	1.00	1.18	0.25	1.00	2.00	0.95	0.43	0.35	0.80	0.64	0.71	0.71
44	4	13	1	5	1	1	2	26	30	48	2,062	1.33	2.17	0.20	0.45	0.25	0.25	0.50	0.70	0.81	1.30	0.95	0.68	0.90	0.90
45	3	14	2	19	1	5	12	56	27	42	2,656	1.00	2.33	0.40	1.73	0.25	1.25	3.00	1.51	0.73	1.14	1.27	0.87	0.88	0.88
46	3	13	1	13	1	6	4	42	31	79	4,242	1.00	2.17	0.20	1.18	0.25	1.50	1.50	1.14	0.84	2.14	1.40	0.93	1.29	1.29
47	1	19	3	12	5	5	12	57	34	52	5,439	0.33	3.17	0.60	1.09	1.25	1.25	3.00	1.54	0.92	1.41	1.79	1.05	1.31	1.31
48	2	16	3	28	5	19	9	82	61	102	6,524	0.67	2.67	0.60	2.55	1.25	4.75	2.25	2.22	1.65	2.76	2.15	1.11	1.69	1.69
49	3	22	7	23	10	12	16	93	45	78	4,089	1.00	3.67	1.40	2.09	2.50	3.00	4.00	2.51	1.22	2.11	2.23	1.34	1.74	1.74
50	9	17	9	45	5	11	107	756	48	122	7,756</														

手足口病

2010年の患者報告数は3,974人(定点当たり107.41人/年)で、前年(患者報告数1,662人 定点当たり44.92人/年)に比べ2.4倍に増加し、過去10年では最大の発生規模となった。本年は例年よりも早い3月から県内各地で増加した。特に南予では地域的流行の様相を呈し、八幡浜地区では第17週(4月下旬)に定点当たり22.25人/週、宇和島地区では第21週(5月下旬)に定点当たり20.50人/週と他地区に比べ突出して大きな流行ピークを形成した。県全体では、第20週(5月下旬)に定点当たり10.22人/週と流行のピークを迎え、その後徐々に減少した。地域別の定点当たり報告数は、八幡浜地区175.00人/年、宇和島地区151.50人/年、松山市127.55人/年、松山地区113.00人/年で大規模な発生となり、次いで今治地区65.40人/年、西条地区59.50人/年、四国中央地区43.00人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、2歳が786人(19.8%)と最も多く、1~3歳が2,231人と全体の56.1%を占めた。病原体は、エンテロウイルス71型が検出された。



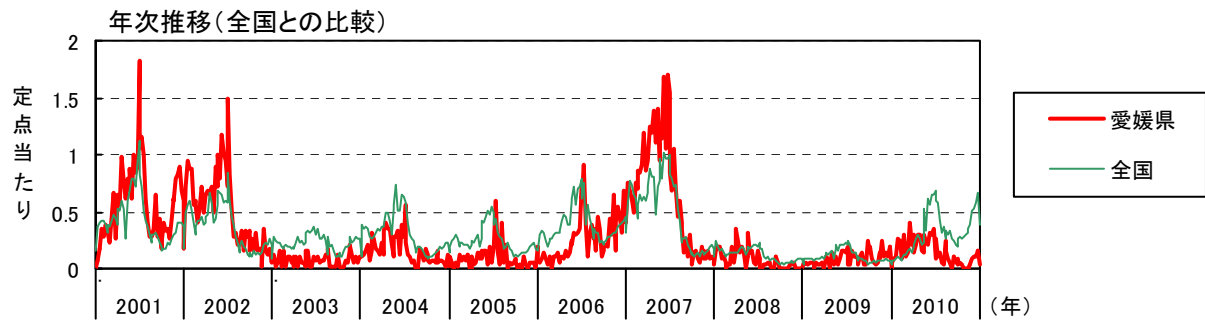
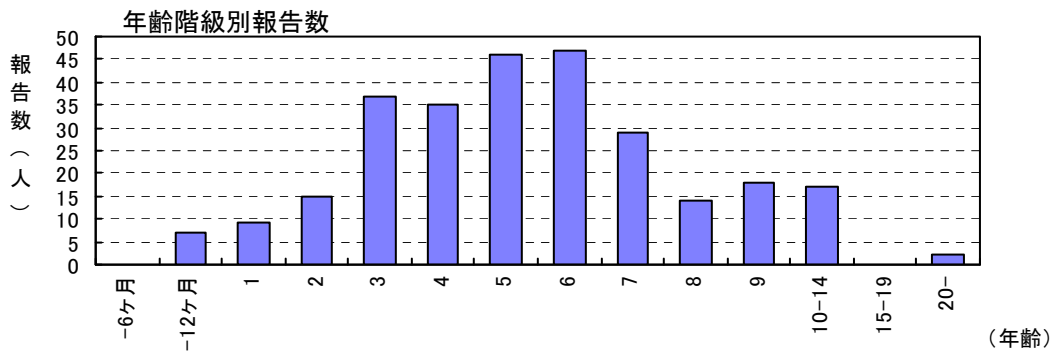
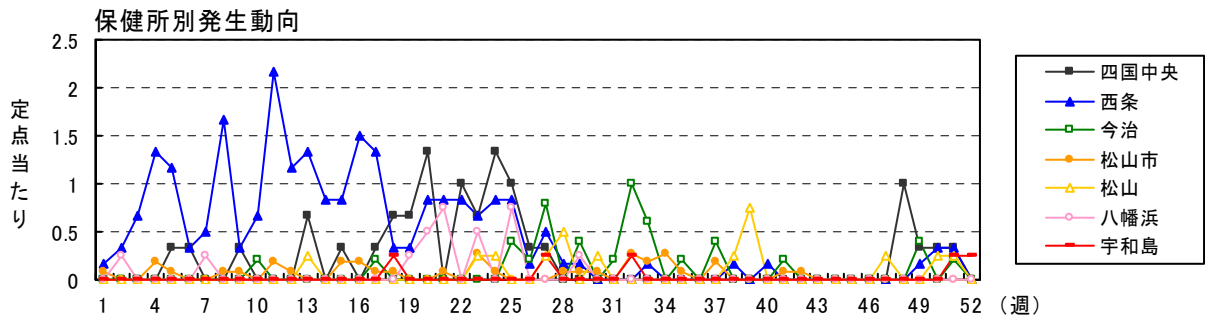
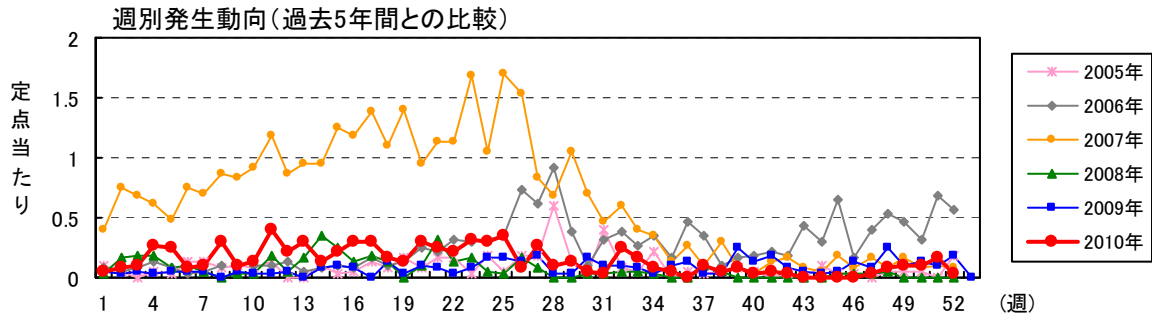
手足口病

Main data table showing weekly and monthly patient reports for Hand, Foot, and Mouth Disease (HFMD) in Ehime Prefecture. The table is organized into sections for '患者報告数' (Patient Reports) and '定点当たり報告数' (Reports per Point) for both 2010 and 2009. Rows include weekly data (月週) and monthly data (月), with columns for various prefectures and cities. The '合計' (Total) row at the bottom shows cumulative counts for 2010 and 2009.

(注) 2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

伝染性紅斑

2010年の患者報告数は276人(定点当たり7.46人/年)で、前年(患者報告数166人 定点当たり4.49人/年)に比べ微増した。本疾患は、1992年、1997年、2001～2002年、2006～2007年と4、5年おきに流行期を迎えており、2008～2010年は非流行期であると考えられた。本年は、前年に引き続き7月まで西条地区で、5月から7月にかけて四国中央地区でそれぞれ小流行が発生したが、他地区では年間を通じ散発程度の発生であった。地域別の定点当たり報告数は、西条地区の24.17人/年が最も多く、次いで四国中央地区11.67人/年、今治地区5.40人/年、松山地区及び八幡浜地区3.50人/年、松山市3.27人/年、宇和島地区1.25人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、5歳の46人、6歳の47人が多く、3～6歳の幼児が165人と全体の59.8%を占めた。



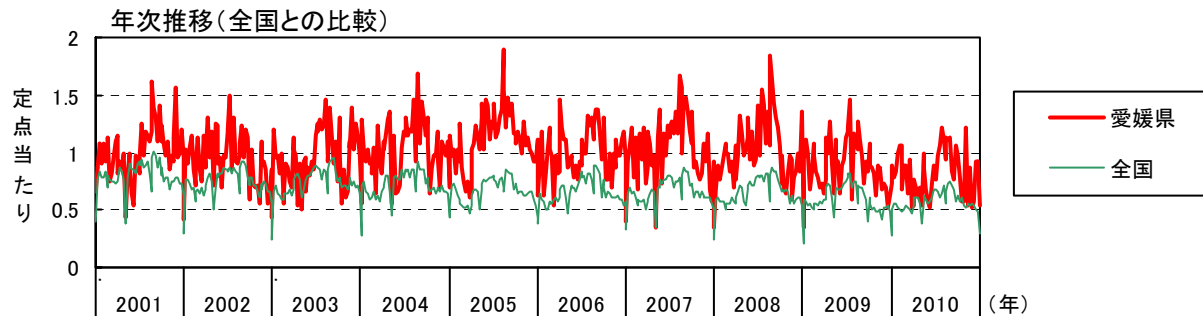
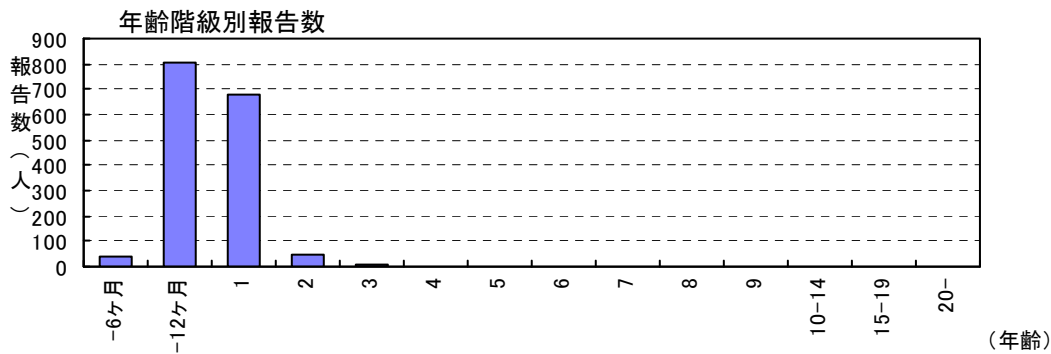
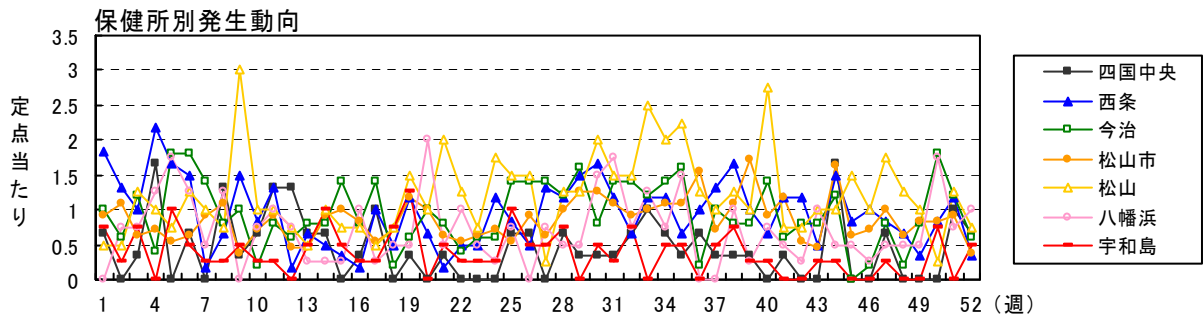
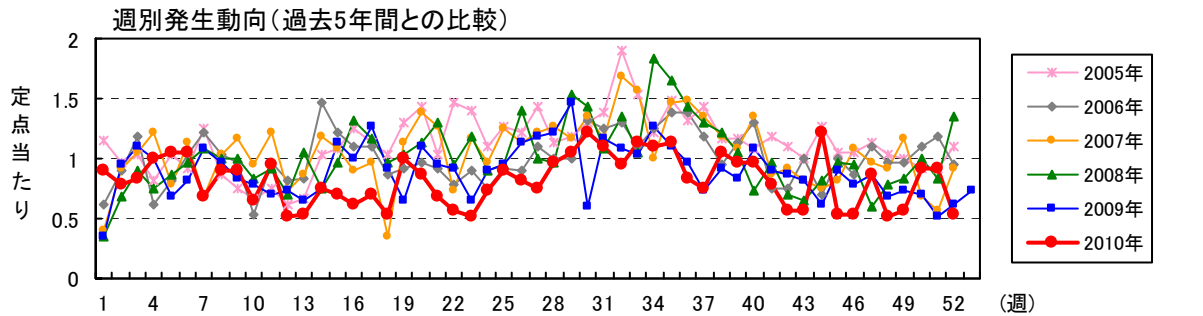
伝染性紅斑

月	週	患者報告数											定点当たり報告数													
		2010年 保健所別						愛媛県					全国													
		2010年 保健所別						愛媛県					全国													
		四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008								
1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	1	222	83	288	0.17	0.09	0.09	0.05	0.05	0.03	0.07	0.03	0.07	0.03	0.07	0.03	0.10
2	2	2	2	2	2	2	2	3	4	2	229	269	725	0.33	0.09	0.09	0.08	0.03	0.16	0.08	0.08	0.08	0.09	0.08	0.08	0.24
3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	279	286	611	0.67	0.18	0.18	0.11	0.05	0.19	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.20
4	8	8	8	8	8	8	8	10	10	1	311	283	504	1.33	0.09	0.09	0.27	0.03	0.19	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.17
5	7	7	7	7	7	7	7	9	9	2	284	268	511	1.17	0.09	0.09	0.24	0.05	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.17
6	1	1	1	1	1	1	1	3	3	3	230	245	412	0.33	0.33	0.33	0.08	0.05	0.11	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.14	0.17
7	3	3	3	3	3	3	3	4	4	2	272	235	317	0.50	0.09	0.09	0.11	0.05	0.05	0.05	0.09	0.09	0.09	0.09	0.08	0.10
8	10	10	10	10	10	10	10	11	11	1	397	204	384	1.67	0.09	0.09	0.30	0.05	0.05	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.07	0.13
9	2	2	2	2	2	2	2	4	4	1	364	243	382	0.33	0.09	0.09	0.11	0.03	0.03	0.12	0.08	0.08	0.08	0.14	0.13	
10	4	4	4	4	4	4	4	5	5	1	478	246	412	0.67	0.20	0.20	0.14	0.03	0.03	0.16	0.08	0.08	0.08	0.14	0.15	
11	13	13	13	13	13	13	13	15	15	7	509	265	450	2.17	0.18	0.18	0.41	0.03	0.19	0.17	0.17	0.17	0.09	0.15	0.15	
12	7	7	7	7	7	7	7	12	12	2	422	326	400	1.17	0.09	0.09	0.22	0.05	0.05	0.14	0.11	0.11	0.11	0.13	0.13	
13	2	2	2	2	2	2	2	11	11	6	573	278	414	0.67	0.25	0.25	0.30	0.05	0.16	0.19	0.19	0.19	0.09	0.14	0.14	
14	5	5	5	5	5	5	5	8	8	3	660	380	448	0.83	0.18	0.18	0.14	0.08	0.35	0.22	0.13	0.13	0.13	0.15	0.15	
15	1	1	1	1	1	1	1	8	8	4	790	451	439	0.83	0.18	0.18	0.22	0.11	0.24	0.26	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
16	9	9	9	9	9	9	9	11	11	3	916	358	549	1.50	0.18	0.18	0.30	0.08	0.14	0.30	0.12	0.12	0.12	0.18	0.18	
17	1	1	1	1	1	1	1	8	8	7	778	410	578	0.33	0.09	0.09	0.30	0.08	0.19	0.26	0.14	0.14	0.14	0.19	0.19	
18	2	2	2	2	2	2	2	6	6	5	628	464	513	0.67	0.09	0.09	0.16	0.14	0.14	0.21	0.16	0.16	0.16	0.17	0.17	
19	2	2	2	2	2	2	2	5	5	1	706	251	347	0.67	0.25	0.25	0.14	0.03	0.23	0.23	0.08	0.11	0.11	0.15	0.15	
20	4	4	4	4	4	4	4	11	11	4	1,618	508	462	1.33	0.09	0.09	0.30	0.11	0.11	0.53	0.17	0.17	0.09	0.15	0.15	
21	5	5	5	5	5	5	5	12	12	3	1,010	641	597	0.83	0.09	0.09	0.24	0.08	0.32	0.21	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
22	3	3	3	3	3	3	3	8	8	1	1,873	480	523	1.00	0.09	0.09	0.22	0.03	0.14	0.62	0.16	0.16	0.16	0.17	0.17	
23	2	2	2	2	2	2	2	12	12	3	1,727	626	608	0.67	0.27	0.27	0.32	0.08	0.16	0.57	0.21	0.21	0.21	0.20	0.20	
24	4	4	4	4	4	4	4	11	11	6	1,957	638	614	1.33	0.09	0.09	0.30	0.16	0.05	0.64	0.21	0.21	0.21	0.20	0.20	
25	3	3	3	3	3	3	3	5	5	1	1,956	655	647	1.00	0.40	0.40	0.35	0.16	0.03	0.65	0.22	0.22	0.22	0.21	0.21	
26	1	1	1	1	1	1	1	3	3	5	2,053	673	572	0.33	0.20	0.20	0.08	0.14	0.16	0.68	0.19	0.19	0.19	0.19	0.19	
27	1	1	1	1	1	1	1	10	10	7	1,841	629	692	0.33	0.80	0.80	0.27	0.19	0.08	0.61	0.21	0.21	0.21	0.23	0.23	
28	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1,742	729	552	0.17	0.09	0.09	0.11	0.03	0.03	0.58	0.24	0.24	0.24	0.18	0.18	
29	29	29	29	29	29	29	29	5	5	1	1,289	618	553	0.17	0.09	0.09	0.14	0.03	0.42	0.20	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	
30	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6	981	424	338	0.33	0.09	0.09	0.05	0.16	0.03	0.32	0.14	0.14	0.14	0.11	0.11	
31	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1,136	443	276	0.17	0.20	0.20	0.03	0.11	0.03	0.38	0.15	0.15	0.15	0.09	0.09	
32	5	5	5	5	5	5	5	9	9	4	792	417	299	0.17	0.20	0.20	0.24	0.11	0.05	0.27	0.14	0.14	0.14	0.10	0.10	
33	3	3	3	3	3	3	3	6	6	3	1,012	213	181	0.17	0.60	0.60	0.16	0.08	0.05	0.34	0.07	0.07	0.07	0.06	0.06	
34	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	914	297	213	0.27	0.27	0.27	0.08	0.03	0.03	0.30	0.10	0.10	0.10	0.07	0.07	
35	8	8	8	8	8	8	8	2	2	4	986	281	253	0.33	0.09	0.09	0.05	0.11	0.11	0.33	0.09	0.09	0.09	0.08	0.08	
36	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	799	248	248	0.33	0.40	0.40	0.11	0.03	0.11	0.26	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	
37	2	2	2	2	2	2	2	4	4	1	715	235	193	0.17	0.18	0.18	0.11	0.03	0.03	0.24	0.08	0.08	0.08	0.06	0.06	
38	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	617	203	146	0.17	0.25	0.25	0.05	0.05	0.05	0.20	0.07	0.07	0.07	0.05	0.05	
39	3	3	3	3	3	3	3	3	3	9	593	119	122	0.17	0.75	0.75	0.08	0.24	0.04	0.20	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
40	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	782	160	139	0.17	0.09	0.09	0.03	0.14	0.14	0.26	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
41	1	1	1	1	1	1	1	2	2	7	866	170	147	0.17	0.09	0.09	0.05	0.19	0.03	0.29	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	
42	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	807	184	131	0.17	0.09	0.09	0.03	0.08	0.03	0.27	0.06	0.06	0.06	0.04	0.04	
43	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	838	197	165	0.17	0.25	0.25	0.03	0.05	0.03	0.28	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	
44	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	920	178	164	0.17	0.09	0.09	0.03	0.14	0.14	0.30	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	
45	4	4	4	4	4	4	4	2	2	1	933	187	167	0.17	0.25	0.25	0.05	0.05	0.03	0.31	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
46	4	4	4	4	4	4	4	5	5	1	1,036	194	191	0.17	0.25	0.25	0.03	0.08	0.03	0.27	0.06	0.06	0.06	0.04	0.04	
47	4	4	4	4	4	4	4	1	1	3	1,157	205	173	0.17	0.25	0.25	0.03	0.08	0.03	0.38	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	
48	3	3	3	3	3	3	3	3	3	9	1,545	197	174	1.00	0.40	0.40	0.08	0.24	0.05	0.51	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	
49	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	1,577	209	214	0.33	0.25	0.25	0.11	0.11	0.11	0.52	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	
50	1	1	1	1	1	1	1	4	4	5	1,776	257	279	0.33	0.25	0.25	0.11	0.14	0.14	0.58	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	
51	1	1	1	1	1	1	1	6	6	4	2,024	220	281	0.33	0.25	0.25	0.16	0.11	0.11	0.67	0.07	0.07	0.07	0.09	0.09	
52	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	1,141	210	259	0.33	0.25	0.25	0.03	0.19	0.19	0.38	0.07	0.07	0.07	0.09	0.09	
53	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	91	91	91	0.33	0.25	0.25	0.03	0.19	0.19	0.38	0.07	0.07	0.07	0.09	0.09	
合計											50,061	17,281	19,257	11.67	3.27	3.50	7.46	4.49	3.86	16.52	5.71	6.38	6.38	6.38	6.38	

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

突発性発しん

2010年の患者報告数は1,579人(定点当たり42.68人/年)で、前年(患者報告数1,751人 定点当たり47.32人/年)に比べ減少した。年間患者報告数は2005年をピークに減少傾向が続いており、本年は過去10年で最小の発生規模となった。本疾患は夏季にやや増加する傾向があるが、他疾患に比べ季節や年次による差異がほとんどなく、3歳頃までにほとんどの小児が感染することから、基準疾患として調査対象に加えられている。本年も第30週(7月下旬)と第44週(11月上旬)に定点当たり1.22人/週と最高値を示したが、年間を通じ大きな変動はなかった。地域別の定点当たり報告数は、松山地区の62.25人/年が最も多く、次いで西条地区49.33人/年、今治地区49.00人/年、松山市44.73人/年、八幡浜地区37.25人/年、四国中央地区23.33人/年、宇和島地区19.50人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、0歳が844人、1歳が680人と、1歳以下が全体の96.5%を占めた。

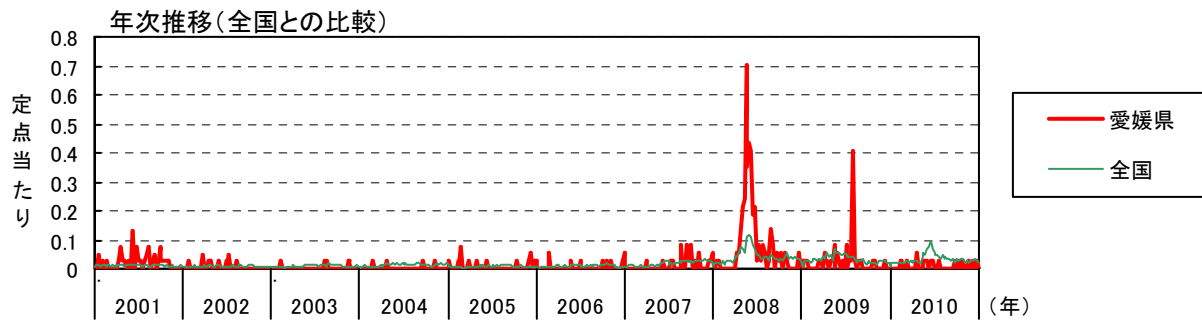
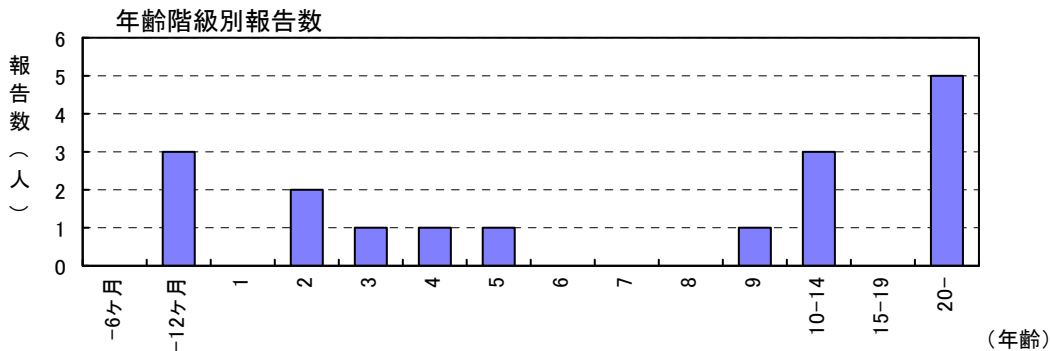
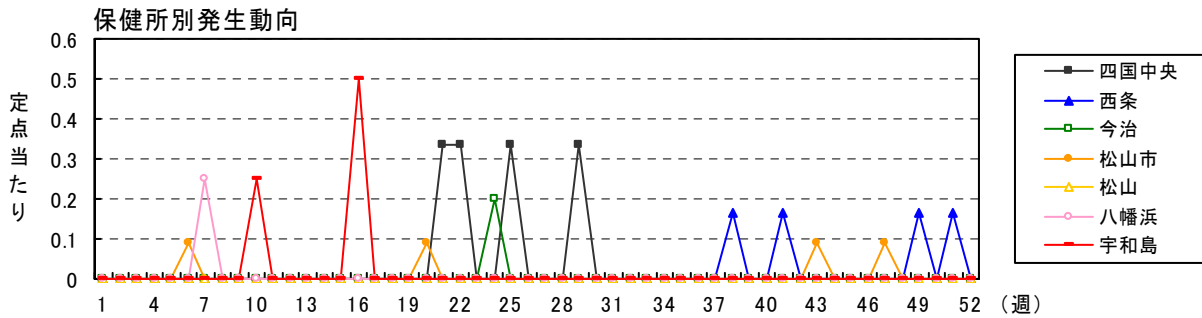
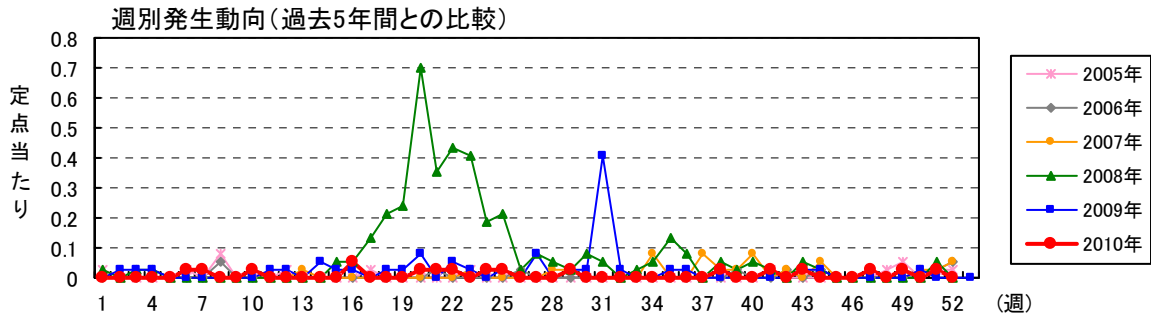


突発性発しん

月週	患者報告数													定点当たり報告数											
	2010年 保健所別						愛媛県						全国												
	四国中央		西条		今治		松山市		松山		八幡浜		宇和島		愛媛県		全国								
	2010	2009	2010	2009	2010	2009	2010	2009	2010	2009	2010	2009	2010	2009	2010	2009	2010	2009							
1	2	11	5	10	2	2	3	3	13	13	1496	612	703	0.67	1.83	1.00	0.91	0.50	0.89	0.35	0.35	0.50	0.21	0.24	
2	1	8	3	12	2	3	1	29	35	25	1,765	1,807	1,827	0.33	1.33	0.60	1.09	0.50	0.78	0.95	0.68	0.55	0.59	0.60	
3	1	6	6	7	5	3	3	31	41	33	1,710	1,726	1,827	0.67	1.00	1.20	0.64	1.25	0.75	1.11	0.89	0.56	0.57	0.60	
4	5	13	2	8	4	5	3	37	37	28	1,559	1,639	1,758	1.67	2.17	0.40	0.73	1.00	1.00	1.00	1.00	0.51	0.54	0.58	
5	10	10	9	6	3	7	4	39	25	32	1,509	1,682	1,724	0.67	1.50	1.80	0.55	0.75	1.05	0.68	0.86	0.50	0.55	0.57	
6	2	9	9	7	5	2	2	39	30	36	1,454	1,576	1,714	0.67	1.50	1.80	0.64	1.25	1.05	0.81	0.97	0.48	0.52	0.57	
7	1	9	7	10	4	5	1	25	40	40	1,493	1,510	1,522	0.67	1.17	1.40	0.91	1.00	0.68	1.08	1.08	0.49	0.50	0.50	
8	4	4	4	4	12	3	1	33	36	37	1,529	1,672	1,702	1.33	0.67	0.80	1.09	0.75	0.89	0.97	1.00	0.50	0.55	0.56	
9	1	9	5	4	12	2	2	33	31	37	1,629	1,694	1,659	0.33	1.50	1.00	0.36	3.00	0.89	0.84	1.00	0.54	0.56	0.55	
10	2	5	1	8	4	4	3	24	29	31	1,583	1,611	1,691	0.67	0.83	0.20	0.73	1.00	0.75	0.78	0.84	0.52	0.53	0.56	
11	4	8	4	10	4	4	1	35	26	34	1,535	1,731	1,848	1.33	1.33	0.80	0.91	1.00	0.95	0.70	0.92	0.51	0.57	0.61	
12	4	1	3	5	3	3	3	19	27	26	1,418	1,674	1,728	1.33	0.17	0.60	0.45	0.75	0.51	0.73	0.70	0.47	0.55	0.57	
13	2	4	4	4	5	2	1	20	24	39	1,629	1,765	1,684	0.67	0.67	0.80	0.45	0.50	0.54	0.65	1.05	0.54	0.58	0.56	
14	2	3	4	10	4	1	4	28	28	28	1,826	1,785	1,843	0.67	0.50	0.80	0.91	1.00	0.76	0.76	0.76	0.60	0.59	0.61	
15	2	2	7	11	3	1	2	26	42	36	1,860	2,084	2,006	0.33	0.33	1.40	1.00	0.75	0.50	1.14	0.97	0.61	0.69	0.67	
16	1	1	4	9	3	4	1	23	37	49	1,853	2,184	2,165	0.33	0.17	0.80	0.82	0.75	0.25	0.62	1.00	1.32	0.61	0.72	
17	3	6	6	7	6	2	1	26	47	43	1,673	2,145	2,075	1.00	1.00	1.40	0.55	1.50	0.75	1.27	1.16	0.56	0.71	0.69	
18	3	3	1	8	3	2	3	20	34	36	1,174	1,828	1,727	0.50	0.50	0.20	0.73	0.75	0.54	0.92	0.97	0.39	0.61	0.58	
19	1	7	3	13	6	2	5	37	24	38	1,767	1,292	1,620	0.33	1.17	0.60	1.18	1.50	1.00	0.65	1.03	0.58	0.43	0.54	
20	4	4	5	11	4	8	2	32	41	42	1,896	2,049	2,048	0.67	0.67	1.00	1.00	2.00	0.86	1.11	1.14	0.62	0.68	0.68	
21	1	1	1	4	7	8	2	25	35	35	1,806	2,086	2,184	0.33	0.17	0.80	0.64	2.00	0.50	0.68	0.95	1.30	0.59	0.69	0.72
22	3	3	2	6	5	4	1	21	34	35	1,700	2,051	2,251	0.50	0.50	0.40	0.55	1.25	1.00	0.57	0.92	0.95	0.56	0.68	
23	3	3	3	7	3	2	1	19	24	44	1,733	2,063	2,144	0.50	0.50	0.60	0.64	0.75	0.50	0.51	0.65	1.19	0.57	0.68	
24	3	7	3	8	7	1	1	27	33	33	1,874	2,127	2,170	0.67	1.17	0.60	0.73	1.50	0.25	0.73	0.89	0.62	0.70	0.72	
25	2	5	7	6	6	3	4	33	35	35	2,068	2,225	2,351	0.67	0.83	1.40	0.55	1.50	1.00	0.89	0.95	0.95	0.68	0.73	0.78
26	2	3	7	10	6	6	3	30	42	52	2,051	2,256	2,405	0.67	0.50	1.40	0.91	1.50	0.50	0.81	1.14	1.41	0.67	0.74	
27	8	8	7	7	7	1	3	28	44	37	2,043	2,391	2,360	0.67	1.33	1.40	0.64	0.25	0.75	0.76	1.19	1.00	0.67	0.79	
28	2	7	6	11	5	2	3	36	45	36	1,999	2,475	2,433	0.67	1.17	1.20	1.00	1.25	0.50	0.97	1.22	0.97	0.66	0.82	
29	1	9	8	14	5	2	2	39	54	57	1,839	2,480	2,398	0.33	1.50	1.60	1.27	1.25	1.05	1.05	1.46	1.54	0.61	0.82	
30	1	10	4	14	8	6	2	45	22	53	1,954	2,091	2,274	0.33	1.67	0.80	1.27	2.00	1.50	1.22	0.59	1.43	0.64	0.69	
31	1	7	7	12	6	7	1	41	43	40	2,172	2,280	2,497	0.33	1.17	1.40	1.09	1.50	1.11	1.16	1.08	0.72	0.75	0.82	
32	2	4	7	10	6	3	3	35	40	50	1,658	2,249	2,447	0.67	0.67	1.40	0.91	1.50	0.75	0.95	1.08	1.35	0.56	0.75	
33	3	7	6	11	10	5	5	42	38	39	1,990	1,640	1,703	1.00	1.17	1.20	1.00	2.00	1.14	1.14	1.05	0.67	0.56	0.58	
34	2	7	7	12	8	3	2	41	47	68	2,219	2,107	2,373	0.67	1.17	1.40	1.09	2.00	1.11	1.27	1.84	0.74	0.71	0.79	
35	1	4	8	12	9	6	2	42	41	61	2,272	2,123	2,621	0.33	0.67	1.60	1.09	2.25	1.14	1.11	1.65	0.75	0.70	0.87	
36	2	6	1	17	5	3	1	36	36	53	2,166	2,099	2,510	0.67	1.00	0.20	1.55	1.25	0.84	0.97	1.43	0.72	0.69	0.83	
37	1	8	5	8	4	2	2	28	27	45	2,042	1,958	2,519	0.33	1.33	1.00	0.73	1.00	0.76	0.73	1.30	0.68	0.64	0.84	
38	1	10	4	12	5	4	3	39	34	48	1,732	1,761	2,287	0.33	1.67	0.80	1.09	1.25	1.05	0.92	1.22	0.57	0.59	0.76	
39	1	6	4	19	4	1	1	36	31	39	1,915	1,205	2,135	0.33	1.00	0.80	1.73	1.00	0.25	0.97	0.84	1.05	0.63	0.40	
40	4	7	10	11	11	3	1	36	40	27	1,866	1,839	1,994	0.67	0.67	1.40	0.91	2.75	0.25	0.97	1.08	0.73	0.60	0.66	
41	1	3	3	13	3	2	29	29	33	36	1,717	1,697	2,027	0.33	1.17	0.60	1.18	0.75	0.78	0.89	0.97	0.57	0.56	0.67	
42	7	4	7	6	3	1	1	21	32	26	1,830	1,542	2,013	1.17	1.17	0.80	0.55	0.75	0.57	0.86	0.70	0.60	0.51	0.67	
43	3	4	3	4	5	4	1	21	30	24	1,630	1,578	2,068	0.67	0.50	0.80	0.45	1.00	0.25	0.57	0.81	0.65	0.54	0.69	
44	5	9	6	18	4	2	1	45	23	30	1,572	1,492	2,011	1.67	1.50	1.20	1.64	1.00	1.22	0.62	0.81	0.52	0.49	0.67	
45	5	5	6	7	6	2	2	20	33	36	1,654	1,502	1,680	0.83	0.83	0.64	0.64	1.50	0.54	0.89	0.97	0.54	0.49	0.55	
46	6	1	8	4	1	1	1	20	29	35	1,668	1,551	1,886	1.00	1.00	0.20	0.73	1.00	0.54	0.78	0.95	0.55	0.51	0.62	
47	2	5	4	11	7	2	1	32	32	22	1,616	1,451	1,890	0.67	0.83	0.80	1.00	1.75	0.86	0.86	0.59	0.53	0.48	0.63	
48	4	1	7	5	5	2	19	19	25	29	1,682	1,285	1,678	0.67	0.67	0.20	0.64	1.25	0.51	0.68	0.78	0.55	0.42	0.56	
49	2	4	9	4	4	2	21	27	31	31	1,623	1,561	1,814	0.33	0.33	0.80	0.82	1.00	0.57	0.73	0.84	0.53	0.51	0.60	
50	5	5	4	9	1	7	3	34	26	37	1,555	1,570	1,856	0.83	0.83	1.80	0.92	0.25	1.75	0.70	1.00	0.51	0.52	0.61	
51	3	7	6	10	5	3	34	19	31	31	1,455	1,613	1,828	1.00	1.17	1.20	0.91	1.25	0.92	0.75	1.00	0.84	0.48	0.53	
52	2	2	3	4	3																				

百日咳

2010年の患者報告数は17人(定点当たり0.46人/年)で、前年(患者報告数44人 定点当たり1.19人)に比べ減少した。2008年(148人)、2009年は地域流行が発生したため、患者報告数の多い状況が続いていた。本年は県内各地でごく少数例の発生に留まったことから、2007年以前の発生規模に戻った。地域別の定点当たり報告数は、四国中央地区1.33人/年、宇和島地区0.75人/年、西条地区0.67人/年、松山市0.36人/年、八幡浜地区0.25人/年、今治地区0.20人/年の順で、松山地区からの報告はなかった。年齢別の患者報告数は、6歳以下の乳幼児が8人で、全体の47.1%を占めた。一方で、本疾患が小児科定点の対象疾患であるにもかかわらず、20歳以上の成人が5人(29.4%)の報告があった。



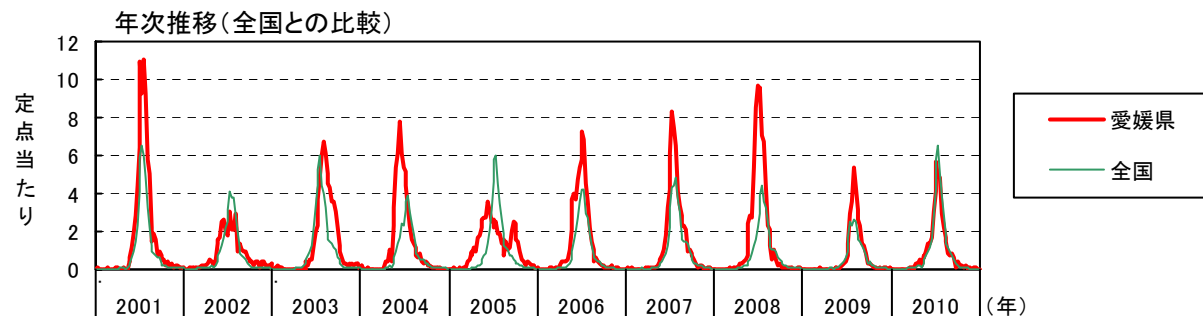
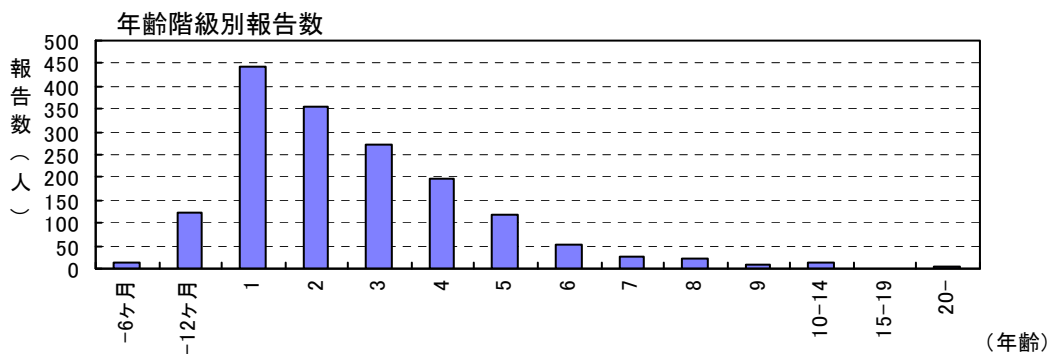
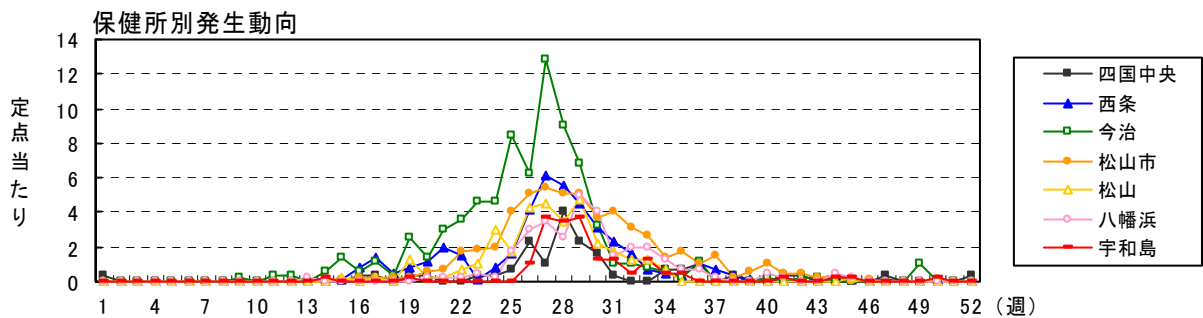
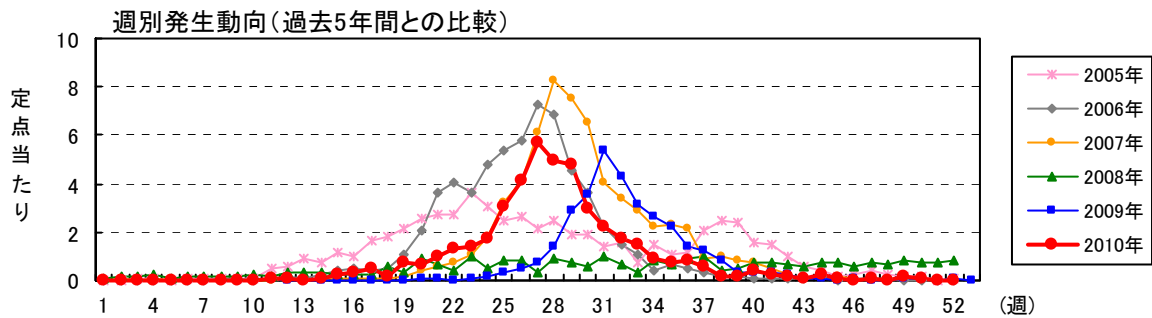
百日咳

月	患者報告数											定点当たり報告数					
	2010年 保健所別						愛媛県			全国							
	四国中央	西条	今治	松山市	松山	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008		
1週																	
1							1	1	1	58	19	20			0.01		
2									70	72	71				0.02		
3							1	1	68	78	54				0.02		
4							1	1	65	74	57				0.03		
5									66	88	46				0.03		
6									73	70	76				0.02		
7				1		1	1	1	62	81	42	0.03			0.02		
8							77	88	71	101	61				0.03		
9							63	104	84						0.02		
10					1		90	86	81						0.03		
11							53	97	82						0.03		
12							77	88	71						0.03		
13							59	132	113						0.02		
14							86	95	115						0.03		
15							79	116	130						0.03		
16					2		88	163	166						0.03		
17							63	123	219						0.05		
18							70	145	198						0.03		
19							133	89	177						0.03		
20							160	207	337						0.03		
21	1						145	163	328						0.03		
22	1						214	161	347						0.03		
23							222	164	327						0.03		
24			1				289	148	253		0.09				0.03		
25	1						209	150	213						0.03		
26							176	158	142						0.03		
27							157	147	153						0.08		
28							154	127	149						0.03		
29							135	128	111						0.05		
30	1						113	135	97		0.33				0.03		
31							151	122	121						0.03		
32							92	109	127						0.03		
33							114	54	81						0.03		
34							113	82	94						0.05		
35							109	77	141						0.03		
36							89	93	122						0.03		
37							97	106	98						0.03		
38			1				66	66	106						0.05		
39							96	47	90						0.03		
40							90	79	109						0.03		
41		1					79	63	102						0.03		
42							98	57	76						0.03		
43				1			103	69	131		0.09				0.03		
44							73	67	156						0.03		
45							86	51	104						0.03		
46							82	74	125						0.03		
47					1		69	83	124		0.09				0.02		
48							82	76	97						0.03		
49							84	76	133						0.03		
50		1				1	99	93	98						0.03		
51							79	71	107						0.03		
52		1				2	69	58	91						0.05		
53							26								0.02		
合計	4	4	1	4	4	3	17	44	148	5,388	5,208	6,753	4.00	1.19	1.72		
										1.33	0.67	0.20	0.36	0.25	0.75	1.78	2.24

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

ヘルパンギーナ

2010年の患者報告数は1,645人(定点当たり44.46人/年)で、前年(患者報告数1,221人 定点当たり33.00人/年)から増加したが、過去10年では前年、2002年(定点当たり40.95人/年)に次ぐ小規模な発生であった。4月に入り今治地区で患者数が増加し始め、次第に県内全域で増加傾向を示し、県全体では第27週(7月中旬)に定点当たり5.70人/週と流行のピークを迎えた。特に今治地区では第27週に定点当たり12.80人/週と他地区と比べ突出して大きなピークを形成し、地域的流行の様相を呈した。地域別の定点当たり報告数は、今治地区77.80人/年が最も多く、次いで松山市55.27人/年、西条地区43.00人/年、松山地区33.25人/年、八幡浜地区31.50人/年、宇和島地区18.75人/年、四国中央地区18.67人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、1歳が442人(26.9%)と最も多く、1~4歳が1,268人と全体の77.1%を占めた。



ヘルパンギーナ

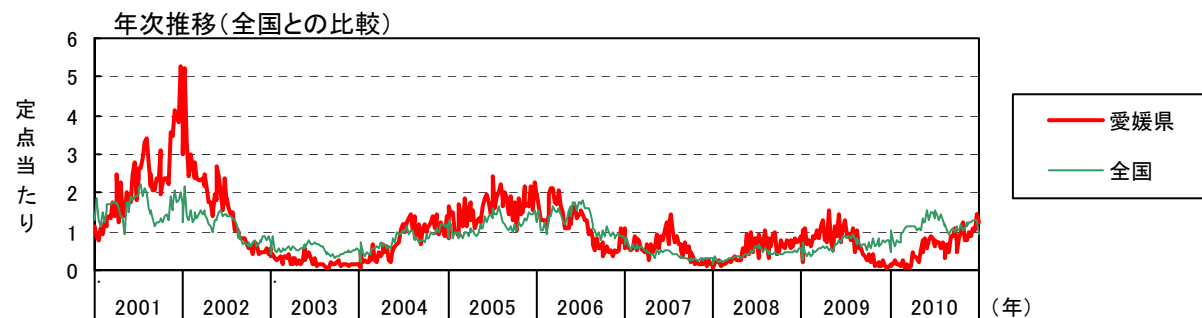
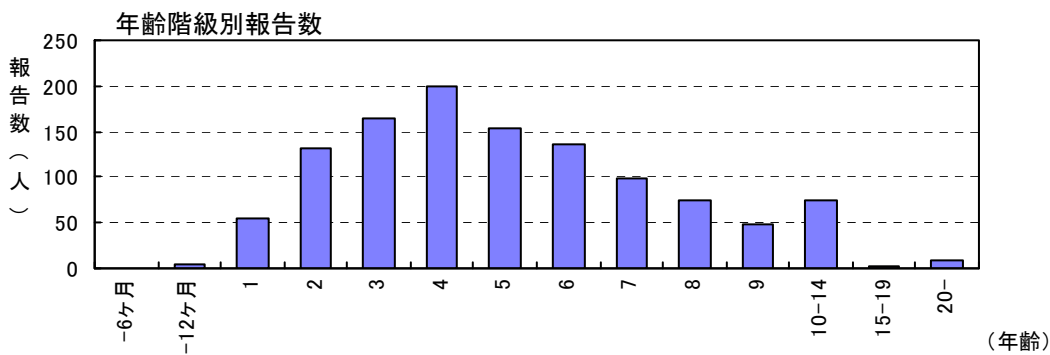
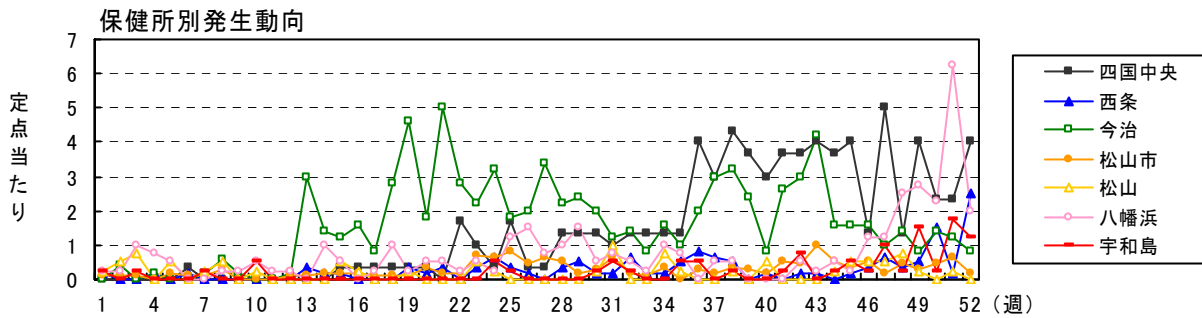
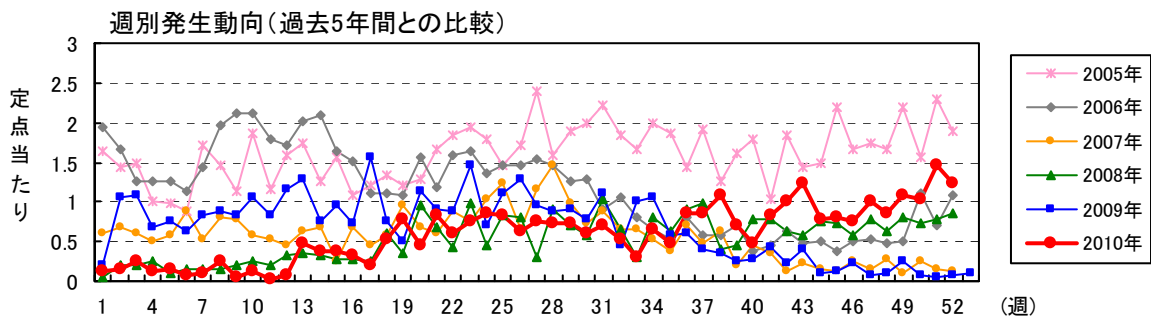
月週	患者報告数												定点当たり報告数				
	2010年保健所別						愛媛県						全国				
	四国中央	西条	今治	松山市	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	
1	1						1	48	1	43	0.33			0.03		0.01	
2								59		77						0.02	
3								74	1	80				0.03		0.03	
4								73		87						0.02	
5								73		89						0.02	
6								80		88						0.03	
7								90	1	85						0.02	
8								113	1	77						0.02	
9							1	147	1	109	0.20			0.03		0.03	
10								166	3	95						0.05	
11							2	210	1	84	0.40			0.05		0.03	
12							2	178	3	140	0.40			0.05		0.03	
13							1	220	2	134				0.03		0.04	
14						1	4	302	3	139	0.60			0.11		0.05	
15							10	398	5	193	1.40	0.09	0.25	0.27		0.03	
16							3	485	1	295	0.33	0.83	0.60	0.30		0.04	
17							6	645	12	476	0.33	1.33	1.20	0.30		0.10	
18							7	442	15	532	0.50	0.40	0.18	0.19		0.16	
19							28	1,094	21	517	0.33	2.60	2.27	0.76		0.18	
20							7	1,574	27	753	0.33	1.17	1.40	0.65		0.17	
21							37	2,264	2	1,116	2.00	2.43	2.43	1.00		0.25	
22							50	2,963	472	1,606	1.50	3.60	3.60	1.35		0.37	
23							51	3,546	578	2,547	0.33	4.60	4.60	1.38		0.53	
24							6	4,750	876	3,711	0.33	8.83	4.60	1.73		0.84	
25							112	8,715	1,232	4,747	0.67	1.67	1.75	3.03		1.22	
26							152	12,670	1,862	6,813	2.33	4.17	6.20	4.11		1.57	
27							15	17,735	3,003	8,860	1.00	6.17	12.80	5.70		2.25	
28							14	18,800	5,236	11,890	4.00	5.50	9.00	3.75		2.92	
29							20	15,362	7,612	13,364	2.33	4.50	6.80	4.97		3.92	
30							111	11,819	6,916	10,911	1.67	3.17	3.20	3.00		4.43	
31							82	8,752	7,947	9,747	0.33	2.33	1.00	2.22		3.60	
32							64	5,600	7,458	7,441	1.67	1.00	3.09	1.73		2.22	
33							55	3,930	5,310	4,543	0.67	0.80	2.64	1.49		3.22	
34							33	3,444	4,743	3,610	0.67	0.50	0.80	0.89		2.48	
35							29	2,891	4,369	3,194	0.67	0.33	0.20	0.78		1.55	
36							30	2,327	3,726	3,318	1.00	1.00	1.20	0.81		1.21	
37							22	1,730	3,172	2,997	0.67	0.67	1.20	0.59		1.06	
38							5	910	2,168	1,993	0.33	0.33	0.25	0.14		1.00	
39							7	674	911	1,620	0.17	0.17	0.50	0.19		0.66	
40							15	1,044	1,162	1,162	0.20	1.09	0.50	0.41		0.54	
41							8	362	1,208	920	0.33	0.45	0.25	0.22		0.38	
42							7	334	764	701	0.33	0.20	0.45	0.19		0.31	
43							3	269	606	611	0.20	0.20	0.27	0.11		0.23	
44							9	224	606	447	0.33	0.36	0.50	0.11		0.20	
45							4	180	314	346	0.17	0.17	0.25	0.11		0.15	
46							1	164	257	287	0.33	0.09	0.03	0.03		0.11	
47							2	151	242	252	0.33	0.17	0.05	0.05		0.10	
48							1	126	173	173			0.50	0.05		0.08	
49							5	150	174	205	1.00	0.09	0.25	0.14		0.06	
50							3	151	168	198	0.17	0.17	0.08	0.08		0.07	
51							3	126	133	193			0.08	0.05		0.06	
52							1	79	152	123	0.33		0.03	0.03		0.06	
53								60	173	173				0.03		0.04	
合計	56	258	389	608	133	126	75	139,209	2,986	113,709	18.67	43.00	77.80	31.50	33.25	80.70	
								75,666	1,221	75,666	55.27	55.27	44.46	45.97	25.10	25.10	37.66

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

流行性耳下腺炎

2010年の患者報告数は1,155人(定点当たり31.22人/年)で、前年(患者報告数1,330人 定点当たり35.95人/年)に比べ減少し、過去10年(定点当たり平均51.76人/年)と比較し、小規模な発生であった。本年当初から県内各地で散発し、4月から今治地区、6月から四国中央地区、10月下旬から八幡浜地区でそれぞれ小流行が発生し、県全体では年間を通じ漸増傾向を示した。地域別の定点当たり報告数は、今治地区84.60人/年、四国中央地区75.33人/年と長期にわたり小流行が続いた2地区で多く、次いで八幡浜地区39.75人/年、松山市15.09人/年、西条地区14.83人/年、宇和島地区12.25人/年、松山地区10.75人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、4歳が199人(17.2%)と最も多く、1~6歳の幼児が841人で全体の72.8%を占めた。

本疾患は3~4年周期で流行する特徴がある。2005~2007年にかけて発生した前回の流行から3年が経過していることや、年間を通じ漸増傾向を示していることから、2011年以降流行期に入ると考えられる。



流行性耳下腺炎

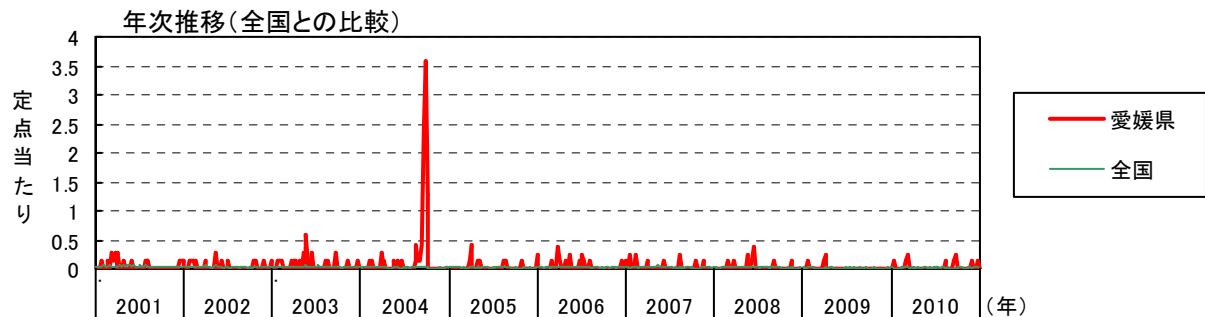
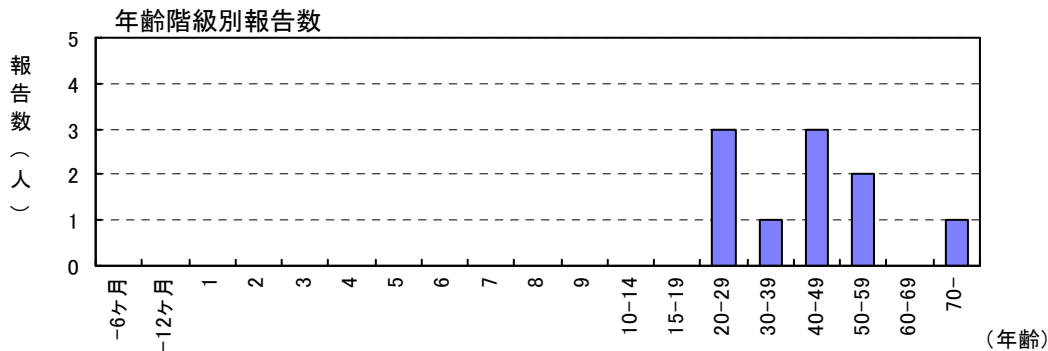
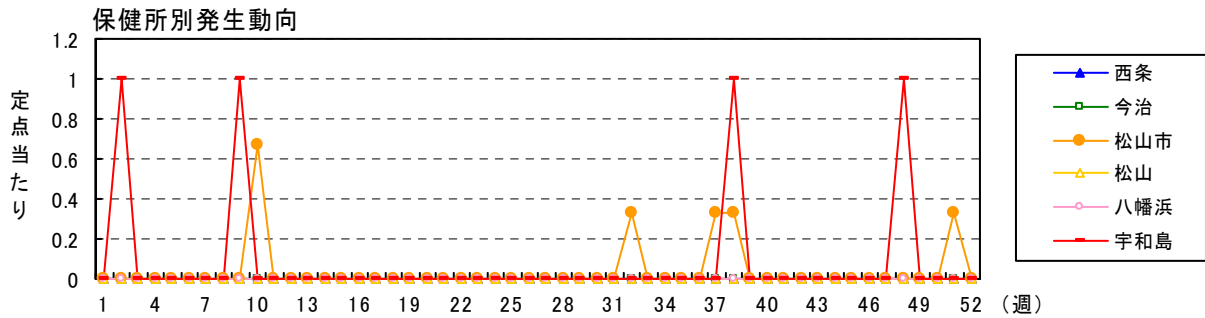
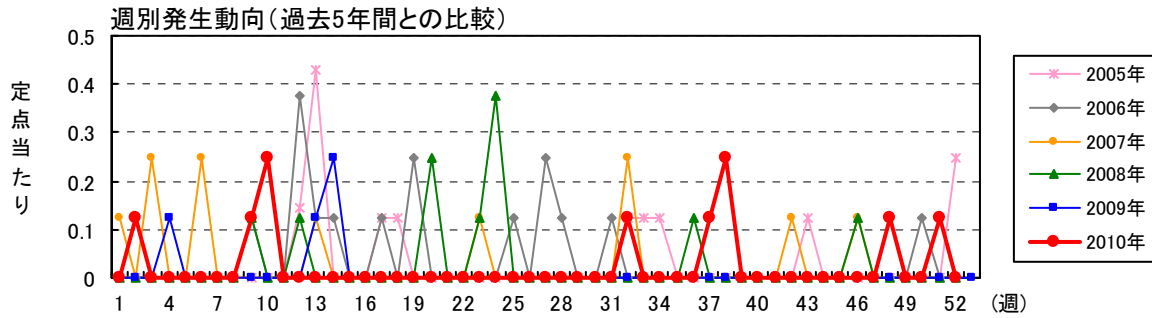
月週		患者報告数												定点当たり報告数								
		2010年 保健所別						愛媛県						全国								
		四国中央	西条	今治	松山市	松山	宇和島	2010	2009	2008	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008				
1	1	1	1	1	1	1	5	7	2	3,041	723	506	0.09	0.25	0.25	0.14	0.19	0.05	1.01	0.25	0.17	
2	1	1	1	1	1	1	6	39	7	2,148	2,148	723	0.09	0.25	0.25	0.16	1.05	0.19	0.76	0.71	0.34	
3	1	1	1	1	1	1	9	40	7	1,843	1,341	739	0.09	0.25	0.25	0.24	1.08	0.19	0.61	0.44	0.24	
4	1	1	1	1	1	1	5	25	9	2,318	1,062	703	0.18	0.50	0.50	0.16	0.68	0.24	0.76	0.35	0.23	
5	1	1	1	1	1	1	6	28	4	2,144	1,375	818	0.09	0.25	0.25	0.08	0.62	0.16	0.71	0.45	0.27	
6	1	1	1	1	1	1	3	23	6	2,200	1,163	701	0.09	0.25	0.25	0.11	0.84	0.16	0.96	0.38	0.23	
7	1	1	1	1	1	1	4	31	6	2,907	1,274	767	0.27	0.50	0.50	0.24	0.89	0.16	1.00	0.42	0.25	
8	3	3	3	3	3	3	9	33	6	3,024	1,545	852	0.20	0.25	0.25	0.05	0.84	0.16	1.00	0.51	0.28	
9	1	1	1	1	1	1	2	31	9	3,268	1,465	834	0.09	0.25	0.25	0.05	0.84	0.19	1.08	0.48	0.28	
10	1	1	1	1	1	1	5	39	7	3,500	1,603	911	0.09	0.25	0.50	0.14	1.05	0.24	1.15	0.53	0.30	
11	1	1	1	1	1	1	1	31	7	3,499	1,768	993	0.09	0.25	0.25	0.03	0.84	0.19	1.16	0.58	0.33	
12	1	1	1	1	1	1	3	43	12	3,495	1,774	942	0.20	0.25	0.25	0.08	1.16	0.32	1.15	0.59	0.31	
13	2	2	2	2	2	2	18	48	13	3,524	1,940	1,027	0.33	1.00	1.00	0.49	1.30	0.35	1.16	0.64	0.34	
14	1	1	1	1	1	1	14	28	12	3,502	1,748	1,077	0.17	0.25	0.25	0.38	0.76	0.32	1.15	0.58	0.36	
15	1	1	1	1	1	1	14	35	10	3,423	1,780	1,026	0.33	1.00	1.00	0.38	0.95	0.27	1.13	0.59	0.34	
16	1	1	1	1	1	1	12	27	10	3,071	1,821	1,036	0.33	1.00	1.00	0.32	0.73	0.27	1.01	0.60	0.34	
17	1	1	1	1	1	1	7	58	9	3,324	1,624	931	0.09	0.25	0.25	0.19	1.57	0.24	1.11	0.54	0.31	
18	1	1	1	1	1	1	20	28	22	3,065	1,674	1,032	0.33	1.00	1.00	0.54	0.76	0.59	1.01	0.56	0.35	
19	1	1	1	1	1	1	29	19	13	4,115	1,473	1,173	0.33	1.00	1.00	0.78	0.51	0.35	1.36	0.49	0.39	
20	1	1	1	1	1	1	17	42	35	3,781	2,049	1,288	0.33	1.00	1.00	0.46	1.14	0.95	1.24	0.68	0.43	
21	2	2	2	2	2	2	31	34	25	3,712	1,984	1,299	0.33	1.00	1.00	0.84	0.92	0.68	1.22	0.66	0.43	
22	5	5	5	5	5	5	22	33	16	4,748	2,091	1,300	1.67	0.25	0.25	0.59	0.89	0.43	1.56	0.69	0.43	
23	3	3	3	3	3	3	28	54	36	3,987	2,342	1,515	1.00	0.50	0.50	0.76	1.46	0.97	1.31	0.77	0.50	
24	1	1	1	1	1	1	32	26	17	4,588	2,213	1,359	0.33	0.25	0.25	0.86	0.70	0.46	1.51	0.73	0.45	
25	5	5	5	5	5	5	31	41	31	4,549	2,608	1,804	1.67	0.25	0.25	0.84	1.11	0.84	1.50	0.86	0.60	
26	1	1	1	1	1	1	23	48	30	4,092	2,602	1,802	0.33	0.25	0.25	0.62	1.30	0.81	1.35	0.86	0.60	
27	1	1	1	1	1	1	28	35	11	4,653	2,559	1,709	0.33	0.25	0.25	0.76	0.95	0.30	1.53	0.85	0.56	
28	4	4	4	4	4	4	27	33	34	4,358	2,683	1,963	1.33	1.00	1.00	0.73	0.89	0.92	1.44	0.89	0.65	
29	4	4	4	4	4	4	27	34	26	3,967	2,100	1,409	1.33	0.50	0.50	0.73	0.92	0.70	1.31	0.90	0.58	
30	4	4	4	4	4	4	22	29	21	4,415	2,487	1,405	1.33	0.50	0.50	0.59	0.78	0.57	1.45	0.82	0.46	
31	3	3	3	3	3	3	26	41	38	3,898	2,746	1,710	1.00	0.75	0.75	0.70	1.11	1.03	1.29	0.91	0.56	
32	4	4	4	4	4	4	20	17	24	3,374	2,554	1,599	1.33	0.50	0.50	0.54	0.46	0.65	1.14	0.85	0.53	
33	4	4	4	4	4	4	11	37	11	3,594	1,998	1,150	1.33	0.25	0.25	0.30	1.00	0.30	1.21	0.69	0.39	
34	4	4	4	4	4	4	24	39	30	3,189	2,420	1,546	1.33	1.00	1.00	0.65	1.05	0.81	1.06	0.81	0.52	
35	4	4	4	4	4	4	18	21	23	2,877	2,181	1,251	1.33	0.75	0.75	0.49	0.57	0.62	0.95	0.72	0.41	
36	12	5	10	3	2	2	32	22	34	3,154	1,899	1,187	4.00	0.50	0.50	0.86	0.59	0.92	1.04	0.63	0.39	
37	9	4	15	2	2	2	32	15	36	3,209	2,100	1,409	3.00	0.50	0.50	0.86	0.41	0.97	1.06	0.69	0.47	
38	13	3	16	4	1	2	40	13	15	2,925	2,064	1,189	4.33	0.25	0.25	1.08	0.35	0.41	0.97	0.69	0.39	
39	11	1	12	3	1	2	26	9	17	3,428	1,644	1,239	3.67	0.50	0.50	0.70	0.24	0.46	1.13	0.54	0.41	
40	9	1	4	2	2	2	18	10	29	3,181	2,232	1,402	3.00	0.17	0.17	0.49	0.27	0.78	1.06	0.73	0.43	
41	11	13	6	6	1	1	31	16	29	3,087	2,014	1,241	3.67	0.25	0.25	0.84	0.43	0.78	1.02	0.66	0.41	
42	11	1	15	5	2	3	37	8	23	3,663	1,696	1,300	3.67	0.50	0.50	1.00	0.22	0.62	1.21	0.56	0.43	
43	12	1	21	11	1	4	46	15	21	3,086	2,570	1,469	4.00	0.25	0.25	1.24	0.41	0.57	1.02	0.84	0.49	
44	11	4	8	6	1	2	29	4	28	3,328	1,854	1,374	3.67	0.50	0.50	0.78	0.11	0.76	1.10	0.61	0.46	
45	12	1	8	4	2	1	30	5	27	3,712	2,000	1,353	4.00	0.25	0.25	0.81	0.14	0.73	1.22	0.66	0.45	
46	4	2	8	6	2	5	28	8	21	3,512	2,464	1,474	1.33	0.25	0.25	0.76	0.22	0.57	1.16	0.61	0.49	
47	15	4	5	2	2	5	37	3	29	3,716	1,895	1,402	5.00	0.67	0.67	1.00	0.08	0.78	1.22	0.61	0.47	
48	4	2	7	5	3	10	32	4	23	3,743	2,099	1,447	1.33	0.33	0.33	0.86	0.11	0.62	1.23	0.69	0.48	
49	12	3	4	3	1	11	40	9	30	3,943	2,282	1,551	4.00	0.50	0.50	1.08	0.24	0.81	1.30	0.75	0.51	
50	7	9	7	5	9	1	38	3	27	3,868	2,250	1,484	2.33	0.25	0.25	1.03	0.08	0.73	1.27	0.74	0.49	
51	7	1	6	7	1	25	54	2	29	3,943	2,370	1,754	2.33	0.17	0.17	1.46	0.05	0.78	1.30	0.78	0.58	
52	12	15	4	2	8	5	46	3	32	2,813	2,299	1,656	4.00	2.50	2.00	1.24	0.08	0.86	0.94	0.76	0.55	
53																						
合計	226	89	423	166	43	159	49	1,155	1,330	1,029	179,669	104,568	65,361	75.33	14.83	39.75	12.25	31.22	59.32	34.57	21.65	

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

(4) 眼科定点対象疾患(週報)

急性出血性結膜炎

2010年の患者報告数は10人(定点当たり1.25/年)で、前年(患者報告数4人 定点当たり0.50人/年)から微増した。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。本年も顕著な発生の集積は確認されなかった。地域別の定点当たり報告数は、宇和島地区4.00人/年、松山市2.00人/年であり、西条地区、今治地区、松山地区、八幡浜地区からの報告はなかった。年齢別の患者報告数は、全て20歳以上の成人からであった。



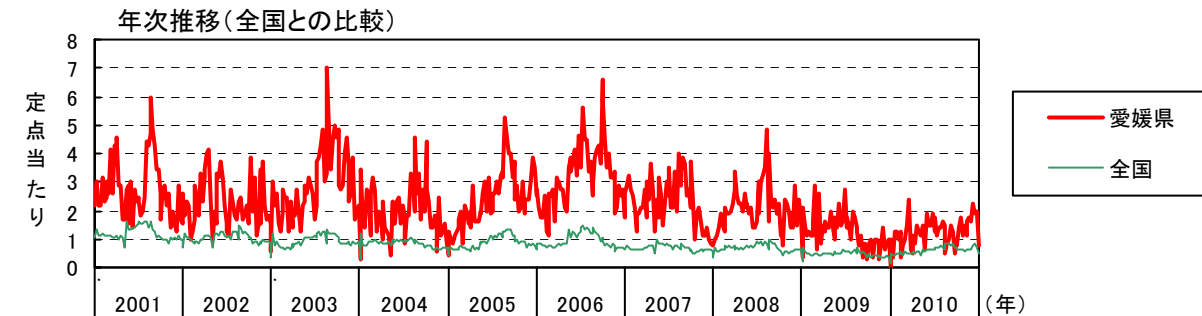
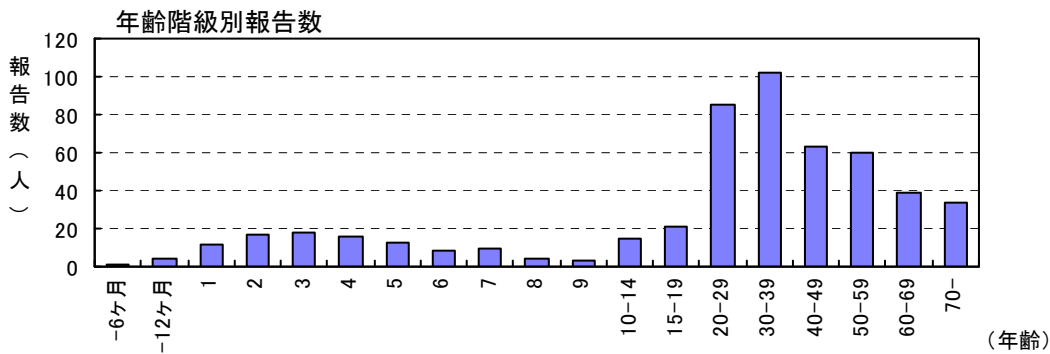
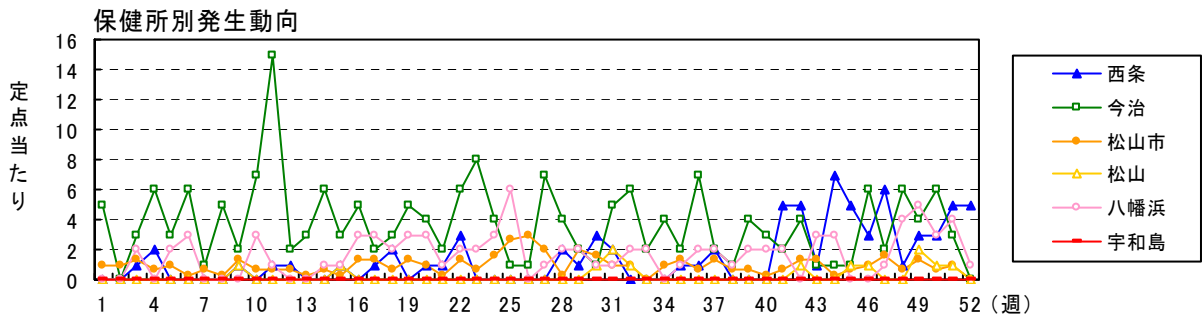
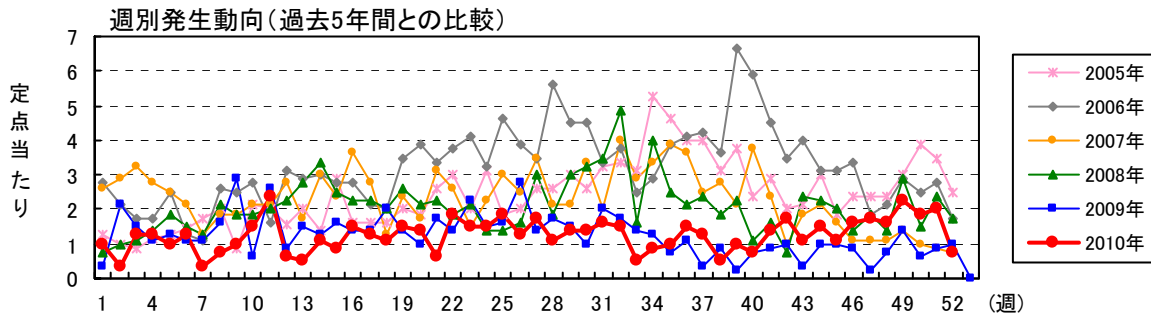
急性出血性結膜炎

月	患者報告数																定点当たり報告数					
	2010年 保健所別						愛媛県						全国									
	西条	今治	松山市	松山市	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008				
週																						
1						1	1										1.00			0.02	0.01	0.01
2																				0.02	0.02	0.03
3																				0.01	0.01	0.01
4								1										0.13		0.01	0.01	0.01
5																				0.01	0.02	0.02
6																				0.02	0.02	0.03
7																				0.01	0.02	0.03
8																				0.02	0.02	0.03
9						1	1	1												0.02	0.02	0.04
10							2									0.67				0.02	0.01	0.02
11																				0.02	0.01	0.04
12								1												0.03	0.01	0.04
13																				0.02	0.02	0.03
14								2												0.02	0.02	0.03
15																				0.01	0.02	0.05
16																				0.02	0.01	0.04
17																				0.01	0.03	0.03
18																				0.01	0.02	0.03
19																				0.02	0.01	0.03
20								2												0.03	0.01	0.02
21																				0.02	0.01	0.03
22																				0.01	0.01	0.02
23																				0.02	0.02	0.03
24								3												0.01	0.00	0.02
25																				0.02	0.01	0.03
26																				0.01	0.03	0.03
27																				0.02	0.01	0.02
28																				0.03	0.01	0.02
29																				0.00	0.02	0.02
30																				0.02	0.02	0.02
31																				0.02	0.02	0.02
32																				0.02	0.01	0.03
33																				0.01	0.01	0.01
34																				0.03	0.01	0.03
35																				0.01	0.02	0.04
36								1												0.01	0.01	0.03
37																				0.01	0.01	0.03
38									1											0.02	0.03	0.02
39								2												0.01	0.01	0.02
40																				0.02	0.01	0.01
41									1											0.02	0.01	0.02
42																				0.02	0.01	0.01
43																				0.01	0.02	0.02
44																				0.01	0.00	0.03
45																				0.01	0.01	0.02
46																				0.02	0.02	0.03
47																				0.02	0.01	0.02
48						1	1													0.01	0.01	0.01
49																				0.02	0.01	0.01
50																				0.03	0.01	0.02
51																				0.03	0.02	0.03
52																				0.02	0.01	0.02
53																				0.02	0.01	0.01
合計						4	10	4	10	4	10	2.00	0.33	0.33	4.00	1.25	0.50	1.25	0.94	0.75	1.25	

(注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

流行性角結膜炎

2010年の患者報告数は524人(定点当たり65.50人/年)で、前年(患者報告数529人 定点当たり66.13人/年)と大きな変動はなく、過去10年で最も小規模な発生であった。例年8月から9月に増加傾向を示すが、本年は年間を通じ低位で推移し、明瞭な増加傾向は認められなかった。地域別の定点当たり報告数は、例年同様に今治地区の194.00人/年が最も多いものの、前年(250.00人/年)から大幅に減少した。次いで八幡浜地区88.00人/年、西条地区76.00人/年、松山市51.00人/年、松山地区13.00人/年の順であり、前年と同様に宇和島地区からの報告はなかった。年齢別の患者報告数は、小児に比べ成人に多く、20歳代以上が383人と全体の73.1%を占めた。また、全国の患者報告数(定点当たり32.10人/年)と比較すると、県内の患者報告数は2.0倍と顕著に多く、1999年以降、同様の傾向が続いている。



流行性角結膜炎

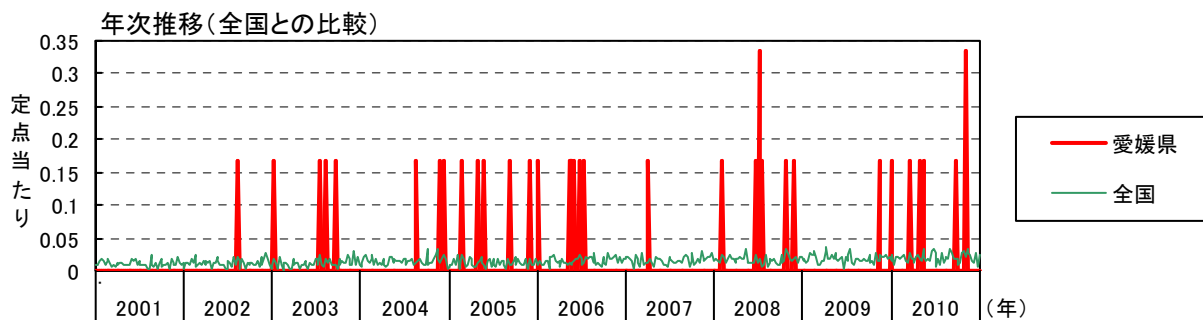
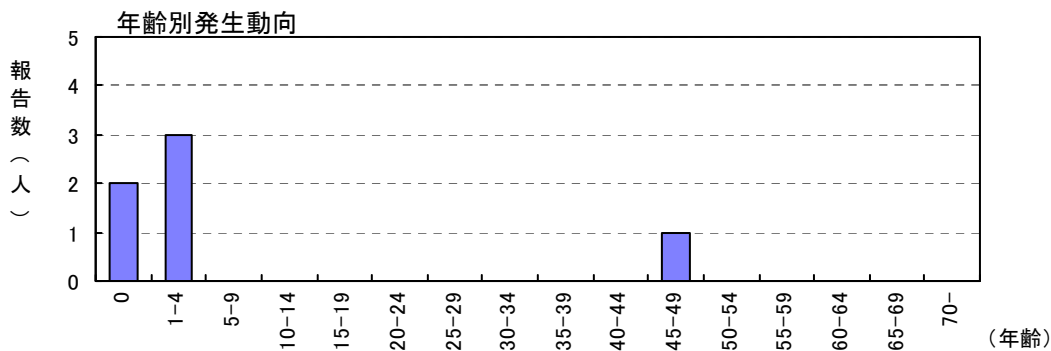
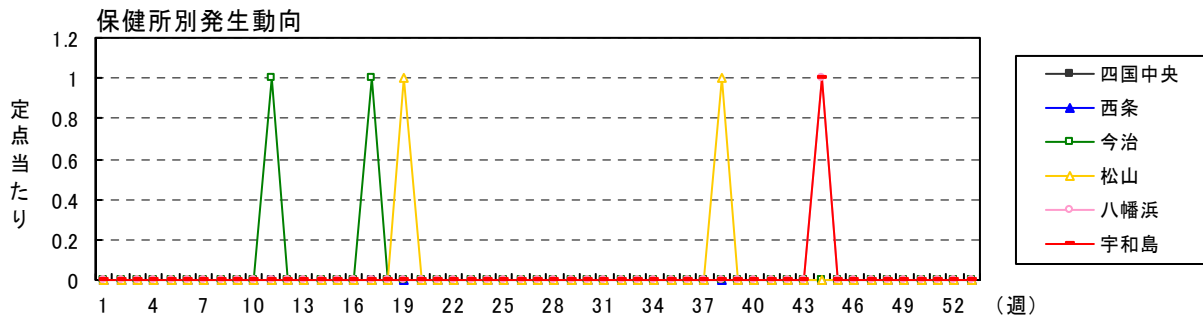
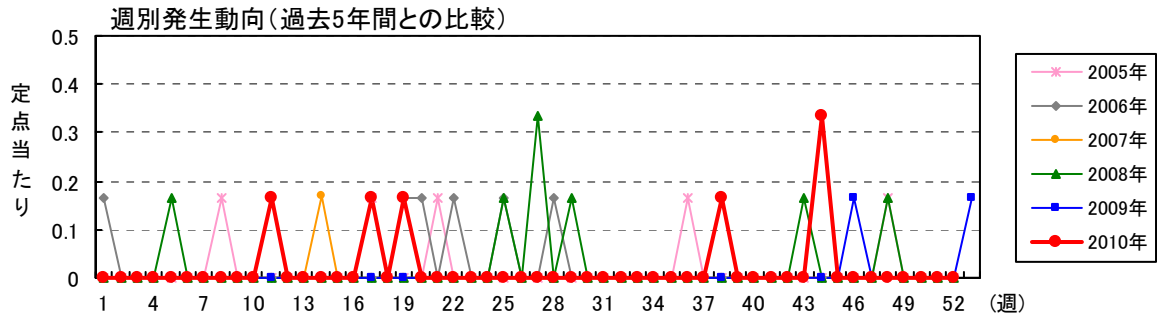
月	週	患者報告数										定点当たり報告数								
		2010年					愛媛県					2010年			愛媛県					
		西条	今治	松山市	保健所別	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	西条	今治	松山市	保健所別	宇和島	2010	2009	2008
1	1	5	3	3				8	3	6	316	123	234	1.00	1.00	1.00	1.00	0.38	0.38	0.75
1	2		3	3				3	17	8	282	494	460	0.38	1.00	1.00	1.00	2.13	1.00	1.00
1	3	1	3	4			2	10	12	9	308	359	374	1.00	3.00	1.33	1.00	1.25	1.50	1.13
1	4	2	6	2				10	9	11	315	330	394	2.00	6.00	0.67	2.00	1.25	1.13	1.38
2	5		3	3			2	8	10	15	349	322	418	3.00	3.00	1.00	2.00	1.00	1.25	1.88
2	6		6	1			3	10	9	12	329	295	404	6.00	6.00	0.33	3.00	1.25	1.13	1.50
2	7		1	2				3	9	10	365	287	442	0.38	1.00	0.67	1.00	0.38	1.13	1.25
2	8		5	1				6	13	17	298	290	515	0.75	5.00	0.33		0.75	1.63	2.13
3	9	1	2	4			1	8	23	15	365	327	472	1.00	2.00	1.33	1.00	2.88	1.88	1.88
3	10		7	2			3	12	5	15	319	318	530	7.00	7.00	0.67	3.00	1.50	0.63	1.88
3	11	1	15	2			1	19	21	16	346	303	468	1.00	15.00	0.67	1.00	2.38	2.63	2.00
3	12	1	2	2				5	7	18	337	293	491	1.00	2.00	0.67		0.63	0.88	2.25
4	13		3	1				4	12	22	352	326	521	3.00	3.00	0.33		0.50	1.50	2.75
4	14		6	2			1	9	10	27	366	310	447	6.00	6.00	0.67	1.00	1.13	1.25	3.38
4	15	1	3	1			1	7	13	20	355	318	473	1.00	3.00	0.33	1.00	0.88	1.63	2.50
4	16		5	4			3	12	11	18	396	356	429	5.00	5.00	1.33	3.00	1.50	1.38	2.25
4	17	1	2	4			3	10	11	18	378	348	459	1.00	2.00	1.33	3.00	1.25	1.38	2.25
5	18	2	3	2			2	9	16	16	309	340	416	2.00	3.00	0.67	2.00	1.13	2.00	2.00
5	19		5	4			3	12	11	21	442	271	478	5.00	5.00	1.00	3.00	1.50	1.38	2.63
5	20	1	4	3			3	11	8	17	402	384	547	1.00	4.00	1.00	3.00	1.38	1.00	2.13
5	21	1	1	1			1	5	14	18	385	347	536	1.00	2.00	0.33	1.00	0.63	1.75	2.25
6	22	3	6	4			2	15	11	15	445	347	488	3.00	6.00	1.33	2.00	1.88	1.38	1.88
6	23		8	2			2	12	18	17	412	336	528	8.00	8.00	0.67	2.00	1.50	2.25	2.13
6	24		4	5			3	12	12	11	416	343	498	4.00	4.00	1.67	3.00	1.50	1.38	0.61
6	25		1	8			6	15	13	11	451	433	543	1.00	1.00	2.67	6.00	1.88	1.63	1.38
7	26		1	9			6	10	22	13	429	361	597	1.00	3.00	3.00	1.00	1.25	2.75	1.63
7	27		7	6			1	14	11	24	479	371	564	7.00	7.00	2.00	1.00	1.75	1.38	3.00
7	28	2	4	1			2	9	14	15	482	378	548	2.00	4.00	0.33	2.00	1.13	1.75	1.88
7	29	1	2	6			2	11	12	24	460	373	607	1.00	2.00	2.00	2.00	1.38	1.50	3.00
7	30	3	1	5			1	11	8	26	532	327	526	3.00	1.00	1.67	1.00	1.63	1.00	3.25
8	31	2	5	3			1	13	16	28	497	373	634	2.00	5.00	1.00	1.00	1.63	2.00	3.50
8	32		6	3			2	12	14	39	425	437	573	6.00	6.00	1.00	2.00	1.50	1.75	4.88
8	33		2	2			2	4	11	13	548	313	395	2.00	2.00	1.00	2.00	0.50	1.38	1.63
8	34		4	3			3	7	10	32	549	461	653	4.00	4.00	1.00	2.00	0.88	1.25	4.00
9	35	1	2	4			1	8	6	20	556	358	599	1.00	2.00	1.33	1.00	1.00	0.75	2.50
9	36	1	7	2			2	12	9	17	543	339	559	1.00	7.00	0.67	2.00	1.50	1.13	2.13
9	37	2	2	4			2	10	3	19	576	359	556	2.00	2.00	1.33	2.00	1.25	0.38	2.38
9	38	1	1	2			1	4	7	15	464	334	455	1.00	1.00	0.67	1.00	0.50	0.88	1.88
9	39	3	4	4			2	8	2	18	460	235	441	3.00	4.00	0.67	2.00	1.00	0.25	2.25
10	40		3	1			2	6	6	9	449	310	399	3.00	3.00	0.33	2.00	0.75	0.75	1.13
10	41	5	2	2			2	11	7	13	432	271	375	5.00	2.00	0.67	2.00	1.38	0.88	1.63
10	42	5	4	4			1	14	8	6	454	243	295	5.00	4.00	1.33	1.00	1.75	1.00	0.75
10	43		1	4			3	9	3	19	413	276	395	1.00	1.00	1.33	3.00	1.13	1.00	2.38
10	44	7	1	1			3	12	8	18	401	279	365	7.00	1.00	0.33	3.00	1.50	1.00	2.25
11	45	5	1	2			1	9	8	16	415	273	352	5.00	1.00	0.67	1.00	1.13	1.00	2.00
11	46	3	6	3			1	13	7	11	422	230	388	3.00	6.00	1.00	1.00	1.63	0.88	1.38
11	47	6	2	5			1	14	2	15	427	274	385	6.00	2.00	1.67	1.00	1.75	0.25	1.88
12	48	1	6	2			4	13	6	11	441	223	377	1.00	6.00	0.67	4.00	1.63	0.75	1.38
12	49	3	4	4			5	18	11	23	544	262	407	3.00	4.00	1.33	2.00	2.25	1.38	2.88
12	50	3	6	2			3	15	5	12	551	255	407	3.00	6.00	0.67	1.00	1.88	0.63	1.50
12	51	5	3	3			1	16	7	19	463	273	417	5.00	3.00	1.00	1.00	2.00	0.88	2.38
12	52	5					1	6	8	14	342	255	432	5.00	3.00	1.00	1.00	0.75	1.00	1.75
合計		76	194	153	88	13	524	529	872	21,792	16,745	24,266	76.00	194.00	51.00	13.00	88.00	65.50	66.13	109.00

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

(5) 基幹定点対象疾患(週報)

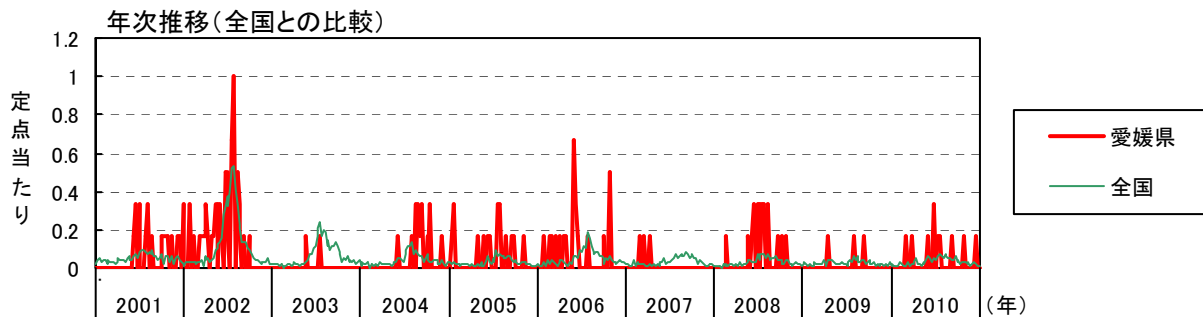
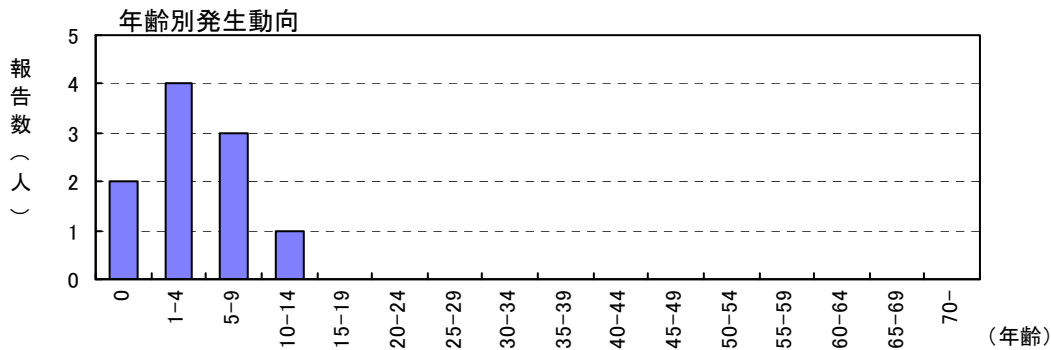
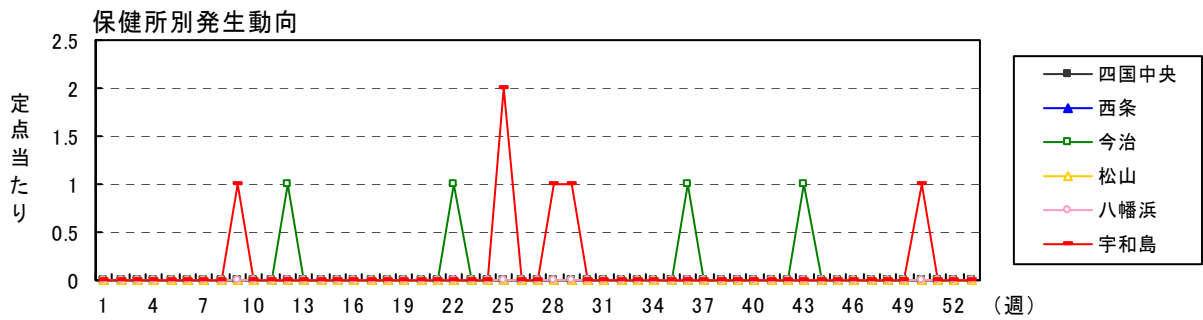
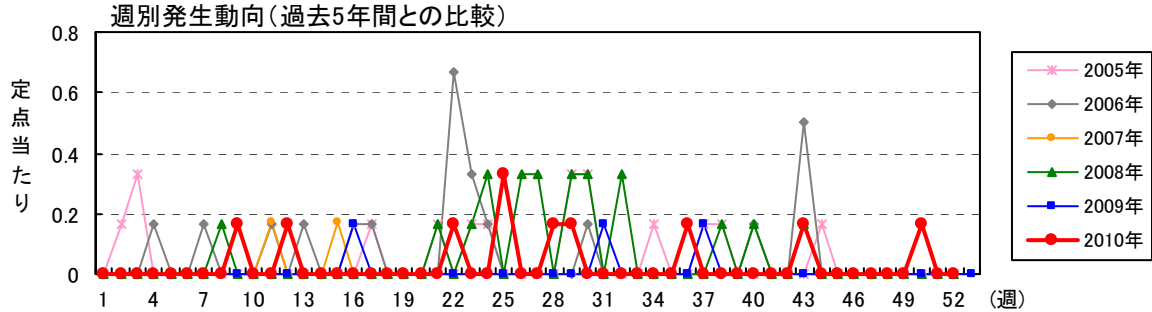
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)

2010年の患者報告数は6人(定点当たり1.00人/年)で、前年(患者報告数2人 定点当たり0.33人/年)に比べ微増した。地域別の患者報告数は、今治地区と松山地区が各2人、八幡浜地区と宇和島地区が各1人で、患者の年齢は0~4歳が5人、40歳代が1人であった。病原体は、腸球菌、表皮ブドウ球菌、インフルエンザ菌が各1人、不明(または報告時検査中)が3人であった。



無菌性髄膜炎

2010年の患者報告数は10人(定点当たり1.67人/年)で、前年(3人 定点当たり0.50人/年)に比べ増加した。地域別の患者報告数は、宇和島地区6人、今治地区4人で、患者の年齢は全て小児で、0～4歳6人、5～9歳3人、10～14歳が1人であった。病原体は、ムンプスウイルス1人、不明(または報告時検査中)9人であった。



細菌性髄膜炎

月 週	患者報告数											定点当たり報告数									
	2010年				愛媛県				全 国			愛媛県		全 国							
	西 四 国 中 央	今 治 県	松 山 県	宇 和 島 県	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2009	2008						
1					12	7	7	7	7		0.03	0.02	0.02	0.02	0.01						
2					4	9	9	9	9		0.01	0.02	0.02	0.02	0.01						
3					10	6	7	7	7		0.02	0.01	0.02	0.02	0.01						
4					10	7	5	5	5		0.02	0.02	0.01	0.01	0.01						
5					9	13	11	11	11	1	0.17	0.02	0.03	0.02	0.00						
6					10	11	10	10	10		0.02	0.02	0.02	0.02	0.01						
7					10	12	5	5	5		0.02	0.03	0.01	0.01	0.01						
8					11	14	6	6	6		0.02	0.03	0.01	0.01	0.01						
9					7	10	9	9	9		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02						
10					5	4	11	11	11		0.01	0.01	0.02	0.02	0.02						
11					13	4	8	8	8	1	0.17	0.03	0.01	0.02	0.02						
12					8	7	9	9	9		0.02	0.01	0.02	0.02	0.01						
13					8	7	5	5	5		0.02	0.02	0.01	0.01	0.01						
14					6	14	8	8	8		0.01	0.03	0.02	0.02	0.02						
15					10	17	9	9	9		0.02	0.04	0.02	0.02	0.02						
16					11	8	10	10	10		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02						
17					9	8	8	8	8	1	0.17	0.02	0.02	0.02	0.02						
18					7	12	9	9	9		0.02	0.03	0.02	0.02	0.03						
19					15	9	16	16	16	1	0.17	0.03	0.02	0.03	0.03						
20					10	12	7	7	7		0.02	0.03	0.02	0.02	0.03						
21					7	8	6	6	6		0.02	0.02	0.01	0.01	0.04						
22					9	7	6	6	6		0.02	0.02	0.01	0.01	0.04						
23					7	8	5	5	5		0.02	0.02	0.01	0.01	0.03						
24					14	10	6	6	6		0.03	0.02	0.01	0.01	0.03						
25					15	1	11	11	11	1	0.17	0.03	0.00	0.02	0.03						
26					13	10	6	6	6		0.03	0.02	0.01	0.01	0.03						
27					3	7	8	8	8	2	0.33	0.01	0.02	0.02	0.07						
28					9	11	8	8	8		0.02	0.02	0.02	0.02	0.08						
29					4	15	3	3	3	1	0.17	0.01	0.03	0.01	0.07						
30					13	6	4	4	4		0.03	0.03	0.01	0.01	0.07						
31					5	4	12	12	12		0.01	0.01	0.03	0.03	0.06						
32					8	9	3	3	3		0.02	0.02	0.01	0.01	0.07						
33					10	9	6	6	6		0.02	0.02	0.01	0.01	0.05						
34					9	8	9	9	9		0.02	0.02	0.02	0.02	0.04						
35					15	7	7	7	7		0.03	0.02	0.02	0.02	0.05						
36					13	7	9	9	9		0.03	0.02	0.02	0.02	0.05						
37					9	8	5	5	5		0.02	0.02	0.01	0.01	0.06						
38					9	7	4	4	4	1	0.17	0.02	0.02	0.02	0.04						
39					8	7	4	4	4		0.02	0.02	0.01	0.01	0.04						
40					4	11	12	12	12		0.01	0.02	0.03	0.03	0.04						
41					6	5	5	5	5		0.01	0.01	0.01	0.01	0.02						
42					13	7	7	7	7		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02						
43					14	4	15	15	15	1	0.17	0.03	0.01	0.03	0.04						
44					10	13	13	13	13	0.33	0.02	0.03	0.03	0.03	0.04						
45					15	7	9	9	9		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02						
46					13	7	7	7	7	1	0.17	0.03	0.02	0.02	0.02						
47					11	12	7	7	7		0.02	0.03	0.02	0.02	0.02						
48					7	10	8	8	8	1	0.17	0.02	0.02	0.02	0.02						
49					6	10	10	10	10		0.01	0.02	0.02	0.02	0.03						
50					13	11	6	6	6	1	0.03	0.02	0.01	0.01	0.03						
51					3	8	10	10	10		0.01	0.02	0.02	0.02	0.02						
52					11	10	10	10	10		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02						
53																					
合計					2	2	1	1	1	6	2	7	491	462	410	1.00	0.33	1.17	1.06	0.99	0.88

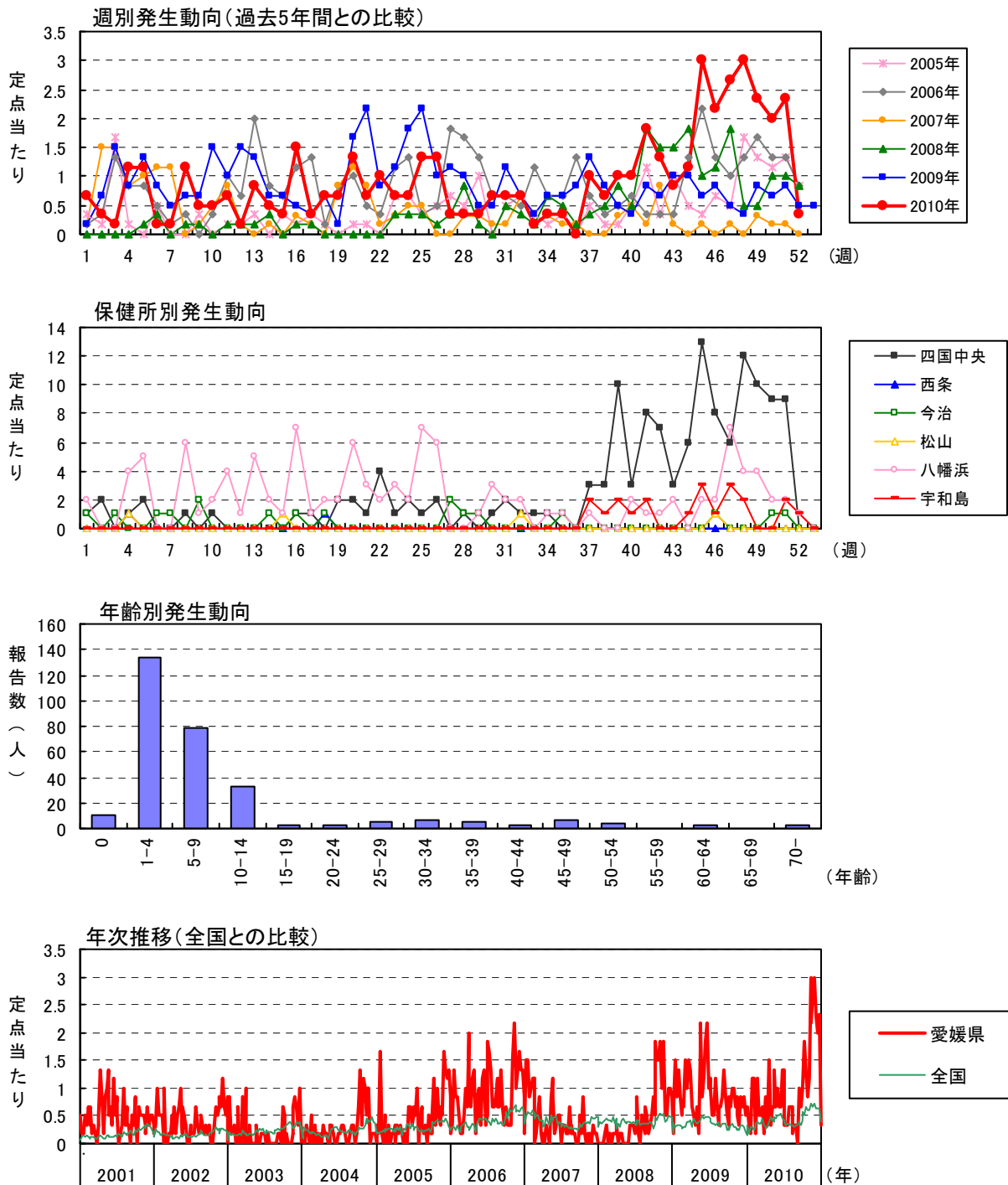
注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

細菌性髄膜炎

月 週	患者報告数											定点当たり報告数			
	2010年				愛媛県				全 国			愛媛県		全 国	
	西 四 国 中 央	今 治 県	松 山 県	宇 和 島 県	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2009	2008
1					8	10	3	3	3		0.02	0.02	0.02	0.02	0.01
2					7	14	4	4	4		0.01	0.02	0.01	0.01	0.01
3					3	8	4	4	4		0.01	0.02	0.01	0.01	0.01
4					6	4	4	4	4		0.04	0.02	0.01	0.01	0.01
5					17	8	2	2	2		0.02	0.01	0.01	0.01	0.02
6					10	5	9	9	9		0.02	0.01	0.01	0.01	0.02
7					11	4	3	3	3		0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
8					6	13	9	9	9	1	0.17	0.01	0.03	0.02	0.02
9					7	10	7	7	7		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
10					16	8	11	11	11		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
11					6	12	8	8	8		0.01	0.03	0.02	0.02	0.02
12					9	12	3	3	3	1	0.17	0.02	0.03	0.01	0.01
13					8	19	8	8	8		0.02	0.04	0.02	0.02	0.02
14					13	9	8	8	8		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
15					23	6	5	5	5		0.05	0.01	0.01	0.01	0.01
16					12	17	15	15	15	1	0.17	0.03	0.04	0.03	0.03
17					10	17	7	7	7		0.02	0.04	0.02	0.02	0.04
18					5	19	12	12	12		0.01	0.04	0.04	0.03	0.03
19					15	13	12	12	12		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
20					12	12	15	15	15		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
21					17	11	19	19	19	1	0.17	0.04	0.02	0.04	0.04
22					27	11	18	18	18		0.06	0.02	0.02	0.02	0.04
23					1	25	8	8	8		0.17	0.05	0.02	0.03	0.03
24					2	16	13	13	13	2	0.33	0.03	0.03	0.03	0.03
25					2	26	12	12	12		0.06	0.06	0.03	0.03	0.03
26					18	11	32	32	32	2	0.33	0.04	0.02	0.02	0.04
27					17	7	17	17	17		0.33	0.04	0.02	0.04	0.07
28					31	15	35	35	35	1	0.17	0.07	0.03	0.08	0.08
29					35	18	32	32	32	1	0.33	0.08	0.04	0.07	0.07
30					27	16	33	33	33	2	0.33	0.05	0.03	0.03	0.07
31					22	27	26	26	26	1	0.17	0.05	0.06	0.06	0.06
32					35	19	33	33	33		0.33	0.08	0.04	0.07	0.07
33					30	27	22	22	22		0.07	0.06	0.05	0.05	0.05
34					22	14	19	19	19		0.05	0.03	0.04	0.04	0.04
35					25	16	23	23	23		0.05	0.03	0.03	0.03	0.05
36					17	21	23	23	23	1	0.17	0.04	0.05	0.05	0.05
37					19	19	27	27	27		0.04	0.04	0.04	0.04	0.06
38					27	8	19	19	19	1	0.17	0.06	0.02	0.04	0.06
39					14	13	19	19	19		0.03	0.03	0.03	0.03	0.04
40					17	21	17	17	17		0.17	0.04	0.05	0.04	0.04
41					11	12	10	10	10		0.02	0.03	0.02	0.02	0.02
42					14	10	11	11	11		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
43					16	14	18	18	18	1	0.17	0.03	0.03	0.03	0.04
44					7	7	21	21	21		0.03	0.02	0.05	0.05	0.05
45					12	10	11	11	11		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
46					13	5	8	8	8		0.03	0.01	0.02	0.02	0.02
47					7	11	7	7	7		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
48					12	9	11	11	11		0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
49					6	6	15	15	15		0.03	0.01	0.03	0.03	0.03
50					11	9	12	12	12	1	0.17	0.02	0.02	0.02	0.03
51					6	7	8	8	8		0.01	0.02	0.02	0.02	

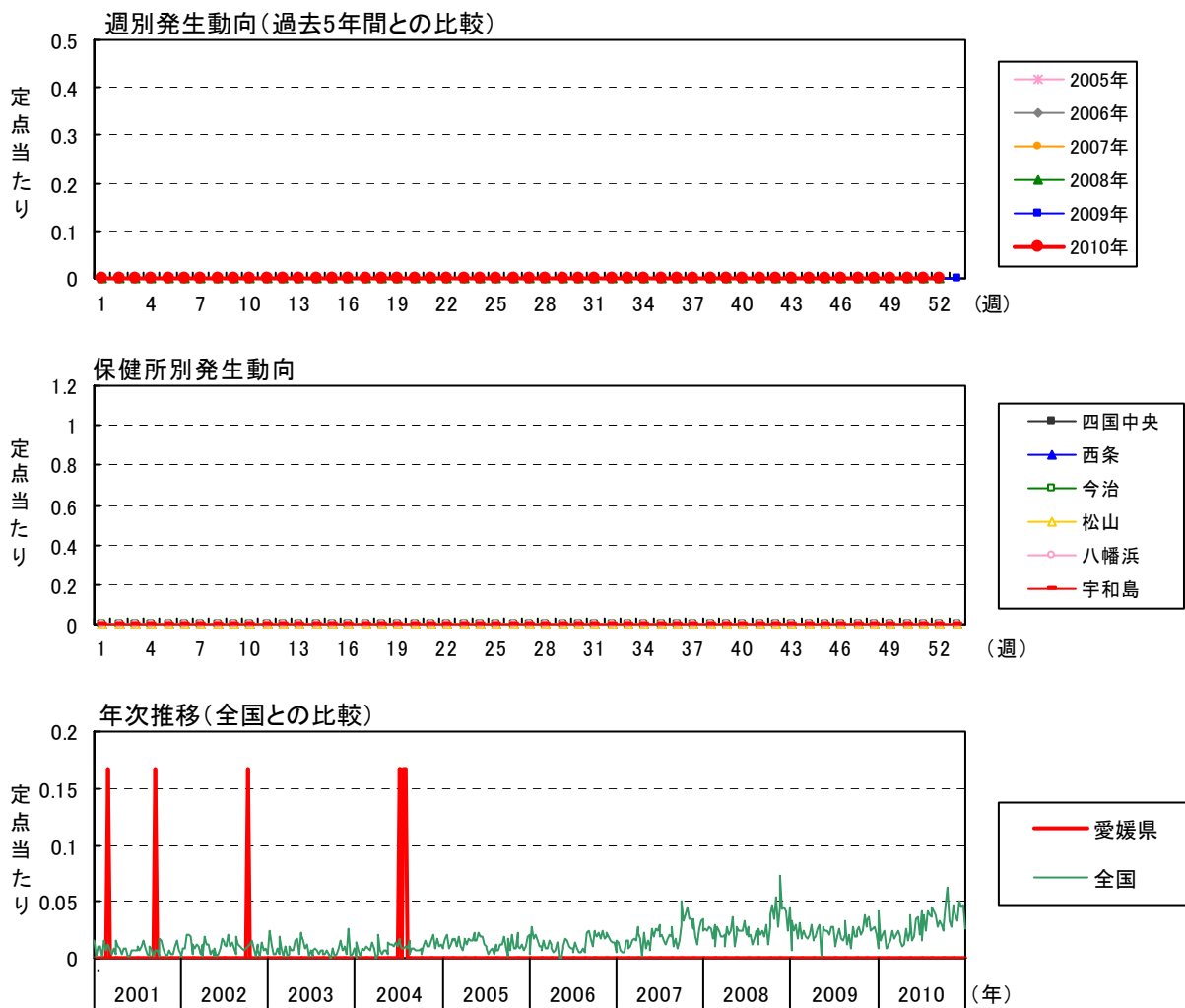
マイコプラズマ肺炎

2010年の患者報告数は295人(定点当たり49.17人/年)で、前年(患者報告数276人 定点当たり46.00人/年)から増加し、過去10年で最大の発生規模となった。9月以降、四国中央地区、八幡浜地区、宇和島地区で増加し、11月から12月上旬にかけて流行のピークに達した。県全体では、第45週、第48週に定点当たり3.00人/週と過去10年で最大のピークを形成した。四国中央地区と八幡浜地区では年間を通じ多発した。地域別の患者報告数は、四国中央地区137人/年、八幡浜地区115人/年が突出して多く、2地区からの報告が全体の85.4%を占めた。次いで宇和島地区20人/年、今治地区17人/年、松山地区4人/年、西条地区2人/年の順であった。年齢別の患者報告数は、乳児から高齢者まで幅広い年齢層にわたっているが、特に0~4歳が145人(49.2%)とほぼ半数を占めた。



クラミジア肺炎（オウム病を除く）

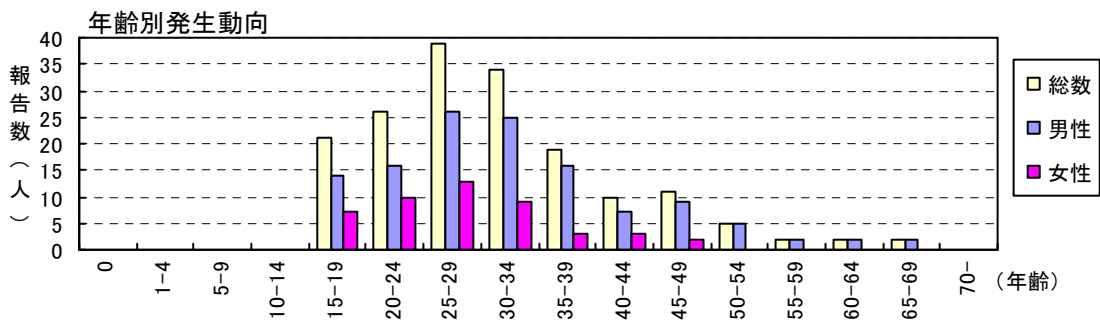
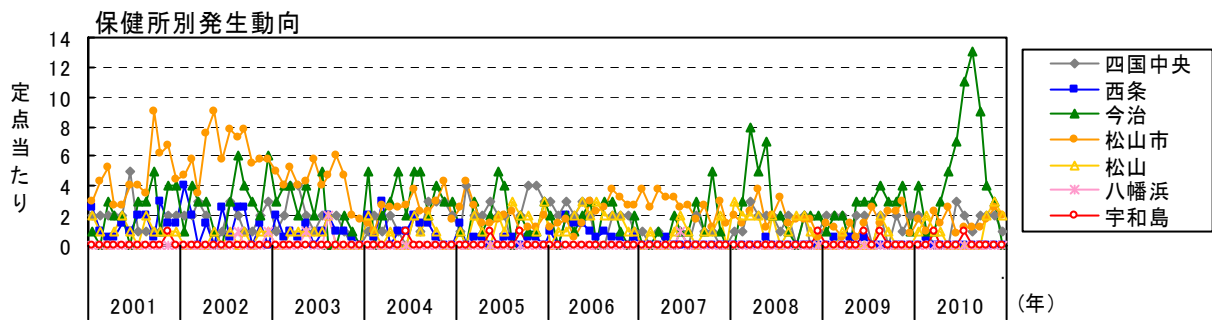
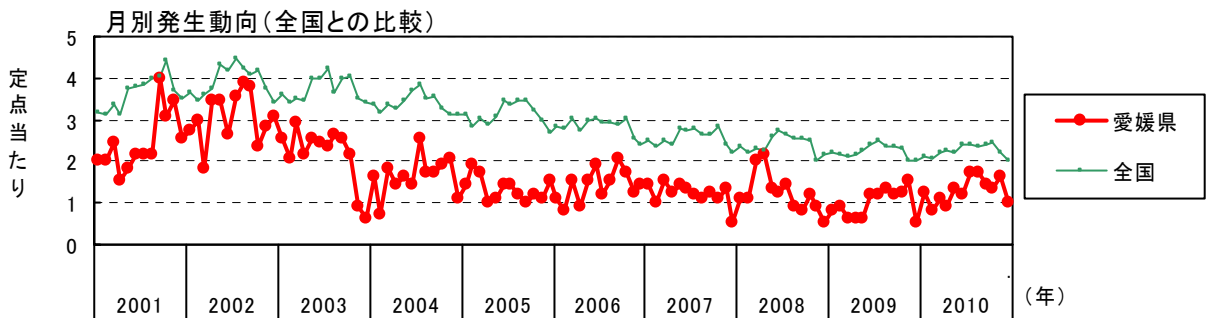
2010年の患者報告はなかった。県内では2004年に4人の報告があった以降、6年連続して患者報告のない状況が続いている。



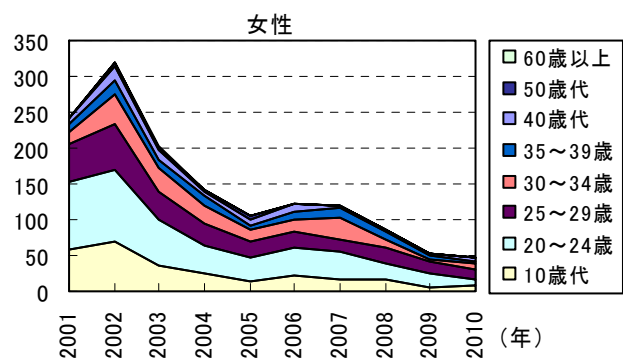
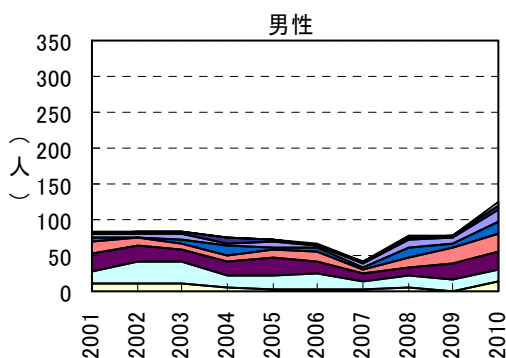
(6)STD 定点対象疾患(月報)

性器クラミジア感染症

2010年の患者報告数は171人(定点当たり15.55人/年)で、前年(患者報告数131人 定点当たり11.91人/年)から増加した。特に、今治地区では4月から11月にかけて多発傾向が認められた。県内の患者報告数の推移は、2002年の403人(定点当たり36.64人/年)をピークに緩やかに減少し、2005年以降は定点当たり11~17人/年の範囲で推移している。性別は、男性124人、女性47人で、前年(男性78人、女性53人)に比べ、男性の患者報告数が大幅に増加し、2009年以降、男性の患者報告数が女性の患者報告数を上回った状況が継続している。年齢別の患者報告数は、男性では20歳代42人(33.9%)、30歳代41人(33.1%)、女性では20歳代23人(48.9%)が多くみられた。

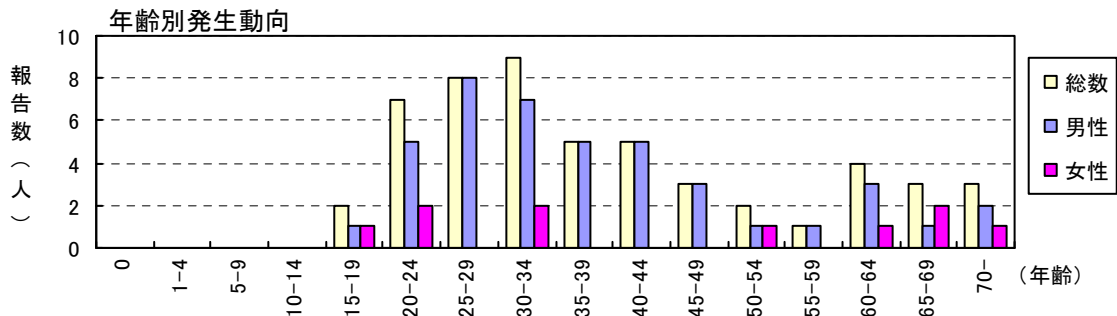
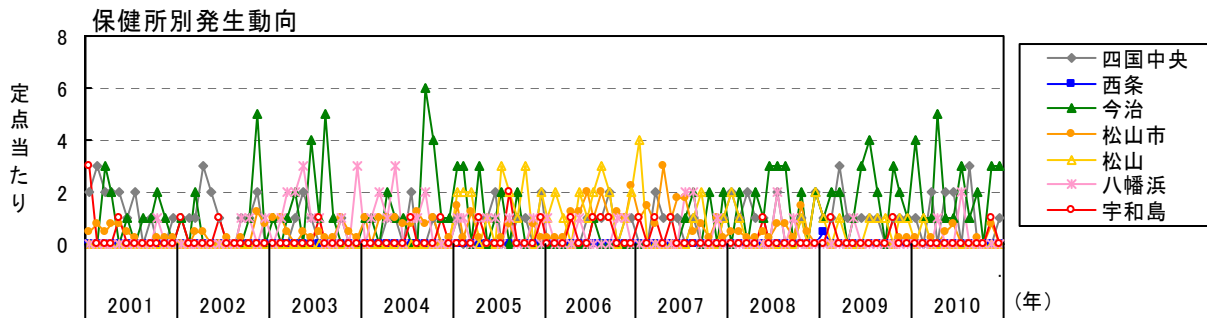
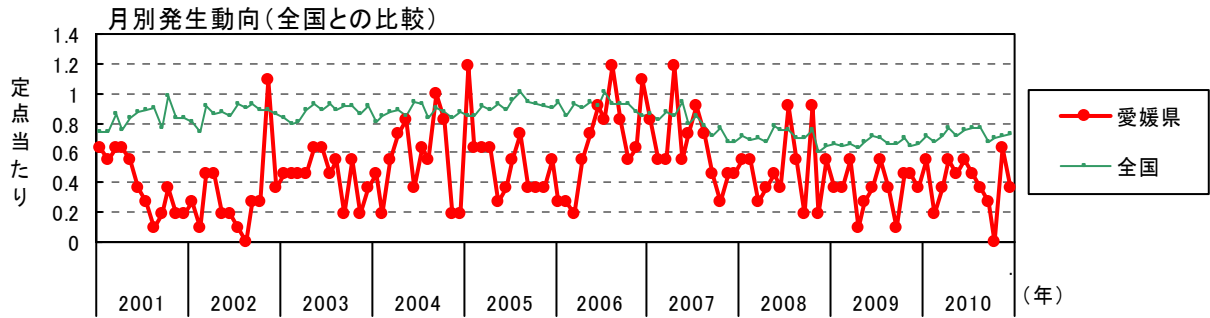


男女別・年齢階級別発生動向

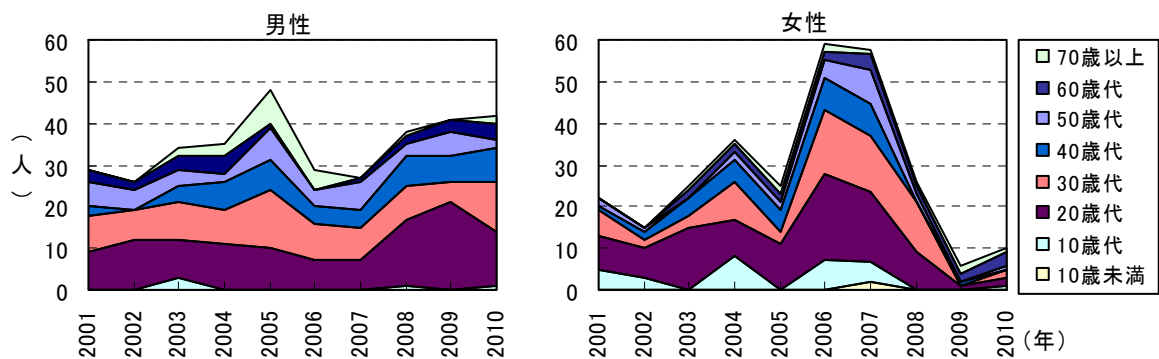


性器ヘルペスウイルス感染症

2010年の患者報告数は52人(定点当たり4.73人/年)で、前年(患者報告数47人 定点当たり4.27人/年)から大きな変動はなかった。県内の患者報告数の推移は、2003年以降微増傾向にあったが、2006年の88人(定点当たり8.00人/年)をピークに減少傾向が続いている。性別は男性42人、女性10人で、前年(男性41人、女性6人)と変動はなかった。年齢別の患者報告数は、男性では20歳代13人(31.0%)、30歳代12人(28.6%)が多く、女性では60歳以上が4人、20歳代と30歳代が各2人、10歳代と50歳代が各1人であった。

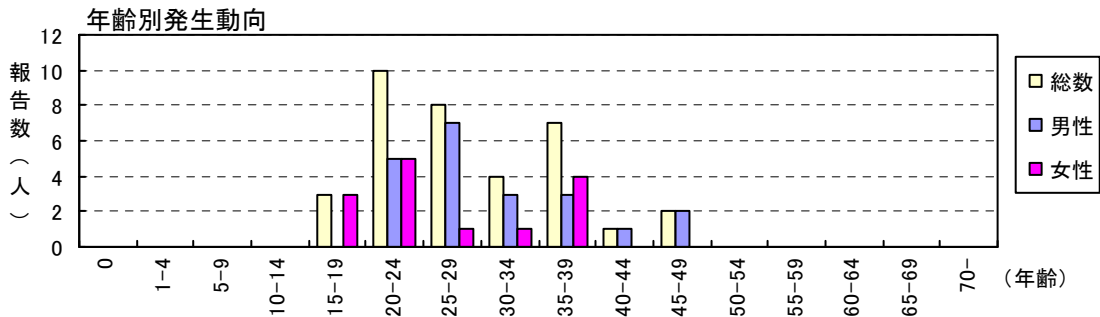
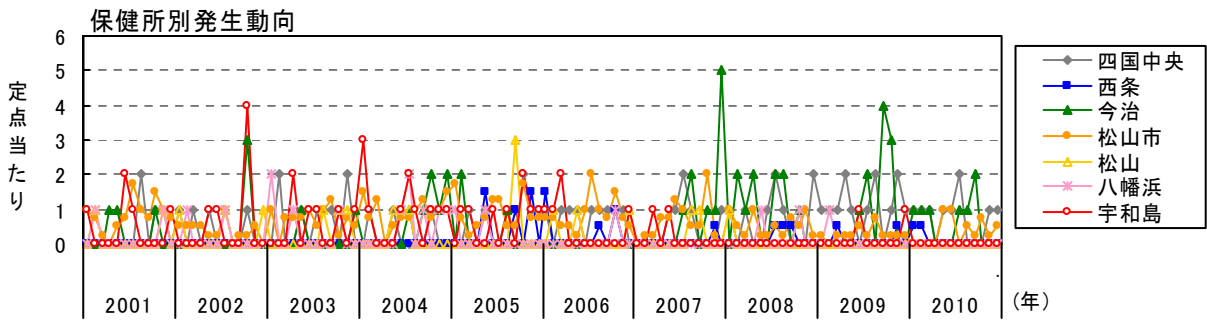
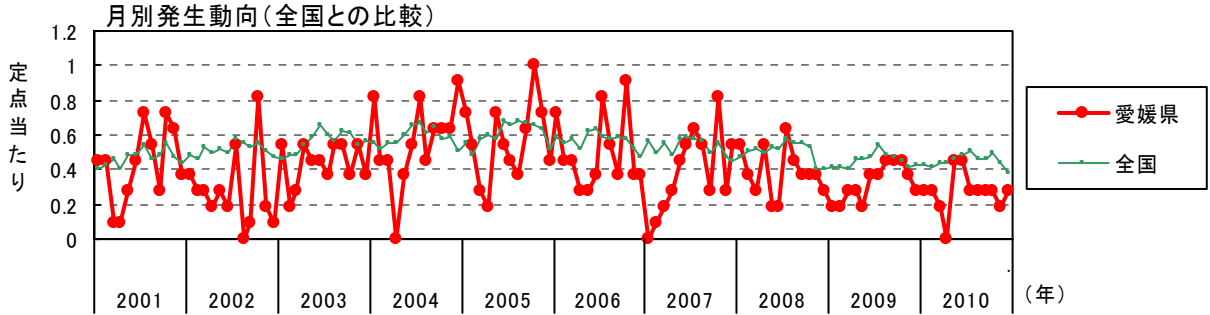


男女別・年齢階級別発生動向

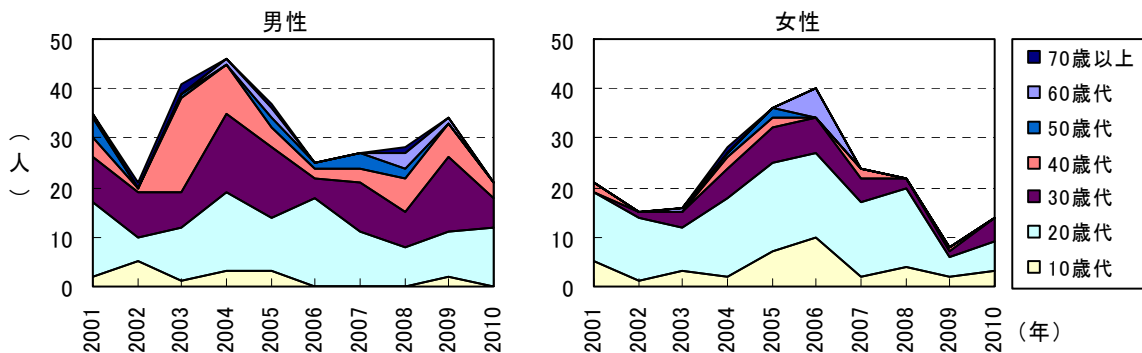


尖圭コンジローマ

2010年の患者報告数は35人(定点当たり3.18人/年)で、前年(患者報告数42人 定点当たり3.82人/年)に比べ微減した。県内の患者報告数の推移は、2004年の74人(定点当たり6.73人/年)をピークに減少傾向が続いている。性別は男性21人、女性14人で、前年(男性34人、女性8人)と比較し、男性の患者報告数は減少し、女性の患者報告数は微増した。年齢別の患者報告数は、男性では20歳代が12人(57.1%)と多く、女性では20歳代6人、30歳代5人、10歳代3人であった。

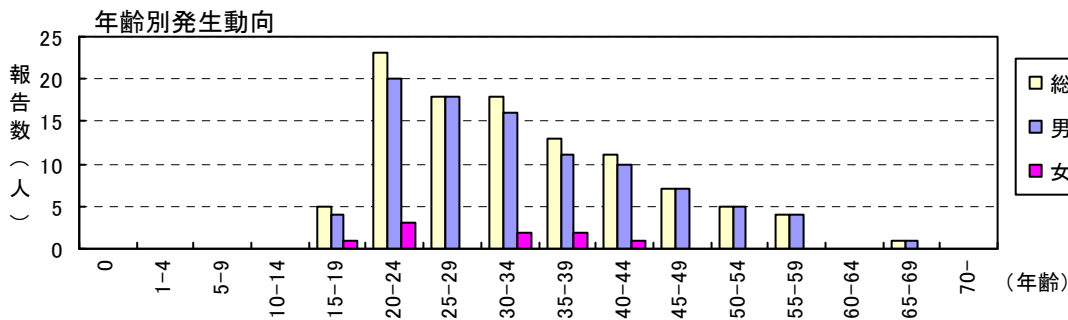
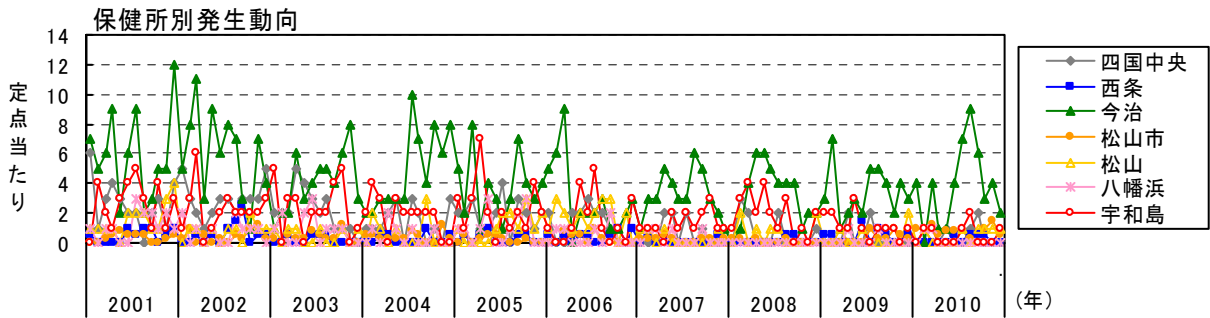
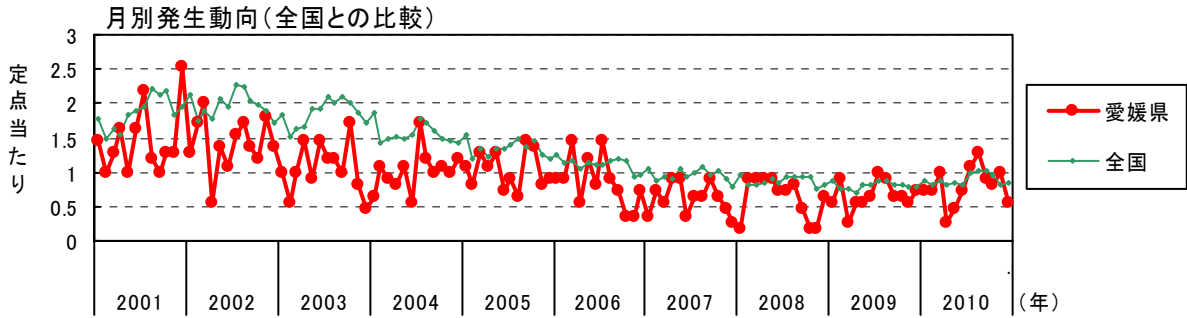


男女別・年齢階級別発生動向

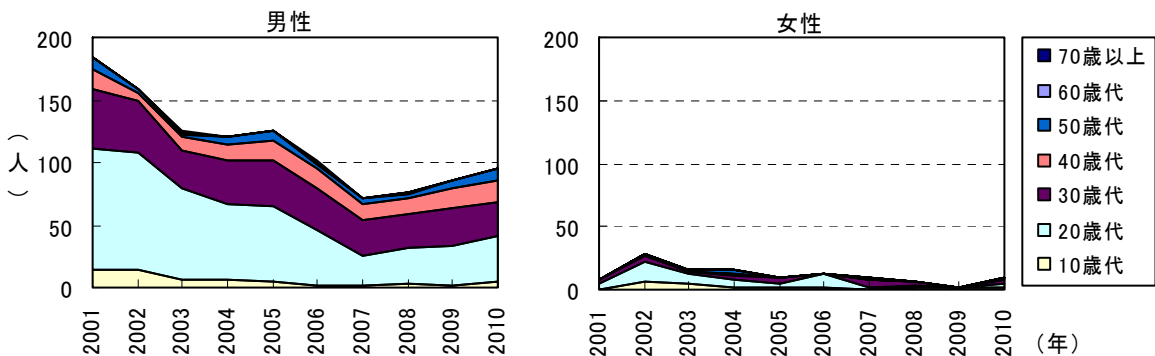


淋菌感染症

2010年の患者報告数は105人(定点当たり9.55人/年)で、前年(患者報告数87人 定点当たり7.91人/年)に比べ増加した。県内の患者報告数の推移は、2000年の224人(定点当たり20.36人/年)をピークに減少傾向が続き、2007年以降、定点当たり7人/年程度で推移していた。性別は男性96人、女性9人で、前年(男性85人、女性2人)と同様に、男性に比べ女性の患者報告数が極端に少なかった。年齢別の患者報告数は、男性では20歳代が38人(39.6%)と多く、女性では30歳代4人、20歳代3人、10歳代と40歳代が各1人であった。



男女別・年齢階級別発生動向



性器クラミジア感染症

月	患者報告数												定点当たり報告数											
	2010年 保健所別						愛媛県			全国			2010年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	八幡浜	2010	2009	2008	2010	2009
1	2	4	7	1	14	9	12	2,284	2,029	2,167	2,284	2.00	4.00	1.75	1.00	1.27	0.82	1.09	2.10	2.24	2.36	2.10	2.24	2.36
2	1	1	4	2	9	10	12	2,165	1,992	2,092	2,165	1.00	1.00	1.00	2.00	0.82	0.91	1.09	2.05	2.17	2.24	2.05	2.17	2.24
3		1	9	1	12	7	22	2,249	2,170	2,043	2,249		1.00	2.25	1.00	1.09	0.64	2.00	2.25	2.12	2.32	2.25	2.12	2.32
4		3	6	1	10	7	24	2,261	2,167	2,125	2,261		3.00	1.50	1.00	0.91	0.64	2.18	2.26	2.22	2.32	2.26	2.22	2.32
5		5	10		15	7	15	2,527	2,119	2,173	2,527		5.00	2.50		1.36	0.64	1.36	2.20	2.27	2.60	2.20	2.27	2.60
6	3	7	3		13	13	14	2,653	2,222	2,342	2,653	3.00	7.00	0.75		1.18	1.18	1.27	2.36	2.44	2.73	2.36	2.44	2.73
7	2	11	5	1	19	13	16	2,608	2,238	2,389	2,608	2.00	11.00	1.25	1.00	1.73	1.18	1.45	2.38	2.49	2.69	2.38	2.49	2.69
8	1	13	5		19	15	10	2,493	2,252	2,292	2,493	1.00	13.00	1.25		1.73	1.36	0.91	2.38	2.39	2.56	2.38	2.39	2.56
9	2	9	5		16	13	9	2,605	2,278	2,276	2,605	2.00	9.00	1.25		1.45	1.18	0.82	2.42	2.35	2.67	2.42	2.35	2.67
10	2	4	7	2	15	14	13	2,433	2,316	2,244	2,433	2.00	4.00	1.75	2.00	1.36	1.27	1.18	2.44	2.33	2.51	2.44	2.33	2.51
11	2	3	10	3	18	17	10	2,009	2,065	1,961	2,009	2.00	3.00	2.50	3.00	1.64	1.55	0.91	2.18	2.04	2.06	2.18	2.04	2.06
12	1		8	2	11	6	6	2,111	1,878	1,941	2,111	1.00		2.00	2.00	1.00	0.55	0.55	1.98	2.02	2.17	1.98	2.02	2.17
合計	16	1	61	79	171	131	163	28,398	25,726	26,045	28,398	16.00	61.00	19.75	12.00	15.55	11.91	14.82	27.01	27.08	29.23	27.01	27.08	29.23

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

性器ヘルペスウイルス感染症

月	患者報告数												定点当たり報告数											
	2010年 保健所別						愛媛県			全国			2010年 保健所別						愛媛県			全国		
	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	八幡浜	2010	2009	2008	2010	2009
1	1	4	1		6	4	6	689	695	656	689	1.00	4.00	0.25		0.55	0.36	0.55	0.72	0.68	0.71	0.72	0.68	0.71
2		1	1		2	4	6	670	649	620	670		1.00		1.00	0.18	0.36	0.55	0.67	0.64	0.69	0.67	0.64	0.69
3	2	1	1		4	6	3	674	705	635	674	2.00	1.00	0.25		0.36	0.55	0.27	0.73	0.66	0.69	0.73	0.66	0.69
4		5		1	6	1	4	687	730	611	687		5.00		1.00	0.55	0.09	0.36	0.76	0.64	0.70	0.76	0.64	0.70
5	2	1	2		5	3	5	779	690	653	779	2.00	1.00	0.50		0.45	0.27	0.45	0.72	0.68	0.80	0.72	0.68	0.80
6	2	1	3		6	4	4	727	713	696	727	2.00	1.00	0.75		0.55	0.36	0.36	0.76	0.73	0.75	0.76	0.73	0.75
7		3		2	5	6	10	751	720	675	751		3.00		2.00	0.45	0.55	0.91	0.77	0.70	0.77	0.77	0.70	0.77
8	3	1			4	4	6	683	737	641	683	3.00	1.00			0.36	0.36	0.55	0.78	0.67	0.70	0.78	0.67	0.70
9		2	1		3	1	2	657	645	634	657		2.00	0.25		0.27	0.09	0.18	0.68	0.65	0.67	0.68	0.65	0.67
10					5	10	666	737	680	680	737		3.00	0.75		0.64	0.45	0.91	0.70	0.71	0.76	0.71	0.71	0.76
11		3	3		7	5	2	596	670	621	596		3.00	3.00		1.00	0.45	0.18	0.71	0.65	0.61	0.71	0.65	0.61
12	1				4	4	6	642	683	638	642	1.00	3.00			0.36	0.36	0.55	0.72	0.66	0.66	0.72	0.66	0.66
合計	11		25	11	52	47	64	8,292	8,303	7,760	8,292	11.00	25.00	2.75	1.00	4.73	4.27	5.82	8.72	8.07	8.54	8.72	8.07	8.54

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

尖圭コンジローマ

月	患者報告数												定点当たり報告数																							
	2010年 保健所別						愛媛県						全国						2010年 保健所別						愛媛県						全国					
	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008							
1	1	1	1				3	2	6	416	416	461	1.00	0.50	1.00			0.27	0.18	0.55	0.27	0.18	0.55	0.43	0.43	0.48										
2	1	1	1				3	2	4	406	404	492	1.00	0.50	1.00			0.27	0.18	0.36	0.27	0.18	0.36	0.42	0.42	0.51										
3	1		1				2	3	3	411	406	502	1.00		1.00			0.18	0.27	0.27	0.18	0.27	0.43	0.42	0.42	0.52										
4								3	6	422	453	484							0.27	0.55	0.44	0.27	0.55	0.44	0.47	0.50										
5	1			4			5	2	2	443	449	523	1.00		1.00			0.45	0.18	0.18	0.45	0.18	0.18	0.46	0.47	0.54										
6	1			4			5	4	2	463	449	505	1.00		1.00			0.45	0.36	0.18	0.45	0.36	0.18	0.49	0.47	0.52										
7	2		1				3	4	7	478	522	566	2.00		1.00			0.27	0.36	0.64	0.27	0.36	0.64	0.51	0.54	0.58										
8			1	2			3	5	5	445	480	544			1.00	0.50		0.27	0.45	0.45	0.27	0.45	0.45	0.47	0.50	0.56										
9			2	1			3	5	4	461	450	532			2.00	0.25		0.27	0.45	0.36	0.27	0.45	0.36	0.49	0.46	0.55										
10				3			3	5	4	468	441	516				0.75		0.18	0.36	0.36	0.27	0.45	0.36	0.49	0.46	0.53										
11	1			1			2	4	4	422	399	399	1.00			0.25		0.27	0.27	0.27	0.18	0.36	0.36	0.45	0.42	0.41										
12	1			2			3	3	3	370	401	395	1.00		0.50			0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.39	0.42	0.41										
合計	9	2	7	17			35	42	50	5,205	5,270	5,919	9.00	1.00	7.00	4.25		3.18	3.82	4.55	3.18	3.82	4.55	5.47	5.48	6.09										

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

淋菌感染症

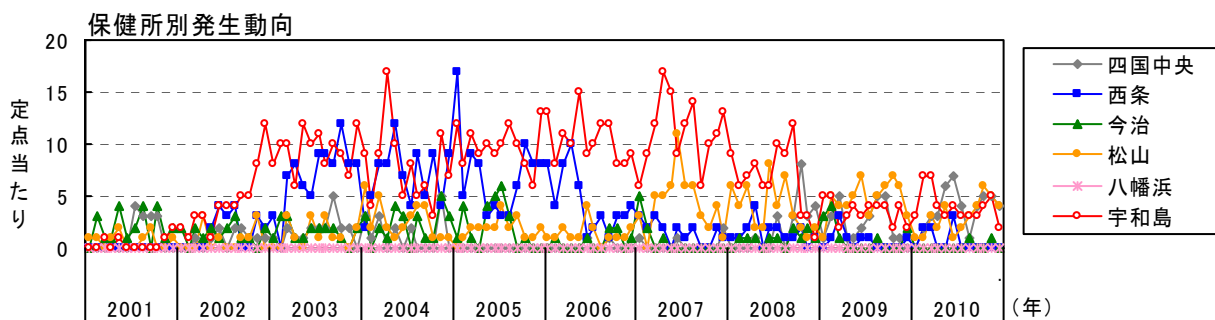
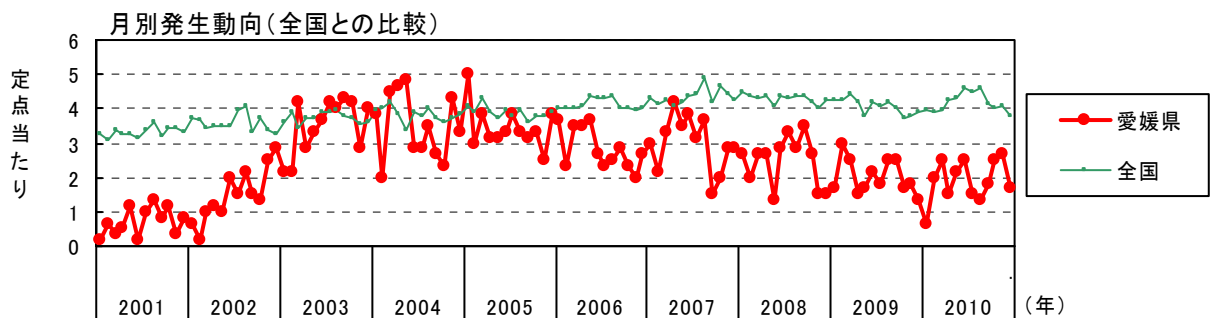
月	患者報告数												定点当たり報告数																							
	2010年 保健所別						愛媛県						全国						2010年 保健所別						愛媛県						全国					
	四国中央	西条	今治	松山市	松山市	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008	2010	2009	2008							
1			4	4			8	6	2	853	842	935						0.73	0.55	0.18	0.73	0.55	0.18	0.88	0.87	0.97										
2	1			4	1	1	8	10	10	780	718	795	1.00		1.00	1.00	1.00	0.73	0.91	0.91	0.73	0.91	0.91	0.80	0.74	0.82										
3			4	5	1	1	11	3	10	847	730	784			1.00	1.00		1.00	0.27	0.91	1.00	0.27	0.91	0.88	0.76	0.81										
4			1	2			3	6	10	793	658	820						0.27	0.55	0.91	0.27	0.55	0.91	0.83	0.69	0.84										
5	1		1	3			5	6	10	808	785	873	1.00		1.00	0.75		0.45	0.55	0.91	0.45	0.55	0.91	0.84	0.82	0.90										
6			1	4	3		8	7	8	774	777	825						0.73	0.64	0.73	0.73	0.64	0.73	0.82	0.81	0.85										
7			7	3	1	1	12	11	8	933	853	899						1.09	1.00	1.00	1.09	1.00	1.00	0.99	0.89	0.93										
8	1	1	9	1		2	14	10	9	963	856	921	1.00	0.50	9.00	0.25	2.00	1.27	0.91	0.82	1.27	0.91	0.82	1.02	0.89	0.95										
9	2	1	6		1		10	7	5	980	794	897	2.00	0.50	6.00			0.91	0.64	0.45	0.91	0.64	0.45	1.04	0.82	0.92										
10			1	3	4	1	9	7	2	911	784	930		0.50	3.00	1.00	1.00	0.82	0.64	0.18	0.82	0.64	0.18	0.96	0.81	0.96										
11			4	6	1		11	6	2	773	745	744			4.00	1.50	1.00	1.00	0.55	0.18	1.00	0.55	0.18	0.82	0.78	0.76										
12			2	2	1	1	6	8	7	787	743	795						0.55	0.73	0.64	0.55	0.73	0.64	0.83	0.77	0.82										
合計	5	4	45	37	6	6	105	87	83	10,202	9,285	10,218	5.00	2.00	45.00	9.25	6.00	9.55	7.91	7.55	9.55	7.91	7.55	10.71	9.65	10.52										

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

(7) 基幹定点対象疾患(月報)

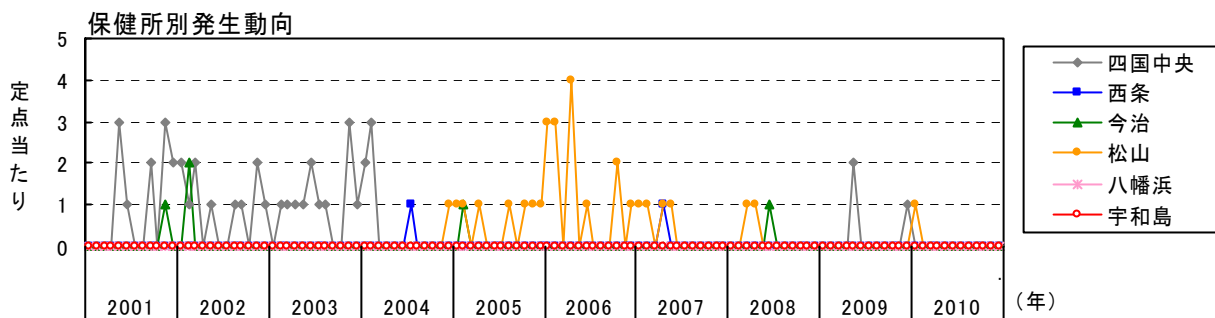
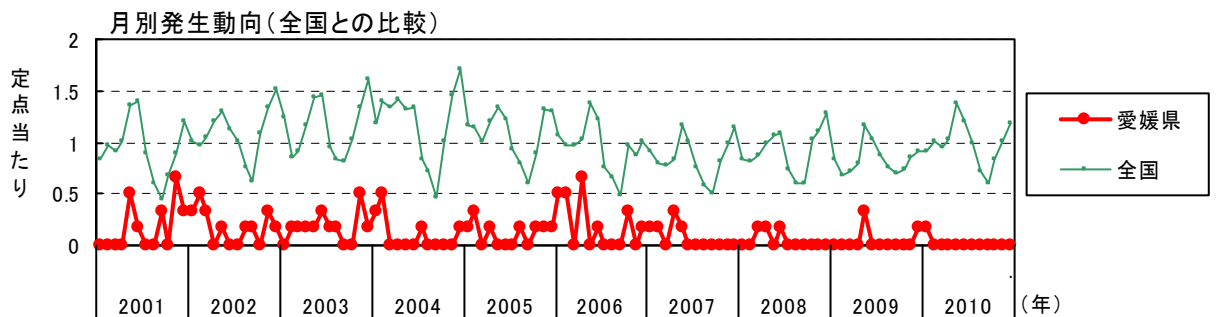
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2010年の患者報告数は137人(定点当たり22.83人/年)で、前年(患者報告数145人 定点当たり24.17人/年)に比べ減少した。県内の患者報告数の推移は、2002年(患者報告数107人 定点当たり17.83人/年)以降大幅に増加し、2003年から2005年は定点当たり41人/年程度で推移していたが、2006年に減少に転じた。本年は、2006年以降では最も少ない報告数であった。性別は男性84人、女性53人で、男性が全体の61.3%を占めた。乳児から高齢者まで全年齢層にわたって患者報告があったが、特に70歳以上の高齢者が82人と多く、全体の59.9%を占めた。



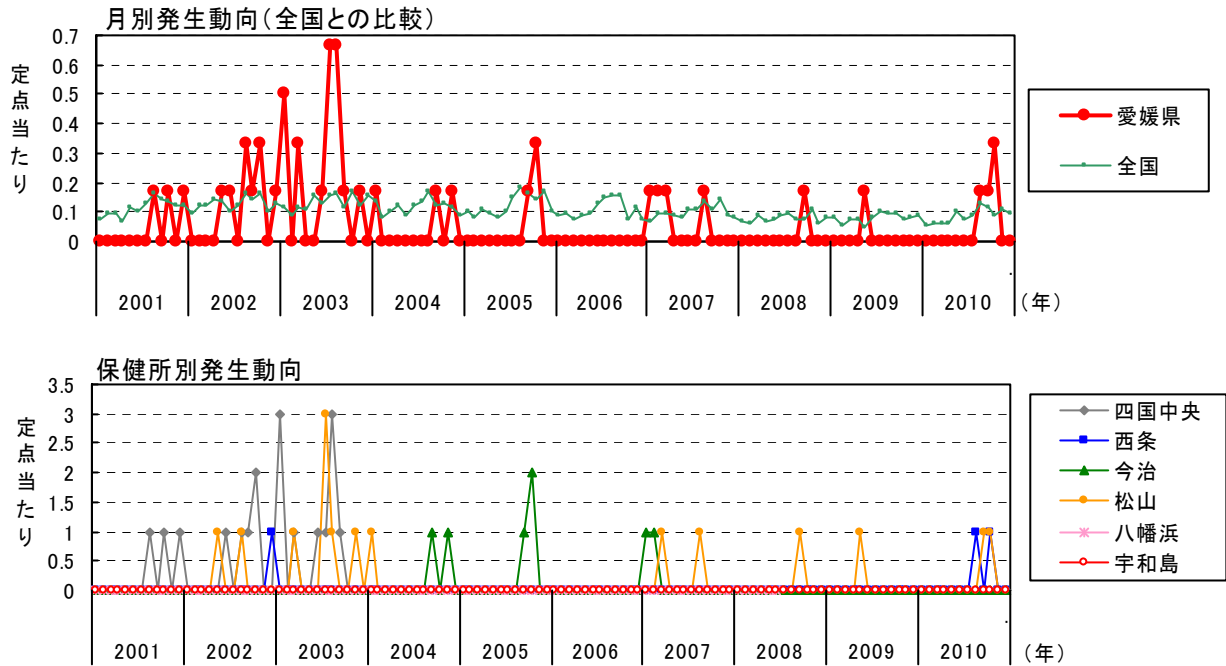
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2010年の患者報告数は1人(定点当たり0.17人/年)で、1999年の調査開始以降、最も少ない報告数であった。県内の患者報告数の推移は、2006年の14人(定点当たり2.33人/年)から減少傾向に転じ、2008年以降はごく少数例に留まっている。患者は60歳代の女性であった。



薬剤耐性緑膿菌感染症

2010年の患者報告数は4人(定点当たり0.67人/年)であった。県内の患者報告数の推移は、2004年以降、0~4人(定点当たり0.17~0.67人/年)とごく少数例に留まっている。性別は全て男性で、年齢は30歳代1人、70歳以上3人であった。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

月	患者報告数											定点当たり報告数												
	2010年 保健所別						愛媛県			全 国			2010年 保健所別						愛媛県			全 国		
	四国中央	西条	今治	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	四国中央	西条	今治	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008
1				1		3	4	10	16	1,874	2,091	2,212				1.00		3.00	0.67	1.67	2.67	3.98	4.42	4.68
2	2	2		1		7	12	18	12	1,818	2,042	2,102	2.00	2.00		1.00		7.00	2.00	3.00	2.00	3.88	4.32	4.45
3	3	2		3		7	15	15	16	1,900	2,119	2,094	3.00	2.00		3.00		7.00	2.50	2.50	2.67	4.05	4.49	4.42
4	3			2		4	9	9	16	2,006	2,006	2,086	3.00			2.00		4.00	1.50	1.50	2.67	4.27	4.28	4.39
5	6			4		3	13	10	8	1,998	1,828	2,019	6.00			4.00		3.00	2.17	1.67	1.33	4.26	3.89	4.26
6	7	3		1		4	15	13	17	2,169	1,994	2,113	7.00	3.00		1.00		4.00	2.50	2.17	2.83	4.76	4.23	4.47
7	4			2		3	9	11	20	2,106	1,916	2,120	4.00			2.00		3.00	1.50	1.83	3.33	4.61	4.09	4.49
8	1		1	3		3	8	15	17	2,190	2,007	2,114	1.00		1.00	3.00		3.00	1.33	2.50	2.83	4.76	4.27	4.46
9	4			4		3	11	15	21	1,949	1,879	2,003	4.00			4.00		3.00	1.83	2.50	3.50	4.26	4.03	4.25
10	5			6		4	15	10	16	1,906	1,790	2,058	5.00			6.00		4.00	2.50	1.67	2.67	4.16	3.82	4.35
11	5		1	5		5	16	11	9	1,927	1,819	1,922	5.00		1.00	5.00		5.00	2.67	1.83	1.50	4.21	3.86	4.08
12	4			4		2	10	8	9	1,792	1,868	2,055	4.00			4.00		2.00	1.67	1.33	1.50	3.90	3.95	4.35
合計	44	7	2	36		48	137	145	177	23,635	23,359	24,898	44.00	7.00	2.00	36.00		48.00	22.83	24.17	29.50	51.10	49.66	52.66

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

月	患者報告数											定点当たり報告数												
	2010年 保健所別						愛媛県			全 国			2010年 保健所別						愛媛県			全 国		
	四国中央	西条	今治	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	四国中央	西条	今治	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008
1				1			1			432	395	395				1.00			0.17			0.92	0.84	0.84
2										478	324	391										1.02	0.68	0.83
3									1	454	338	417									0.17	0.97	0.72	0.88
4									1	503	386	468									0.17	1.07	0.82	0.99
5									2	665	542	528								0.33		1.42	1.15	1.11
6									1	576	491	520									0.17	1.26	1.04	1.10
7										470	409	349										1.03	0.87	0.74
8										343	357	284										0.75	0.76	0.60
9										291	340	291										0.64	0.73	0.62
10										393	349	478										0.86	0.75	1.01
11										481	406	521										1.05	0.86	1.11
12									1	573	436	615								0.17		1.25	0.92	1.30
合計				1			1	3	3	5,659	4,773	5,257				1.00			0.17	0.50	0.50	12.22	10.15	11.12

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

薬剤耐性緑膿菌感染症

月	患者報告数											定点当たり報告数													
	2010年 保健所別						愛媛県			全 国			2010年 保健所別						愛媛県			全 国			
	四国中央	西条	今治	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	四国中央	西条	今治	松山	八幡浜	宇和島	2010	2009	2008	2010	2009	2008	
1										25	40	33											0.05	0.08	0.07
2										28	28	30											0.06	0.06	0.06
3										28	34	41											0.06	0.07	0.09
4										28	36	31											0.06	0.08	0.07
5									1	36	24	35								0.17		0.08	0.05	0.07	
6										38	41	42											0.08	0.09	0.09
7										40	46	44											0.09	0.10	0.09
8		1					1			57	44	38		1.00					0.17			0.12	0.09	0.08	
9				1			1		1	53	46	44				1.00			0.17		0.17	0.12	0.10	0.09	
10		1		1			2			41	35	52		1.00		1.00			0.33			0.09	0.07	0.11	
11										51	38	31										0.11	0.08	0.07	
12										45	40	39										0.10	0.08	0.08	
合計		2		2			4	1	1	470	452	460		2.00		2.00			0.67	0.17	0.17	1.02	0.96	0.97	

注)2010年の全国患者報告数及び定点当たり報告数は速報値である(2011年3月5日集計)。

Ⅲ 2010年(平成22年)感染症発生動向調査結果 一病原体検査結果一

Ⅲ 2010年(平成22年)感染症発生動向調査結果 ー病原体検査結果ー

1 細菌検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

腸管出血性大腸菌感染症

県内で腸管出血性大腸菌(EHEC)患者が発生した場合には、当所で分離菌株の確認検査を実施するとともに、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所ではパルスフィールドゲル電気泳動(PFGE)法による型別を実施し、全国規模の同時多発的な集団発生“diffuse outbreak(散在的集団発生)”を監視している。当所では、分離株の生化学的性状、O抗原及びH抗原の血清型別、ベロ毒素(VT)の型別に加え、IS(Insertion Sequence)-Printing System(東洋紡)及びPFGE法による分子疫学解析を実施した。薬剤感受性試験はCLSIの抗菌薬ディスク感受性試験実施基準に基づき、アンピシリン(ABPC)、クロラムフェニコール(CP)、ストレプトマイシン(SM)、テトラサイクリン(TC)、カナマイシン(KM)、スルフアメトキサゾール/トリメトプリム合剤(SXT)、ホスホマイシン(FOM)、シプロフロキサシン(CPFX)、ナリジクス酸(NA)、セフトキシム(CTX)、セフトジジム(CAZ)、イミペネム(IPM)の12薬剤を用い、CTXあるいはCAZに耐性を示す株については、Double disk synergy testによりExtended-spectrum β -lactamase(ESBL)産生性の確認を行った。

2010年は県内で9事例、21名の患者が発生し、すべての患者由来菌株について解析を行った(表1)。分離株のO血清型別はO157が19株、O103、O140が各1株であった。H型別及びVT型別を併せた分類では、O157:H7 VT1&2が19株、O103:H7 VT1、O140:H43 VT1が各1株であった。

事例8のO157株は、同一保育園の園児2名が1両日中に胃腸炎症状を呈し、医療機関による検便検査の結果、EHEC O157 VT1が共に検出された。疫学調査の結果、他に胃腸炎症状を訴える園児や職員はおらず、患児は別のクラスで保育されており直接的な接触がなかったことから、各家庭で感染した可能性が高いと判断された。しかし、当所に搬入された患者由来株2株についてIS-P解析を実施したところ、ISコードが一致し、同一株による感染である可能性が示唆されたため、保育施設内における集団発生の可能性を視野に、原因究明及び接触者検診が行われ、保育園児9名を含む10名の患者が確認された。この患者由来株10株について分子疫学調査を行ったところ、全てのISコードが初発患者由来株と一致し、また、PFGE法による遺伝子検査の結果はf498、f499、f500、f501、f502の5パターンに分けられたが、いずれも2バンド以内の違いであり、同一株による集団感染事例であることが確認された。医療機関からはVT1のみの報告であり、当所で行ったRPLA法によるラテックス凝集試験でも、VT1は64倍以上であったものの、VT2は陰性となった。一方、PCR法ではベロ毒素遺伝子 stx 1、 stx 2ともに陽性であり、精査の結果、VT2は stx 2c variant(アミノ酸配列が一部異なる変異型)であることが確認された。また薬剤感受性試験では、12株中11株は全ての薬剤に対して感受性であったが、ABPCに対する耐性株が1株あった。

表1 愛媛県における腸管出血性大腸菌感染症分離株(2010年)

事例番号	届出月日	保健所名	疫学情報	患者感染者数 (無症状者再掲)	血清型		VT型別		病原因子	耐性薬剤	PFGE型 ¹⁾ O157	PFGEコメント	ISコード ²⁾	分離株数
					O	H	RPLA法	PCR法						
1	2/15	宇和島	散発	1	103	2	1	1	eaeA	-				1
2	5/21	松山市	散発	1	157	7	1, 2	1, 2	eaeA	ABPC, SM, TC	f527		717555-611657	1
3	8/17 ~8/24	松山市	家族内	2	157	7	1, 2	1, 2	eaeA	-	f513		317575-611756	2
4	8/21	松山市	散発	1	157	7	1, 2	1, 2	eaeA	-	c148		717577-210657	1
5	8/29	松山市	散発	1	157	7	1, 2	1, 2	eaeA	-	f514		317577-211757	1
6	8/26	四国中央	散発	1	157	7	1, 2	1, 2	eaeA	ABPC, SM	f333		117175-601757	1
7	8/28	松山市	散発	1	157	7	1, 2	1, 2	eaeA	-	f173		317577-211757	1
										-	f501		305057-311457	8
										-	f502	f501と2バンド違い	305057-311457	1
										-	f500	f501と1バンド違い	305057-311457	1
8	9/3 ~9/24	松山市	集団発生 (保育園)	12 (10)	157	7	1	1, 2	eaeA	ABPC	f498	f501と1バンド違い、 f500と異なる	305057-311457	1
										-	f499	f501と1バンド違い、 f500、f498と異なる	305057-311457	1
9	11/20	松山市	散発	1	140	43	1	1	astA	-				1
計				21 (10)										21

1) 国立感染症研究所によって付与されたサブタイプ名。バンドが1本でも異なれば、違ったサブタイプ名となる。

国内で最初に確認された年によってアルファベットで分類 (2005:a; 2006:b; 2007:c; 2008:d; 2009:e)。

2) IS(Insertion sequence: 大腸菌ゲノムの内部を移動する配列)と4種の病原因子の有無を、マルチプレックスPCRで検出することにより、菌のタイプピンズを行う検査法である。

事例3(O157:H7 VT1&2)は家族内での発生で、PFGE型(f513)及びISコード(317575-611756)は全て一致していた。

事例5、7(O157:H7 VT2)は、8月28～29日の短期間に同一保健所管内で発生した事例で、ISコード(317577-211757)は一致していたが、PFGE型は異なっており、疫学的な関連性は見出せなかった。

2010年に分離されたO157 19株についてIS-Printing SystemとPFGEの識別能力を比較したところ、結果が異なる場合もあるが、事例8のように発生時には散発と思われた事例が同じISコードを示したことから、調査の結果、集団発生であることが確認され、IS-Printing SystemはPFGE解析に匹敵する識別能力をもつことが示唆された。本法は、血清型O157に限定される解析方法ではあるが、PFGEに比較して迅速かつ簡便に検査可能であることから、事例発生時の感染経路の解明や拡大防止策を検討する判断材料の一つとして、今後の活用が期待される。

薬剤感受性試験の結果、ABPC・SM・TCの3剤耐性が1株、ABPC・SMの2剤耐性が1株、ABPC耐性が1株あったが、ESBL産生菌は確認されなかった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2010年に届出のあった1例について当所でT血清型別を行った後、国立感染症研究所においてM血清型別及びemm遺伝子型別を行った。T血清型はT28であり、M血清型別は型別不能で、emm遺伝子型はemm87.0であった。なお、国立感染症研究所で把握している劇症型/重症A群溶レン菌感染症517例のうち、emm87による症例は9例目の報告であった(表2)。

表2 愛媛県における劇症型溶血性レンサ球菌感染症分離株(2010年)

届出月日	保健所名	菌種	T蛋白	M蛋白	
			血清型別	血清型別	emm 遺伝子型別
11月10日	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i> (A群溶血性レンサ球菌)	T28	型別不能	emm 87.0

(2) 定点把握対象感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭ぬぐい液をSEB培地で増菌後、羊血液寒天培地で分離を行なった。β溶血を認めた集落について、溶血性レンサ球菌(溶レン菌)の同定検査及び群別試験を実施した。

2010年は松山市保健所管内の病原体定点で採取された咽頭ぬぐい液3件から溶レン菌は分離されなかった。

感染性胃腸炎

検査対象病原体は主として赤痢菌、病原大腸菌、サルモネラ属菌、病原性ビブリオ及びカンピロバクターとし、通常4種類の選択分離培地上に発育した典型的な集落を釣菌し、生化学的性状試験及び血清学的試験により同定した。

大腸菌は市販免疫血清で血清型別を実施すると共に、11種類(eaeA、astA、aggR、bfpA、invE、elt、esth、ipaH、EAF、CVD432、stx)の病原因子関連遺伝子の有無をPCR法で確認し、腸管出血

性大腸菌（EHEC）、腸管侵入性大腸菌（EIEC）、腸管毒素原性大腸菌（ETEC）及び病原血清型大腸菌（EPEC）、腸管凝集性大腸菌（EAEC）に分類した。

病原細菌検出状況を表 3 及び表 4 に示す。小児を中心に 393 検体の糞便について病原菌検索を行った。その結果、病原大腸菌 46 株、カンピロバクター 8 株、サルモネラ属菌 6 株の計 60 株が分離された。年間の病原細菌検出率は 15.3%（60/393）で、例年に比べると高い検出率であった。これは検体数が増加したことと 2009 年から血清が型別不能であっても病原因子を保有しているものは病原大腸菌として検出することとし、また 2010 年から遺伝子の採取方法を変更したためと考えられる。月別にみると、8 月が 48.4%と最も高く夏季に増加する傾向が見られるが、ほぼ年間を通じて検出された。

カンピロバクターは 8 株中 5 株が *Campylobacter jejuni* であったが、6 月に *Campylobacter coli* が 1 株、5 月と 9 月に *Campylobacter lari* が 1 株ずつ分離された。本菌の分離は通常 4～7 月にピークがみられるが、2010 年は散発的な発生であった。市販のカンピロバクター免疫血清（デンカ生研）を用いて Penner の耐熱性抗原による血清型別を実施した結果、A 群、I 群、R 群、Y 群が各 1 株で、型別不能が 1 株であった。

大腸菌については、PCR の結果、腸管毒素原性大腸菌（ETEC）の 1 株が *elt* 陽性、病原血清型大腸菌（EPEC）の 33 株が *eaeA* 陽性、腸管凝集性大腸菌（EAEC）の 7 株が *aggR*、CVD432 陽性、4 株が *astA*、*aggR*、CVD432 陽性、1 株が *astA*、*aggR* 陽性であった。

サルモネラ属菌は 6 株が分離され、*Salmonella* Enteritidis が 3 株、*S. Virchow*、*S. Braenderup*、型別不能が各 1 株であった。

その他、赤痢菌、病原ビブリオ等は分離されなかった。

表3 愛媛県における感染性胃腸炎患者からの病原細菌検出状況(年別)

病原細菌		2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	
病原大腸菌	腸管出血性大腸菌 O26	1							
	腸管侵入性大腸菌 O112ac	1							
	O UT	1							
	腸管毒素原性大腸菌 O UT							1	
	O1	1	1	1	1			1	
	O8	2							
	O15	1				1			
	O18	1					2		
	O25		1	1		1	1		
	O26	1	1						
	O44	1							
	O55		1			1			
	O78	1							
	病原血清型大腸菌 O111	1		2	2			2	
	O119	1						3	
	O124					1			
	O125			1					
	O126	1	1				3		
	O127a						2		
	O153							1	
	O157			2					
	O164							1	
	O166	1							
	O UT								27
	腸管凝集性大腸菌 O78								1
	O111								2
	O119								1
O126								2	
O127a								1	
O UT								5	
小計		15	5	7	3	4	10	46	
<i>Campylobacter jejuni</i>		16	28	13	12	4	3	5	
<i>Campylobacter coli</i>								1	
<i>Campylobacter lari</i>					1			2	
<i>Salmonella</i> Saint paul (O4)					1				
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4)				1	1				
<i>Salmonella</i> Infantis (O7)			3						
<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7)				1					
<i>Salmonella</i> Thompson (O7)					1				
<i>Salmonella</i> Virchow (O7)		5	1					1	
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7)								1	
<i>Salmonella</i> (O7)								1	
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9)					1			3	
計		36	37	22	20	8	13	60	
検出数/検体数 (%)		(6.9)	(7.9)	(9.4)	(6.8)	(2.8)	(4.9)	(15.3)	
検査検体数		524	470	235	293	288	263	393	

表4 愛媛県における感染性胃腸炎患者からの病原細菌検出状況(2010年)

病原細菌		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
腸管毒素原性大腸菌	O UT												1	1
病原血清型大腸菌	O1									1				1
	O119					1			2					3
	O153											1		1
	O164				1									1
	O UT	1			2	5	8	3	4	3			1	27
	小計	1			3	6	8	3	6	4			2	33
腸管凝集性大腸菌	O78				1									1
	O111								1				1	2
	O119								1					1
	O126	1											1	2
	O127a								1					1
	O UT					1		1	2	1				5
小計	1			1	1		1	5	1			2	12	
<i>Campylobacter jejuni</i>	A												1	1
	I											1		1
	R							1						1
	Y							1						1
	UT					1								1
	小計					1		2				1	1	5
<i>Campylobacter coli</i>							1							1
<i>Campylobacter lari</i>						1				1				2
<i>Salmonella</i> Virchow (O7)												1		1
<i>Salmonella</i> Braenderup (O7)									1					1
<i>Salmonella</i> (O7)										1				1
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9)									3					3
計		2			4	9	9	6	15	7		2	6	60
検出数/検体数 (%)					(13.3)	(28.1)	(25.0)	(15.8)	(48.4)	(21.9)		(5.7)	(8.7)	(15.3)
検査検体数		22	22	20	30	32	36	38	31	32	26	35	69	393

百日咳

百日咳疑い患者から採取された鼻咽頭ぬぐい液について、ボルデテラ CFDN 寒天培地による分離培養を行うとともに、遺伝子増幅検査(LAMP法)を実施した。

病原体定点から搬入された3件及び保健所の積極的疫学調査の一環として定点以外の医療機関で採取された5件の鼻咽頭ぬぐい液計8件の検査を実施したが、百日咳菌は検出されなかった。

マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎疑い患者から採取された鼻咽頭ぬぐい液について、遺伝子増幅検査(LAMP法)を実施した。

病原体定点から搬入された36件の鼻咽頭ぬぐい液の検査を実施し、16件から、*Mycoplasma pneumoniae* 遺伝子が検出され(検出率44.4%)、国立感染症研究所でP1蛋白遺伝子型別を実施したところI型6株、IIa型5株、型別不能5株であった(表5)。

表5 愛媛県におけるマイコプラズマ肺炎様患者からの病原細菌検出状況(2010年)

病原細菌		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	I型									1	3	2		6
	II a型										3	2		5
	型別不能										1	3	1	5
計										1	7	7	1	16
検出数/検体数 (%)										(100.0)	(77.8)	(36.8)	(14.3)	(44.4)
検査検体数										1	9	19	7	36

2 ウイルス検査状況

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた指定届出機関のうち、病原体定点はインフルエンザ定点 12 (内科 4、小児科 8)、小児科定点 8、基幹定点 6、眼科定点 2 の医療機関が設定されている。病原体検査対象疾患のうち、ウイルス性疾患はインフルエンザ定点のインフルエンザ、小児科定点では咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、眼科定点では流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、基幹定点では無菌性髄膜炎である。これらの医療機関から、病原体検査要領に基づいて採取された検体について、ウイルス学的検査を実施した。

検査材料：2010 年 1 月から 12 月の間に採取された臨床材料について、ウイルス培養用には輸送培地として 0.2%ウシ血清アルブミン加 VIB 培地を必要に応じて用い、検体は検査に供するまでは -80°C で保存した。感染性胃腸炎患者便は、密閉容器に採取され搬入されたものを検体とし、検査に供するまでは -30°C で保存した。

検査方法：ウイルス培養には FL、RD-18 s、Vero 細胞を常用し、インフルエンザ流行期には MDCK 細胞を併用した。感染性胃腸炎起因ウイルス検索には、電子顕微鏡法 (EM)、RT-PCR 法、リアルタイム PCR 法を実施した。EM で検出されたロタウイルスは、イムノクロマト法 (第一化学) および RPHA 法で群別した。ノロウイルス (NV) 遺伝子の検出には、COGF/R プライマーと RING TaqMan プローブを用いた影山らのリアルタイム PCR 法を実施した。サポウイルス (SV) 遺伝子の検出は、岡田らの SV 系プライマー (1st SV-F13・14/R13・14、nested SV-F22/R2) を用いた nested PCR を行った。

(1) 病原体定点種類別検体数

2010 年に、病原体定点から受け付けた検体数は 906 件で、病原体定点種類別診断名別の受け付け状況を表 1 に示した。

インフルエンザ定点からのインフルエンザの検体数は 69 件で、内科定点から 17 件、小児科定点から 52 件と約 75%が小児科定点からの検体であった。小児科定点対象疾患では感染性胃腸炎が最も多く 411 件、手足口病 35 件、流行性耳下腺炎 17 件、ヘルパンギーナ 2 件、咽頭結膜熱 1 件であった。眼科定点対象疾患では検体の採取はなかった。基幹定点対象疾患では無菌性髄膜炎 (AM) が 13 件であった。年間を通して検体採取のなかった医療機関はインフルエンザ定点 1、基幹定点 4、眼科定点 2 施設であった。

2010 年に流行のみられた疾患であるインフルエンザ、感染性胃腸炎、手足口病、RS などにおいて、それぞれの検体からウイルスを検出し、患者情報の裏付けをすることができた。サーベイランスの対象疾患に該当しない診断名である下気道炎、上気道炎、不明熱などの検体数がかんりの比重を占めているが、これらの検体からもウイルスが検出されており、各種の定点対象疾患の発生動向をみる上で、貴重な病原体情報を得ることができた。採取検体数は、概ね一年間に流行する疾患の動向を捉えるのに必要なだけの採取協力が得られていると考えられたが、医療機関別、地域別にみると検体数に差があり、対象とする疾患の地域的な流行をより確実に把握するためには、県内の全地域の定点医療機関から検体が採取されることが期待される。

表1 定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況(2010)

保健所名	種別	インフルエンザ	感染性胃腸炎	ヘルペス口内炎・歯肉炎	水痘	手足口病	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	上気道炎	下気道炎	熱性けいれん	流行性角結膜炎	咽頭結膜熱	不明熱	不明発疹症	その他	不明・記載なし	合計	
四国中央	小児科	14	7			5	2					2			1	1	3	2			37	
	基幹																					0
西条	小児科	8	14	1		14	2					1					1	5			46	
	基幹																					0
	インフルエンザ*	12																				12
今治	小児科	11	5			6			16			1										39
	眼科																					0
	基幹																					0
松山	インフルエンザ*	3																				3
	小児科	1																				1
	基幹										2											2
八幡浜	インフルエンザ*	2																				2
	小児科	4	1																			5
	基幹																					0
宇和島	小児科	4																				4
	基幹	6				3				2	11		2							6		30
松山市	インフルエンザ*																					0
	小児科	5	384	2	1	7			1			16	191	3			100	8	1	1		720
	小児科	5																				5
	眼科																					0
合計		75	411	3	1	35	2	2	17	2	13	20	193	3	1	1	104	15	7	1	906	

(2) 気道感染症等由来検体からの検出

細胞培養による月別ウイルス検出状況を表2に、臨床診断名別ウイルス検出状況を表3に示した。564検体（定点外医療機関の検体67件も含む）についてウイルス分離を実施した結果、198株のウイルスが検出された（検出率35.1%）。

インフルエンザウイルス

1月、2月及び8月～12月に検出され、A香港型（AH3）が8月～12月に15株、B型が10月に1株、AH1pdm09型（AH1pdm09）が1月、2月、12月に51株分離された。本年の流行シーズン（2009/2010シーズン）はAH1pdm09が大多数を占め、その時期には従来の季節性インフルエンザウイルスは検出されなかった。

インフルエンザウイルスは臨床的にインフルエンザと診断された検体からの検出が63株（96.9%）、と大多数を占めたが、下気道炎、不明熱、手足口病からも4株が検出された。分離株AH1pdm09の抗原性は2009/2010シーズンのワクチン株（A/カリフォルニア/07/2009（H1N1）pdm）とのHI抗体価の差でみると、その大部分が1～2管差以内でワクチン類似株であったが、6株は3管以上の違いを示す抗原変異株であった。AH3ではワクチン株（A/ビクトリア/210/2009）とほとんど差がみられずワクチン類似株であった。

表2 細胞培養による月別ウイルス検出状況(2010年)

ウイルス型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
ポリオ	2型					1								1
	3型						1							1
エンテロ	68型							1						1
	71型			7	5	6	4	6	1					29
コクサッキーA群	4型					1	2	2	1					6
	6型							1						1
	16型		1											1
コクサッキーB群	1型										1			1
	2型									1	2			3
	4型				1	1		1	3					6
エコー	25型										1			1
ライノ			1	1		2	1	3	1	1	1			11
インフルエンザ	AH3								3	2	1	6	3	15
	B										1			1
	AH1pdm09	32	17										2	51
RS		7	8	2	2				1	3		2	6	31
ムンプス			1		5	1		5	2	1	1			16
アデノ	1型	1												1
	2型	1	2		1		1				1	1	2	9
	5型	1	2	1					2	1			2	9
	6型				1							1		2
単純ヘルペス	1型	1												1
合計		43	31	11	16	10	10	17	16	9	9	11	15	198
検査数		67	43	37	47	60	58	43	44	36	38	54	37	564

表 3 臨床診断名別ウイルス検出状況(2010年)

ウイルス型		インフルエンザ	手足口病	流行性耳下腺炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	ヘルペス口内炎・歯肉炎	不明熱	不明発疹症	熱性けいれん	合計
ポリオ	2型		1										1
	3型										1		1
エンテロ	68型						1						1
	71型		19			4	1	1	1	1	2		29
コクサッキーA群	4型						2	1		2		1	6
	6型		1										1
	16型		1										1
コクサッキーB群	1型						1						1
	2型						2			1			3
	4型				1		2			3			6
エコー	25型					1						1	
ライノ		1				1	6			1	2		11
インフルエンザ	A H 3	13					1			1			15
	B	1											1
	A H 1 N 1 pdm	49	1				1						51
RS						26			5			31	
ムンプス				14		1	1						16
アデノ	1型						1						1
	2型						4			5			9
	5型						3			6			9
	6型						1	1					2
単純ヘルペス	1型	1										1	
合計		65	23	14	1	6	54	3	1	25	5	1	198

RS ウイルス

過去5シーズンのなかで最も大きな流行であった。例年、インフルエンザシーズンに相前後して分離されており、本年も1~4月に19株、11月~12月に8株が分離された。一方、少数ではあるが、時期はずれの8~9月に4株分離された。

ムンプスウイルス

流行性耳下腺炎は、3~4年の周期で流行が繰り返されおり、今年是非流行期であったが、小流行地区からの検体採取数が多かったため、16株分離された。そのうち、1株は無菌性髄膜炎(AM)の髄液からの検出であった。

表4 臨床材料別ウイルス検出状況(2010年)

臨床材料別		(咽頭ぬぐい液)	(咽頭ぬぐい液 (鼻汁))	髄液	尿	(便直腸ぬぐい液)	合計
検体数		447	49	35	3	30	564
検出数		153	36	4		5	198
検出率(%)		34.2	73.5	11.4	0.0	16.7	35.1
ポリオ	2型	1					1
	3型					1	1
エンテロ	68型	1					1
	71型	25		1		3	29
コクサッキーA群	4型	6					6
	6型	1					1
	16型	1					1
コクサッキーB群	1型	1					1
	2型	3					3
	4型	6					6
エコー	25型	1					1
ライノ		8	1	1		1	11
インフルエンザ	A H 3	3	12				15
	B		1				1
	A H1 N1 pdm	30	21				51
RS		31					31
ムンプス		13	1	2			16
アデノ	1型	1					1
	2型	9					9
	5型	9					9
	6型	2					2
単純ヘルペス	1型	1					1

エンテロウイルス

エンテロウイルスは、例年夏季を中心として流行がみられ、小児における急性気道疾患の重要な原因ウイルスとなっている。手足口病の起因ウイルスであるエンテロウイルス（EV）71型は3月～8月に29株（主なものは、手足口病から19株、無菌性髄膜炎から4株、不明発疹症から2株）分離された。また、手足口病からCA6型、CA16型がそれぞれ1株ずつ検出された。本年の手足口病の流行は、EV71を主病因として例年より2ヶ月早く始まり、過去5年間で最も大きかった。

その他のEVでは、主に春季～夏季における上・下気道炎、熱性疾患からCA4型が6株、CB4型が6株、秋季にはCB2型が3株、CB1型及びエコーウイルス25型が各1株分離された。また、EV68型が夏季に愛媛で初めて検出された。

アデノウイルス(Ad)

Adは1型1株、2型9株、5型9株、6型2株が分離されたが、検出時期に特異的なパターンは見られず、年間を通して散発的に検出されている。Adは、概して下気道炎、不明熱からの検出が多く、血清型も多様であった。

ヒト単純ヘルペス-1型

1月に1株検出されたが、これは、インフルエンザ（AH1pdm09）との重感染であった。

検体種類別ウイルス検出数

臨床検体564件から検出されたウイルス198株の検体種類別検出数を表4に示した。呼吸器からの検体が最も多く、咽頭ぬぐい液（うがい液）447件、咽頭ぬぐい液（鼻汁）49件で、これらの検体から検出されたウイルスはそれぞれ153株（検出率34.2%）、36株（73.5%）であった。

インフルエンザウイルスは、鼻汁から高率に検出されており、このウイルスを検出するためには咽頭ぬぐい液同様鼻汁も適した検体であると考えられた。

髄液からは、EV71 1株、ライノウイルス 1株、ムンプスウイルス 2株が検出された。

便（直腸ぬぐい液）30件からはポリオ3型が1株、EV71が3株、ライノウイルスが1株検出された（検出率16.7%）。尿からは検出されなかった。

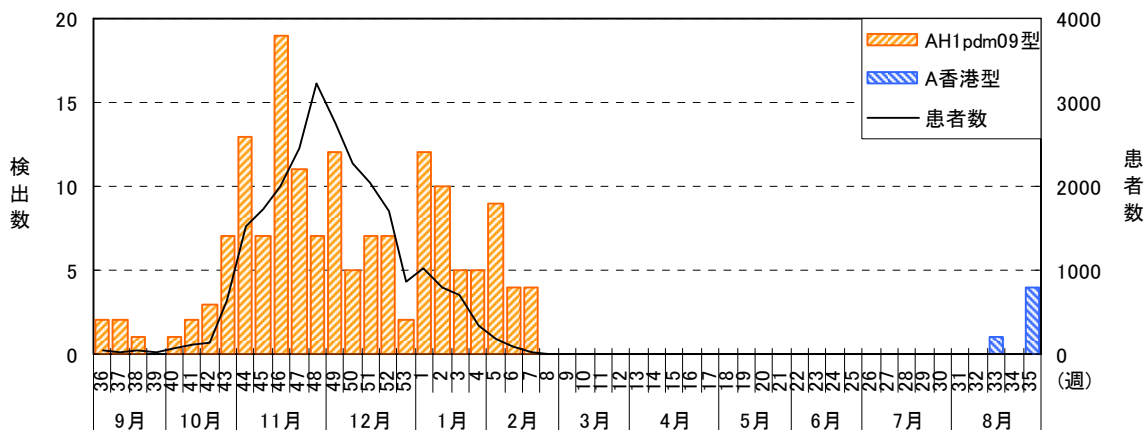


図1 週別の患者報告数とインフルエンザウイルス検出数の推移
(2009年第36週～2010年第35週)

週別ウイルス検出数

図1に、2009/2010シーズンのインフルエンザ患者数とウイルス検出数の推移を示した。今シーズンは、夏季からAH1pdm09の流行が始まり、11月にピークとなった後、例年より早く2月に終息した。期間中に検出されたインフルエンザはAH1pdm09のみであった。また、2010年8月にAH3型が3株検出された。

図2は手足口病、ヘルパンギーナ等の起因ウイルスとなった各種EVおよび気道疾患等から検出されたウイルスの週別検出数を示した。それぞれの患者数の増加に伴って、対応する起因ウイルスが検出された。全国的に流行が見られた手足口病からは第8週にCA16が1例検出されたが、その後は第31週までEV71のみが検出され、主病因はEV71であったことが明らかとなった。その他のEVでは、今年は全国的にCB2やCB4が多く検出され、本県でも39～42週に下気道炎、不明熱患者からCB2が3件検出された。ムンプスは、主に4月から10月に検出され、RSウイルスは、例年同様、第1～14週と第46～50週の冬季を中心に検出されているが、今年は夏季(第35～38週)に4例検出された。Adは年間を通して検出されている。

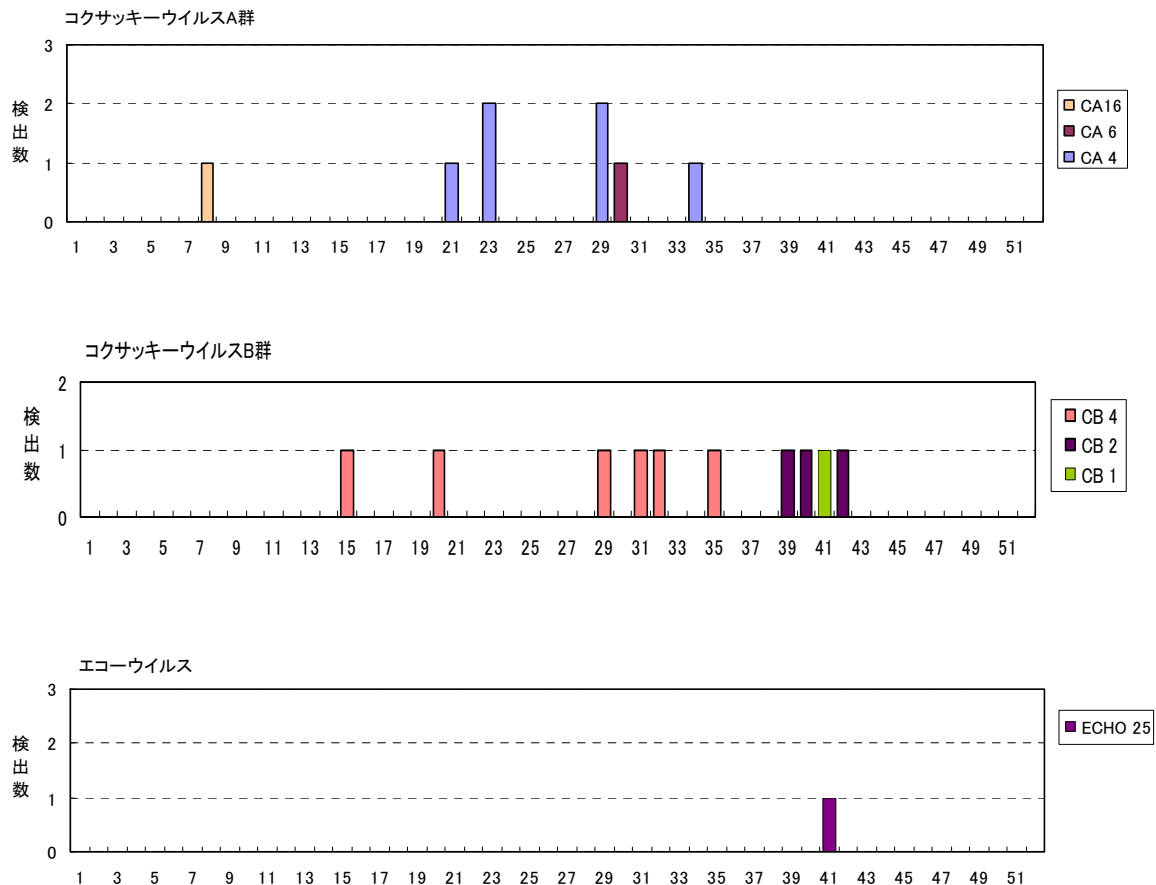


図 2-1 週別ウイルス検出数

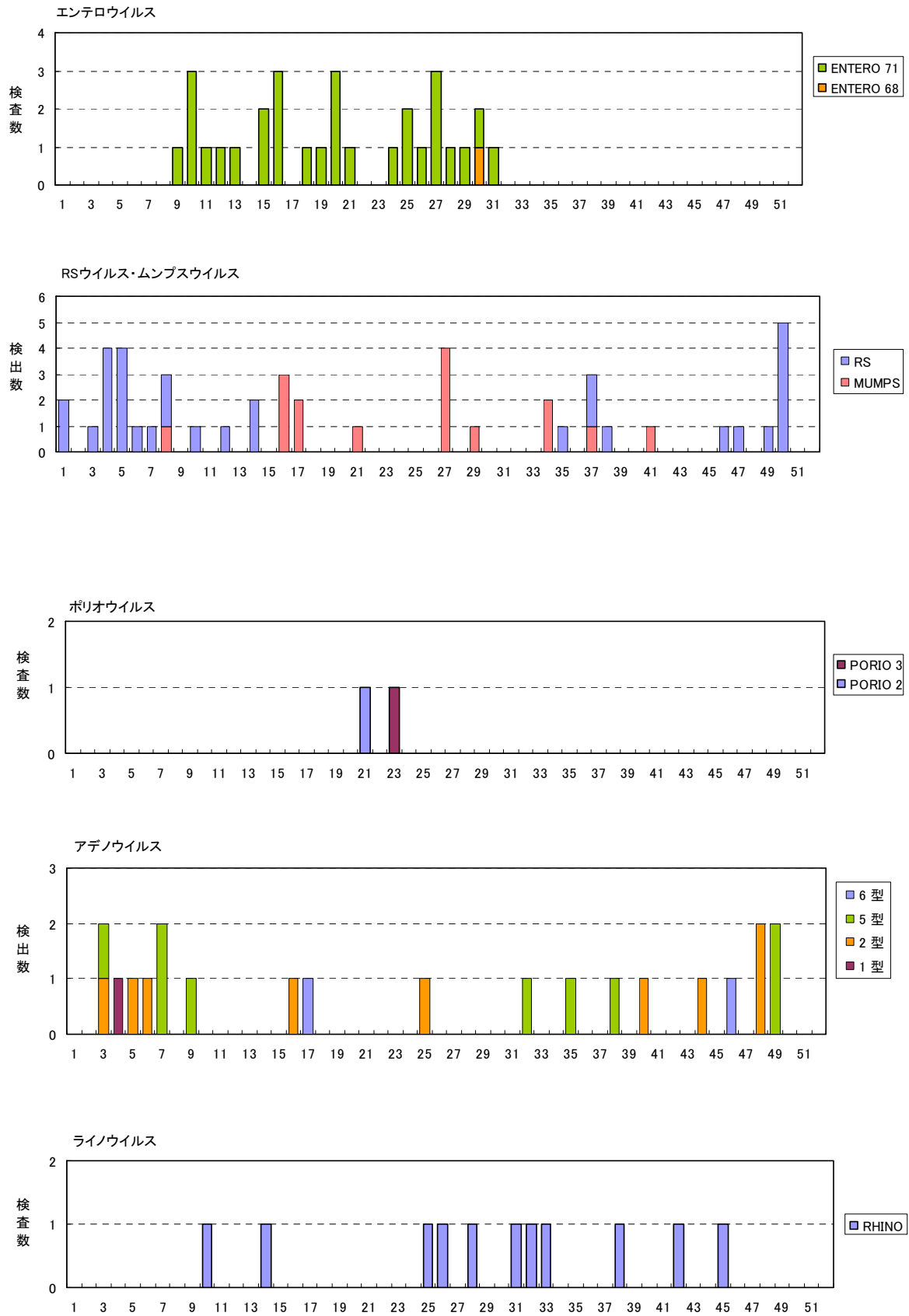


図 2-2 週別ウイルス検出数

表 5 インフルエンザウイルスの年齢別検出数(2010 年)

年齢区分	AH1pdm09			A 香港型				B 型		
	検出数	インフルエンザ	下気道炎	手足口病	検出数	インフルエンザ	下気道炎	不明熱	検出数	インフルエンザ
0～4	13	12		1	4	3	1			
5～9	14	13	1		6	5		1		
10～14	7	7								
15～19	2	2								
20～29	4	4								
30～39	4	4							1	1
40≤	7	7			5	5				
合計	51	49	1	1	15	13	1	1	1	1

表 6 エンテロウイルス等の年齢別検出数(2010 年)

年齢区分	ポリオウイルス		エンテロウイルス		コクサッキーウイルスA群			コクサッキーウイルスB群			エコーウイルス	ライノウイルス	RSウイルス	ムンプス	アデノウイルス				単純ヘルペス	
	2型	3型	68型	71型	CA 4	CA 6	CA 16	CB 1	CB 2	CB 4	ECHO 25				1型	2型	5型	6型	1型	
<1		1		3	1					1		2	6	1	1		2			
1～2				13	3		1	1	1	2	1	7	20	3		9	7	1		
3～4			1	9	1	1			1				4	1				1		
5～6				4	1				1	3			1	7						
7～9	1													4						
10～19												2								
20≤																				1
合計	1	1	1	29	6	1	1	1	3	6	1	11	31	16	1	9	9	2		1

年齢別ウイルス検出数

インフルエンザウイルスの年齢別検出数を表 5 に示した。AH1pdm09 が検出された 51 株では、9 歳以下が 27 株で全体の 52.9% を占めていた。AH3 が検出された 15 株では 5～9 歳が 6 株(40%) で最も多く、次いで 40 歳以上の 5 株(33.3%) であった。

表 6 には EV (ポリオ、EV68、EV71、CA、CB、Ech)、ライノウイルス、RS ウイルス、ムンプス、Ad、単純ヘルペスの年齢別検出数を示した。今年の手足口病の主病因であった EV71 は 1～2 歳が 13 株(45%) で最も多く、次いで、3～4 歳が 9 株(31%) であり、これらの年齢層で全体の 76% を占めていた。下気道炎を中心に、一部不明熱患者からも検出された RS ウイルスは、1～2 歳が 20 株(65%) で最も多く、2 歳以下の年齢層で全体の 84% と大部分を占めており、2 歳以下の下気道炎患者における RS ウイルスの重要性が示唆された。また、Ad が検出された患者は、ほとんどが 2 歳以下であった。

(3) 感染性胃腸炎からの検出

表 7 と図 3 に、感染性胃腸炎患者 417 例（定点外医療機関の検体 6 例を含む）から、EM 及び PCR で検出したウイルス 216 例（検出率 51.8%）の月別検出数を、また図 4 には検出された各ウイルスの月別検出率を、図 5 にはウイルス別の患者年齢分布をそれぞれに示した。

感染性胃腸炎からのウイルス検出状況

2010 年の検出ウイルス数は、NV が 122 例（GI-4 例、GII-118 例）と検出割合が最も多く（検出率 56.4%）、次いでロタウイルス（Rota）の 40 例（18.5%）、SV の 27 例（12.5%）、アデノウイルス（Ad）25 例（11.6%）であった。

2009/2010 シーズンは、例年より遅い 1 月から胃腸炎の流行が始まり、1 月に NV 検出数がピークとなった。一方、2010 年は 10 月から NV が検出され始めた。SV、Rota、Ad はほぼ前年なみの検出であった。

図 3、図 4 の胃腸炎からの月別ウイルス検出数・検出率の増減は、感染性胃腸炎患者数の増減とよく一致しており、検出されたこれらのウイルスが、冬季を中心とする感染性胃腸炎の主病因であったことが示された。

NV は、1～5 月、11～12 月に多く検出されており、特に 11 月、12 月の検出ウイルスの約 90% を NV(G2)が占め、この時期の胃腸炎の主要原因と推測された。Rota A 群は 1～6 月に検出され、特に 4 月、5 月に高率に検出された。SV は、1 月、3～8 月、11 月に検出された。Ad は 1～4 月、6～8 月、12 月に検出された。

感染性胃腸炎の流行期に 2 種類以上のウイルス感染が確認された症例が多くみられた。最も多かった NV(GII)との重複感染は、Ad が 8 例、SV が 3 例、NV(GI)が 1 例、Rota が 1 例であった。Rota との重複感染は SV が 6 例、Ad が 2 例、NV(GI)が 1 例で、その他 SV と Ad の重複感染が 1 例見られ、合計 23 例が 2 種類のウイルスの重複感染であった。また、NV(GII)と SV 及び Ad の 3 種類のウイルス感染が 1 例認められた。

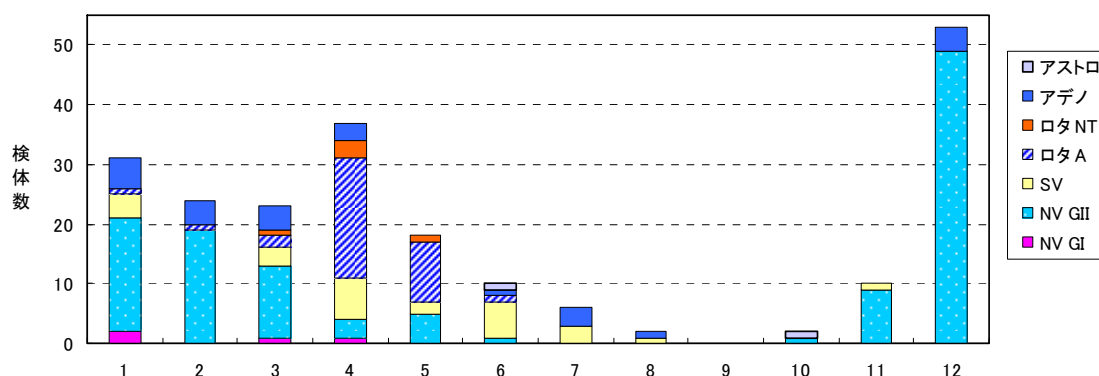


図 3 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出数

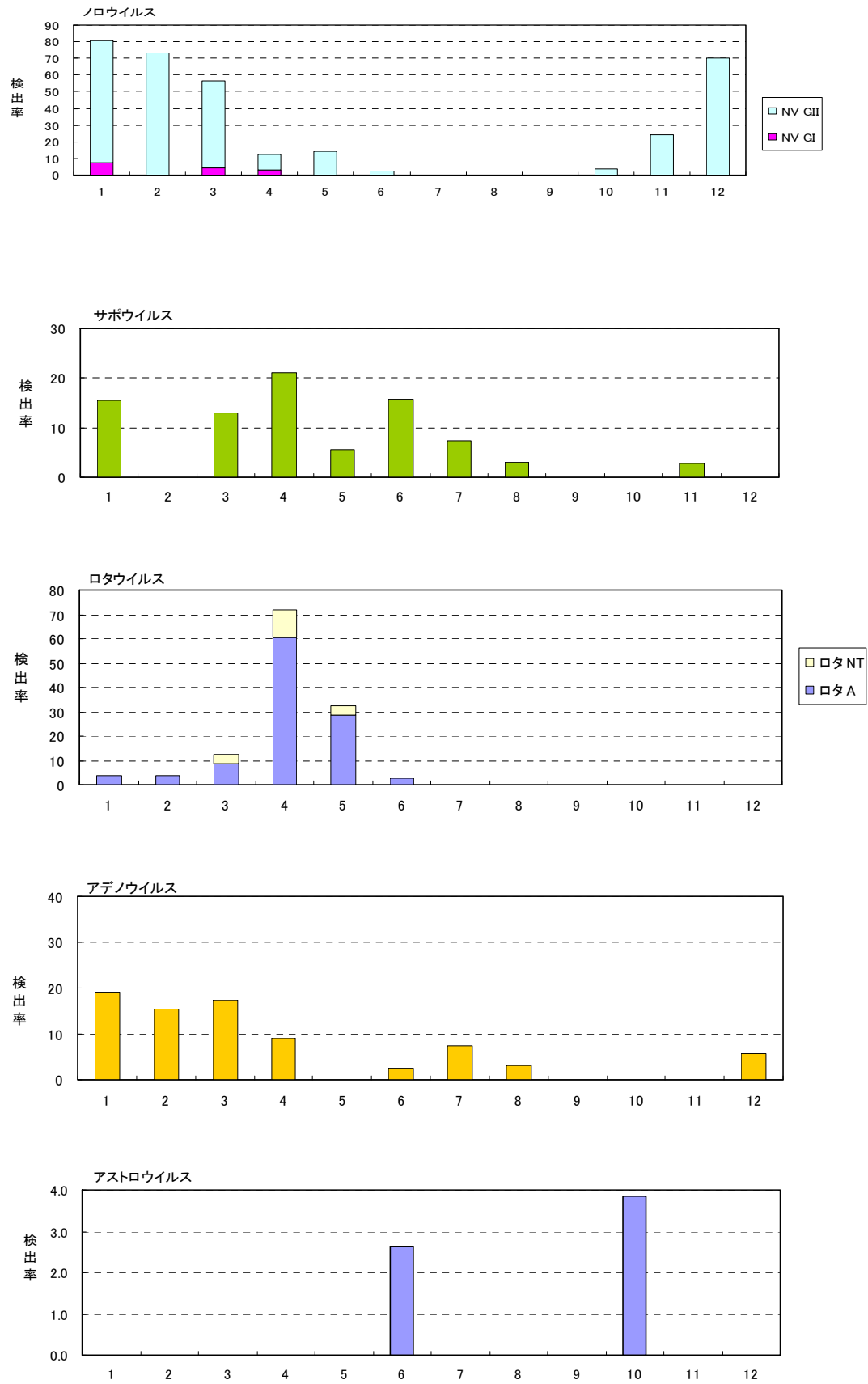


図4 感染性胃腸炎起因ウイルスの月別検出率(2010年)

表 7 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況(2010年)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
NV GI	2		1	1									4
NV GII	19	19	12	3	5	1				1	9	49	118
SV	4		3	7	2	6	3	1			1		27
ロタ A	1	1	2	20	10	1							35
ロタ NT			1	3	1								5
アデノ	5	4	4	3		1	3	1				4	25
アストロ						1				1			2
検出数	31	24	23	37	18	10	6	2	0	2	10	53	216
陰性	3	5	4	4	18	28	34	30	31	24	27	18	226
検査数	26	26	23	33	35	38	40	32	31	26	37	70	417

胃腸炎起因ウイルス年齢別分布

図5に検出ウイルスの年齢別検出割合を示した。NVは2歳以下で56.6%を占めているが、乳幼児から10歳以上の学童期児童まで幅広い年齢層に感染していることが伺われた。SVもNVと同様に幅広い年齢層から検出されているが、NVより3～4歳児の割合が高かった。アデノウイルスは、すべて4歳以下の検出であった。これらのウイルスは、いずれも乳児及び若年幼児の主要な胃腸炎起因ウイルスであるが、また学童期児童・生徒等の広汎な年齢層においても、重要な胃腸炎起因ウイルスであった。

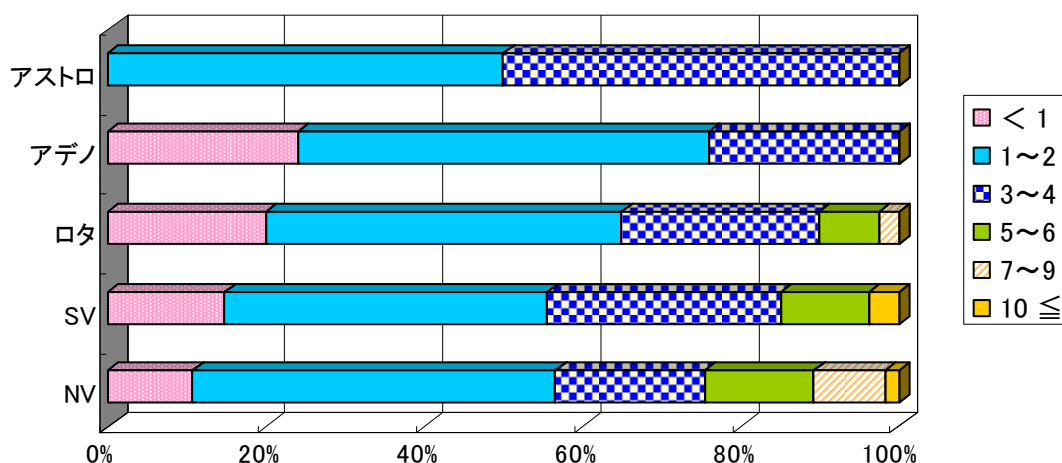


図 5 感染性胃腸炎起因ウイルス年齢別検出割合

IV 2010 年(平成 22 年)結核登録者情報

IV 2010年(平成22年) 結核登録者情報

1 概況

2010年の結核新登録患者数は276人であり、前年(232人)と比較して大きく増加した。結核罹患率(人口10万対率)は19.3で、14年ぶりに全国値(18.2)を上回った。新登録患者における高齢者(70歳以上)の割合は59.4%を占め、全国と同様に高齢者の占める割合が高い。一方、年齢階級別罹患率は20歳代と40歳代で増加傾向が続いており、高齢者に加え、成人層における結核の拡がりが見られる。保健所別の罹患率は南予の2保健所で高く、また、前年との比較では西条保健所及び今治保健所で大きく増加した。排菌により感染拡大の危険が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者は2年続けて増加し、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率(7.3)は15年ぶりに全国値(7.0)を上回った。新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合は年々増加傾向にあり、感染力がある状態で発見される患者が6割近くに上っている。また、患者が発病してから初診までに2ヶ月以上経過している割合(受診の遅れ)は約1割に減少しているが、初診から診断までに1ヶ月以上経過している割合(診断の遅れ)は約2割に増加した。

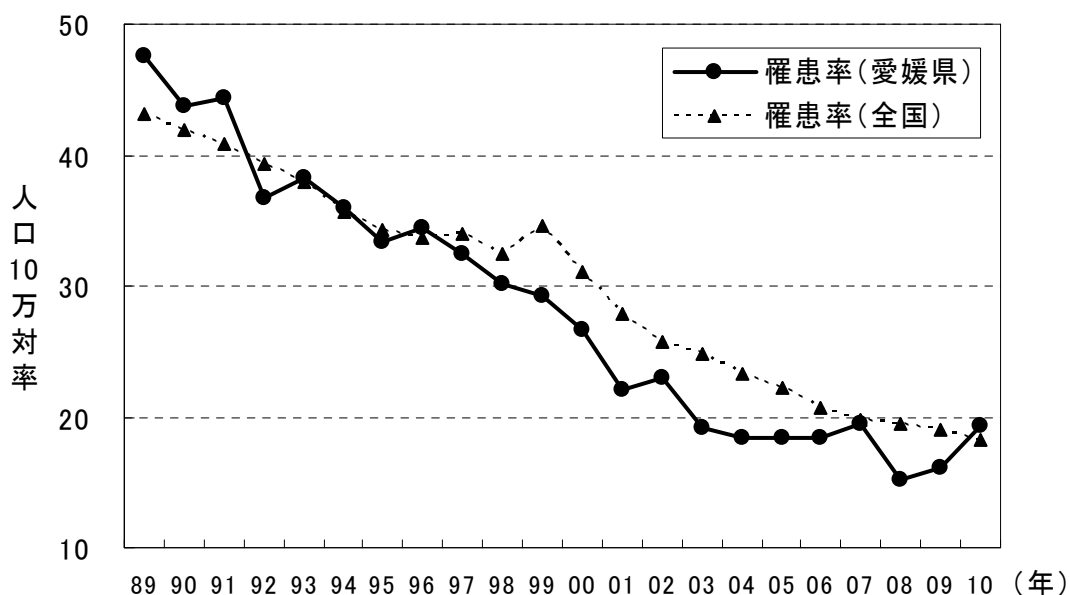
2 新登録患者の状況

(1) 患者数及び罹患率の動向

県内において2010年に新たに結核患者として登録された患者数(新登録患者数)は276人で、前年の232人から44人増加した。2010年の結核罹患率(人口10万人あたりの新登録患者数)は19.3で、前年(同16.1)に比べ3.2増加した。県内の罹患率は、1997年以降は全国値を下回り順調な改善傾向を示していたが、2004年以後、罹患率の減少傾向が停止していた(2004年から2006年は18.4で横ばい、2007年19.5対前年比1.1増)。2008年(15.2対前年比4.3減)は減少したが、その後2年続けて増加し、2010年の罹患率(19.3)は2003年のレベル(19.1)にまで上昇した。

全国の結核罹患率は、結核緊急事態宣言が出された1999年以降減少傾向が続いており、2007年以降減少傾向に鈍化がみられてはいるものの、毎年着実に減少している。2010年は本県の罹患率が急増したことにより、14年ぶりに県内の罹患率(19.3)が全国値(18.2)を上回り、全国順位は11位(2009年29位)に上昇した。

結核罹患率の推移

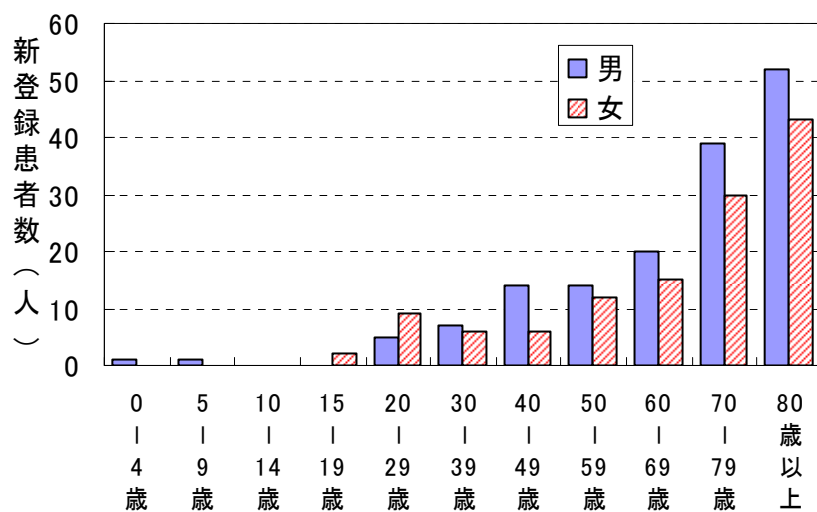


(2) 性・年齢階級別

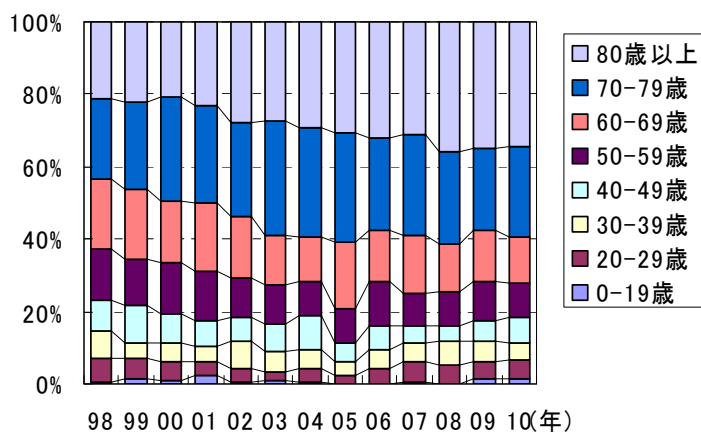
2010年の新登録患者数の性別は、男性153人、女性123人で、男性が女性の1.2倍であった。前年(男性122人、女110人)に比べ、男性は31人、女性は13人増加した。年齢階級別に比較すると、15歳から29歳の階層では女性の割合が、30歳以上の階層では男性の割合がそれぞれ多かった。

年齢構成は70歳以上が59.4%を占めており、全国(51.2%)と比較して高齢者の占める割合が高い傾向を示した。年齢階級別の罹患率を比較すると、全国では20歳未満でやや増加したものの、その他の階級では緩やかな減少傾向が認められる。一方、県内では近年、20歳代と40歳代で罹患率が増加する傾向が続いている。今後は登録患者の約6割を占める70歳以上の高齢者層への対策に加え、50歳未満の成人層への感染予防策を進める必要がある。

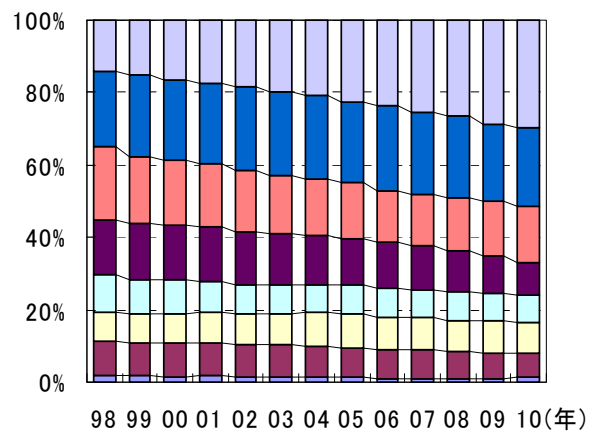
新登録患者 性・年齢階級別



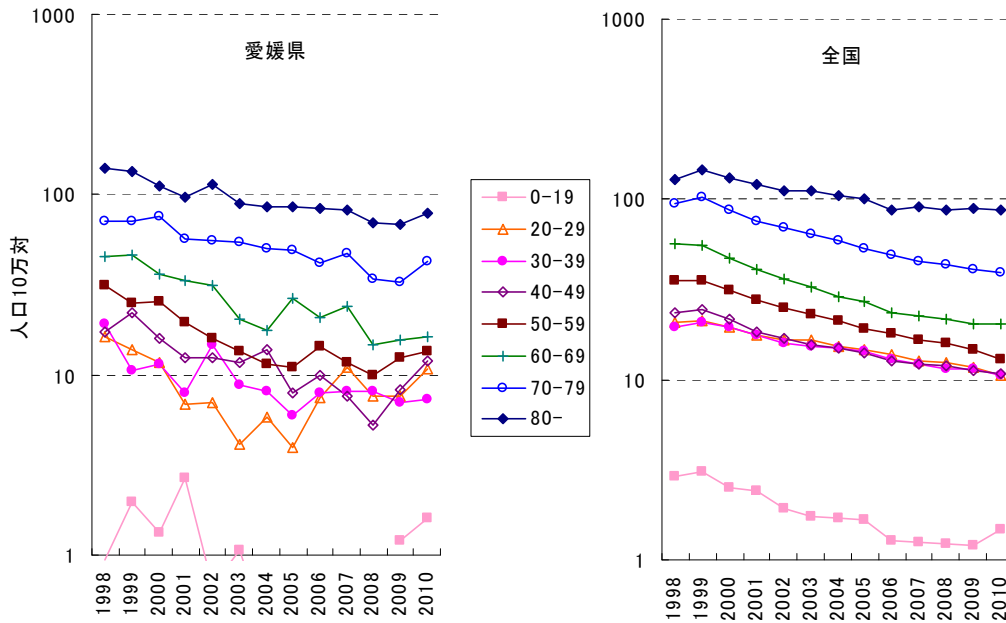
新登録患者 年齢構成の推移(愛媛県)



新登録患者 年齢構成の推移(全国)



新登録患者 年齢階級別罹患率の推移

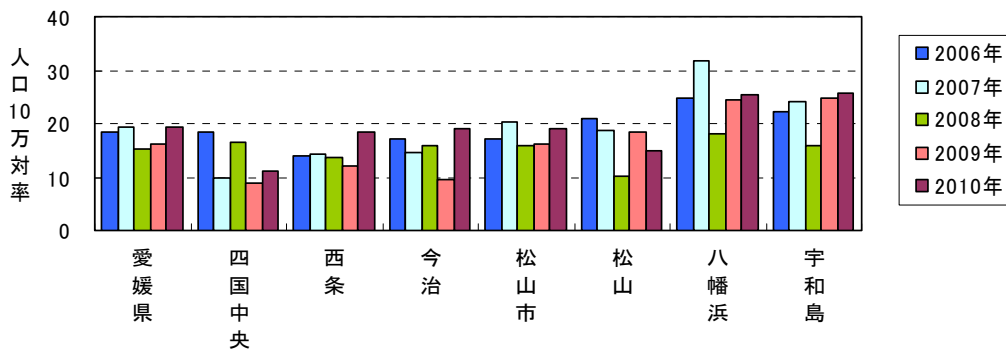


(3) 保健所別

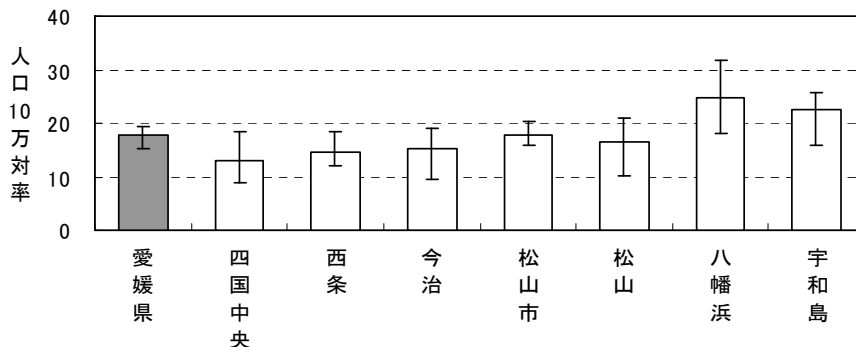
2010年の保健所別の罹患率を比較すると、高い順に、宇和島保健所 25.7 (対前年比 0.9 増)、八幡浜保健所 25.5 (同 0.9 増)、松山市保健所 19.0 (同 2.7 増)、今治保健所 18.9 (同 9.3 増)、西条保健所 18.4 (同 6.5 増)、松山保健所 14.8 (同 3.5 減)、四国中央保健所 11.2 (同 2.4 増) であり、松山保健所以外はすべて増加した。特に今治保健所及び西条保健所で大きく増加した。

保健所別の罹患率を過去5年間(2006~2010年)の平均値で比較すると、八幡浜保健所の 24.9 を最高に、宇和島保健所 22.5、松山市保健所 17.8、松山保健所 16.6、今治保健所 15.2、西条保健所 14.5、四国中央保健所 12.9 の順に続き、南予で高く東予で低い傾向を示した。

新登録患者 保健所別罹患率の推移



新登録患者 保健所別罹患率(過去5年間の平均値、最大値、最小値)



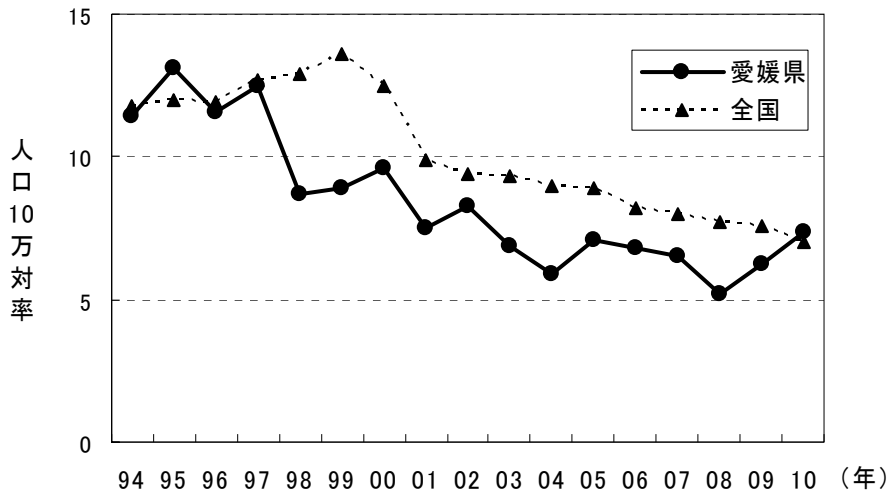
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向

新登録患者のうち、排菌により感染拡大の危険が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は105人で、前年の90人から15人増加した。罹患率は7.3で、前年の6.3から1.0増加し、2001～2002年のレベル(7.5～8.3)となった。喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移をみると、2003年以降概ね横ばいで推移しているが、2009年、2010年と2年続けて増加している。また、新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合は増加傾向にあり、2010年は57.7% (前年56.3%) と半数以上を占めている。

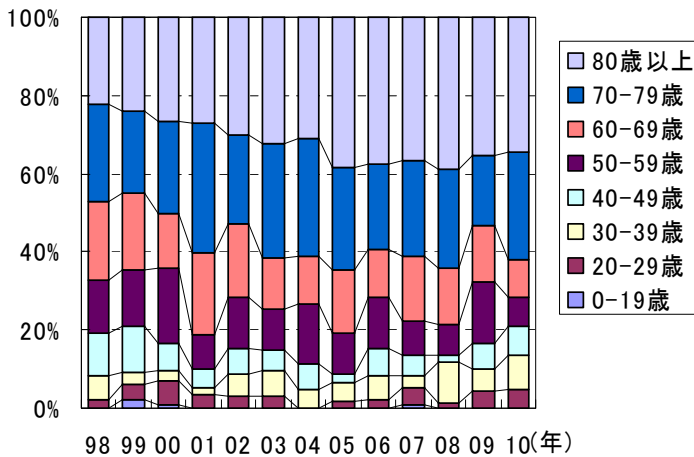
一方、全国の喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は7.0で、前年の7.6より0.6低下した。全国では、1999年以降減少傾向が続いているが、本県では2年続けて増加したため、2010年の喀痰塗抹陽性肺結核罹患率(7.3)は、15年ぶりに全国値(7.0)を上回った。

喀痰塗抹陽性肺結核患者の年齢構成は、全国的には高齢者の割合が増加する傾向にあるが、本県では近年、50歳未満の年齢層で増加傾向がみられている。高齢者の排菌患者は症状が出にくく診断が遅れて集団感染を起こす場合があり、また、50歳未満の排菌患者は活動範囲が広く他の年齢層への感染源となる場合があり、いずれも早期発見、早期治療が重要である。

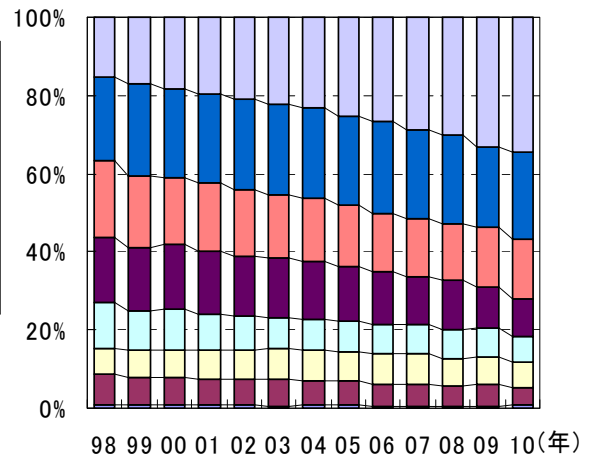
喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の推移



新登録塗抹陽性肺結核患者の年齢構成(愛媛県)



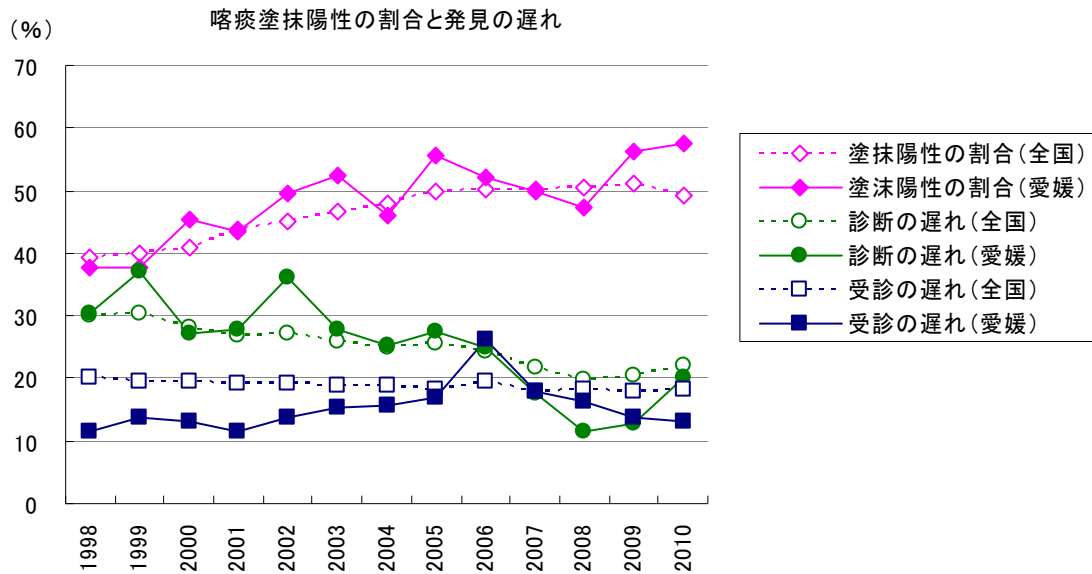
新登録塗抹陽性肺結核患者の年齢構成(全国)



(5) 発見の遅れ

新登録有症状肺結核患者において、発病から初診までに要する期間が2ヶ月以上の割合を「受診の遅れ」の指標とした場合、全国では18～19%でほぼ横ばいで推移しているが、本県では2006年に26.2%と急増したもののその後減少が続き、受診の遅れは1割程度にまで改善している。

一方、初診から診断（登録）までに要する期間が1ヶ月以上の割合を「診断の遅れ」の指標とした場合、全国では2007年以降20%程度で大きな変動はないが、本県では2008年まで減少傾向にあったものの、その後2年続けて増加し、2010年は全国とほぼ同じ20.0%にまで上昇した。県内において診断の遅れの増加が懸念される。



塗抹陽性の割合：新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合

受診の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、発病～初診の期間が2ヶ月以上の場合

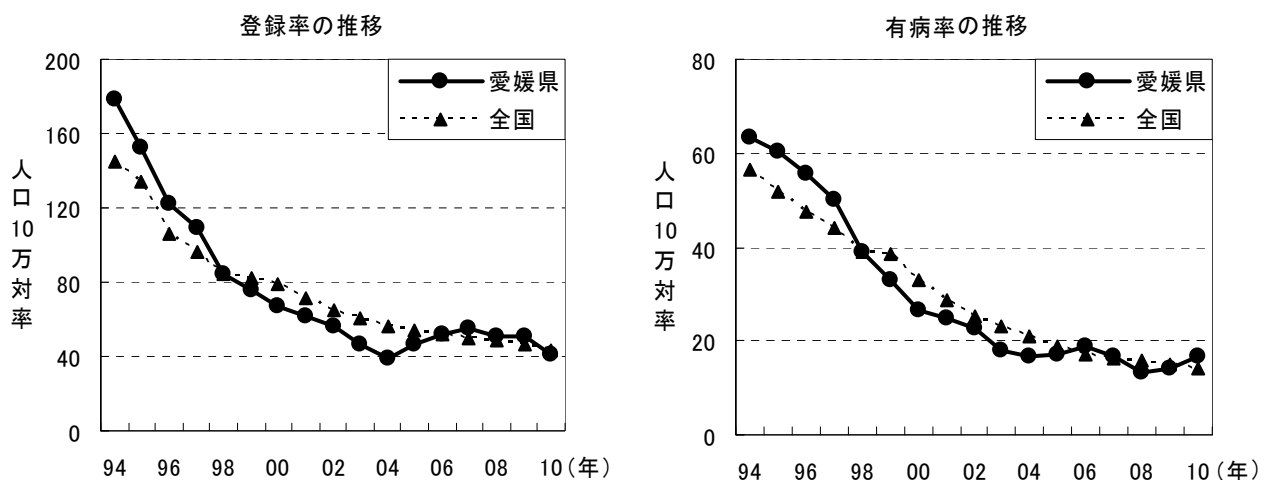
診断の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、初診～診断（登録）の期間が1ヶ月以上の割合

3 年末現在結核登録者の状況

2010 年末の愛媛県における結核登録患者数は 584 人で、前年の 731 人より 147 人減少した。結核登録率（人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者）は 40.8 で、前年の 50.9 から 10.1 減少した。全国の登録率は、43.4 であり、前年の 46.7 より 3.3 減少している。

また、年末現在の活動性結核患者数（年末時点で結核の治療を受けている、あるいは治療の必要がある患者数）は 236 人で、前年の 203 人より 33 人増加した。有病率（人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数）は 16.5 となり、前年の 14.1 から 2.4 増加した。全国のお有病率は 14.0 であり、前年の 14.8 より 0.8 減少している。

県内の登録率及び有病率の推移をみると、2004 年までは順調に減少し全国を下回っていたが、2005 年に増加に転じ、その後全国と同レベルで横ばいで推移している。



登録率：人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者数

有病率：人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数

表 4-1 2010 年 新登録患者数－保健所別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その 他の 結 核 菌 陽	菌 陰 性 ・ そ の 他		
総 数	総 数		初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽			菌 陰 性 ・ そ の 他	
愛媛県 総数	276	182	105	95	10	41	36	94	19
四国中央	10	8	6	6		1	1	2	2
西 条	43	25	11	10	1	6	8	18	1
今 治	33	24	14	12	2	7	3	9	1
松 山 市	98	61	35	32	3	14	12	37	8
松 山	20	10	6	6		1	3	10	4
八 幡 浜	40	30	20	17	3	7	3	10	2
宇 和 島	32	24	13	12	1	5	6	8	1

*潜在性結核感染症:結核の無症状病原体保有者のうち医療を必要とするもの

表 4-2 2010 年 新登録患者数－性、年齢階級別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その 他の 結 核 菌 陽	菌 陰 性 ・ そ の 他		
総 数	総 数		初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽			菌 陰 性 ・ そ の 他	
愛媛県 総数	276	182	105	95	10	41	36	94	19
男	153	112	70	64	6	23	19	41	5
女	123	70	35	31	4	18	17	53	14
0-4歳	1	1					1		3
男	1	1					1		3
女									
5-9歳	1							1	2
男	1							1	1
女									1
10-14歳									
男									
女									
15-19歳	2	1					1	1	
男	2	1					1	1	
女									
20-29歳	14	11	5	5		1	5	3	3
男	5	5	2	2		1	2	3	1
女	9	6	3	3			3	3	2
30-39歳	13	12	9	8	1	1	2	1	4
男	7	7	7	7					1
女	6	5	2	1	1	1	2	1	3
40-49歳	20	13	8	8			5	7	4
男	14	10	6	6			4	4	1
女	6	3	2	2			1	3	3
50-59歳	26	19	8	7	1	4	7	7	1
男	14	11	6	5	1	1	4	3	
女	12	8	2	2		3	3	4	1
60-69歳	35	22	10	9	1	7	5	13	2
男	20	15	8	8		3	4	5	1
女	15	7	2	1	1	4	1	8	1
70-79歳	69	40	29	24	5	6	5	29	
男	39	26	19	15	4	4	3	13	
女	30	14	10	9	1	2	2	16	
80歳以上	95	63	36	34	2	22	5	32	
男	52	37	22	21	1	14	1	15	
女	43	26	14	13	1	8	4	17	

表 4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移－保健所別

保健所	2010年		2009年		2008年		2007年		2006年		2005年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	276	19.3	232	16.1	220	15.2	283	19.5	269	18.4	270	18.4
四国中央	10	11.2	8	8.8	15	16.5	9	9.8	17	18.4	15	16.2
西 条	43	18.4	28	11.9	32	13.6	34	14.4	33	13.9	34	14.3
今 治	33	18.9	17	9.6	28	15.8	26	14.5	31	17.2	25	13.7
松 山 市	98	19.0	84	16.3	82	15.9	105	20.4	89	17.3	93	18.1
松 山	20	14.8	25	18.3	14	10.2	26	18.9	29	21.0	25	18.0
八 幡 浜	40	25.5	39	24.6	29	18.0	52	31.8	41	24.7	44	26.1
宇 和 島	32	25.7	31	24.8	20	15.7	31	24.0	29	22.1	34	25.5

表 4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移－年齢階級別

年齢階級	2010年		2009年		2008年		2007年		2006年		2005年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4	1	0.4	1	0.4								
5-9	1	0.4	1	0.4								
10-14												
15-19	2	0.7	1	0.4			1	0.4				
20-29	14	5.1	11	4.7	11	5.0	16	5.7	11	4.1	6	2.2
30-39	13	4.7	13	5.6	15	6.8	15	5.3	15	5.6	11	4.1
40-49	20	7.2	14	6.1	9	4.1	13	4.6	17	6.3	14	5.2
50-59	26	9.4	25	10.8	21	9.5	26	9.2	33	12.3	25	9.3
60-69	35	12.7	32	13.8	29	13.2	45	15.9	38	14.1	50	18.5
70-79	69	25.0	53	22.9	56	25.5	79	27.9	69	25.7	81	30.0
80-	95	34.4	81	34.9	79	35.9	88	31.1	86	32.0	83	30.7

表 4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移－保健所別

保健所	2010年		2009年		2008年		2007年		2006年		2005年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	105	7.3	90	6.3	75	5.2	95	6.5	99	6.8	104	7.1
四国中央	6	6.7	2	2.2	6	6.6	4	4.4	7	7.6	7	7.5
西 条	11	4.7	14	6.0	10	4.3	9	3.8	11	4.6	12	5.1
今 治	14	8.0	6	3.4	13	7.3	10	5.6	5	2.8	12	6.6
松 山 市	35	6.8	28	5.4	29	5.6	36	7.0	32	6.2	39	7.6
松 山	6	4.4	10	7.3	3	2.2	8	5.8	10	7.2	5	3.6
八 幡 浜	20	12.8	16	10.1	9	5.6	17	10.4	18	10.8	16	9.5
宇 和 島	13	10.5	14	11.2	5	3.9	11	8.5	16	12.2	13	9.8

表 4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移－年齢階級別

年齢階級	2010年		2009年		2008年		2007年		2006年		2005年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4												
5-9												
10-14												
15-19				1.9			1	1.1				
20-29	5	4.8	4	9.3	1	1.3	4	4.2	2	2.0	2	1.9
30-39	9	8.6	5	14.8	8	10.7	3	3.2	6	6.1	5	4.8
40-49	8	7.6	6	7.4	1	1.3	5	5.3	7	7.1	2	1.9
50-59	8	7.6	14	11.1	6	8.0	8	8.4	13	13.1	11	10.6
60-69	10	9.5	13	9.3	11	14.7	16	16.8	12	12.1	17	16.3
70-79	29	27.6	16	18.5	19	25.3	23	24.2	22	22.2	27	26.0
80-	36	34.3	32	27.8	29	38.7	35	36.8	37	37.4	40	38.5

表 4-7 2010年 新登録患者数—結核病類、性、年齢階級別

	新登録患者数 総数	肺結核			肺外結核									
		肺結核	気管支結核	咽頭・喉頭結核	粟粒結核	結核性胸膜炎	リンパ節結核	結核性髄膜炎	腸結核	脊椎結核	他の骨・関節結核	腎・尿路結核	結核性腹膜炎	その他の臓器の結核
愛媛県 総数	276	187	1	3	7	53	30	1	2	3	1	2	1	3
男	153	112	1	2	2	30	6		2	1	1		1	1
女	123	75		1	5	23	24	1		2		2		2
0-4歳	1	1												
男	1	1												
女														
5-9歳	1					1								
男	1					1								
女														
10-14歳														
男														
女														
15-19歳	2	1				1								
男														
女	2	1				1								
20-29歳	14	11					3							
男	5	5												
女	9	6					3							
30-39歳	13	12		1			1		1					
男	7	7		1					1					
女	6	5					1							
40-49歳	20	14				1	4							1
男	14	11				1	1							1
女	6	3					3							
50-59歳	26	19		1		3	4							
男	14	11		1		2	1							
女	12	8				1	3							
60-69歳	35	23			2	6	4					2		
男	20	15			1	3	1							
女	15	8			1	3	3					2		
70-79歳	69	40	1	1	1	16	10	1	1	2	1			1
男	39	25	1			9	2		1	1	1			
女	30	15		1	1	7	8	1		1				1
80歳以上	95	66			4	25	4			1			1	1
男	52	37			1	14	1						1	
女	43	29			3	11	3			1				1

注：結核病類は重複あり

表 4-8 2010 年 新登録肺結核患者数－職業、菌情報、保健所別

	総 数		接客業等		看護師・保健師		医師		その他の医療職	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	105	77	4			3				1
四国中央	6	2								
西 条	11	14	1			1				
今 治	14	10	1			1				
松山市	35	26	2							
松 山	6	4								
八幡浜	20	10				1				1
宇和島	13	11								

	教員・保母		小中学生等児童		高校生以上の 生徒学生等		その他 常用勤労者		その他 臨時雇	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数				1	2	1	13	6	3	3
四国中央							1		1	
西 条							1	1		1
今 治					1					1
松山市				1	1	1	6	3	1	
松 山										
八幡浜							2		1	1
宇和島							3	2		

	その他 自営業・自由業		家事従事者		乳幼児		無職・その他		不明	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	8	7	1				74	55		
四国中央							4	2		
西 条	2	2					7	9		
今 治							12	8		
松山市	3	3					22	18		
松 山			1				5	4		
八幡浜	1						16	7		
宇和島	2	2					8	7		

表 4-9 2010 年 新登録患者数－発見方法別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 性 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	276	182	105	95	10	41	36	94	19
健康診断	30	28	10	10		5	13	2	16
個別健康診断	8	8	2	2		1	5		3
定期健診	18	16	7	7		3	6	2	5
学校	2	2	1	1			1		
住民	2	2				1	1		
職場	13	11	5	5		2	4	2	5
施設	1	1	1	1					
接触者健康診断	4	4	1	1		1	2		8
家族	2	2	1	1			1		3
その他	2	2				1	1		5
その他の集団検診									
医療機関	244	153	94	85	9	36	23	91	3
受診	159	90	54	47	7	22	14	69	
他疾患入院中	39	30	21	21		7	2	9	2
他疾患通院中	46	33	19	17	2	7	7	13	1
その他									
不明									
登録中の健康診断	2	1	1		1			1	

表 4-10 2010 年 新登録有症状肺結核患者数－発見の遅れの期間別

	肺 結 核 活 動 性					
	総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			そ の 他 の 結 核 菌 性 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他
		総 数	初 回 治 療	再 治 療		
発病～初診の期間						
総数	135	89	80	9	28	18
2週未満	36	23	22	1	9	4
2週以上1月未満	23	17	16	1	2	4
1月以上2月未満	8	7	5	2		1
2月以上3月未満	7	5	5		1	1
3月以上6月未満	2	2	2			
6月以上	1					1
不明・該当せず	58	35	30	5	16	7
初診～診断の期間						
総数	135	89	80	9	28	18
2週未満	83	63	57	6	9	11
2週以上1月未満	21	14	13	1	3	4
1月以上2月未満	16	4	4		10	2
2月以上3月未満	4	1	1		3	
3月以上6月未満	4	4	4			
6月以上	2	1	1			1
不明・該当せず	5	2		2	3	
発病～診断の期間						
総数	135	89	80	9	28	18
2週未満	18	16	14	2	1	1
2週以上1月未満	22	14	14		3	5
1月以上2月未満	22	16	13	3	4	2
2月以上3月未満	9	3	3		5	1
3月以上6月未満	6	5	5			1
6月以上	2	1	1			1
不明・該当せず	56	34	30	4	15	7

表 4-11 2010年 新登録患者数—化療内容、保健所別(その1)

	活動性結核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総数	肺結核活動性						肺外 結核 活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性 その他		
		総数	初 治	回 療	再 治 療				
総数									
総数	276	182	105	95	10	41	36	94	19
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	131	99	61	54	7	14	24	32	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上	5	1					1	4	
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	131	73	40	38	2	22	11	58	
INH及びRFPの2剤併用	2	2				2			
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									19
その他の単独									
不明・化療なし	7	7	4	3	1	3			
四国中央									
総数	10	8	6	6		1	1	2	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	6	5	4	4		1		1	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	4	3	2	2			1	1	
INH及びRFPの2剤併用									
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									2
その他の単独									
不明・化療なし									
西条									
総数	43	25	11	10	1	6	8	18	1
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	20	13	4	4		3	6	7	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	22	11	7	6	1	2	2	11	
INH及びRFPの2剤併用	1	1				1			
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									1
その他の単独									
不明・化療なし									
今治									
総数	33	24	14	12	2	7	3	9	1
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	12	9	6	5	1	1	2	3	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上	2							2	
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	12	8	4	4		3	1	4	
INH及びRFPの2剤併用									
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									1
その他の単独									
不明・化療なし	7	7	4	3	1	3			

INH:イソニアジド、RFP:リファンピシン、PZA:ピラジナミド、EB:エタンブトール、SM:ストレプトマイシン

表 4-11 2010年 新登録患者数—化療内容、保健所別(その2)

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症 治療中
	総数	肺結核活動性						肺外核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌性	菌陰性その他		
	総数	総数	初治療	再治療	陽性	結核菌性	その他		
松山市									
総数	98	61	35	32	3	14	12	37	8
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	42	32	22	19	3	3	7	10	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上	2	1					1	1	
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	54	28	13	13		11	4	26	
INH及びRFPの2剤併用									
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									8
その他の単独									
不明・化療なし									
松山									
総数	20	10	6	6		1	3	10	4
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	5	3	2	2			1	2	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	15	7	4	4		1	2	8	
INH及びRFPの2剤併用									
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									4
その他の単独									
不明・化療なし									
八幡浜									
総数	40	30	20	17	3	7	3	10	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	22	18	11	9	2	4	3	4	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	18	12	9	8	1	3		6	
INH及びRFPの2剤併用									
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									2
その他の単独									
不明・化療なし									
宇和島									
総数	32	24	13	12	1	5	6	8	1
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤併用	24	19	12	11	1	2	5	5	
INH、RFP及びPZA含む3剤以上	1							1	
上記以外のINH、RFPを含む3剤以上	6	4	1	1		2	1	2	
INH及びRFPの2剤併用	1	1				1			
その他の2剤併用									
その他の3剤以上併用									
INH単独									1
その他の単独									
不明・化療なし									

INH:イソニアジド、RFP:リファンピシン、PZA:ピラジナミド、EB:エタンブトール、SM:ストレプトマイシン

表 4-12 2010 年 年末現在登録者数－保健所別

	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性						肺外核活動性				
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時 他の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他					
				総数	初回 治療	再治療							
愛媛県 総数	584	236	152	82	76	6	39	31	84	320	28	11	56
四国中央	24	8	5	3	3		1	1	3	15	1		4
西条	86	43	24	10	9	1	7	7	19	29	14	1	5
今治	67	32	22	10	9	1	8	4	10	32	3	1	3
松山市	216	83	51	30	29	1	12	9	32	129	4	4	27
松山	47	18	9	6	6		1	2	9	27	2	2	10
八幡浜	76	26	22	13	11	2	6	3	4	48	2	3	2
宇和島	68	26	19	10	9	1	4	5	7	40	2		5

表 4-13 2010 年 年末現在登録者数－性、年齢階級別

	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性						肺外核活動性				
			総数	喀痰塗抹陽性			登録時 他の結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他					
				総数	初回 治療	再治療							
愛媛県 総数	584	236	152	82	76	6	39	31	84	320	28	11	56
男	328	127	90	55	53	2	21	14	37	186	15	5	12
女	256	109	62	27	23	4	18	17	47	134	13	6	44
0-4歳	1									1		1	12
男	1									1			3
女												1	9
5-9歳	3	2	1					1	1	1			6
男	3	2	1					1	1	1			1
女													5
10-14歳													
男													
女													
15-19歳	1									1			
男													
女	1									1			
20-29歳	30	11	8	4	4			4	3	16	3	3	9
男	9	2	2	1	1			1		6	1	1	4
女	21	9	6	3	3			3	3	10	2	2	5
30-39歳	35	10	9	6	5	1	1	2	1	20	5	1	10
男	16	5	5	5	5					7	4	1	3
女	19	5	4	1		1	1	2	1	13	1		7
40-49歳	50	17	10	7	7			3	7	30	3	2	9
男	30	13	8	6	6			2	5	17		1	
女	20	4	2	1	1			1	2	13	3	1	9
50-59歳	58	24	20	8	8		5	7	4	32	2	1	5
男	34	12	12	6	6		2	4		21	1		
女	24	12	8	2	2		3	3	4	11	1	1	5
60-69歳	86	29	20	10	9	1	5	5	9	55	2	2	4
男	57	18	13	7	7		2	4	5	37	2	1	1
女	29	11	7	3	2	1	3	1	4	18		1	3
70-79歳	136	66	34	21	18	3	9	4	32	61	9	1	
男	81	35	20	14	12	2	5	1	15	41	5	1	
女	55	31	14	7	6	1	4	3	17	20	4		
80歳以上	184	77	50	26	25	1	19	5	27	103	4		1
男	97	40	29	16	16		12	1	11	55	2		
女	87	37	21	10	9	1	7	4	16	48	2		1

V 参 考 资 料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱

第一 目的

感染症の患者発生状況に関する情報（以下「患者情報」という。）、疑似症発生状況に関する情報（以下「疑似症情報」という。）及び感染症の病原体に関する情報（以下「病原体情報」という。）を迅速かつ的確に収集し、及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表する感染症発生動向調査事業（以下「事業」という。）を実施することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とする。

第二 対象感染症

事業の対象とする感染症は次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱
(5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア
(11) 重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 S A R S コロナウイルスであるものに限る）(12) 鳥インフルエンザ（H5N1）

3 三類感染症

- (13) コレラ (14) 細菌性赤痢 (15) 腸管出血性大腸菌感染症 (16) 腸チフス
(17) パラチフス

4 四類感染症

- (18) E型肝炎 (19) ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）
(20) A型肝炎 (21) エキノコックス症 (22) 黄熱 (23) オウム病 (24) オムスク出血熱
(25) 回帰熱 (26) キャサヌル森林病 (27) Q熱 (28) 狂犬病 (29) コクシジオイデス症
(30) サル痘 (31) 腎症候性出血熱 (32) 西部ウマ脳炎 (33) ダニ媒介脳炎 (34) 炭疽
(35) チクングニア熱 (36) つつが虫病 (37) デング熱 (38) 東部ウマ脳炎
(39) 鳥インフルエンザ（H5N1を除く）(40) ニパウイルス感染症 (41) 日本紅斑熱
(42) 日本脳炎 (43) ハンタウイルス肺症候群 (44) Bウイルス病 (45) 鼻疽
(46) ブルセラ症 (47) ベネズエラウマ脳炎 (48) ヘンドラウイルス感染症
(49) 発しんチフス (50) ボツリヌス症 (51) マラリア (52) 野兔病 (53) ライム病
(54) リッサウイルス感染症 (55) リフトバレー熱 (56) 類鼻疽 (57) レジオネラ症
(58) レプトスピラ症 (59) ロッキー山紅斑熱

5 五類感染症

- (60) アメーバ赤痢 (61) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）

- (62)急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く） (63)クリプトスポリジウム症
(64)クロイツフェルト・ヤコブ病 (65)劇症型溶血性レンサ球菌感染症
(66)後天性免疫不全症候群 (67)ジアルジア症 (68)髄膜炎菌性髄膜炎
(69)先天性風しん症候群 (70)梅毒 (71)破傷風
(72)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (73)バンコマイシン耐性腸球菌感染症
(74)風しん (75)麻しん

6 新型インフルエンザ等感染症

- (102) 新型インフルエンザ、(103) 再興型インフルエンザ

二 定点把握の対象

1 五類感染症

- (76) R S ウイルス感染症 (77) 咽頭結膜熱 (78) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
(79) 感染性胃腸炎 (80) 水痘 (81) 手足口病 (82) 伝染性紅斑 (83) 突発性発しん
(84) 百日咳 (85) ヘルパンギーナ (86) 流行性耳下腺炎
(87) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）
(88) 急性出血性結膜炎 (89) 流行性角結膜炎 (90) 性器クラミジア感染症
(91) 性器ヘルペスウイルス感染症 (92) 尖圭コンジローマ (93) 淋菌感染症
(94) クラミジア肺炎（オウム病を除く）(95) 細菌性髄膜炎
(96) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (97) マイコプラズマ肺炎 (98) 無菌性髄膜炎
(99) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (100) 薬剤耐性アシネトバクター感染症
(101) 薬剤耐性緑膿菌感染症

2 疑似症

- (104) 摂氏 38℃以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)(ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)
(105) 発熱及び発しん又は水泡(ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)

三 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象二類感染症

- (12) 鳥インフルエンザ (H5N1)

第三 実施主体

実施主体は県とし、愛媛県医師会等関係機関の協力を得て事業を実施する。

第四 実施体制の整備

一 愛媛県感染症情報センター

愛媛県感染症情報センター（以下「感染症情報センター」という。）を、愛媛県立衛生

環境研究所（以下「衛生環境研究所」という。）に設置する。感染症情報センターは、患者情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を全国情報等と併せて関係機関等へ提供・公開する。

二 指定届出機関（定点）

県は、定点把握対象の五類感染症について、患者情報を収集するため患者定点を、疑似症情報を収集するため疑似症定点を、病原体情報を収集するため病原体定点を選定する。

三 愛媛県感染症対策推進協議協議会

本事業に関する事項については、愛媛県感染症対策推進協議会において協議することとし、愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱第7条の規定に基づく解析評価担当委員（以下「解析評価委員」という。）が解析評価を行う。

第五 事業の実施

一 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

1 医師

(1) 医師は、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（以下「届出基準等通知」という。）に基づき診断した場合は、届出基準等通知別記様式により、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

(2) 保健所から当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合にあっては、協力可能な範囲において、保健所の協力を得て別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所に送付する。

2 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力する。

(2) 保健所は、当該患者（第二の(51)を除く）を診断した医師に対し、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生環境研究所への提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

3 衛生環境研究所

(1) 衛生環境研究所は、別記様式1の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所及び本庁健康増進課に送付する。

(2) 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

(3) 集団発生があった場合等の緊急の場合において、検体を国立感染症研究所に送付する。

4 感染症情報センター

- (1) 感染症情報センターは、患者情報について、保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。
- (2) 別記様式1をもって衛生環境研究所から送付された検査情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

二 全数把握対象の五類感染症

1 医師

- (1) 医師は、第二の一の5に掲げる全数把握対象の五類感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、届出基準等通知別記様式を用いて診断後7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。
- (2) 保健所から当該患者の病原体検査のための検体又は病原体情報の提供の依頼を受けた場合にあつては、協力可能な範囲において、保健所の協力を得て別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所に送付する。

2 保健所

- (1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力する。
- (2) 保健所は、第二の(60)、(62)、(64)、(65)、(66)、(68)、(69)、(71)、(72)、(73)、(74)又は(75)の患者を診断した医師に対し、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の衛生環境研究所への提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

3 衛生環境研究所

- (1) 衛生環境研究所は、別記様式1の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあつては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所及び本庁健康増進課に送付する。
- (2) 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- (3) 集団発生があつた場合等の緊急の場合において、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

4 感染症情報センター

- (1) 感染症情報センターは、患者情報について、保健所が診断した医師から届出を受けてから7日以内に、登録情報の確認を行う。
- (2) 別記様式1をもって衛生環境研究所から送付された検査情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

三 定点把握対象の五類感染症

1 定点の選定

(1) 患者定点

県は、第二の二の1に掲げる定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、対象疾病に応じ、次に掲げる医療機関のうちから可能な限り無作為に患者定点を選定する。患者定点数は、別に定める基準（国の定

める感染症発生動向調査事業実施要綱。以下「算定基準」という。)を準用し算定する。

ア 第二の(76)から(86)までに掲げるもの (小児科定点)	小児科を標榜する医療機関(主として小児科医療を提供しているもの)
イ 第二の(87)に掲げるインフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く) (インフルエンザ定点及び基幹定点) なお、基幹定点における届出基準は、インフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定されることに留意する。	上記アで選定した小児科に加え、内科を標榜する医療機関(主として内科医療を提供しているもの)
ウ 第二の(88)及び(89)に掲げるもの (眼科定点)	眼科を標榜する医療機関(主として眼科医療を提供しているもの)
エ 第二の(90)から(93)までに掲げるもの (性感染症定点(STD定点))	産婦人科若しくは産科若しくは婦人科(産婦人科系)、医療法施行令(昭和二十三年政令第三百二十六号)第三条の二第一項第一号ハ及び二(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療所又は泌尿器科若しくは皮膚科を標榜する医療機関(主として各々の標榜科の医療を提供しているもの)
オ 第二の(94)から(101)までに掲げるもの (基幹定点)	原則患者を300人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)

(2) 疑似症定点

県は、第二の二の2に掲げる定点把握対象の疑似症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、対象疾病に応じ、次に掲げる医療機関のうちから可能な限り無作為に疑似症定点を選定する。疑似症定点数は、算定基準を準用し算定する。

ア 第二の(104)に掲げるもの (第一号疑似症定点)	小児科を標榜する医療機関(主として小児科医療を提供しているもの)又は内科を標榜する医療機関(主として内科医療を提供しているもの)
イ 第二の(105)に掲げるもの (第二号疑似症定点)	小児科を標榜する医療機関(主として小児科医療を提供しているもの)、内科を標榜する医療機関(主として内科医療を提供しているもの)又は皮膚科を標榜する医療機関(主として皮膚科医療を提供しているもの)

(3) 病原体定点

県は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関のうちから病原体定点を選定する。病原体定点数は、算定基準を準用し算定する。

2 調査単位等

- (1) 患者情報の調査単位は、前記1の(1)のア、イ、ウ及びオ(第二の(96)、(99)、(100)及び(101)に関する患者情報を除く)により選定された患者定点にあつては1週間(月曜日から日曜日)とし、前記1の(1)のエ及びオ(第二の(96)、(99)、(100)及び(101)に関する患者情報のみ)により選定された患者定点にあつては各月とする。

- (2) 疑似症情報については、速やかな情報提供を図る趣旨から、直ちに疑似症発生状況の把握を行う。
- (3) 病原体情報については、原則として結果がまとまり次第、報告することとする。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により患者発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に届出を行う。

イ 前記アの報告は、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に、郵送又はFAXその他地域の特性に応じた適切な方法により報告するものとする。

(2) 疑似症定点

ア 疑似症定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により疑似症発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に届出を行う。

イ 前記アの報告は、直ちに、症候群サーベイランスシステムへの入力、電話又はFAXその他地域の特性に応じた適切な方法により報告するものとする。

(3) 病原体定点

病原体定点として選定された医療機関は、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領により微生物学的検査のための検体を採取するとともに、別記様式1の検査票を添えて、保健所との連携を図りながら速やかに衛生環境研究所へ送付する。

(4) 保健所

ア 保健所は、患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力する。

イ 保健所は、疑似症定点が症候群サーベイランスシステムへの入力以外の方法により報告を行う場合には、疑似症定点から得られた疑似症情報の入力を、直ちに症候群サーベイランスシステムに入力する。

ウ 対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、本庁健康増進課及び感染症情報センターへ報告する。なお、前記(2)の医師から衛生環境研究所への検体等の送付は、保健所において実施する。

(5) 衛生環境研究所

ア 衛生環境研究所は、別記様式1の検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を病原体情報として保健所を経由して病原体定点に通知するとともに保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センターに送付する。

イ 検査の困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
なお、集団発生があった場合等の緊急の場合において、国から依頼があれば、検体を国立感染症研究所に送付する。

(6) 感染症情報センター

- ア 感染症情報センターは、患者情報及び疑似症情報について、保健所等から情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。
- イ 別記様式1をもって衛生環境研究所から送付された病原体情報について、直ちに国立感染症研究所に報告する。

第六 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の実施方法

一 保健所

鳥インフルエンザ（H5N1）に係る積極的疫学調査を実施した保健所は、別に定める国の基準に従い、直ちに疑い症例調査支援システムに調査内容を入力する。

二 衛生環境研究所

- 1 衛生環境研究所は、検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所に通知する。通知を受けた保健所においては、その内容を直ちに疑い症例調査支援システムに入力する。
- 2 鳥インフルエンザ（H5N1）に係る積極的疫学調査の結果を厚生労働省に報告する場合にあっては、法施行規則第9条第2項に従い、検体を国立感染症研究所に送付する。

第七 感染症情報センターの情報の収集、分析及び提供

- 一 感染症情報センターは、収集した患者情報、疑似症情報、病原体情報並びに全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。
- 二 感染症情報センター及び保健所は、本事業により収集した情報等を、地域医師会、市町等関係機関へ、適宜適切に提供する。
- 三 情報の提供を行うときは、個人情報の保護に十分留意する。

第八 その他

- 一 県は、効果的かつ円滑な感染症発生動向調査体制を構築するため、松山市と密接な連携を図る。
- 二 本事業に協力を得た医師、解析評価委員に対して予算の範囲内で謝金を支出する。
- 三 この要綱で定めるもののほか、感染症発生動向調査事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成13年1月1日から施行する。
- 2 愛媛県結核・感染症発生動向調査実施要綱（昭和62年1月1日）は、廃止する。

附 則

この実施要綱の改正は、平成14年11月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 15 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 15 年 11 月 5 日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 6 月 12 日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 9 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 18 年度に限り使用することができる。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 11 月 22 日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この実施要綱の一部改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 19 年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

1 この実施要綱の一部改正は、平成 20 年 1 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 19 年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

1 この実施要綱の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

この実施要綱の一部改正は、平成 23 年 9 月 5 日から施行する。

ただし、第五の三の 1 の (1) の表中イの指定については、平成 23 年 8 月 17 日から施行する。

□□-□□-□□

□□□□-□□□□-□□□□□

□ □ - □ □ □ □ □ □

1 類感染症、2 類感染症、3 類感染症、4 類感染症、5 類感染症及び指定感染症検査票 (病原体)

患者 コード		性別 (男・女)	住所	市 町	定点医療機関の場合は、該当するものに○ ・インフルエンザ定点 ・小児科定点 ・眼科定点 ・性感染症定点 ・基幹定点
		年齢 (歳 ヵ月)			

[主治医等記載欄]

医療機関等名及び 主治等医師名(記載者)			
検体送付日		年 月 日	分離株 (無・有・検査中)
診断名			
発病日		年 月 日	
採取日		年 月 日	
検査 材料	材料の種類 [該当する1つを ○で囲んでください]	・ふん便 (腸内容物、直腸ぬぐい液) ・吐物 ・喀痰 ・気管吸引液 ・咽頭ぬぐい液 (うがい液、鼻汁) ・結膜ぬぐい液 (結膜擦過物、眼脂) ・細胞診、生検、剖検材料 (臓器) ・血液 (全血、血清、血漿、抗凝固剤) ・その他 []	・髄液 ・尿 ・穿刺液 (腹水、胸水、関節液、その他) ・皮膚病巣 (水疱内容、痂皮、創傷) ・陰部尿道頸管擦過物 / 分泌物
	臨床的 事項	・無症状 ・頭痛 ・発熱 (最高 °C) ・熱性けいれん ・関節痛(関節炎)、筋肉痛 ・口内炎 ・上気道炎(咽頭炎/痛、扁桃炎) ・下気道炎(肺炎、気管支炎) ・水泡 ・発疹(丘疹、紅斑、パラ疹)、 ・出血傾向※全身性のもの ・リンパ節腫脹 (部位)、 ・唾液腺腫脹(耳下腺炎、顎下腺炎) 浮腫 (部位) ・ショック症状 (低血圧、循環不全) ・その他の症状 (上記以外の症状や臨床徴候)	・胃腸炎 (下痢、腹痛、嘔吐、嘔気、血便) ・角膜炎、結膜炎、角結膜炎 ・髄膜炎、意識障害、麻痺 (部位)、 中枢神経系症状 (脳炎、脳症、脊髄炎、 その他 () ・循環器障害 (心筋炎、心膜炎、心不全) ・黄疸 ・肝機能障害 ・腎機能障害 (HUS、血尿、乏尿、蛋白尿、多尿、腎不全) ・尿路生殖器症状 (膀胱炎、尿道炎、外陰炎、頸管炎)
基礎疾患			
転 帰		経過観察中、軽快、治癒、後遺症有り、死亡 (原因)	
主治医等から地方衛生研究所への連絡事項(関連の臨床検査結果等)			

[保健所等記載欄](主治医記載可)

発生の状況	・散発 ・地域流行 家族内発生 (無、有) ・集団発生 (無、有) ・発生市町 () 有の場合 (保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、宿舎・寮、病院、老人ホーム(介護施設を含む)、 福祉・養護施設、旅館・ホテル、飲食店、事業所、海外ツアー、国内ツアー、その他 [])
最近の海外渡航歴	国名 期間 年 月 日 ~ 年 月 日
ワクチン接種歴	(無、有、不明) 最終接種年月日 年 月 日 ワクチン名 (Lot No)

[地方衛生研究所記載欄]

記載者名			
抗体検出 方法 結果		(蛍光、IP、ELISA、CF、HI、PA、中和、イムノブロット、ゲル内沈降、凝集反応、その他 [])	
病 原 体 検 出	検出年月日	年 月 日	
	検出方法 [陽性となった方法を ○で囲んでください]	・分離培養 (培養細胞 : 細胞名 []) 人工培地、発育鶏卵、動物、その他 [] ・抗原検出 (蛍光、EIA、RPHA、LA、PA、IC [イムノクロマト]、その他 []) ・遺伝子検出 1.非増幅[ハイブリ、PAGE、その他 []] 2.増幅[PCR、PCR+ハイブリ、PCR+シーケンズ、LAMP その他 []] ・電顕 ・鏡検	
	検出病原体 (群、型、亜型)		

[その他特記事項]

--

- 注1) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いします。
- 注2) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載してください。
- 注3) 医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、地方衛生研究所への分離株の送付をお願いします。

愛媛県感染症対策推進協議会設置要綱

(設 置)

第1条 愛媛県における感染症の発生動向の把握、感染拡大防止対策等の一元化を図り、健康危機管理に即した迅速で実践的な体制を構築するとともに、予防接種業務の円滑な推進及び知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に資することを目的として、愛媛県感染症対策推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(任 務)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 感染症発生の防止の施策に関する事項
- (2) 医療機関の確保、医療機関の連絡体制に関する事項
- (3) 感染症及び予防接種に関する知識の普及啓発に関する事項
- (4) 感染症患者の人権への配慮等に関する事項
- (5) 予防接種法（昭和23年法律第68号）に基づき、知事が県内居住者に対し実施した予防接種に起因する事故原因の調査・究明に関する事項
- (6) 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（平成13年1月1日制定）に基づく感染症発生動向調査に関する事項

(組 織)

第3条 協議会は、委員16人以内で組織する。

(委 員)

第4条 協議会は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱し、又は任命する。

- (1) 社団法人愛媛県医師会の会員
- (2) 社団法人愛媛県獣医師会の会員
- (3) 感染症発生動向調査の専門家
- (4) 感染症対策の専門家
- (5) 第二種感染症指定医療機関の医師
- (6) 愛媛県予防接種センターの医師
- (7) 学識経験者
- (8) 感染症対策関係の行政担当者

2 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任させることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は会長が指名した者をもって充てる。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 協議会は、会長が必要に応じ招集し、会長が議長となる。

(部 会)

第7条 協議会に、麻しん排除に向けた活動の推進を図ることを目的に、麻しん対策部会を置く。

- 2 部会に、部会長及び部会員を置き、委員及び医療、学校、行政その他関係者のうちから会長が指名する。
- 3 部会は、部会長が必要に応じて招集し、部会長が議長となる。

(解析評価担当委員)

第8条 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（平成13年1月1日制定）に規定する感染症発生動向調査にかかる情報の解析評価を担当する解析評価担当委員をおく。

- 2 解析評価担当委員は、会長が協議会の委員のうちから指名する。

(関係者の出席)

第9条 会長が必要と認めた時は、協議会の会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶 務)

第10条 協議会の庶務は、保健福祉部健康衛生局健康増進課において処理する。

(雑 則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が、協議会に諮って定める。

附 則

この要領は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年1月13日から施行する。

附 則

この要領は、平成20年7月30日から施行する。

愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領

第一 趣旨

感染症の病原体に関する情報は、患者への良質かつ適切な医療の提供のために不可欠であり、かつ、感染症の発生の予防及びまん延の防止のために極めて重要な意義を有している。このことから、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領を定め、病原体の検査情報を収集するものとする。

第二 病原体検査の対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業において病原体検査の対象とする感染症は、次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

- (1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱
(5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

- (8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る) (12) 鳥インフルエンザ(H5N1)

3 三類感染症

- (13) コレラ (14) 細菌性赤痢 (15) 腸管出血性大腸菌感染症 (16) 腸チフス
(17) パラチフス

4 四類感染症

- (18) E型肝炎 (19) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)
(20) A型肝炎 (21) エキノコックス症 (22) 黄熱 (23) オウム病
(24) オムスク出血熱 (25) 回帰熱 (26) キャサヌル森林病 (27) Q熱 (28) 狂犬病
(29) コクシジオイデス症 (30) サル痘 (31) 腎症候性出血熱 (32) 西部ウマ脳炎
(33) ダニ媒介脳炎 (34) 炭疽 (35) つつが虫病 (36) デング熱 (37) 東部ウマ脳炎
(38) 鳥インフルエンザ(H5N1を除く) (39) ニパウイルス感染症
(40) 日本紅斑熱 (41) 日本脳炎 (42) ハンタウイルス肺症候群 (43) Bウイルス病
(44) 鼻疽 (45) ブルセラ症 (46) ベネズエラウマ脳炎 (47) ヘンドラウイルス感染症
(48) 発しんチフス (49) ボツリヌス症 (50) マラリア (51) 野兎病 (52) ライム病
(53) リッサウイルス感染症 (54) リフトバレー熱 (55) 類鼻疽 (56) レジオネラ症
(57) レプトスピラ症 (58) ロッキー山紅斑熱

5 五類感染症

- (59) アメーバ赤痢 (60) ウイルス性脳炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)
(61) 急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く) (62) クリプトスポリジウム症
(63) クロイツフェルト・ヤコブ病 (64) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症
(65) 後天性免疫不全症候群 (66) ジアルジア症 (67) 髄膜炎菌性髄膜炎 (68) 先天性風しん症候群
(69) 梅毒 (70) 破傷風 (71) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (72) バンコマイシン耐性腸球菌感染症
(73) 風しん (74) 麻しん

6 新型インフルエンザ等感染症

- (100) 新型インフルエンザ (101) 再興型インフルエンザ

二 定点把握対象の五類感染症（病原体定点別）

1 小児科病原体定点

(76) 咽頭結膜熱 (77) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (78) 感染性胃腸炎
(80) 手足口病 (83) 百日咳 (84) ヘルパンギーナ (85) 流行性耳下腺炎

2 インフルエンザ病原体定点(内科病原体定点及び小児科病原体定点)

(86) インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)

3 眼科病原体定点

(87) 急性出血性結膜炎 (88) 流行性角結膜炎

4 基幹病原体定点

(94) 細菌性髄膜炎 (97) 無菌性髄膜炎

上記2疾患以外に必要な応じて小児科病原体定点対象感染症の検体提供を依頼する。

三 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象

二類感染症

(12) 鳥インフルエンザ(H5N1)

第三 病原体別検査実施機関

一 病原体別検査実施機関の分担

病原体によっては、施設面又は技術的に衛生環境研究所又は保健所で検査の実施が困難な場合があるため、国立感染症研究所、衛生環境研究所及び保健所で病原体検査を分担する。検査実施機関別の検査対象疾病は、別表1のとおりとする。

二 医療機関・医師

第二の一に掲げる検査対象感染症の患者を診断あるいは感染疑いと判断した医師は、保健所から病原体検査のための検体提供の依頼を受けた場合にあっては、可能な範囲において検体採取に協力するものとする。採取された検体は、別記様式1（愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱第五の一の1の(2)に定める様式をいう。以下同じ。）の検査票を添えて、速やかに保健所へ提出する。

三 病原体定点に選定された医療機関

第二の二に掲げる病原体定点の検査対象感染症の患者を診断した医師は、概ね第四に示した検体数について、第五の別表2に掲げる検査材料を採取する。採取された検体は、別記様式1に掲げる検査票を添えて、速やかに保健所へ提出する。

四 保健所

保健所は、検査対象感染症の発生状況から、必要な応じて病原体検査のための検体提供を医療機関に依頼する。また、医療機関における検体の採取や搬送に協力し、第二の一に掲げる検査対象感染症のうち(13)、(14)、(15)、(16)及び(17)の検体の提供を受けた場合は、可能な範囲において検査を実施し、その結果を診断した医師に通知する。その他の検体の提供を受けた場合は、別記様式1の検査票を添えて、二次感染の防止に十分配慮し検体を衛生環境研究所へ搬送する。なお、特定病原体を衛生環境研究所へ搬送する場合は、省令第31条の36に規定された運搬基準を遵守すること。

五 衛生環境研究所

1 衛生環境研究所は、検体と別記様式1の検査票が搬入された場合は、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに本庁及び地方感染症情報センターに通知する。

2 衛生環境研究所において、検査の実施が困難な検体については、必要な応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

- 3 衛生環境研究所は、患者が一類感染症と診断されている場合(緊急の場合保健所から直接送付することもある。)、都道府県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合にあっては、検体を国立感染症研究所に送付する。

六 地方感染症情報センター

- 1 地方感染症情報センターは、医療機関、保健所、衛生環境研究所等から得た病原体検査情報を、病原体検出情報システムにより中央感染症情報センターへ送付する。
- 2 地方感染症情報センターは、病原体検査情報及び患者発生動向調査等の関連情報を収集、解析し、医療機関等関係機関へ還元する。

第四 定点把握の五類感染症の病原体検査検体数

定点把握の五類感染症の病原体検査検体数は、病原体定点の種別に応じて、年間1定点当たり概ね次のとおりとする。

一 小児科病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね12件以内の検体を採取する。

○12検体×7疾患=84件

二 インフルエンザ病原体定点

概ね月当たり10件以内で、インフルエンザ流行中の適当な時期に採取する

○10検体×3月=30件

三 眼科病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね20件以内の検体を確保する。

○20検体×2疾病=40件

四 基幹病原体定点

1 検査対象感染症につき、概ね20件以内の検体を採取する。

○20検体×2疾病=40件

上記2疾病以外に必要なに応じて小児科病原体定点対象感染症の検体を採取する。

第五 採取すべき検査材料種別

病原体検査のために採取すべき検査材料は、別表2のとおりとする。

第六 病原体検査検体の採取、保存、輸送等

一 細菌感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア 抗生物質投与前の糞便の一部を滅菌綿棒で取り、輸送用培地(キャリーブレイア培地等)の寒天部に深く差し込み密栓する。止むを得ない場合は、直腸スワブを採取し、前項と同様輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。

イ 検体採取後は、室温で保存し、速やかに検査に供する。遅くとも24時間以内に分離培養するのが望ましい。

(2) 鼻咽頭拭液

ア 滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、輸送用培地(キャリーブレイア培地等)中に綿棒を深く差し込み、直ちにキャップを確実に閉める。

イ 検体採取後は、室温で保存し、24時間以内に分離培養するのが望ましい。

(3) 脊髄液、血液

ア 髄液は、1～5mlを無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

イ 血液は、2～5mlを無菌的に採取し、直ちにカルチャーボトルに接種し、

常温で輸送する。

2 保存及び輸送方法

- (1) 検査材料は、容器から内容物が漏れないようにビニールテープ等で密栓する。
 所定の搬送用ボックスに入れ、できるだけ速やかに室温で搬送する。
- (2) 検体は、冷凍での保存・搬送はしてはならない。

二 ウイルス感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア できるだけ早期（急性期）に排泄直後の糞便を採取する。

イ ウイルス分離培養検査用は糞便 2 g（2 ml）を採取するか、又は滅菌綿棒で少量（0.1-0.2 g）をウイルス分離用保存液中に取り、よく攪拌後綿棒を取り除いて密栓する。

ウ 下痢症ウイルス検査用は、母指頭大（約 5 g）以上の糞便あるいは嘔吐物を容器に採取し密栓する。

(2) 鼻咽頭拭液

滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿球部をよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(3) 咽頭うがい液

滅菌生理食塩水 8～10 ml を用い咽頭の奥でよくうがいをさせ、清浄なコップ等に吐き出されたうがい液を 5 ml のウイルス分離用保存液又は滅菌ブイヨン液に等量加え密栓する。

(4) 髄液

1～5 ml を無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱又は膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器等で局所を突き刺して内容液を吸引し、ウイルス分離用保存液に入れ密栓する。

(6) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒をウイルス分離用保存液中でよく振とうして擦過物を浮遊させた後、綿球部を管壁でよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(7) 血液、血清

ウイルス分離用の血液は、抗凝固剤（クエン酸又は EDTA）入り採血管に 5～10 ml を採取し、室温でできるだけ速やかに検査機関に搬送する。

血清免疫学的診断用の場合は、凝固剤入り採血管に 3～5 ml を採血する。30 分程度静置後 3000rpm で遠心分離し、血清を滅菌セラムチューブ等に採取し、搬送するまで冷凍庫（-25℃以下）に保存する。

血清免疫学的診断には、急性期（発病 3 日以内）と回復期（発病後 2～3 週間後）のペア血清が必要なことが多い。

2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 検体採取当日又は翌日に検査が可能な場合は、氷冷して保存・搬送する。
- (3) 2 日以上保存する場合は、密封しドライアイスアセトン又は液体窒素で急速凍結した後、-25℃以下（できれば-70℃以下が望ましい）で冷凍保存する。
- (4) 冷凍して搬送する場合は、断熱性の搬送用ボックスに入れ、ドライアイス又は

- 寒剤（例：氷 75%＋食塩 25%）等を使用し、搬送中に融解しないようにする。
- (5) 保存又は搬送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ガスが容器に入り、pHが低下するのを防ぐため、検体容器をビニールテープでシールして密封する。

三 原虫感染症

1 採取方法

- (1) 母指頭大（約 5 g）以上の糞便を、保存培地の入っていない採便容器に採取し密栓する。
- (2) 連日あるいは1日おきに複数回採取するのが望ましい。

2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 保存、輸送は冷蔵(4℃)でおこなう。
- (3) 長期間(3日以上)の保存が避けられない場合は-25℃以下で冷凍保存し、溶解しないよう氷冷して搬送する。

第七 その他

- 一 県は、県内の病原体に関する情報を統一的に収集し、分析し、及び公表する体制を構築するため、松山市と緊密な連携を図る。
- 二 この要領に定めるもののほか、病原体検査の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成 13 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 15 年 11 月 5 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

別表 1 検査実施機関別検査対象感染症一覧表

検査実施機関	検査対象感染症				全数把握対象			定点把握対象
	一類感染症	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症	五類感染症	五類感染症	
国立感染症研究所	(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱 (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱			(18) E型肝炎 (21) エキノコックス症 (22) 黄熱 (23) オウム病 (24) オムスク出血熱 (25) 回歸熱 (26) キヤサスル森林病 (28) 狂犬病 (29) コクシジオイデス症 (30) サル痘 (31) 腎症候性出血熱 (32) 西部ウマ脳炎 (33) ダニ媒介脳炎 (36) デング熱 (37) 東部ウマ脳炎 (38) 鳥インフルエンザ(H5N1を除く) (39) ニバウイルス感染症 (42) ハンタウイルス肺症候群 (43) Bウイルス病 (44) 鼻疽 (45) ブルセラ病 (46) ベネズエラウマ脳炎 (47) ヘンドラウイルス感染症 (48) 発しんチフス (50) マラリア (51) 野兔病 (52) ライム病 (53) リッサウイルス感染症 (54) リフトバレー熱 (55) 類鼻疽 (57) レプトスピラ症 (58) ロッキーマウンテン斑熱	(63) クロイツフェルト・ヤコブ病 (68) 先天性風しん症候群 (71) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (72) パンコマイシン耐性腸球菌感染症			
衛生環境研究所		(8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群 (病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る) (12) 鳥インフルエンザ(H5N1)		(19) ウエストナイル熱 (21) エストバロ脳炎を含む (20) A型肝炎 (27) Q熱 (34) 炭疽 (35) つつか虫病 (40) 日本紅斑熱 (41) 日本脳炎 (49) ボツリヌス症 (56) レジオネラ症	(59) アメーバ赤痢 (60) ウイルス性髄膜炎E、A肝炎を除く (61) 急性髄膜炎 (7) エストバロ脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く) (62) クリプトスポリジウム症 (64) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (66) シアルジヤ症 (67) 髄膜炎菌性髄膜炎 (70) 破傷風 (73) 風疹 (74) 麻疹 (65) 後天性免疫不全症候群 (69) 梅毒		(75) RSウイルス感染症 (76) 咽頭扁桃炎 (77) A群溶血性レンサ球菌髄膜炎 (78) 感染症胃腸炎 (80) 手足口病 (83) 百日咳 (84) ヘルパンギーナ (85) 流行性耳下腺炎 (86) インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く) (87) 急性出血性結膜炎 (88) 流行性角膜炎 (94) 細菌性髄膜炎 (97) 無菌性髄膜炎	
保健所(西条保健所、松山保健所、宇和島保健所)			(13) コレラ (14) 細菌性赤痢 (15) 腸管出血性大腸菌感染症 (16) 腸チフス(17) パラチフス					

別表2 感染症別の採取材料一覧表

検査対象感染症名	病原体	危険度	採取検査材料							検査方法				検査担当機関		
			血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検生検材料/その他	培養法	抗原検出法	抗体検出法		遺伝子検出	
8 急性灰白髄炎	V	L2	S	○	○	○						○		○		衛環研
9 結核	B	L3										○				衛環研
10 シフテリア	B	L2	S	○								○	○			衛環研
11 重症急性呼吸器症候群	V	L3	○	○	○						肺	○		○	○	衛環研
12 鳥インフルエンザ(H5N1)	V	L3	S	○							肺、気管吸引液	○			○	衛環研
13 コレラ	B	L2			○							○				保健所
14 細菌性赤痢	B	L2			○							○				保健所
15 腸管出血性大腸菌感染症	B	L2	○		○							○				保健所
16 腸チフス	B	L3	○		○	○		○				○				保健所
17 パラチフス	B	L3	○		○	○		○				○				保健所
18 E型肝炎	V	L2	S		○									○	○	感染研
19 ウエストナイル熱	V	L3	S		○						脳	○		○	○	衛環研
20 A型肝炎	V	L2	S		○										○	衛環研
21 エキノコックス症	条虫	L2	S								手術材料		○	○		感染研
22 黄熱	V	L3	○								肝臓	○	○		○	感染研
23 オウム病	クラミジア	L2	○	○							痰、気管吸引液	○	○	○	○	感染研
25 回帰熱	スピロヘータ	L2	○									○	○		○	感染研
27 Q熱	リケッチア	L3	○	○										○		衛環研
28 狂犬病	V	L3				○	○				脳、気管吸引液	○	○		○	感染研
29 コクシジオイデス症	真菌	L3									痰、膿、肺	○				感染研
30 サル痘	V L3 扱い	L2	S	○								○	○	○	○	感染研
31 腎症候性出血熱	V	L3	○									○		○	○	感染研
34 炭疽	B	L3	○		○						○ 痰、腹水、胸水	○				衛環研
35 つつが虫病	リケッチア	L3	○											○		衛環研
36 デング熱	V	L2	○									○			○	感染研
38 鳥インフルエンザ(H5N1 を除く)	V	L3	S	○								○			○	感染研 (衛環研)
39 ニパウイルス感染症	V	L3	S	○					○			○		○	○	感染研
40 日本紅斑熱	リケッチア	L3	○											○		衛環研
41 日本脳炎	V	L2	○		○						脳			○		衛環研
42 ハンタウイルス肺症候群	V	L3	○											○	○	感染研
43 Bウイルス病	V	L3	S		○						皮膚病巣	○			○	感染研
45 フルセラ病	B	L3	○		○							○				感染研
48 癩しんチフス	リケッチア	L3	○								動物脾臓	○				感染研
49 ポツリヌス症	B	L2	S		○						摂取食品	○				衛環研
51 野兔病	B	L3	○											○	○	感染研
52 ライム病	スピロヘータ	L3	○			○					皮膚病巣	○				感染研
53 リッサウイルス感染症	V	L3	○			○					脳	○	○		○	感染研
56 レジオネラ症	B	L2	S	○	○		○				痰、気管吸引液	○		○		衛環研
57 レプトスピラ症	スピロヘータ	L2	○			○		○				○		○	○	感染研
59 アメーバ赤痢	原虫	L2	S		○						肝膿瘍液、腸、肝				△	衛環研
61 急性脳炎	V、B	—	○	○	○	○		○				○	△	△	△	衛環研
62 クリプトスポリジウム症	原虫	L2			○										○	衛環研
63 クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオン	L2				○					膿、扁桃、脾臓等		○			感染研
64 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B	L2		○		○	○		○		皮膚、腹水、胸水	○	△			衛環研
65 後天性免疫不全症候群	V	L3	○										○	○	△	保健所
66 ジアルジア症	原虫	L2			○										○	衛環研
67 髄膜炎菌性髄膜炎	B	L2	○	○		○						○				衛環研
68 先天性風しん症候群	V	L2	○	○				○			白内障レンズ	○			○	感染研
69 梅毒	スピロヘータ	L2	○											○		保健所
70 破傷風	B	L2	S						○		皮膚病巣	○				衛環研
71 バクテリウム耐性ブドウ球菌感染症	B	L2	○									○			○	感染研
72 バクテリウム耐性腸球菌感染症	B	L2	○									○			○	感染研
73 風疹	V	L2	S											○		衛環研
74 麻しん	V	L2	○	○		○		○			脳(SSPE)	○		○	△	衛環研

75	RSウイルス感染症	V	L2		○									○			△	衛環研
76	咽頭結膜熱	V	L2	S	○	○	○	○	○		痰、気管吸引液	○	○					衛環研
77	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	B	L2		○								○	△				衛環研
78	感染症胃腸炎	V、B、原虫	L2	S		○							○	○			○	衛環研
80	手足口病	V	L2	S	○	○	○			○				○				衛環研
83	百日咳	B	L2	S	○						痰、気管吸引液	○			△	○		衛環研
84	ヘルパンギーナ	V	L2	S	○	○							○					衛環研
85	流行性耳下腺炎	V	L2	S	○		○		○				○		○	△		衛環研
86	インフルエンザ	V	L2	S	○		○	○			肺、脳	○			○	○		衛環研
87	急性出血性結膜炎	V	L2	S	○	○		○					○					衛環研
88	流行性角結膜炎	V	L2	S	○	○		○					○				△	衛環研
94	細菌性髄膜炎	B	L2	○	○		○						○				△	衛環研
97	無菌性髄膜炎	V	L2	S	○	○	○						○				△	衛環研

(注) 病原体：B…細菌、V…ウイルス

血液・血清：S…血清、○…全血液

検査担当機関：感染研…国立感染症研究所、衛環研…衛生環境研究所、
保健所…西条保健所、松山保健所及び宇和島保健所

《参考》

感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律
第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について
(届出基準等通知)

1 全数把握対象疾患

一類感染症	(1)	エボラ出血熱
	(2)	クリミア・コンゴ出血熱
	(3)	痘そう
	(4)	南米出血熱
	(5)	ペスト
	(6)	マールブルグ病
	(7)	ラッサ熱
二類感染症	(8)	急性灰白髄炎
	(9)	結核
	(10)	ジフテリア
	(11)	重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)
	(12)	鳥インフルエンザ(H5N1)
三類感染症	(13)	コレラ
	(14)	細菌性赤痢
	(15)	腸管出血性大腸菌感染症
	(16)	腸チフス
	(17)	パラチフス
四類感染症	(18)	E型肝炎
	(19)	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)
	(20)	A型肝炎
	(21)	エキノコックス症
	(22)	黄熱
	(23)	オウム病
	(24)	オムスク出血熱
	(25)	回帰熱
	(26)	キャサヌル森林病
	(27)	Q熱
	(28)	狂犬病
	(29)	コクシジオイデス症
	(30)	サル痘
	(31)	腎症候性出血熱
	(32)	西部ウマ脳炎
	(33)	ダニ媒介脳炎
	(34)	炭疽
	(35)	チクングニア熱
	(36)	つつが虫病
	(37)	デング熱
	(38)	東部ウマ脳炎
	(39)	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)
	(40)	ニパウイルス感染症
	(41)	日本紅斑熱
	(42)	日本脳炎
	(43)	ハンタウイルス肺症候群
	(44)	Bウイルス病
	(45)	鼻疽
	(46)	ブルセラ症
	(47)	ベネズエラウマ脳炎
	(48)	ヘンドラウイルス感染症
	(49)	発しんチフス
(50)	ボツリヌス症	
(51)	マラリア	
(52)	野兎病	
(53)	ライム病	
(54)	リッサウイルス感染症	
(55)	リフトバレー熱	
(56)	類鼻疽	
(57)	レジオネラ症	
(58)	レプトスピラ症	
(59)	ロッキー山紅斑熱	

* 上記疾患の診断基準及び届出票は、愛媛県感染症情報センターホームページ
(<http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanjyo/index.htm>)に掲載している。

《参考》

感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律
第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について
(届出基準等通知)

1 全数把握対象疾患

五類感染症	(60)	アメーバ赤痢
	(61)	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)
	(62)	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)
	(63)	クリプトスポリジウム症
	(64)	クロイツフェルト・ヤコブ病
	(65)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	(66)	後天性免疫不全症候群
	(67)	ジアルジア症
	(68)	髄膜炎菌性髄膜炎
	(69)	先天性風しん症候群
	(70)	梅毒
	(71)	破傷風
	(72)	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
	(73)	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
	(74)	風しん
(75)	麻しん	
新型インフルエンザ	(102)	新型インフルエンザ
	(103)	再興型インフルエンザ

2 定点把握対象疾患

五類感染症	(76)	RSウイルス感染症
	(77)	咽頭結膜熱
	(78)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
	(79)	感染性胃腸炎
	(80)	水痘
	(81)	手足口病
	(82)	伝染性紅斑
	(83)	突発性発しん
	(84)	百日咳
	(85)	ヘルパンギーナ
	(86)	流行性耳下腺炎
	(87)	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)
	(88)	急性出血性結膜炎
	(89)	流行性角結膜炎
	(90)	性器クラミジア感染症
	(91)	性器ヘルペスウイルス感染症
	(92)	尖圭コンジローマ
	(93)	淋菌感染症
	(94)	クラミジア肺炎(オウム病を除く)
	(95)	細菌性髄膜炎
	(96)	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
	(97)	マイコプラズマ肺炎
	(98)	無菌性髄膜炎
	(99)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症
	(100)	薬剤耐性アシネトバクター感染症
(101)	薬剤耐性緑膿菌感染症	
疑似症	(104)	摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)
	(105)	発熱及び発しん又は水泡(ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)

3 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象二類感染症

二類感染症	(12)	鳥インフルエンザ(H5N1)
-------	------	----------------

* 上記疾患の診断基準及び届出票は、愛媛県感染症情報センターホームページ
(<http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanryo/index.htm>)に掲載している。

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書
平成 22 年(2010 年)

平成 23 年 12 月発行

発 行 愛媛県感染症情報センター

(愛媛県立衛生環境研究所)

愛媛県松山市三番町 8 丁目 234 番地

電話(089)931-8757
